

内閣府令和2年度委託調査事業

学生の就職・採用活動開始時期等  
に関する調査  
調査結果（速報版）

2020年9月  
株式会社浜銀総合研究所

この調査結果（速報版）は、現時点における議論に資するよう作成するものであり、今後、有識者を交えた分析・検討、データの更なる精査を経て、調査結果報告書を作成することとしている。



## <目次>

第1章 調査の概要・回答者属性等	1
（1）調査の概要	1
（2）回答者属性	2
（3）ウエイトによる補正	4
第2章 就職活動に関する認識と学修時間確保の状況等	8
（1）就職活動時期に関する認識の状況	8
（2）就職活動時期に関する認識	11
（3）就職活動と学修時間確保の状況	12
（4）就職先を決めるにあたって重視していること	14
（5）就職活動に関する考え	15
第3章 就職活動内容	17
（1）企業の広報活動開始前の活動状況	17
（2）業界や企業に関する分析を開始した時期	18
（3）企業説明会やセミナー等の参加状況	20
（4）エントリーシートの提出状況	25
（5）採用面接の実施状況	30
（6）内々定の状況・内々定の時期	36
（7）採用試験・面接等を受けた経路	45
（8）就職活動の始まりと終わりの認識	49
（9）インターンシップの参加状況	55
（10）新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響	69
第4章 企業による学業などに対する配慮の状況等	104
（1）履修履歴（成績証明書など）の提出の状況	104
（2）採用面接の際の学業や成績等への評価	107
（3）就職活動の日程・時間帯等に関する配慮	108
（4）遠隔地への就職活動への配慮	110
（5）クールビズでの対応	111
（6）留学経験者への配慮	112
（7）「オワハラ」の状況	116
（8）セクシュアルハラスメントの状況	121
（9）新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響	126



## 第1章 調査の概要・回答者属性等

### (1) 調査の概要

#### ①調査の目的

本調査は、2020年度卒業・修了予定者の就職・採用選考活動の意識・行動等を把握することにより、2021年度以降の就職・採用活動の円滑な実施に資することを目的として実施した。

#### ②調査の実施方法

地域、設置主体、規模等を勘案して選定した全国の約60の大学に協力いただき、それらの大学から、大学4年生及び大学院修士課程（博士前期課程）2年生<sup>1</sup>にアンケート調査への協力を依頼していただいた。なお、医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科の学生や海外からの留学生については調査の対象外である旨を案内の上で実施した<sup>2</sup>。

各学生には、インターネット上に開設したアンケート調査のホームページにアクセスし、回答していただいた。ホームページは、2020年7月22日から8月21日までの間開設した。

#### ③回答状況

対象学年別の有効回答件数は図表1-1の通りである。なお、社会人経験があり元の職場に復帰予定の者や、進学等を予定しており就職活動をする予定がない者等については、集計の過程において、適宜対象から除いて集計を行った。

図表 1-1 学年別の有効回答件数

対象	大学4年生	大学院2年生	合計
有効回答件数	5,643	1,679	7,322

※学年について「その他」と回答があった132件については有効回答の対象外とした。

<sup>1</sup> 以下「大学院2年生」と表記する。

<sup>2</sup> 本調査は、全国の約60の大学について、原則として対象学年の全学生に対し調査の案内をしていただくように依頼をしたが、調査依頼を行う大学のなかには、医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科の学生や海外からの留学生が多く在籍する大学があると想定された。医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科の学生や海外からの留学生は、就職・採用選考活動に関してその他の学生とは異なる動きとなる場合が多いと予想されたが、これらの学生が調査対象全体に占める割合を母集団の分布等に基づいて事後的に調整を行うことが困難であると考えられたため、あらかじめ調査対象外とすることとした。なお、本資料に記載・言及している2016年度から2019年度の各調査においても同様の方法で実施している。2015年度調査では医学科等の学生や留学生も調査対象に含めているが、2015年度調査は調査依頼を行っていただく学生の人数を各大学に割り当て、対象学生は各大学で抽出してもらうという方法をとっている。また、抽出の際の男女比や文系・理系の比率は大学全体の構成比と同率にさせていただくよう依頼を行っており、2015年度調査において医学科等の学生や留学生が母集団との関係において過度に多く含まれてしまうことは生じていないものと想定される。

## (2) 回答者属性

本調査への回答が得られた学生の属性に関して、①性別、②大学・大学院の設置主体、③専攻、④大学・大学院の所在地域による割合を、対象学年別に図表 1-2～図表 1-5 に示し、それぞれ右欄に 2019 年度の学校基本調査<sup>3</sup>（文部科学省調べ）の情報（確定版）について掲載した<sup>4,5,6</sup>。

本調査の回答者の属性の状況を、学校基本調査に基づく全国の母集団の状況と比較すると、性別については大学 4 年生が「女性」からの回答割合が高く、大学・大学院の設置主体については大学 4 年生・大学院 2 年生ともに「国立」からの回答割合が高いなど、若干の偏りが生じている状況にあることが把握される。

図表 1-2 性別

	大学 4 年生		大学院 2 年生	
	本調査	2019 年度 学校基本調査 (確定版)	本調査	2019 年度 学校基本調査 (確定版)
男性	41.2%	54.2%	66.7%	68.9%
女性	57.3%	45.8%	32.0%	31.1%
その他 <sup>7</sup>	1.5%	—	1.3%	—
集計度数	5,643	622,716	1,679	77,074

図表 1-3 大学・大学院の設置主体

	大学 4 年生		大学院 2 年生	
	本調査	2019 年度 学校基本調査 (確定版)	本調査	2019 年度 学校基本調査 (確定版)
国立	23.8%	16.7%	63.0%	58.8%
公立	4.7%	5.3%	8.7%	6.5%
私立	71.6%	78.0%	28.4%	34.8%
集計度数	5,643	622,716	1,679	77,074

<sup>3</sup> 学校基本調査は、全国全ての学校を対象とした、統計法（平成 19 年法律第 53 号）に基づく基幹統計調査である。

<sup>4</sup> 調査対象として医学科・薬学科・歯学科・看護学科・獣医学科の学生は対象外としていることから、学校基本調査の情報のうち「専攻」について、「保健」の学生数を除いた値を参照した。ただし、性別や設置主体別、地域別のデータについては、一部「保健」を専攻している学生を取り除いた値の算出が困難であったことから、「保健」の者も含めた値を参照している。（図表 1-4 は「保健」専攻の学生を除いた値、図表 1-2、図表 1-3、図表 1-5 は「保健」専攻の学生を含めた値）

<sup>5</sup> 2020 年度の学校基本調査の情報（速報値）では、「性別」「大学・大学院の設置主体別」「大学・大学院の所在地域別」の学生数が公開されているが、「専攻別」の学生数が公開されていないため、後段で詳述するウエイトによる補正が過年度調査と同様の方法では困難であった。そこで、2019 年度の学校基本調査の情報（確定版）から、大学 3 年生・大学院 1 年生の値を用いてウエイトを作成することとしたため、ここでも比較対象として 2019 年度の学校基本調査の情報（確定版）の値を掲載している。

<sup>6</sup> なお、本調査の値と 2019 年度学校基本調査（確定版）いずれの値も、小数点第 2 位を四捨五入した上で表示しているため、割合の合計が 100%を超えたり、小計の値を超えたりする場合がある。

<sup>7</sup> 今年度調査においては、性別を尋ねる設問において、「その他」と「答えたくない」の選択肢を設定した。ここでは、これらの回答を「その他」として集計した。

図表 1-4 専攻

	大学 4 年生		大学院 2 年生	
	本調査	2019 年度 学校基本調査 (確定版)	本調査	2019 年度 学校基本調査 (確定版)
人文科学	22.6%	16.0%	5.3%	6.1%
社会科学	42.7%	36.8%	3.3%	10.5%
理学	7.6%	3.5%	30.2%	9.8%
工学	10.4%	17.3%	46.9%	45.3%
農学	2.9%	3.4%	7.9%	5.9%
保健	2.5%	—	1.9%	—
商船	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%
家政	1.2%	3.2%	0.1%	0.5%
教育	3.7%	8.4%	1.7%	4.3%
芸術	0.6%	3.1%	0.5%	3.0%
その他	5.9%	8.3%	2.2%	14.5%
文系	76.6%	75.9%	13.1%	38.9%
理系	23.4%	24.1%	86.9%	61.1%
集計度数	5,643	553,209	1,679	71,407

※「人文科学」、「社会科学」、「家政」、「教育」、「芸術」、「その他」を「文系」とし、「理学」、「工学」、「農学」、「保健」、「商船」を「理系」としている

図表 1-5 大学・大学院の所在地域

	大学生		大学院生	
	本調査 (大学 4 年生)	2019 年度 学校基本調査 (確定版)	本調査 (大学院 2 年生)	2019 年度 学校基本調査 (確定版)
北海道・東北	6.4%	7.3%	13.5%	8.8%
関東	37.4%	43.8%	37.5%	42.3%
中部	14.1%	12.9%	13.7%	13.0%
近畿	20.2%	21.2%	17.7%	20.5%
中国・四国	7.6%	6.6%	8.9%	6.9%
九州・沖縄	14.3%	8.3%	8.8%	8.4%
集計度数	5,643	2,609,148	1,679	254,621

※「北海道・東北」は、北海道、青森県、岩手県、秋田県、宮城県、山形県、福島県が該当する

※「関東」は、茨城県、栃木県、群馬県、埼玉県、千葉県、東京都、神奈川県が該当する

※「中部」は、山梨県、長野県、新潟県、富山県、石川県、福井県、静岡県、愛知県、岐阜県が該当する

※「近畿」は、三重県、滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、奈良県、和歌山県が該当する

※「中国・四国」は、鳥取県、島根県、岡山県、広島県、山口県、香川県、愛媛県、徳島県、高知県が該当する

※「九州・沖縄」は、福岡県、佐賀県、長崎県、熊本県、大分県、宮崎県、鹿児島県、沖縄県が該当する

### (3) ウェイトによる補正

就職・採用活動の状況は、文系・理系などの属性別に差異があると考えられたことから、実態について集計結果を示すにあたっては、可能な限り回答者の属性分布を母集団に近似させることが望ましいと考えられた。そこで、本調査では、「性別」「大学・大学院の設置主体」「文系・理系別」の3点について、それぞれのバランスが母集団に近似するようにウェイト付けを行った上で集計を行うこととした。

なお、2015年度調査から2017年度調査においては、原則として大学4年生と大学院2年生の集計を別々に行っていたが、本調査では、2018年度調査・2019年度調査と同様に、大学4年生と大学院2年生とを合わせた集計も行い、結果を掲載した。大学4年生と大学院2年生とを合わせた集計を行う際にも、学校基本調査の在学者数<sup>8</sup>を基にしたウェイトによりデータの補正を行った。

分類別のウェイト値は、大学4年生・大学院2年生を合わせた集計結果を示す場合と、別々に示す場合とで、それぞれ図表1-6と図表1-7に示したように設定をした<sup>9</sup>。また、①性別、②大学・大学院の設置主体、③専攻、④大学・大学院の所在地域のそれぞれについて、ウェイトによる補正後の分布は図表1-8～図表1-11のようになっている<sup>10</sup>。

これらから、ウェイト補正後は、「性別」「大学・大学院の設置主体」「文系・理系別」の3点について、母集団における分布と近い構成比になっていることが確認できる<sup>11</sup>。ただし、「文系・理系別」の詳しい内訳と大学・大学院の所在地域については直接的にウェイト付けの対象としなかったことから、母集団の分布と比べて若干の偏りが生じている状況にある。

<sup>8</sup> 2015年度調査から2019年度調査については、各調査年度の学校基本調査の速報値から「性別」「大学・大学院の設置主体別」「専攻別」の大学4年生・大学院2年生の在学者数の情報を用いてウェイト値を作成していたが、今年度については学校基本調査の速報値に「専攻別」の情報の掲載がなかった。そのため、2019年度の学校基本調査の確定版から「性別」「大学・大学院の設置主体別」「専攻別」の大学3年生・大学院1年生の在学者数の情報を用いてウェイトを作成した。なお、2019年度調査のデータを用いて、2019年度学校基本調査速報値を用いたウェイトを使用した集計と、2018年度学校基本調査確定版を用いたウェイトを使用した集計を行って両者を比較したところ、大きな差が認められなかった。

<sup>9</sup> 性別が「その他」の者に関しては、学校基本調査には直接的に対応する値はないが、性別以外の「大学・大学院の設置主体」「文系・理系別」のバランスをふまえてウェイト値を設定した。

<sup>10</sup> ウェイト補正後の集計値に関しては、四捨五入等している関係で、設問により、選択肢ごとの度数と度数合計が一致しない場合がある。また、集計結果の割合(%)は、小数点以下第2位を四捨五入した上で表示しているため、内訳の計が100%にならない場合がある。

<sup>11</sup> 「文系・理系別」の詳しい内訳と大学・大学院の所在地域については直接的にウェイト付けの対象としなかったことから、母集団の分布と比べて若干の相違があるが、細部まで補正を行うことが困難であったことから、「性別」「大学・大学院の設置主体別」「文系・理系別」の3点について補正したデータにより集計を行った。なお、ウェイト付けの際には、専攻について「保健」の者を除いた形で値を算出した。このことにより、ウェイト補正後の「性別」「大学・大学院の設置主体別」の分布について、図表1-2、図表1-3に掲載した構成比とは若干異なる値になっている。



図表 1-6 大学生・大学院生をまとめて集計する際のウエイト値

本調査			大学 4 年生	大学院 2 年生
男性	国立	文系	1.0960	1.6794
		理系	1.0430	0.4165
	公立	文系	1.8487	0.6731
		理系	0.8184	0.2536
	私立	文系	1.9293	1.0812
		理系	1.4809	0.4773
女性	国立	文系	0.6046	0.8680
		理系	0.4877	0.1662
	公立	文系	1.5472	1.2865
		理系	0.4240	0.2968
	私立	文系	0.9391	0.9328
		理系	0.7903	0.4913
その他	国立	文系	0.4565	0.4534
		理系	0.7324	0.7513
	公立	文系	1.6640	0.3221
		理系	—	0.4670
	私立	文系	1.3253	0.3464
		理系	1.7045	0.8351

※ウエイト値について四捨五入の上小数点以下第 4 位まで掲載しているが、実際には小数点以下第 15 位までの値に基づいてウエイト付けを行っている。

※公立理系の大学 4 年生で性別が「その他」の者は該当者がいなかったことから、ウエイト値を設定していない。

図表 1-7 大学生・大学院生を別々に集計する際のウエイト値

本調査			大学 4 年生	大学院 2 年生
男性	国立	文系	0.9533	3.3745
		理系	0.9072	0.8369
	公立	文系	1.6080	1.3524
		理系	0.7118	0.5096
	私立	文系	1.6780	2.1726
		理系	1.2880	0.9591
女性	国立	文系	0.5259	1.7440
		理系	0.4242	0.3340
	公立	文系	1.3457	2.5849
		理系	1.3688	0.5963
	私立	文系	0.8168	1.8743
		理系	0.6874	0.9871
その他	国立	文系	0.4090	0.8139
		理系	0.6563	1.3488
	公立	文系	1.4910	0.5782
		理系	—	0.8384
	私立	文系	1.1875	0.6219
		理系	1.5273	1.4991

※ウエイト値について四捨五入の上小数点以下第 4 位まで掲載しているが、実際には小数点以下第 15 位までの値に基づいてウエイト付けを行っている。

※公立理系の大学 4 年生で性別が「その他」の者は該当者がいなかったことから、ウエイト値を設定していない。

図表 1-8 性別（ウエイトによる補正後）

本調査	全体	大学4年生	大学院2年生
男性	57.3%	55.7%	69.9%
女性	41.2%	42.8%	28.8%
その他	1.4%	1.5%	1.3%
集計度数	7,322	5,643	1,679

図表 1-9 大学・大学院の設置主体（ウエイトによる補正後）

本調査	全体	大学4年生	大学院2年生
国立	21.5%	16.7%	59.0%
公立	5.0%	4.8%	6.4%
私立	73.5%	78.6%	34.6%
集計度数	7,322	5,643	1,679

図表 1-10 専攻（ウエイトによる補正後）

本調査	全体	大学4年生	大学院2年生
人文科学	21.8%	22.8%	13.9%
社会科学	39.5%	43.0%	12.4%
理学	8.1%	6.7%	18.9%
工学	16.2%	13.5%	36.5%
農学	1.6%	1.3%	3.8%
保健	2.5%	2.6%	1.8%
商船	0.0%	0.0%	0.0%
家政	1.1%	1.1%	0.8%
教育	3.5%	3.3%	5.1%
芸術	0.8%	0.7%	1.3%
その他	4.9%	4.9%	5.4%
文系	71.7%	75.9%	39.0%
理系	28.3%	24.1%	61.0%
集計度数	7,322	5,643	1,679

図表 1-11 大学・大学院の所在地域（ウエイトによる補正後）

本調査	全体	大学4年生	大学院2年生
北海道・東北	6.2%	5.5%	11.6%
関東	39.0%	38.9%	39.6%
中部	14.2%	14.3%	13.5%
近畿	20.8%	21.0%	18.9%
中国・四国	6.3%	6.1%	8.1%
九州・沖縄	13.6%	14.3%	8.1%
集計度数	7,322	5,643	1,679

以降では、ウェイト補正後のデータに基づき、「就職活動に関する認識と学修時間確保の状況等」、「就職活動内容」、「企業による学業などに対する配慮の状況等」について集計を行った。

なお、原則として大学4年生・大学院2年生をあわせて集計をした結果と、別々に集計した結果の両方を掲載し、また、2015年度に実施した「就職・採用活動開始時期の後ろ倒しに係る学生の就職活動等調査」、2016年度に実施した「就職・採用活動開始時期変更に係る学生の就職活動等調査」、2017年度・2018年度・2019年度に実施した「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」<sup>12</sup>との比較を行い、回答傾向の違いについて把握した。

本資料に掲載した集計結果等に関しては、次のような点に留意されたい。

- 集計結果の割合(%)は、小数点以下第2位を四捨五入した上で表示しているため、内訳の計が100%にならない場合がある。
- 設問には選択肢からひとつだけ回答するものと、選択肢から複数の項目を回答するものがあり、複数回答する場合の設問では、選択肢別の集計結果の割合合計が100%を超える場合がある。
- 本資料で扱う今年度調査の集計について、ほとんどの設問は「就職活動を行った(終えた)」「就職活動を行っている(継続している)」と回答した者が集計対象であるが、一部の設問は「これから就職活動を行う予定である」と回答した者も集計対象に含んでいる。このほか、一部の回答者を除いて集計をしている設問があるが、これらの点はページ下部の注釈にて説明を記載した。

---

<sup>12</sup> それぞれ、「2015年度調査」「2016年度調査」「2017年度調査」「2018年度調査」「2019年度調査」と表記し、これら5ヶ年の調査をあわせて「過年度調査」と表記する。また、今回2020年度に実施した「学生の就職・採用活動開始時期等に関する調査」を「今年度調査」と表記する。なお、2016年度調査、2017年度調査、2018年度調査、2019年度調査、今年度調査は8月1日時点で実施しているが、2015年度調査は10月1日時点で実施した。

## 第2章 就職活動に関する認識と学修時間確保の状況等

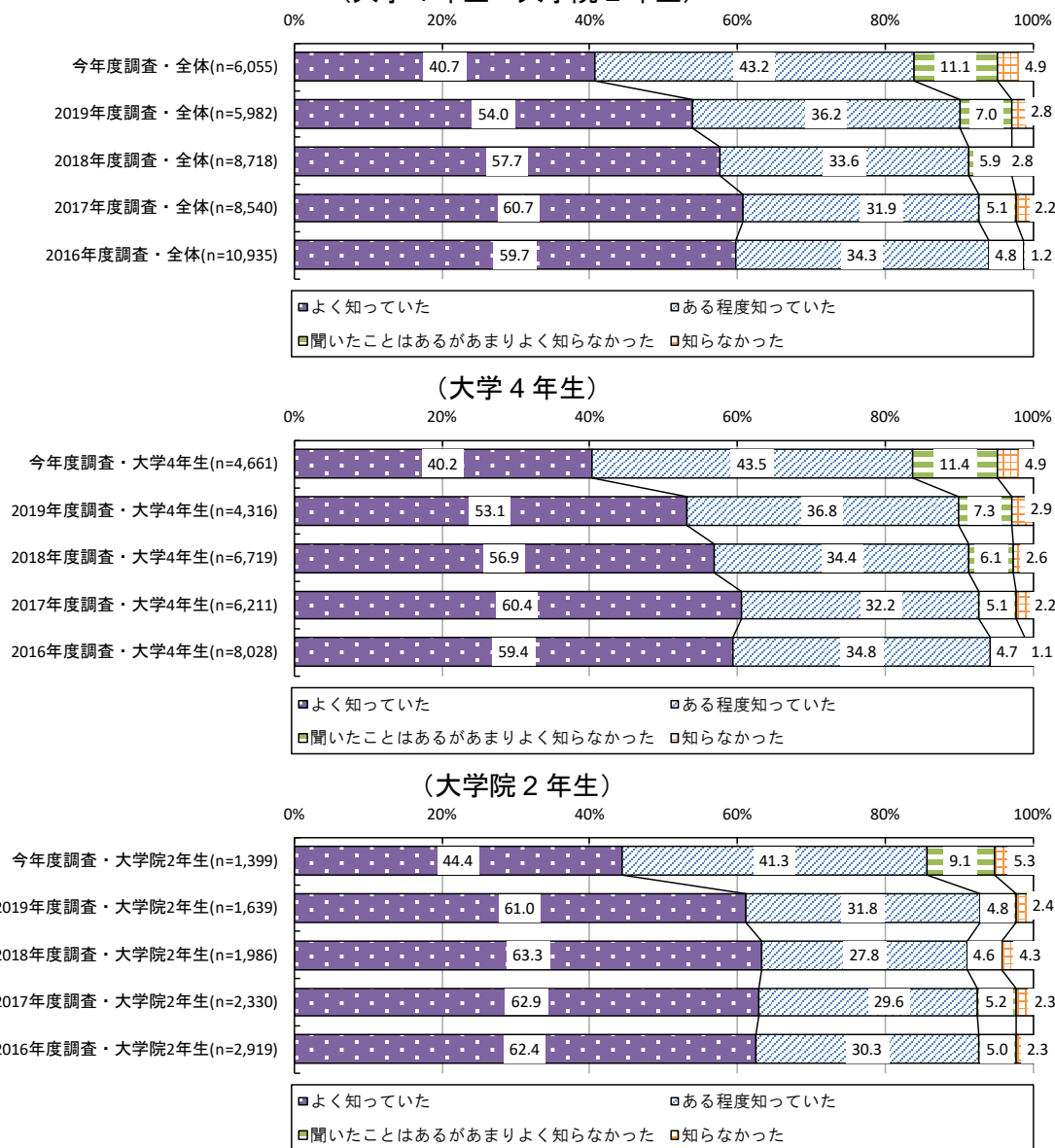
### (1) 就職活動時期に関する認知の状況

#### ① 就職活動時期に関する認知度

就職活動を開始するにあたり、就職・採用活動の時期が昨年度と同様の日程（広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降）で行われることについて、「よく知っていた」の回答割合は約4割となっており、「ある程度知っていた」の回答割合と合わせると約8割となっている。

2016年度調査～2019年度調査と比較すると、「よく知っていた」の回答割合が低くなっている<sup>13</sup>。

図表 2-1-1 就職活動時期に関する認知度  
(大学4年生・大学院2年生)



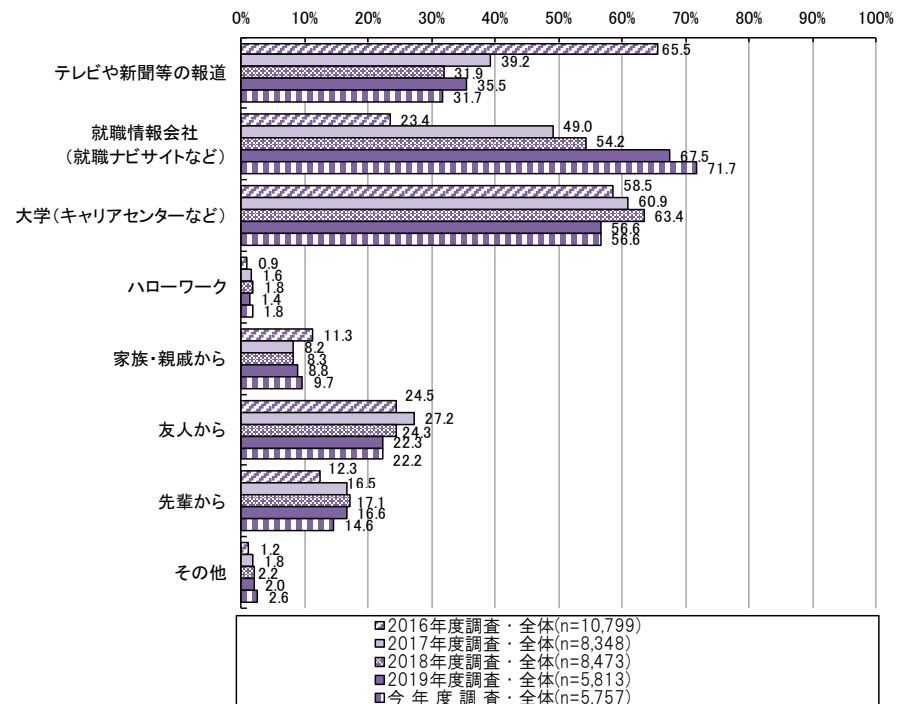
<sup>13</sup> いずれの年度の調査も、「就職活動を行った（終わった）」「就職活動を行っている（継続している）」「これから就職活動を行う予定である」と回答した者が集計対象で、「就職活動を行わなかった（行う予定はない）」と回答した者は集計の対象外とした。なお、2016年度調査は就職活動時期変更について知っていたかを尋ねた設問となっている。2015年度調査でも就職活動時期に関する認知度を把握するための設問はあるが、他の年度とは異なる聞き方となっていることから、ここでは比較の対象としなかった。

## ②就職活動の時期に関する情報源

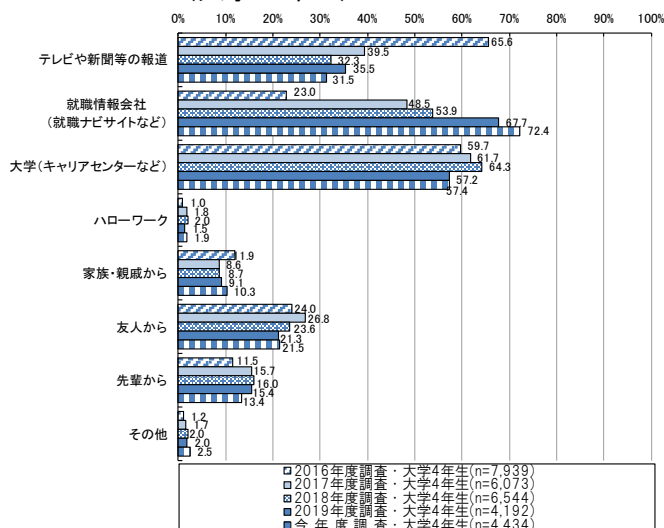
どのようなルートで就職・採用活動の時期に関する情報を知ったかについて<sup>14</sup>、「就職情報会社（情報ナビサイトなど）」の割合が約7割と最も高く、次いで「大学（キャリアセンターなど）」の割合が高くなっている。

2016年度調査～2019年度調査と比較すると、「就職情報会社」の割合が高まっている<sup>15</sup>。

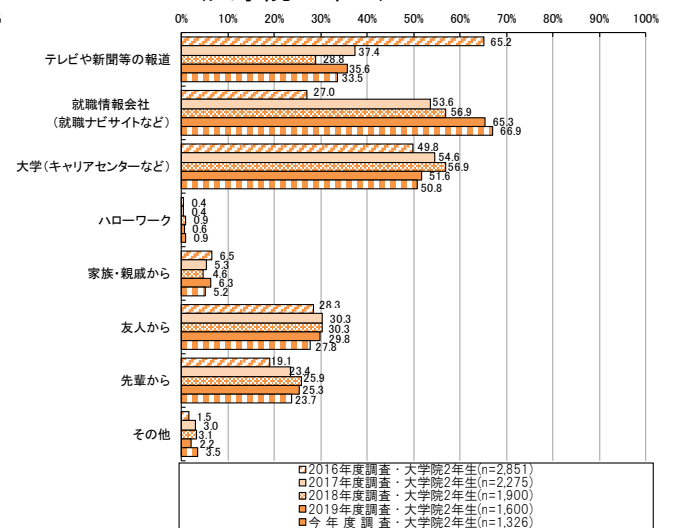
図表 2-1-2 就職活動時期に関する情報源（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



（大学4年生）



（大学院2年生）



<sup>14</sup> 就職・採用活動の時期が昨年度と同様の日程で行われることについて「よく知っていた」「ある程度知っていた」「聞いたことはあるがあまりよく知らなかった」と回答した者が集計の対象で、「知らなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

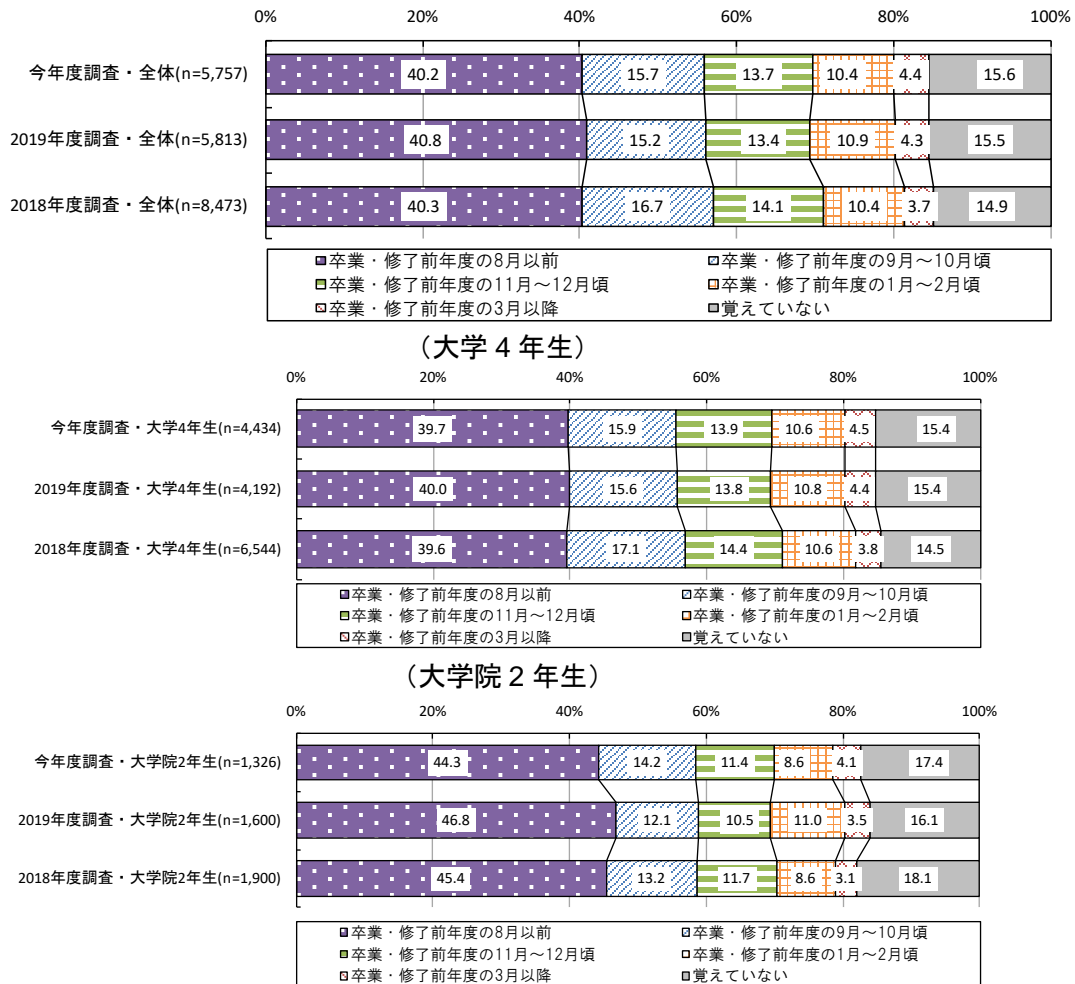
<sup>15</sup> 2016年度調査は就職活動時期変更に関する情報をどのようなルートで知ったかを尋ねた設問となっている。2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。なお、2017年度・2018年度は「就職情報会社」、2016年度は「求人情報会社」の文言で調査を行っている点には留意が必要である。

### ③就職活動時期に関する情報を知った時期

いつ頃就職・採用活動の時期に関する情報を知ったかについて<sup>16</sup>、「卒業・修了前年度の8月以前」の割合が最も高く、約4割となっている。

過年度調査と比較すると、ほぼ同様の回答結果となっている<sup>17</sup>。

図表 2-1-3 就職活動時期に関する情報を知った時期  
(大学4年生・大学院2年生)



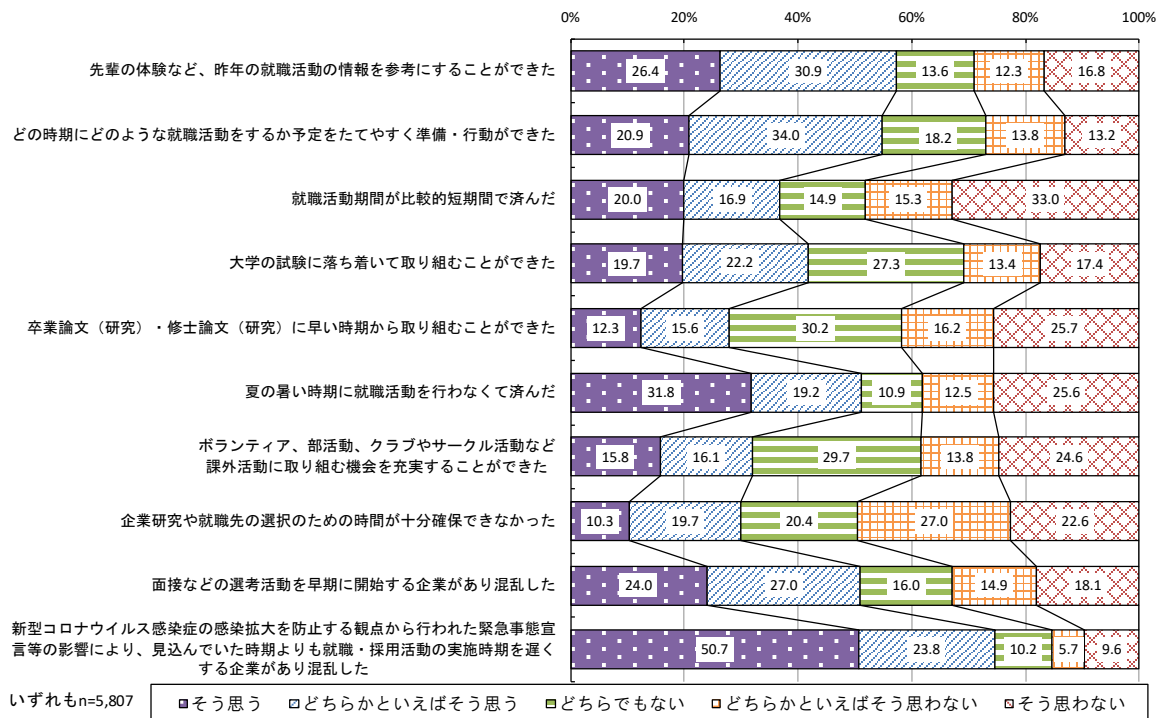
<sup>16</sup> 就職・採用活動の時期が昨年度と同様の日程で行われることについて「よく知っていた」「ある程度知っていた」「聞いたことはあるがあまりよく知らなかった」と回答した者が集計の対象で、「知らなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

<sup>17</sup> 2015年度調査・2016年度調査では当該設問について調査を実施していない。2017年度調査では同内容の設問はあるが、選択肢として設定している時期が異なっていることから、ここでは比較の対象としなかった。

## (2) 就職活動時期に関する認識

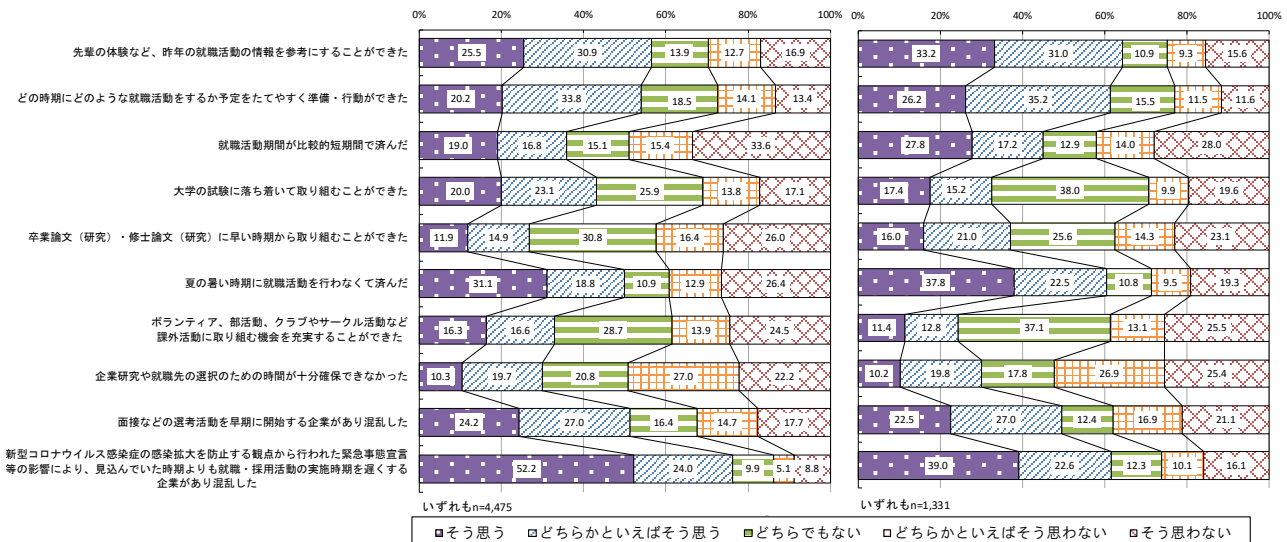
就職・採用活動の時期が昨年度と同様の時期に設定された（広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降に開始）ことについて、「先輩の体験など、昨年の就職活動の情報を参考にすることができた」という点で「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が約6割、「どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてやすく準備・行動ができた」、「夏の暑い時期に就職活動を行わなくて済んだ」という点では約5割と比較的高かった。他方で、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から行われた緊急事態宣言等の影響により、見込んでいた時期よりも就職・採用活動の実施時期を遅くする企業があり混乱した」では約7割となっていた<sup>18</sup>。

図表 2-2-1 就職活動時期に関する認識  
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)

(大学院2年生)



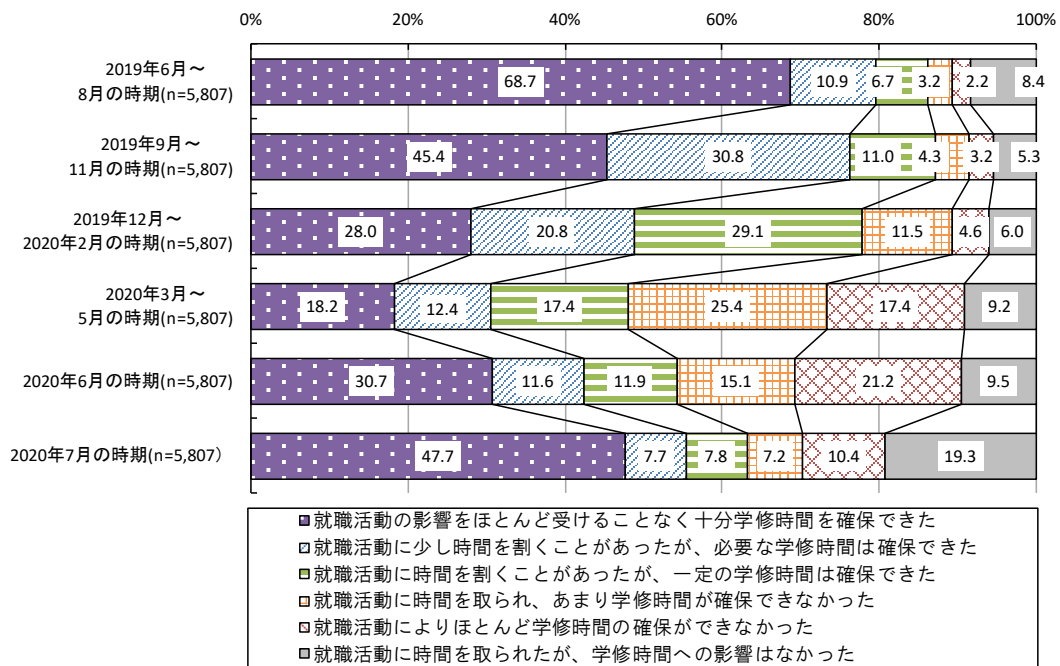
<sup>18</sup> 「新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防止する観点から行われた緊急事態宣言等の影響により、見込んでいた時期よりも就職・採用活動の実施時期を遅くする企業があり混乱した」を除く全ての項目は、2017年度調査から2019年度調査でも同様の設問により調査をしているが、今年度調査では「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が2019年度調査の結果よりも低くなっている。

### (3) 就職活動と学修時間確保の状況

就職活動と学修時間確保の状況について、「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合は、広報活動開始時期前の11月までは約9割、2月までは約8割と高くなっており、広報活動開始時期後の3月～5月には5割以下まで低下しているものの、採用・選考活動開始時期後の6月は約5割、7月は約6割まで上昇している。

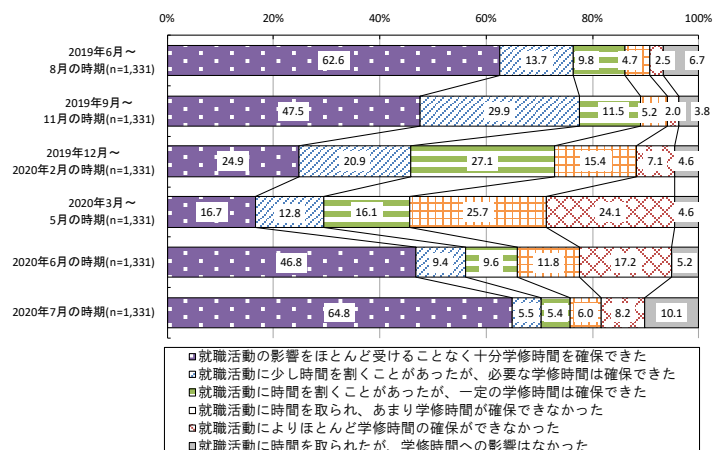
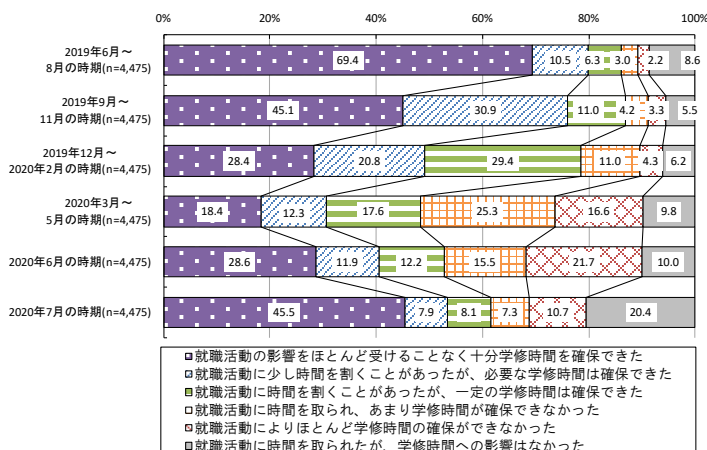
採用・選考活動開始時期が6月となった2016年度調査～2019年度調査と比較すると、広報活動開始時期前の2月までの時期については学修時間が確保できたと回答した者の割合が低くなり、卒業・修了前年度の3月～卒業・修了年度の5月の時期については高く、7月については低くなっている<sup>19</sup>。

図表 2-3-1 就職活動と学修時間確保の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)

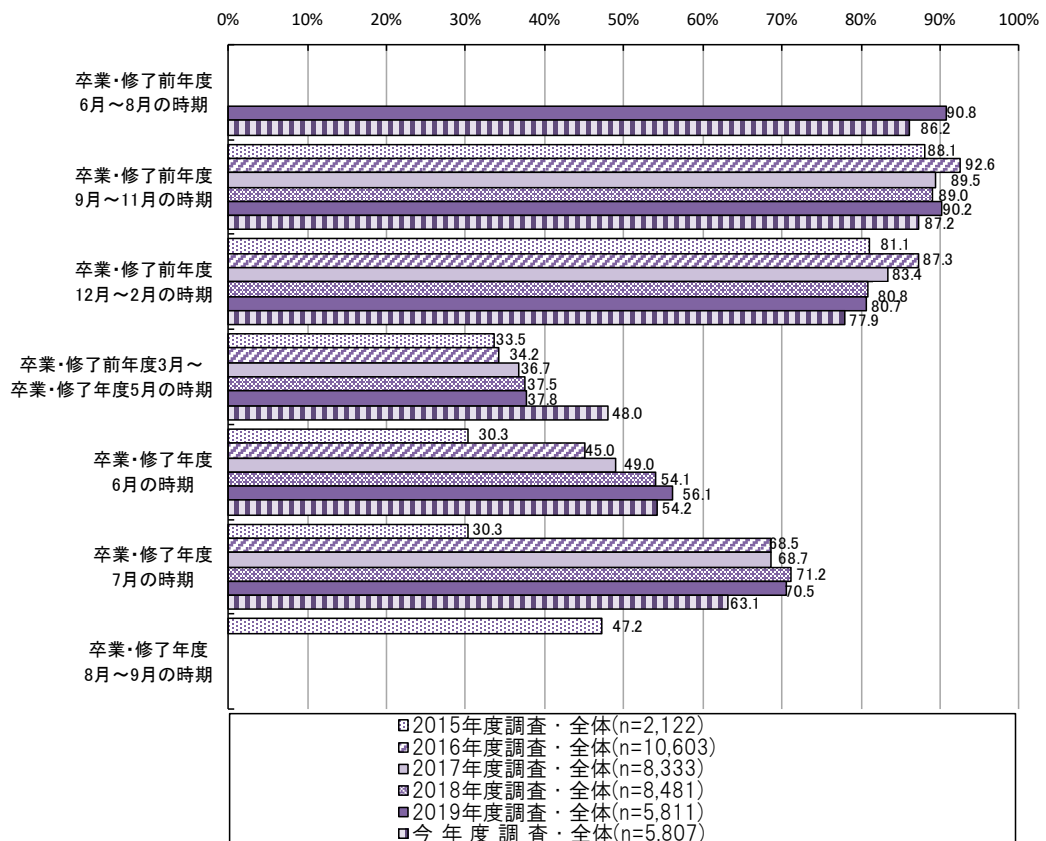
(大学院2年生)



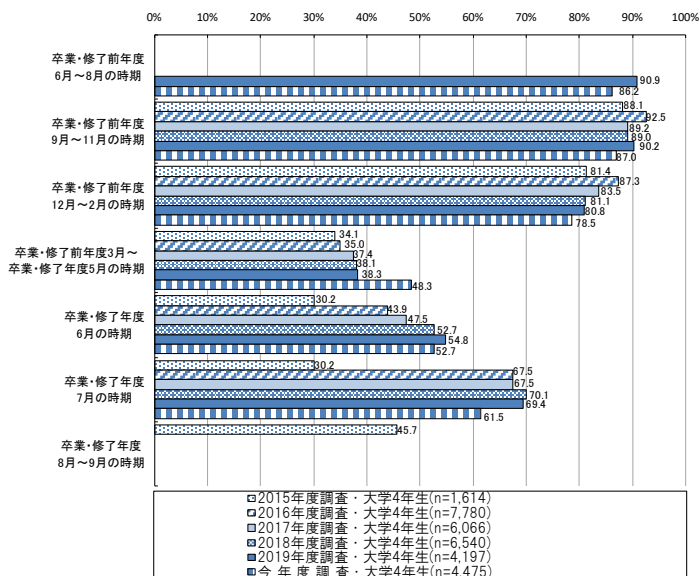
<sup>19</sup> 「卒業・修了前年度6月～8月の時期」に関する項目は、2018年度調査以前は設定していない。



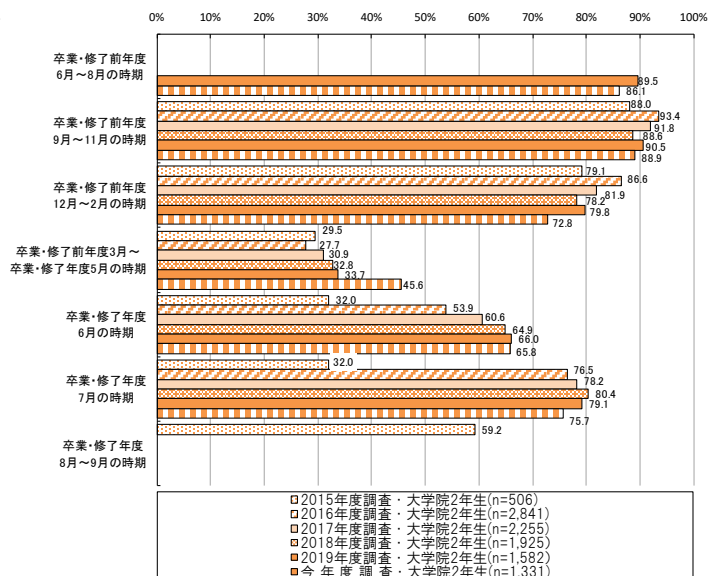
図表 2-3-2 就職活動と学修時間確保の状況（過年度調査との比較）  
（大学4年生・大学院2年生）



（大学4年生）



（大学院2年生）



※「十分学修時間を確保できた」「必要な学修時間は確保できた」「一定の学修時間は確保できた」のいずれかを回答した割合

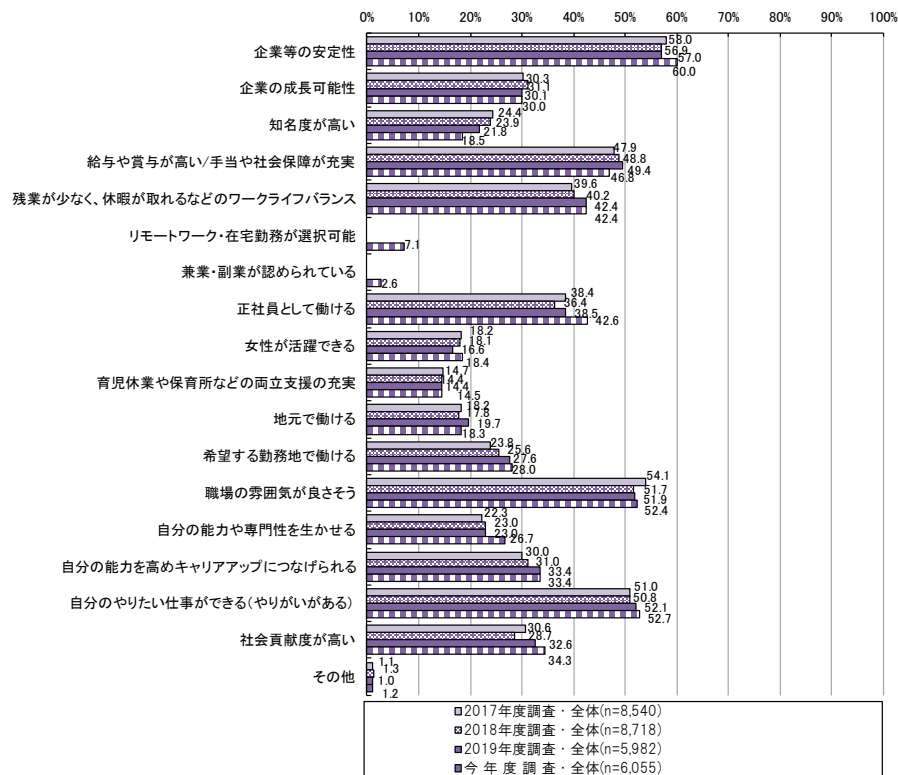
※卒業・修了年度の「6月の時期」「7月の時期」は、2015年度は「6月～7月の時期」として調査を実施（図表にはそれぞれ同じ値を掲載）

#### (4) 就職先を決めるにあたって重視していること

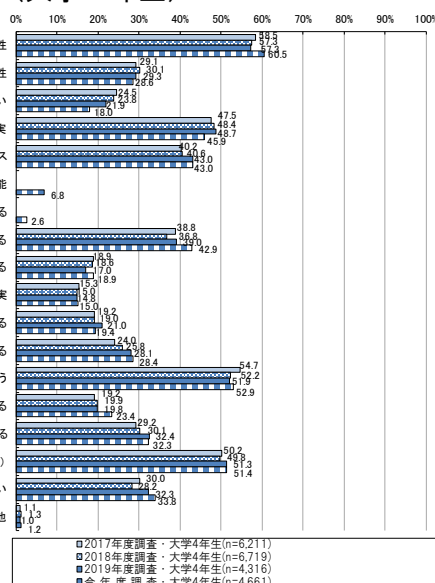
就職先を決めるにあたって重視していることについて<sup>20</sup>、「企業等の安定性」との回答が約6割で最も高く、次いで「自分のやりたい仕事ができる(やりがいがある)」、「職場の雰囲気が良さそう」の割合が高くなっている。

2017年度調査～2019年度調査と比較すると、ほぼ同様の回答結果となっている<sup>21</sup>。

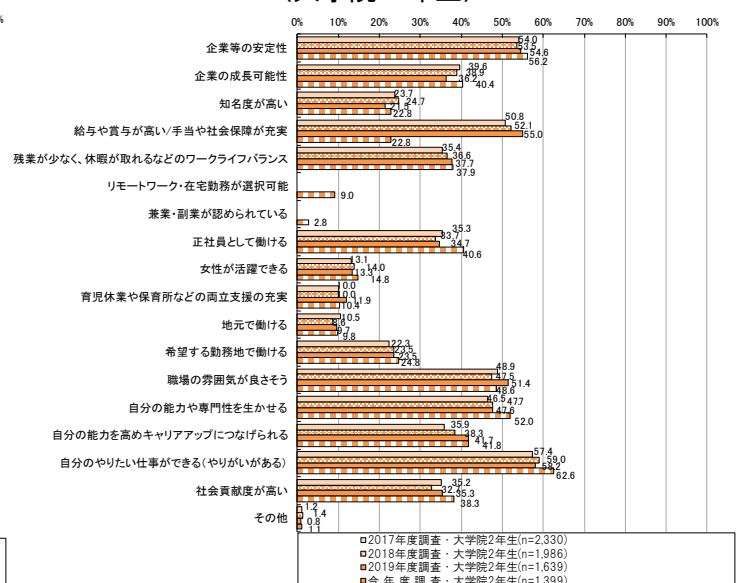
図表 2-4-1 就職先を決めるにあたって重視していること(複数回答)  
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



<sup>20</sup> 「就職活動を行った(終了)」「就職活動を行っている(継続している)」「これから就職活動を行う予定である」と回答した者が集計対象で、「就職活動を行わなかった(行う予定はない)」と回答した者は集計の対象外とした。

<sup>21</sup> 2015年度調査・2016年度調査では当該設問について調査を実施していない。なお、「リモートワーク・在宅勤務が選択可能」「兼業・副業が認められている」は今年度調査で新たに設けた項目である。

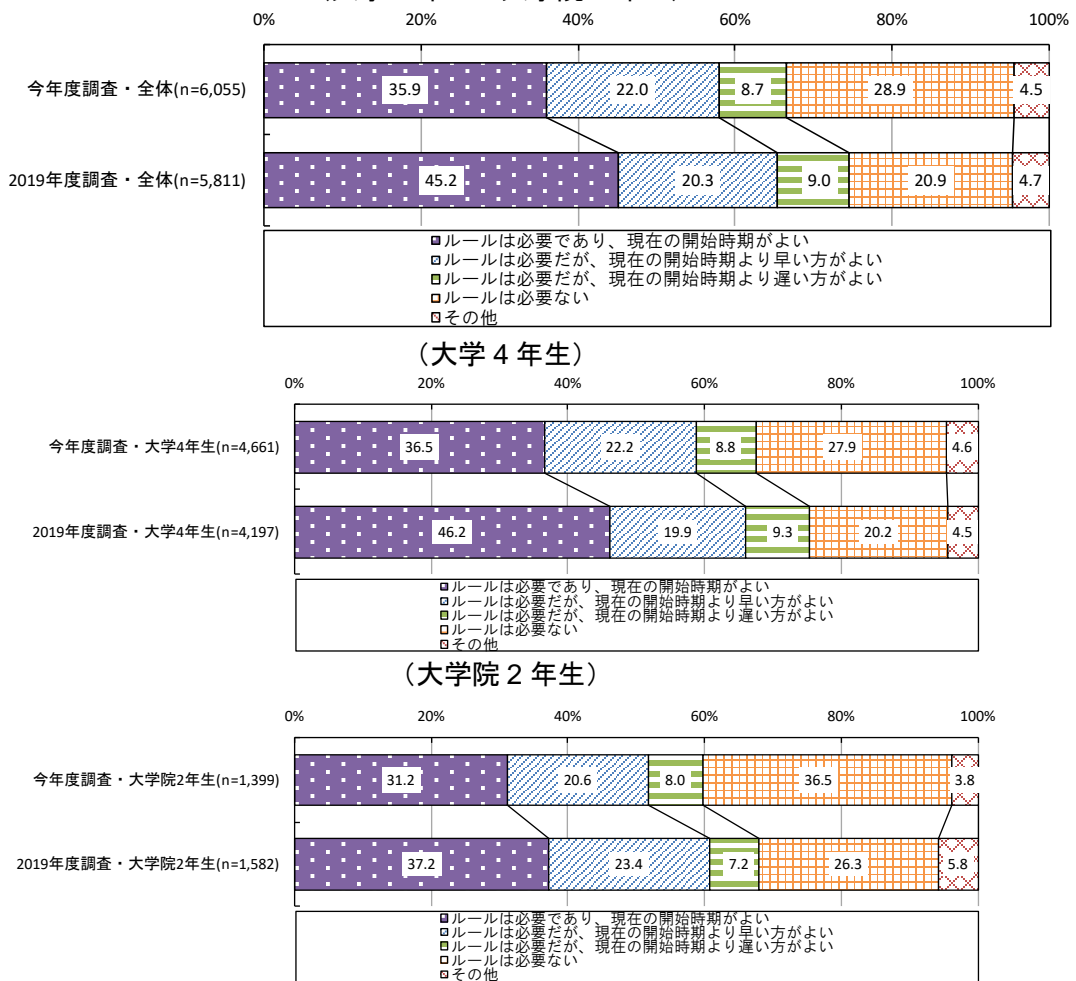
## (5) 就職活動に関する考え

### ① 就職活動時期・ルールに関する考え

就職・採用活動開始時期や、いわゆる「就活ルール」(広報活動開始：卒業・修了前年度の3月1日以降、採用選考活動開始：卒業・修了年度の6月1日以降)に関する考えについて、「ルールは必要であり、現在の開始時期がよい」の割合が最も高く、約4割となっている<sup>22</sup>。

2019年度調査と比較すると、「ルールは必要であり、現在の開始時期がよい」の回答割合は低下しており、「ルールは必要ない」が約2割から約3割に上昇している。

図表 2-5-1 就職活動時期・ルールに関する考え  
(大学4年生・大学院2年生)

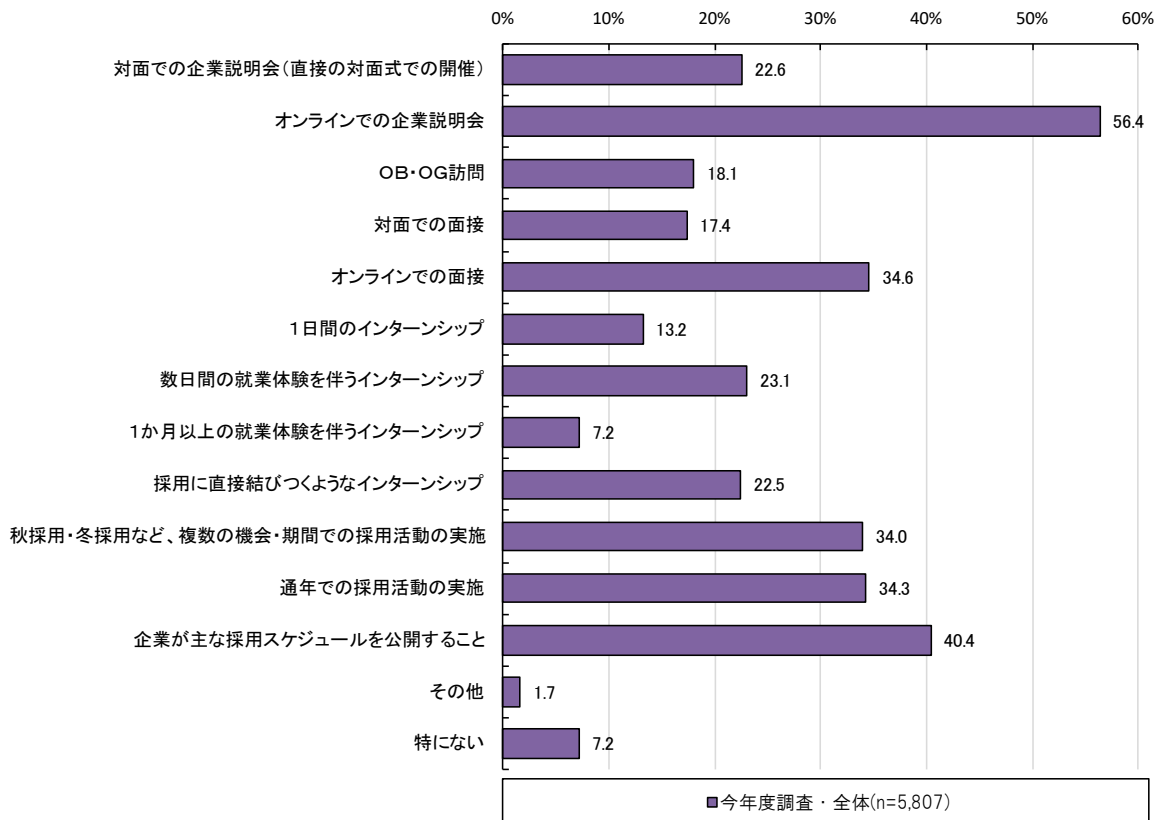


<sup>22</sup> 2019年度調査で新たに調査を実施した設問である。

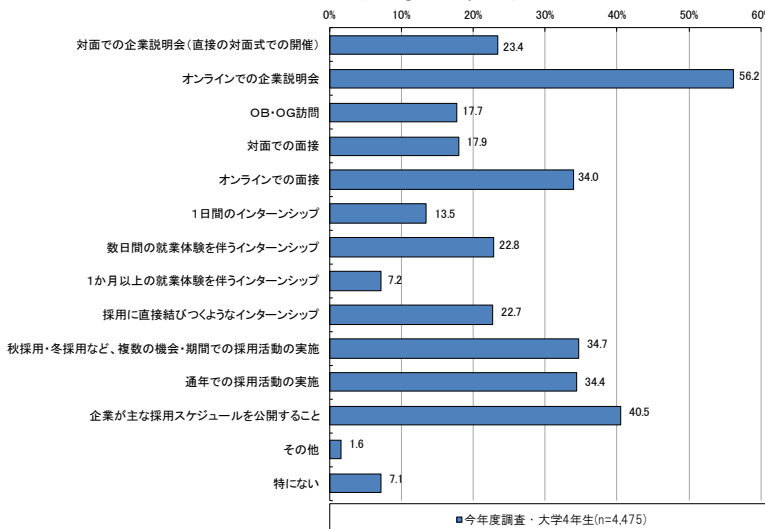
②これからの就職・採用活動のあり方として、もっと増やすべきだと考えるもの

現状と比べてこれからの就職・採用活動のあり方として、もっと増やすべきだと考えるものについて、「オンラインでの企業説明会」との回答が約6割で最も高く、次いで「企業が主な採用スケジュールを公開すること」が約4割、「オンラインでの面接」「秋採用・冬採用など、複数の機会・期間での採用活動の実施」「通年での採用活動の実施」が約3割となっている<sup>23</sup>。

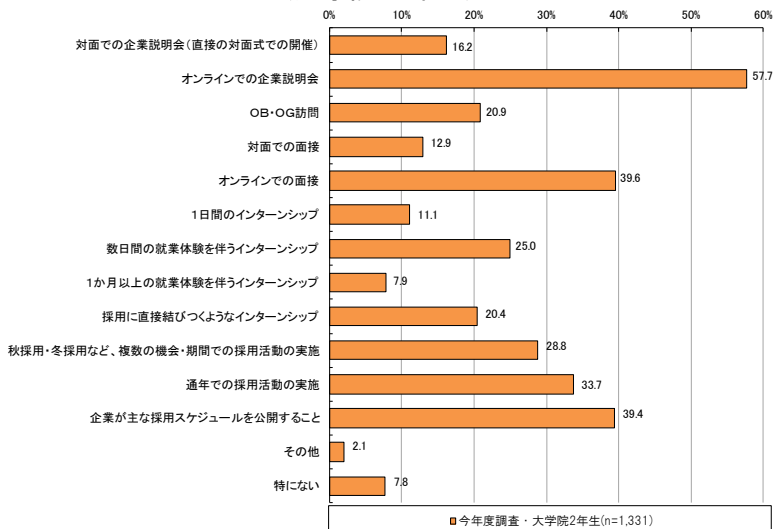
図表 2-5-2 企業により多く取り組んでもらいたいと考えること（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



(大学4年生)



(大学院2年生)



<sup>23</sup> 2019年度調査では、より少ない類似の選択肢を挙げて「現状と比べて企業により多く取り組んでもらいたいと考えるものは何ですか。」と尋ねているが、設問の主旨が異なるため、直接的な比較は行わなかった。

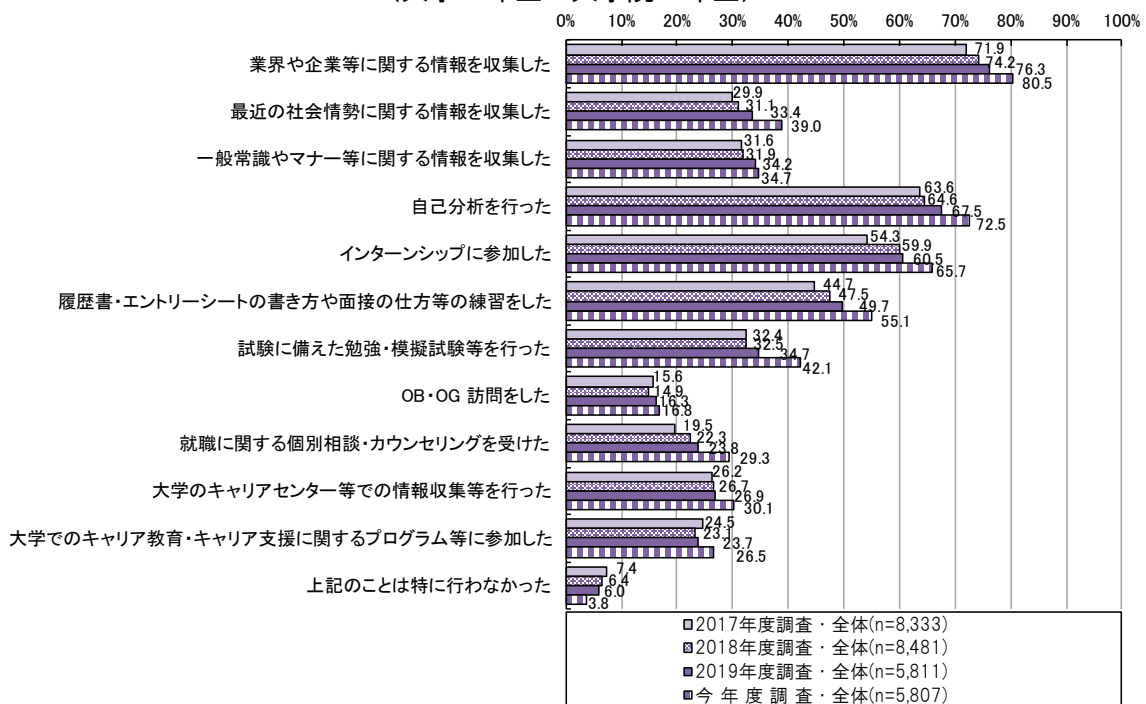
### 第3章 就職活動内容

#### (1) 企業の広報活動開始前の活動状況

就職活動を行うにあたり、企業の広報活動が開始になる3月1日より前の時期にどのような活動をしたかについて、「業界や企業等に関する情報を収集した」の回答割合が最も高く、次いで「自己分析を行った」「インターンシップに参加した」「履歴書・エントリーシートの書き方や面接の仕方等の練習をした」の順で回答割合が高くなっている。

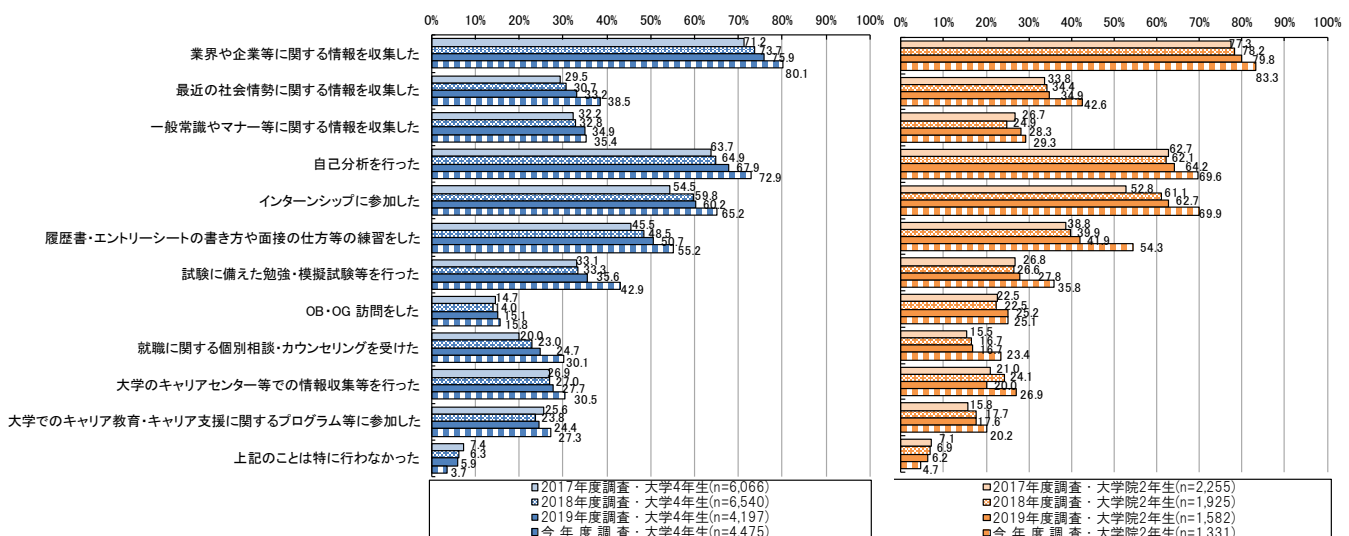
2017年度調査～2019年度調査と比較すると、上記の項目などに関する回答割合がそれぞれ高くなっている<sup>24</sup>。

図表 3-1-1 企業の広報活動開始前の活動状況（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



(大学4年生)

(大学院2年生)



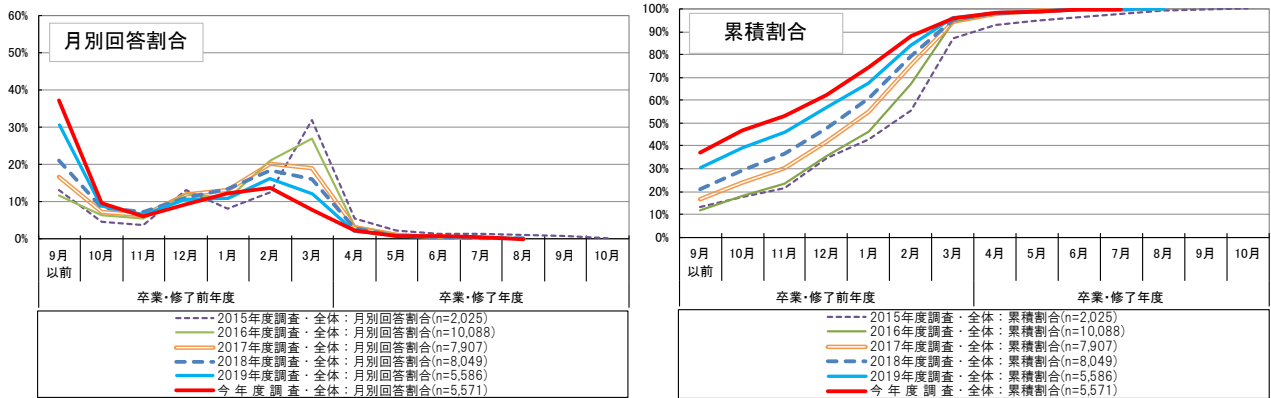
<sup>24</sup> 2015年度調査・2016年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## (2) 業界や企業に関する分析を開始した時期

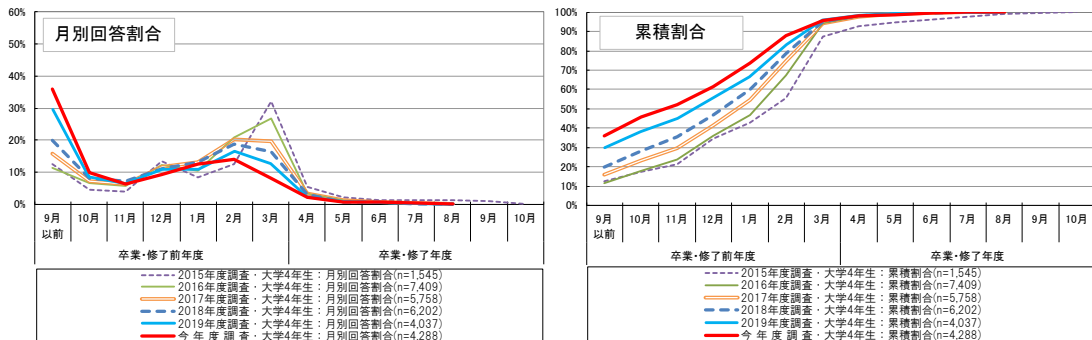
いづれから業界や企業に関する分析を開始したかについて、「2019年6月以前」の回答割合が約2割で最も高く、次いで「2020年2月」、「2020年1月」の割合が高くなっている<sup>25</sup>。

過年度調査と比較すると、卒業・修了前年度の「9月以前」の回答割合が上昇するなど、全体的に時期が若干早まっており、より早期に準備を行う傾向が見られる。

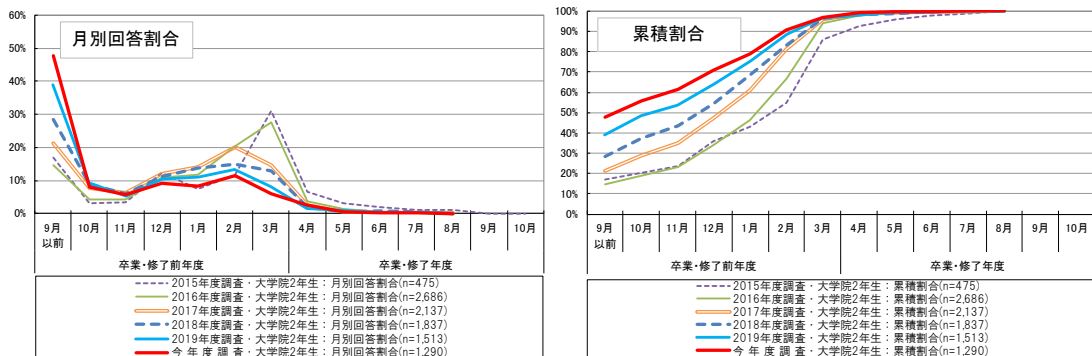
図表 3-2-1 業界や企業に関する分析を開始した時期  
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



<sup>25</sup> 業界や企業に関する分析について「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。なお、「特段行わなかった」と回答した者を含めて集計をした場合、「特段行わなかった」の回答割合は過年度調査と比較して同程度であった。また、過年度調査では卒業・修了前年度の「9月以前」を最初の選択肢項目としていたが、今年度調査では「6月以前」を最初の選択肢項目として設定して調査をした。ただし、過年度調査との比較を行う上では、「6月以前」「7月」「8月」「9月」との回答を「9月以前」として再集計をしている（以下、就職活動の時期に関する調査項目について同様）。

図表 3-2-2 業界や企業に関する分析を開始した時期（今年度調査・詳細データ）  
 （大学4年生・大学院2年生）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	16.3%	7.9%	7.6%	5.5%	9.7%	6.2%	9.2%	12.1%	13.6%	7.9%	2.1%	0.7%	0.7%	0.4%	0.0%
累積割合	16.3%	24.2%	31.7%	37.2%	46.9%	53.1%	62.3%	74.4%	88.1%	95.9%	98.1%	98.8%	99.5%	100.0%	100.0%

（大学4年生）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	14.6%	7.8%	7.9%	5.5%	9.9%	6.2%	9.2%	12.6%	13.9%	8.1%	2.1%	0.7%	0.8%	0.5%	0.0%
累積割合	14.6%	22.4%	30.4%	35.9%	45.8%	52.0%	61.2%	73.8%	87.7%	95.9%	97.9%	98.7%	99.5%	100.0%	100.0%

（大学院2年生）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	28.9%	8.6%	4.9%	5.3%	8.0%	5.8%	9.2%	8.3%	11.6%	6.0%	2.5%	0.6%	0.2%	0.1%	0.0%
累積割合	28.9%	37.5%	42.4%	47.7%	55.7%	61.5%	70.7%	79.0%	90.6%	96.6%	99.1%	99.6%	99.9%	100.0%	100.0%

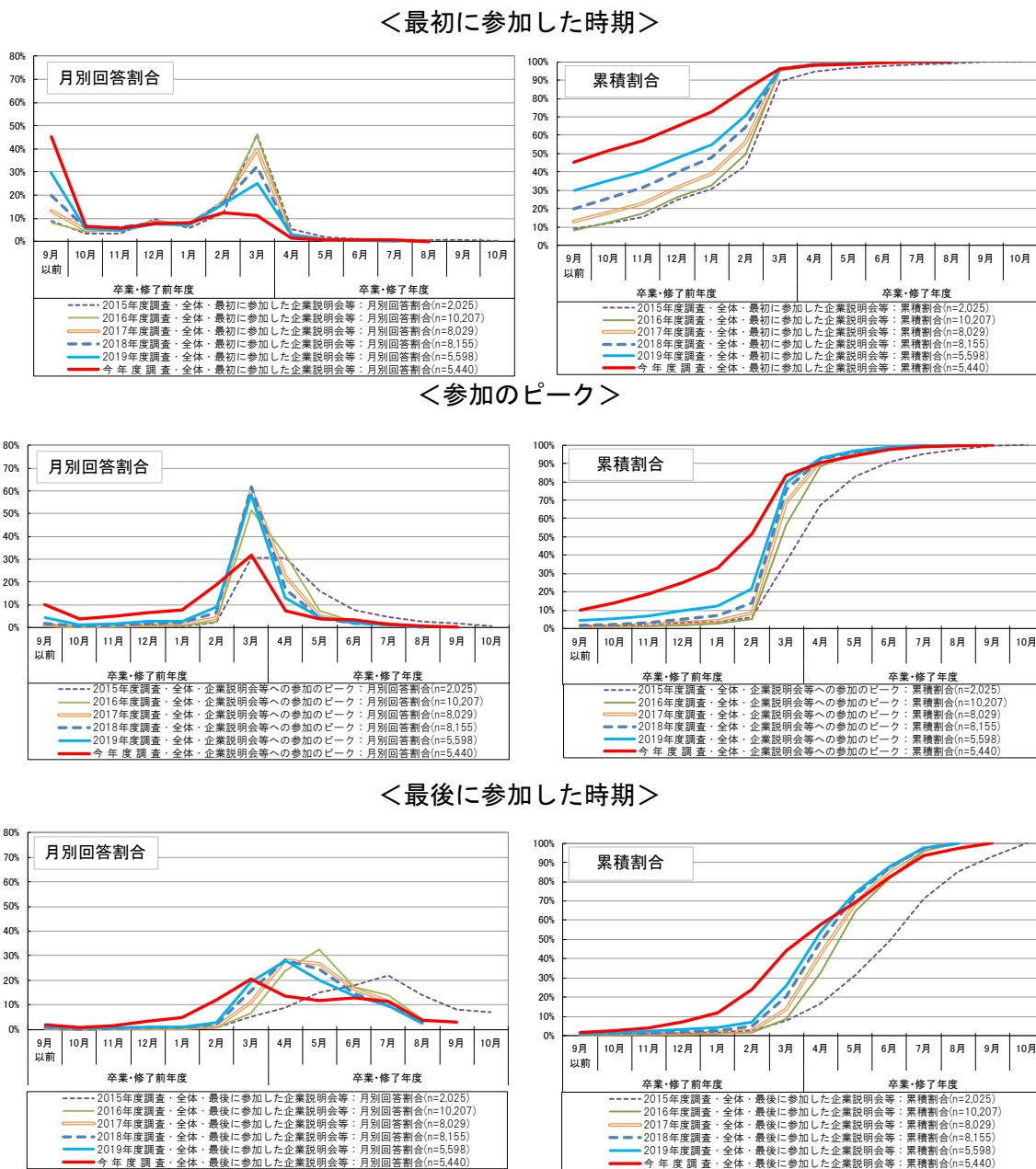
### (3) 企業説明会やセミナー等の参加状況

#### ① 企業説明会やセミナー等の参加時期

企業説明会やセミナー等について、「最初に参加した時期」は、広報活動開始時期前である「2019年6月以前」の回答割合が約2割と最も高くなっている<sup>26</sup>。「参加のピーク」については、約3割が「2020年3月」と回答しており最も割合が高い<sup>27</sup>。「最後に参加した時期」については、「2020年3月」の回答割合が約2割と最も高くなっている。

過年度調査と比較すると、全体的に時期が早まっており、特に「最初に参加した時期」について、今年度調査ではより早期の回答割合が高くなっている。

図表 3-3-1 企業説明会やセミナー等の参加時期（大学4年生・大学院2年生）



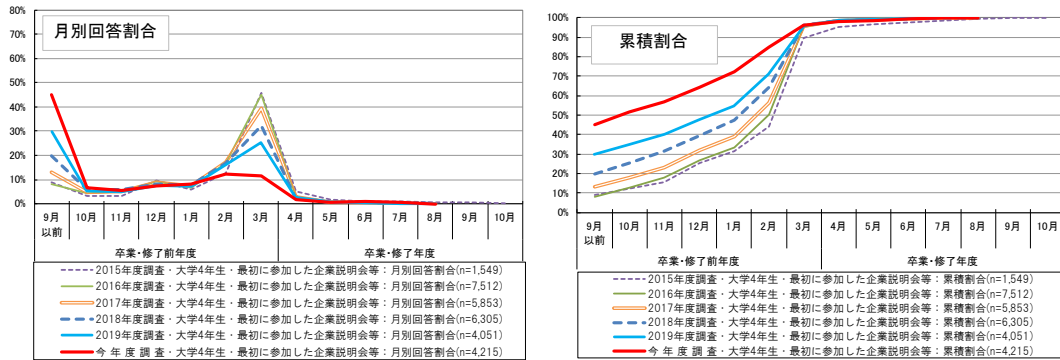
<sup>26</sup> 企業説明会やセミナー等に「特段参加しなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

<sup>27</sup> 「参加のピーク」および「最後に参加した時期」について、今年度調査では「2020年9月以降（予定）」を選択肢として設けているが、グラフ中では「卒業・修了年度9月」の値として示している（以下、就職活動の時期に関する調査項目について同様）。

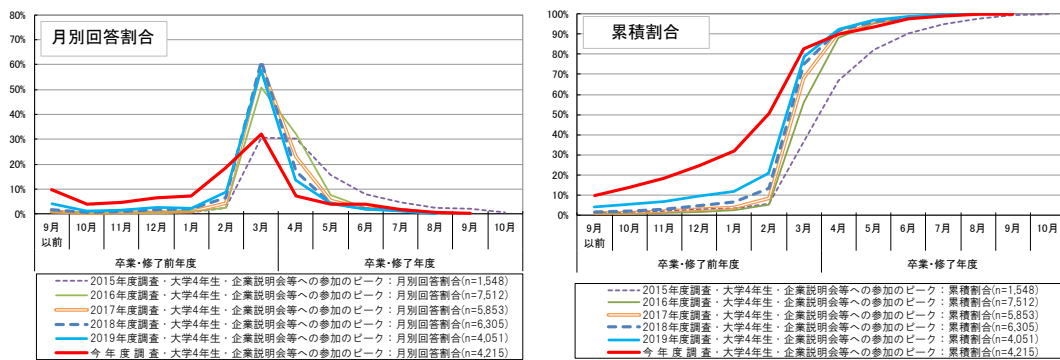


図表 3-3-2 企業説明会やセミナー等の参加時期（大学4年生）

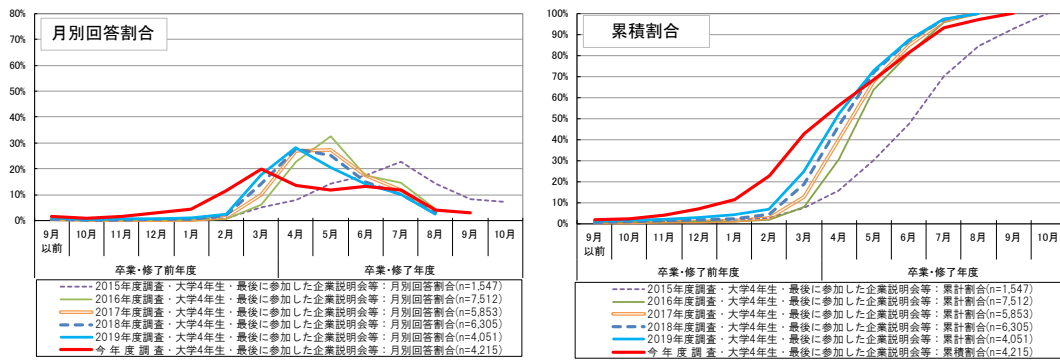
＜最初に参加した時期＞



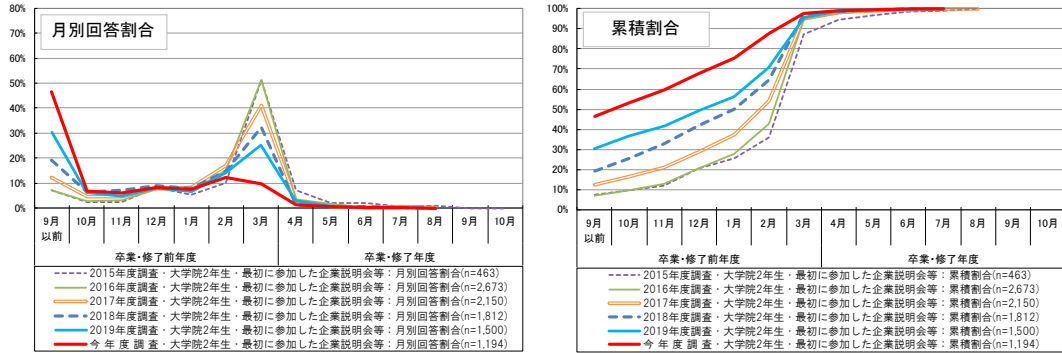
＜参加のピーク＞



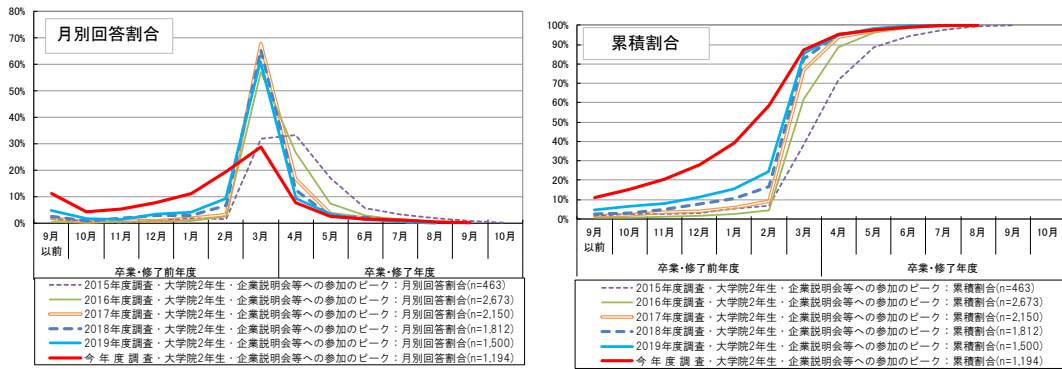
＜最後に参加した時期＞



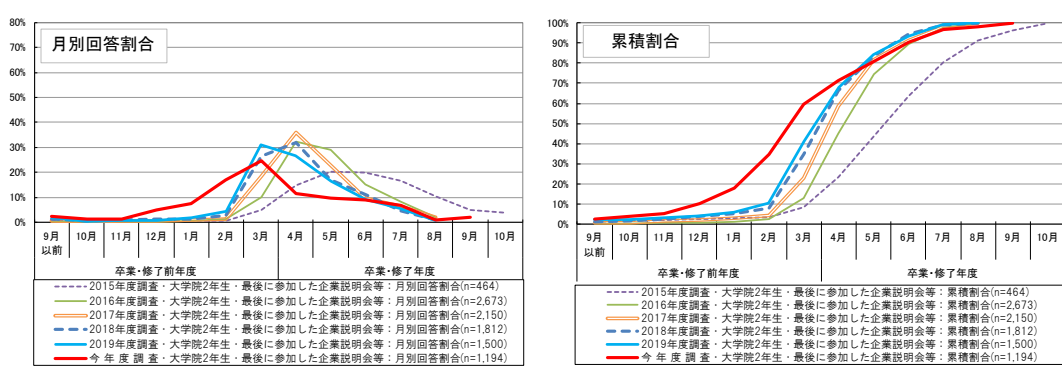
図表 3-3-3 企業説明会やセミナー等の参加時期（大学院2年生）  
 <最初に参加した時期>



<参加のピーク>



<最後に参加した時期>



図表 3-3-4 企業説明会やセミナー等の参加時期（今年度調査・詳細データ）  
（大学4年生・大学院2年生）

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	20.5%	9.7%	10.3%	4.6%	6.5%	5.6%	7.6%	7.9%	12.3%	11.3%	1.6%	0.8%	0.8%	0.5%	0.0%	—
累積割合	20.5%	30.2%	40.4%	45.1%	51.6%	57.2%	64.8%	72.8%	85.0%	96.4%	97.9%	98.7%	99.5%	100.0%	100.0%	—
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	1.9%	1.8%	4.1%	2.2%	3.9%	4.8%	6.5%	7.6%	18.6%	31.9%	7.1%	3.7%	3.5%	1.5%	0.5%	0.3%
累積割合	1.9%	3.7%	7.8%	10.0%	13.9%	18.7%	25.2%	32.8%	51.5%	83.3%	90.5%	94.2%	97.7%	99.2%	99.7%	100.0%
最後の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	0.6%	0.4%	0.3%	0.5%	0.9%	1.5%	3.2%	4.7%	12.0%	20.3%	13.5%	11.7%	12.7%	11.3%	3.7%	2.8%
累積割合	0.6%	0.9%	1.3%	1.7%	2.6%	4.1%	7.2%	12.0%	24.0%	44.3%	57.8%	69.5%	82.2%	93.4%	97.2%	100.0%

（大学4年生）

最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	20.1%	9.9%	10.5%	4.4%	6.5%	5.5%	7.5%	8.0%	12.3%	11.5%	1.6%	0.8%	0.8%	0.5%	0.0%	—
累積割合	20.1%	30.0%	40.5%	44.9%	51.4%	56.9%	64.5%	72.5%	84.7%	96.2%	97.8%	98.6%	99.4%	100.0%	100.0%	—
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	1.7%	1.8%	4.2%	2.2%	3.8%	4.7%	6.4%	7.2%	18.6%	32.2%	7.1%	3.9%	3.8%	1.6%	0.5%	0.3%
累積割合	1.7%	3.5%	7.7%	9.9%	13.7%	18.5%	24.9%	32.0%	50.6%	82.8%	89.9%	93.8%	97.5%	99.1%	99.7%	100.0%
最後の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	0.5%	0.4%	0.3%	0.4%	0.8%	1.5%	3.0%	4.4%	11.4%	19.8%	13.7%	11.9%	13.1%	11.8%	4.1%	2.9%
累積割合	0.5%	0.9%	1.2%	1.6%	2.4%	3.9%	6.8%	11.2%	22.7%	42.4%	56.1%	68.1%	81.2%	93.0%	97.1%	100.0%

（大学院2年生）

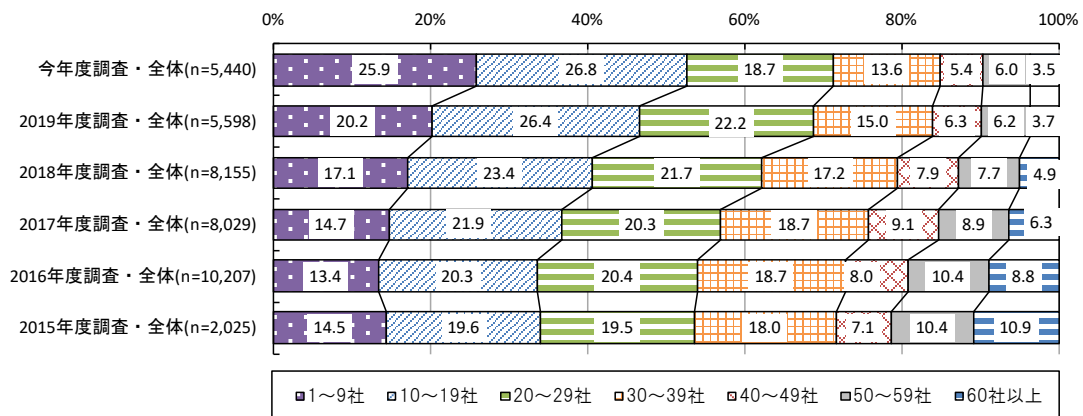
最初の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	24.3%	7.4%	8.4%	6.5%	6.7%	6.2%	8.2%	7.5%	12.3%	9.9%	1.4%	0.8%	0.2%	0.2%	0.0%	—
累積割合	24.3%	31.7%	40.1%	46.7%	53.4%	59.6%	67.8%	75.2%	87.6%	97.5%	98.9%	99.6%	99.8%	100.0%	100.0%	—
参加のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	3.4%	2.0%	3.2%	2.3%	4.1%	5.2%	7.7%	11.3%	19.3%	28.8%	7.7%	2.3%	1.4%	1.0%	0.2%	0.0%
累積割合	3.4%	5.5%	8.7%	11.0%	15.0%	20.2%	27.9%	39.2%	58.5%	87.3%	95.0%	97.3%	98.7%	99.8%	100.0%	100.0%
最後の参加	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	1.1%	0.2%	0.4%	0.8%	1.5%	1.4%	4.9%	7.5%	17.0%	24.8%	11.6%	9.9%	9.1%	6.6%	1.1%	2.1%
累積割合	1.1%	1.3%	1.7%	2.5%	4.0%	5.4%	10.3%	17.8%	34.8%	59.6%	71.2%	81.0%	90.2%	96.8%	97.9%	100.0%

## ②企業説明会やセミナー等に参加した回数

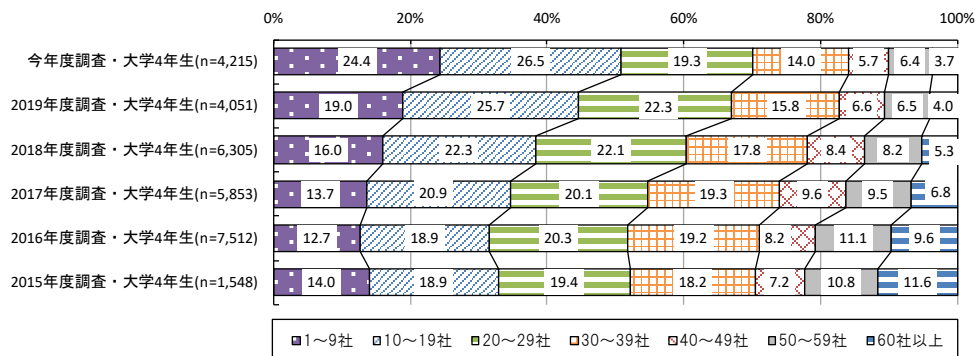
企業説明会やセミナー等に参加した回数について、「1～9社」「10～19社」であった者の割合が約3割、「20～29社」であった者の割合が約2割となっている<sup>28</sup>。なお、30社以上の企業説明会やセミナー等に参加した者が約3割、50社以上の者は約1割となっている。

過年度調査と比較すると、今年度調査では20社未満であった者の割合が上昇している。

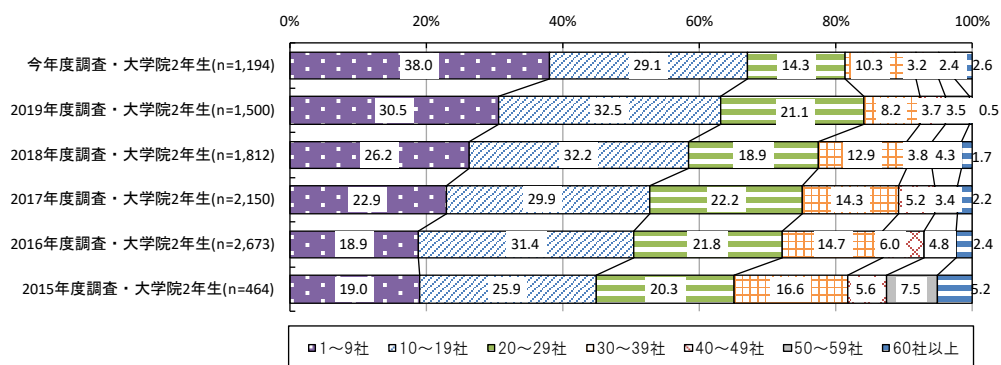
図表 3-3-5 企業説明会やセミナー等に参加した回数  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



<sup>28</sup> 企業説明会やセミナー等に「特段参加しなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

#### (4) エントリーシートの提出状況

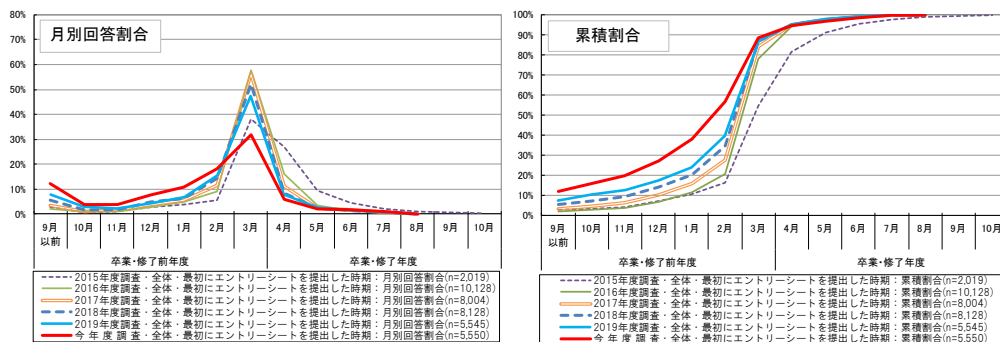
##### ① エントリーシートの提出時期

エントリーシートの提出<sup>29</sup>時期について、「最初に提出した時期」は、「2020年3月」の回答割合が約3割と最も高くなっている<sup>30</sup>。「提出のピーク」も「2020年3月」の回答割合が約5割と最も高く、「最後に提出した時期」については、「2020年4月」の回答割合が約2割と最も高い。

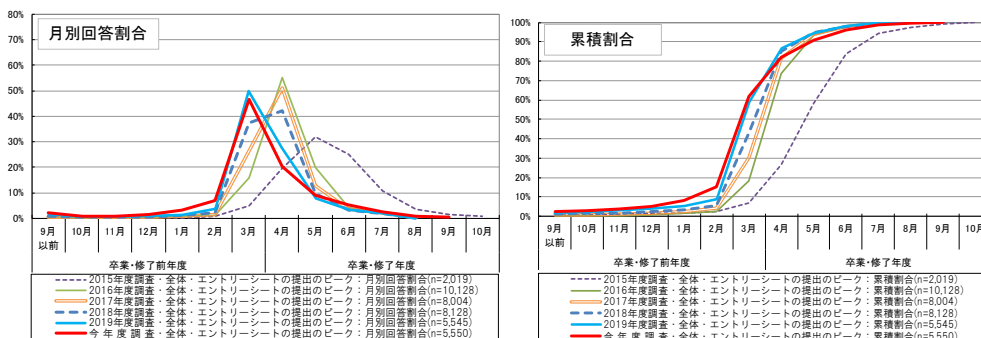
過年度調査と比較すると、「最初」は3月の回答割合が低下し、より早期の回答割合が上昇している。「最後」は3月以前や7月以降の回答割合が若干上昇している。「ピーク」については、全体として2019年度調査とほぼ同様となっている。

図表 3-4-1 エントリーシートの提出時期（大学4年生・大学院2年生）

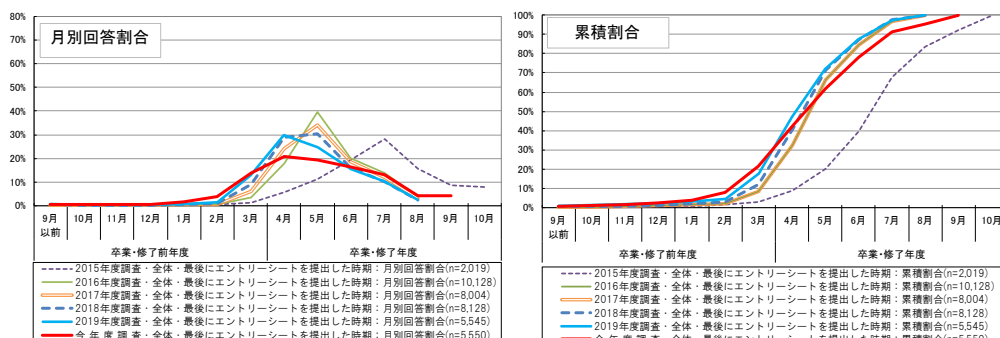
##### <最初に提出した時期>



##### <提出のピーク>



##### <最後に提出した時期>

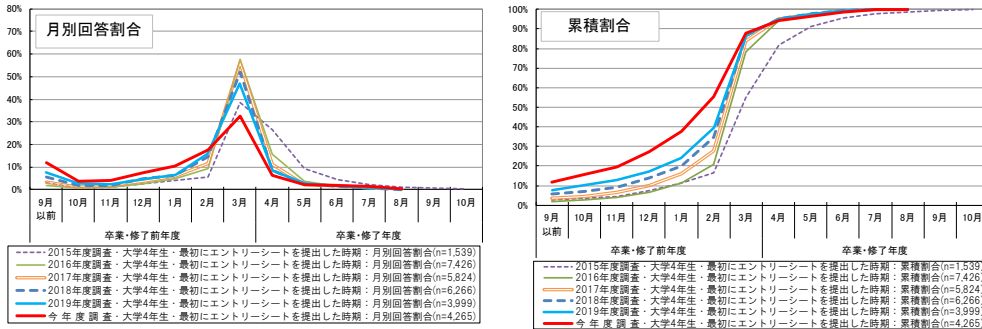


<sup>29</sup> エントリーシートの提出とは、企業や官公庁などの採用選考に参加するための応募シートを提出することを指すものとし、就職情報会社のサイト等への登録のみの場合は提出数に入れないように、回答者に案内した上で調査を行った。

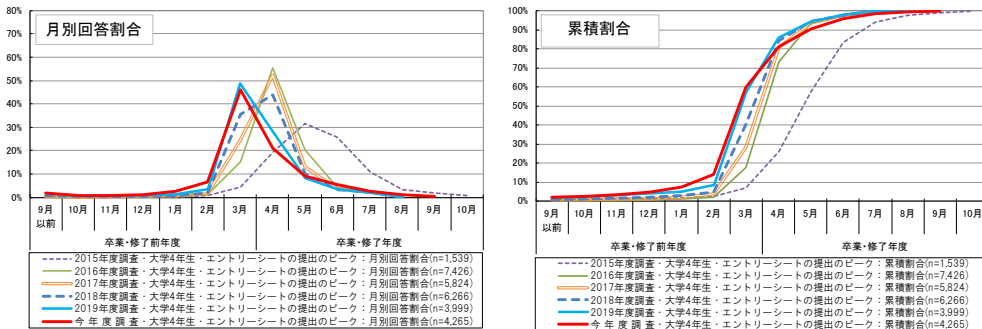
<sup>30</sup> エントリーシートの提出を「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

図表 3-4-2 エントリーシートの提出時期（大学4年生）

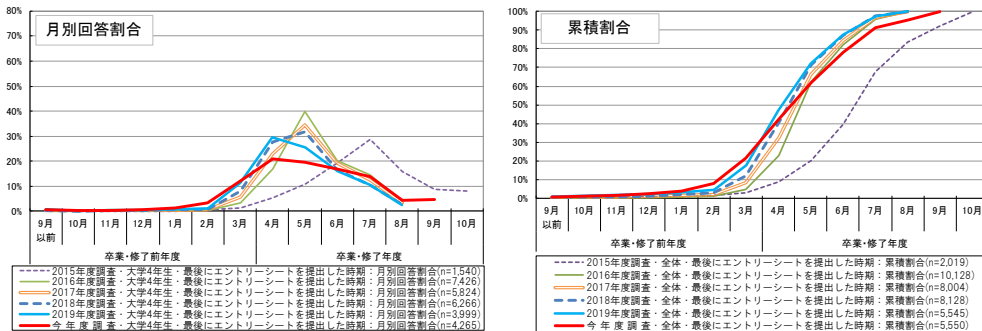
＜最初に提出した時期＞



＜提出のピーク＞

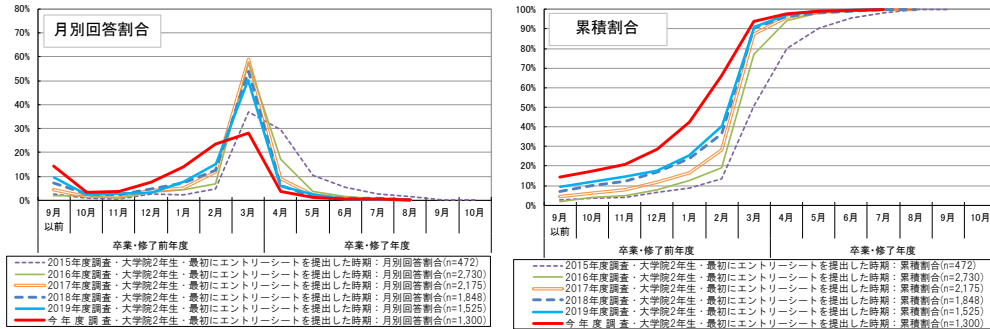


＜最後に提出した時期＞

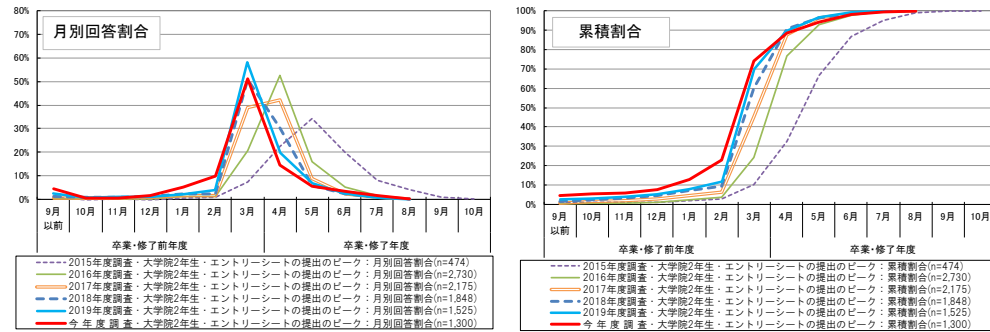


図表 3-4-3 エントリーシートの提出時期（大学院2年生）

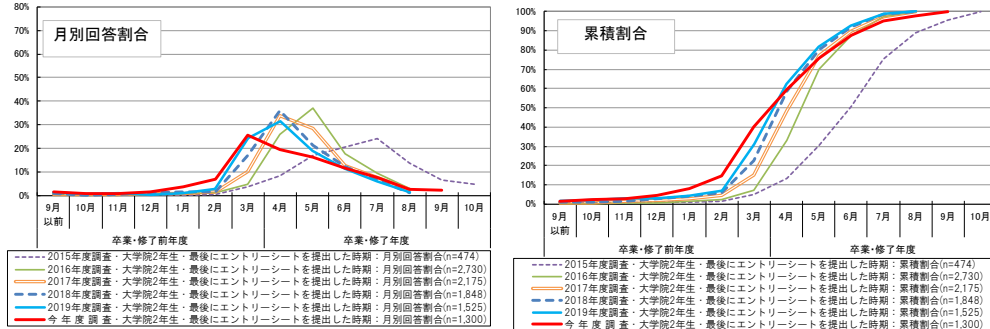
＜最初に提出した時期＞



＜提出のピーク＞



＜最後に提出した時期＞



図表 3-4-4 エントリーシートの提出時期（今年度調査・詳細データ）

（大学4年生・大学院2年生）

最初の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	5.3%	3.1%	1.7%	2.0%	3.7%	4.0%	7.5%	10.9%	18.3%	32.0%	6.0%	2.1%	1.8%	1.2%	0.2%	—
累積割合	5.3%	8.4%	10.1%	12.1%	15.9%	19.9%	27.4%	38.3%	56.7%	88.7%	94.7%	96.9%	98.6%	99.8%	100.0%	—
提出のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	0.6%	0.8%	0.5%	0.3%	0.6%	0.7%	1.4%	3.0%	6.9%	46.6%	20.4%	8.8%	5.2%	2.6%	0.9%	0.4%
累積割合	0.6%	1.4%	2.0%	2.3%	2.9%	3.7%	5.0%	8.0%	15.0%	61.6%	82.0%	90.8%	96.1%	98.7%	99.6%	100.0%
最後の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.4%	0.5%	0.7%	1.7%	3.8%	13.7%	20.9%	19.3%	16.4%	13.2%	4.2%	4.5%
累積割合	0.2%	0.4%	0.6%	0.7%	1.1%	1.6%	2.3%	4.0%	7.8%	21.5%	42.4%	61.7%	78.1%	91.3%	95.5%	100.0%

（大学4年生）

最初の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	4.8%	3.1%	1.8%	2.2%	3.8%	4.1%	7.5%	10.5%	17.6%	32.5%	6.3%	2.3%	2.0%	1.3%	0.2%	—
累積割合	4.8%	7.9%	9.7%	11.9%	15.7%	19.7%	27.2%	37.8%	55.4%	88.0%	94.3%	96.6%	98.5%	99.8%	100.0%	—
提出のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	0.5%	0.7%	0.5%	0.3%	0.6%	0.7%	1.3%	2.7%	6.5%	46.0%	21.2%	9.2%	5.4%	2.7%	1.0%	0.5%
累積割合	0.5%	1.2%	1.7%	2.0%	2.6%	3.3%	4.6%	7.4%	13.9%	59.9%	81.1%	90.4%	95.8%	98.5%	99.5%	100.0%
最後の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	0.2%	0.2%	0.1%	0.1%	0.4%	0.5%	0.6%	1.5%	3.4%	12.1%	21.1%	19.7%	17.0%	13.9%	4.5%	4.8%
累積割合	0.2%	0.4%	0.5%	0.6%	1.0%	1.4%	2.0%	3.5%	6.9%	19.0%	40.1%	59.8%	76.8%	90.8%	95.2%	100.0%

（大学院2年生）

最初の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	9.3%	2.9%	1.1%	0.9%	3.3%	3.5%	7.6%	13.9%	23.6%	27.9%	3.8%	1.3%	0.4%	0.5%	0.0%	—
累積割合	9.3%	12.1%	13.2%	14.2%	17.4%	20.9%	28.5%	42.5%	66.0%	94.0%	97.7%	99.1%	99.5%	100.0%	100.0%	—
提出のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	1.6%	1.3%	1.0%	0.7%	0.7%	0.6%	1.8%	5.2%	10.1%	51.0%	14.6%	5.8%	3.6%	1.6%	0.3%	0.1%
累積割合	1.6%	2.9%	3.9%	4.6%	5.3%	6.0%	7.8%	13.0%	23.1%	74.1%	88.6%	94.4%	98.0%	99.6%	99.9%	100.0%
最後の提出	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	0.6%	0.3%	0.1%	0.6%	0.7%	0.7%	1.4%	3.5%	6.8%	25.4%	19.5%	16.3%	11.7%	7.7%	2.5%	2.3%
累積割合	0.6%	0.8%	0.9%	1.5%	2.2%	2.9%	4.3%	7.8%	14.6%	40.0%	59.6%	75.9%	87.6%	95.2%	97.7%	100.0%

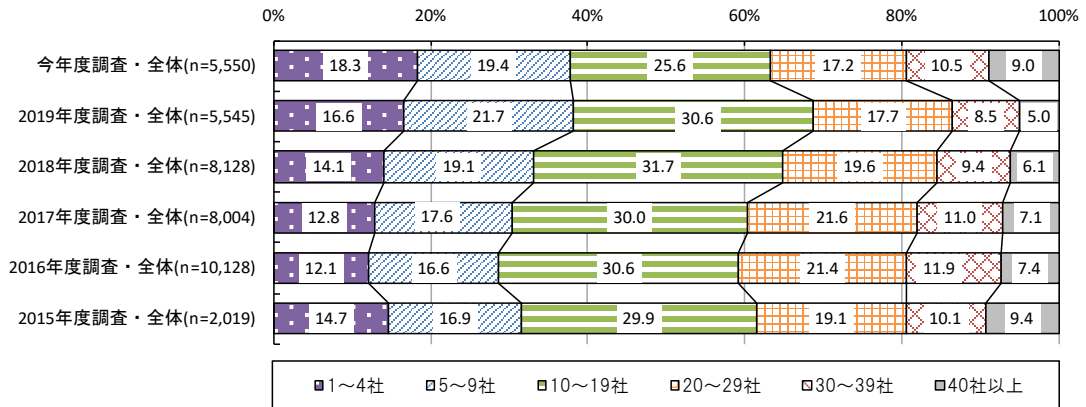


## ②エントリーシートの提出数

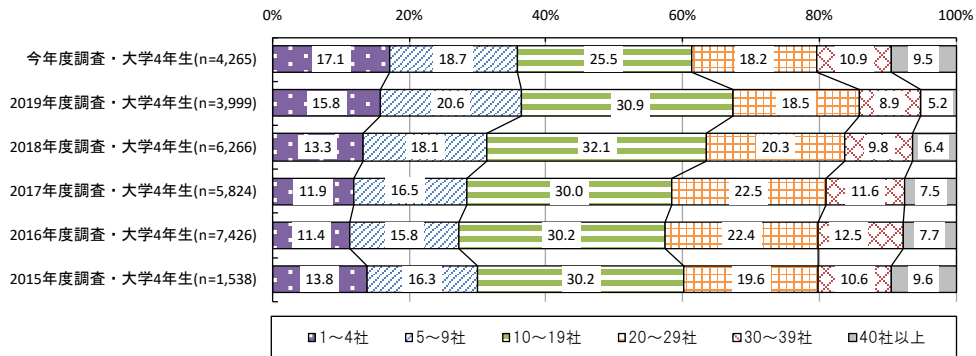
何社にエントリーシートを提出したかについて、「10～19社」であった者の割合が約3割で最も高くなっている<sup>31</sup>。なお、30社以上にエントリーシートを提出した者が約2割となっている。

2019年度調査と比較すると、「1～4社」や30社以上の回答割合が高くなっている。

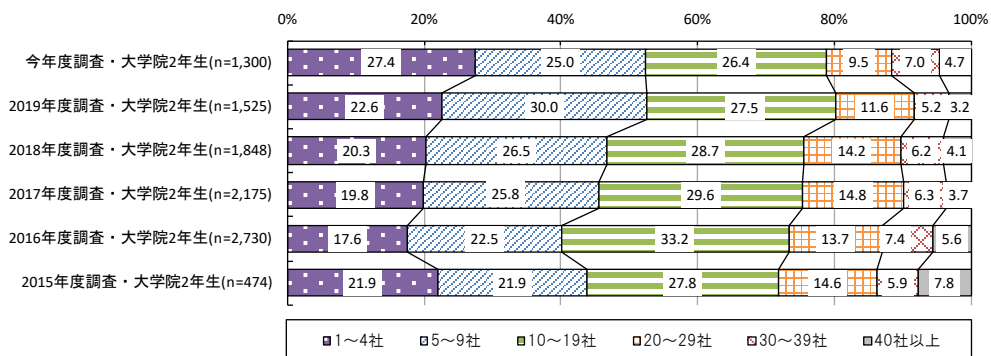
図表 3-4-5 エントリーシートの提出数  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



<sup>31</sup> エントリーシートの提出を「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

## (5) 採用面接の実施状況

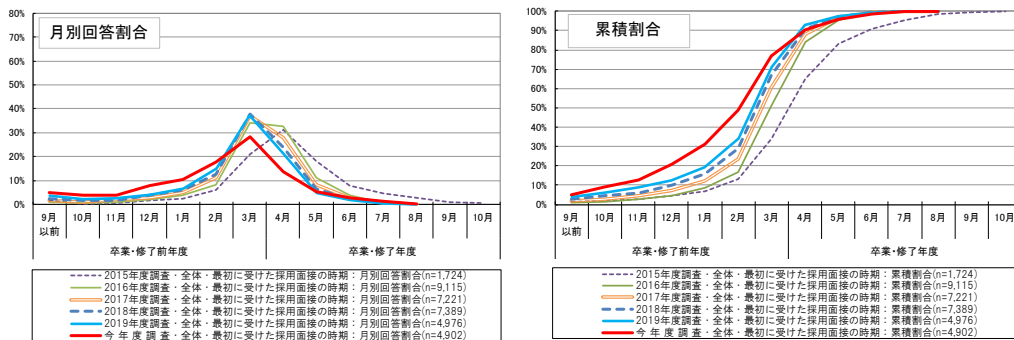
### ①採用面接の実施時期

採用面接<sup>32</sup>の時期について、「最初に受けた採用面接の時期」は、広報活動開始時期である「2020年3月」の回答割合が約3割で最も高くなっている<sup>33</sup>。「採用面接のピーク」は、最も回答割合が高い月が採用・選考活動開始時期である6月の前にきており、「2020年4月」の回答割合が約3割で最も高くなっている。「最後に受けた採用面接の時期」については、採用・選考活動開始時期である「2020年6月」の回答割合が約3割と最も高くなっている。

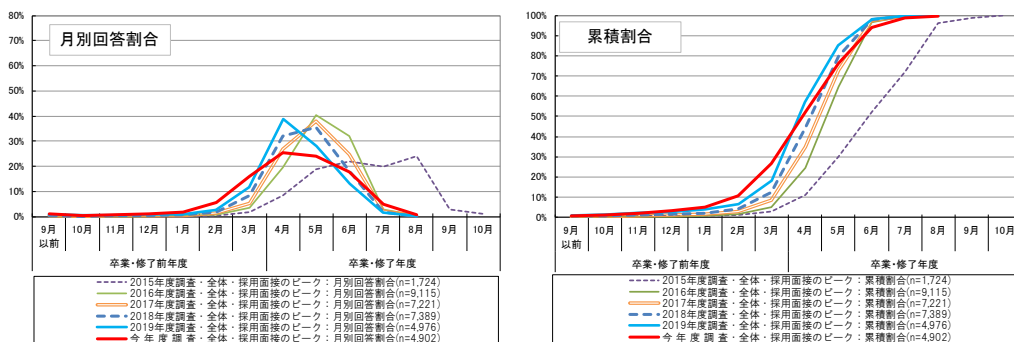
過年度調査と比較すると、「最初」「ピーク」「最後」いずれについても時期が早まっているが、累積割合でみると「ピーク」と「最後」は4月以降に過年度調査と同程度かそれ以下になっている。特に「最後」については7月以降の回答割合が若干高くなっている。

図表 3-5-1 採用面接の実施時期（大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）

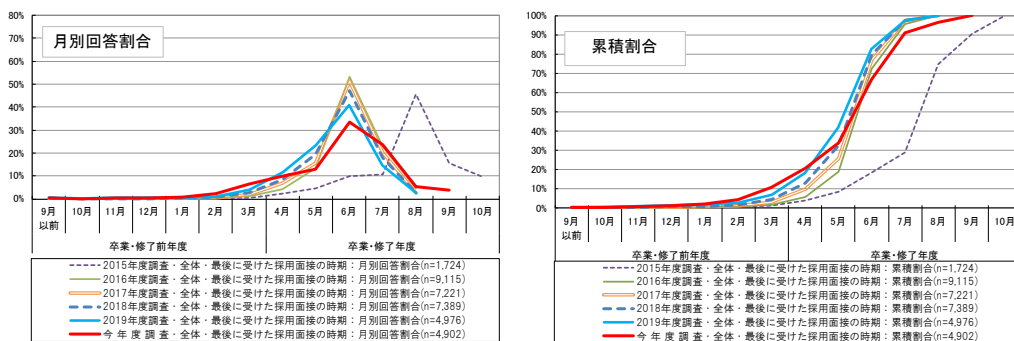
#### <最初に受けた採用面接の時期>



#### <採用面接のピーク>



#### <最後に受けた採用面接の時期>

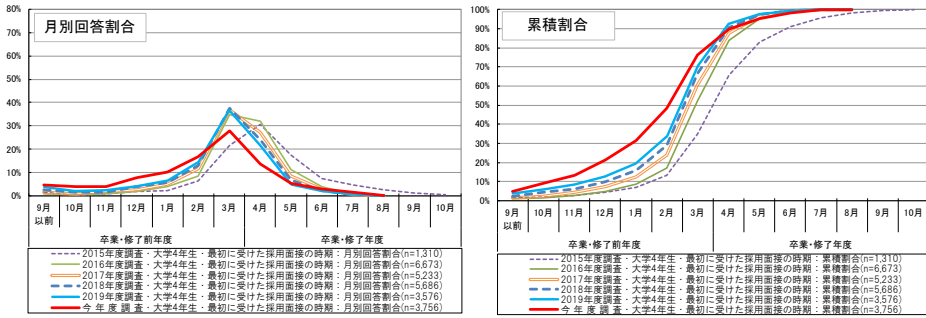


32 採用面接に関して、「面談」や「相談会」などの名称の下に行われた企業との接触について、それが実質的に採用面接だと感じた場合は、採用面接と考えていただくよう回答者に案内した上で調査を行った。

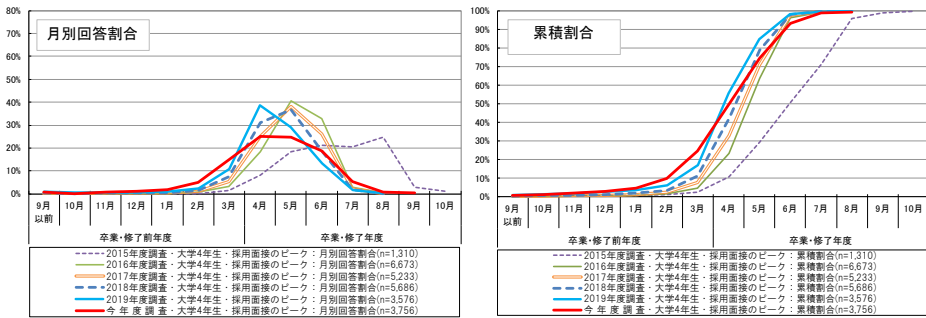
33 公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点で採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは集計の対象外とした。また、その上で、採用面接について「特段受けなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

図表 3-5-2 採用面接の実施時期（大学４年生、公務員・教職員志望者除く）

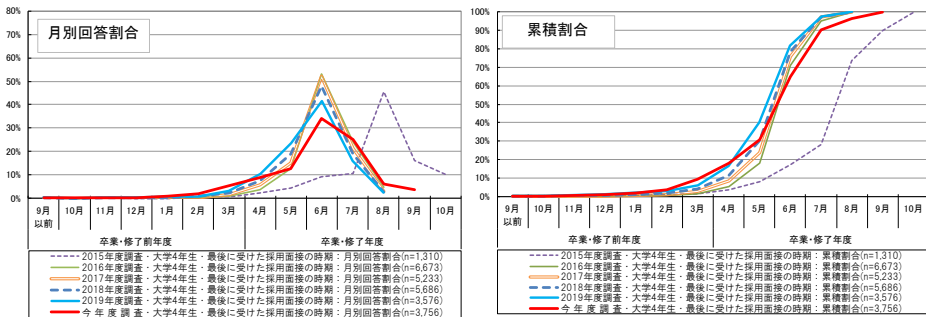
＜最初に受けた採用面接の時期＞



＜採用面接のピーク＞

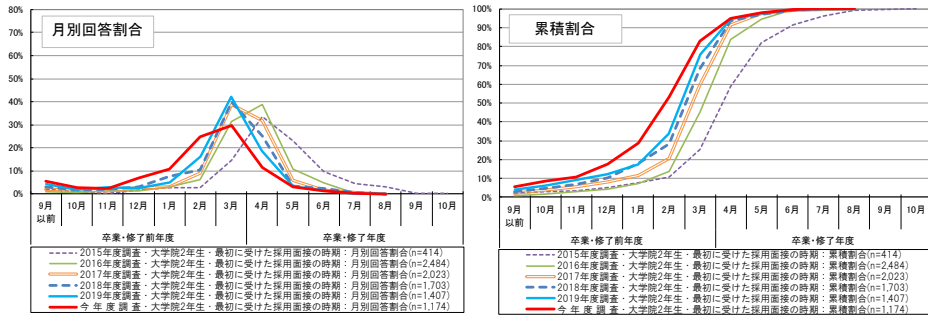


＜最後に受けた採用面接の時期＞

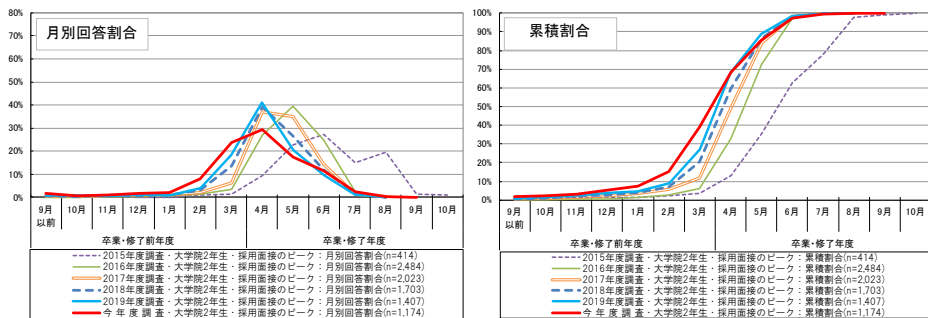


図表 3-5-3 採用面接の実施時期（大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）

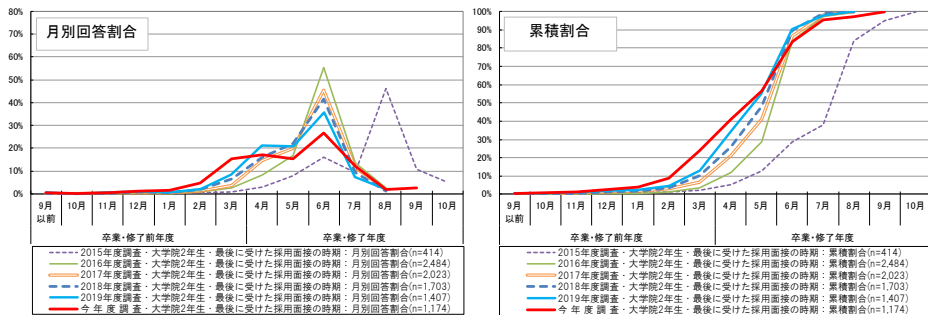
＜最初に受けた採用面接の時期＞



＜採用面接のピーク＞



＜最後に受けた採用面接の時期＞



図表 3-5-4 採用面接の実施時期（今年度調査・詳細データ）

（大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）

最初の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	1.4%	1.2%	1.0%	1.4%	3.9%	4.0%	7.9%	10.3%	17.7%	28.2%	13.6%	5.2%	2.7%	1.3%	0.2%	—
累積割合	1.4%	2.6%	3.6%	5.0%	8.9%	12.9%	20.7%	31.1%	48.8%	76.9%	90.5%	95.7%	98.4%	99.8%	100.0%	—
面接のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	0.2%	0.2%	0.4%	0.1%	0.3%	0.8%	1.2%	1.8%	5.5%	16.0%	25.6%	24.1%	17.8%	5.0%	0.7%	0.3%
累積割合	0.2%	0.4%	0.8%	0.9%	1.2%	2.1%	3.3%	5.0%	10.6%	26.6%	52.1%	76.2%	94.0%	99.0%	99.7%	100.0%
最後の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.4%	0.5%	1.0%	2.1%	6.6%	9.8%	13.0%	33.4%	23.7%	5.5%	3.7%
累積割合	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.4%	0.8%	1.3%	2.3%	4.4%	11.0%	20.8%	33.7%	67.1%	90.9%	96.3%	100.0%

（大学4年生、公務員・教職員志望者除く）

最初の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	1.3%	1.1%	1.0%	1.5%	4.1%	4.2%	8.0%	10.3%	16.8%	27.9%	13.8%	5.5%	2.8%	1.5%	0.3%	—
累積割合	1.3%	2.4%	3.4%	4.9%	9.0%	13.1%	21.1%	31.4%	48.2%	76.1%	89.9%	95.4%	98.3%	99.7%	100.0%	—
面接のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	0.2%	0.2%	0.3%	0.1%	0.3%	0.8%	1.1%	1.7%	5.2%	14.9%	25.1%	24.9%	18.6%	5.4%	0.8%	0.4%
累積割合	0.2%	0.4%	0.7%	0.8%	1.1%	1.9%	3.0%	4.7%	10.0%	24.9%	49.9%	74.9%	93.5%	98.9%	99.6%	100.0%
最後の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.1%	0.4%	0.4%	0.9%	1.8%	5.4%	8.8%	12.6%	34.3%	25.3%	6.0%	3.8%
累積割合	0.1%	0.1%	0.1%	0.3%	0.4%	0.8%	1.2%	2.1%	3.9%	9.3%	18.1%	30.7%	64.9%	90.2%	96.2%	100.0%

（大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）

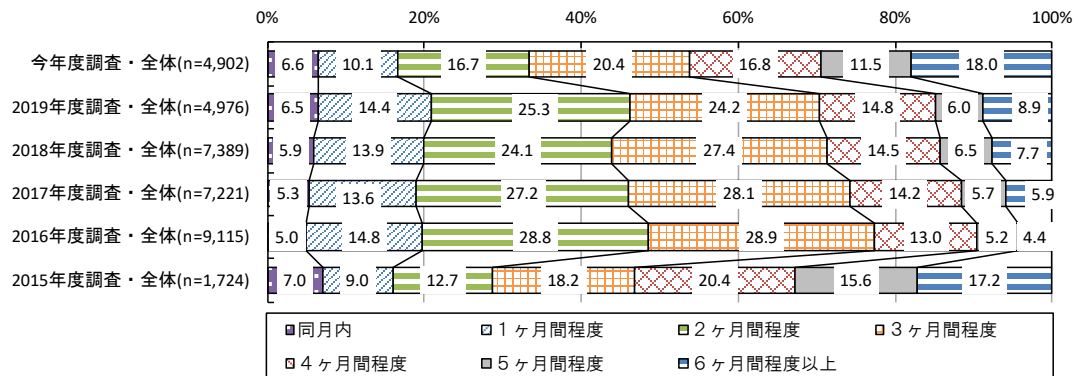
最初の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	2.2%	1.6%	0.8%	1.1%	2.6%	2.6%	6.9%	10.8%	24.8%	29.7%	11.7%	3.3%	1.5%	0.3%	0.1%	—
累積割合	2.2%	3.8%	4.6%	5.7%	8.4%	10.9%	17.8%	28.6%	53.4%	83.1%	94.8%	98.1%	99.6%	99.9%	100.0%	—
面接のピーク	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	0.1%	0.2%	1.0%	0.2%	0.6%	1.1%	1.9%	2.2%	8.0%	23.7%	29.3%	17.5%	11.4%	2.4%	0.4%	0.0%
累積割合	0.1%	0.4%	1.4%	1.6%	2.2%	3.3%	5.2%	7.3%	15.3%	39.0%	68.3%	85.8%	97.2%	99.6%	100.0%	100.0%
最後の面接	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月以降 (予定)
月別回答割合	0.0%	0.1%	0.0%	0.4%	0.2%	0.6%	1.2%	1.4%	4.8%	15.3%	17.2%	15.5%	26.8%	12.3%	1.7%	2.6%
累積割合	0.0%	0.1%	0.1%	0.4%	0.7%	1.2%	2.4%	3.8%	8.6%	23.8%	41.1%	56.6%	83.3%	95.6%	97.4%	100.0%

②最初に受けた採用面接から最後に受けた採用面接までの期間

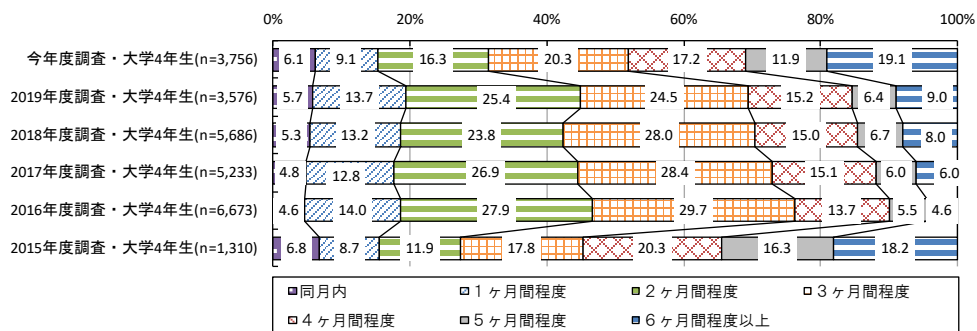
「最初に受けた採用面接の時期」<sup>34</sup>から「最後に受けた採用面接の時期」の間の期間について集計すると<sup>35</sup>、「3ヶ月間程度」<sup>36</sup>の割合が最も高く、次いで「4ヶ月間程度」と「2ヶ月間程度」の割合が同程度に高くなっている。

2016年度調査～2019年度調査と比較すると、面接の期間がより長い期間であった者の割合が高くなっている。

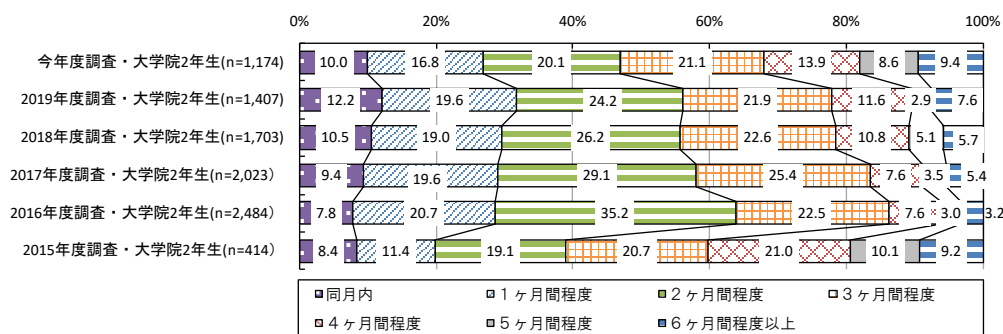
図表 3-5-5 最初に受けた採用面接から最後に受けた採用面接までの期間  
(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



<sup>34</sup> 採用面接に関して、「面談」や「相談会」などの名称の下に行われた企業との接触について、それが実質的に採用面接だと感じた場合は、採用面接と考えていただくよう回答者に案内した上で調査を行った。

<sup>35</sup> 公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点において採用の面接等が行われていないと想定されたことから、ここでは、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。また、その上で、採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

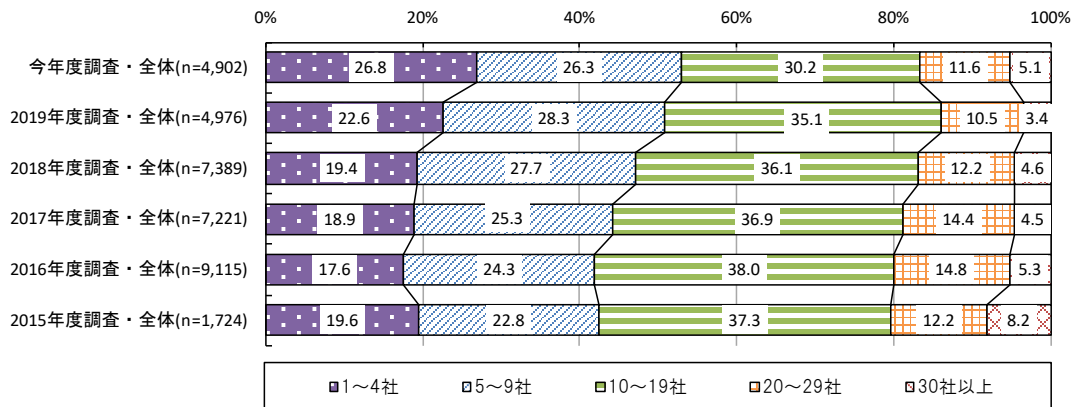
<sup>36</sup> ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「最初に受けた採用面接の時期」が3月、「最後に受けた採用面接の時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも採用面接を受けていた実際の期間の長さを意味するものではない点に留意が必要である。

### ③採用面接を受けた企業数

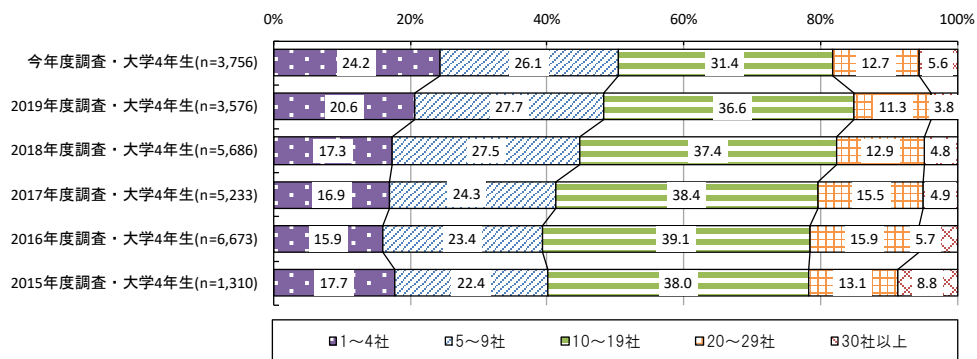
採用面接を受けた企業数について、「10～19社」であった者の割合が約3割で最も高くなっている<sup>37</sup>。なお、20社以上の採用面接を受けた者は約2割となっている。

過年度調査と比較すると、今年度調査では「1～4社」であった者の割合が高くなっている。

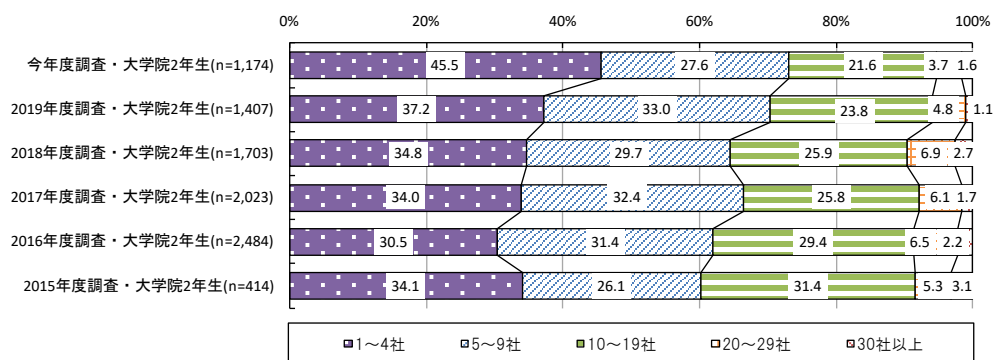
図表 3-5-6 採用面接を受けた企業数  
(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



<sup>37</sup> 採用面接について「特段行わなかった」と回答した者は集計の対象外とした。

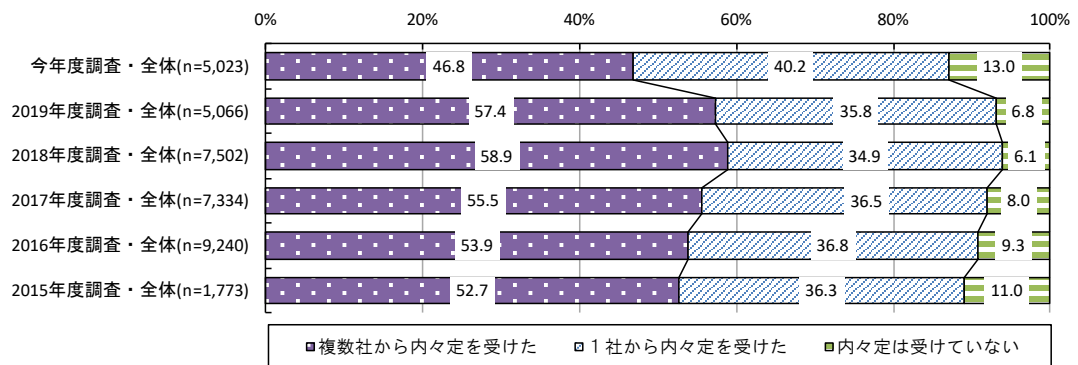
## (6) 内々定の状況・内々定の時期

### ① 調査実施時点での内々定の状況

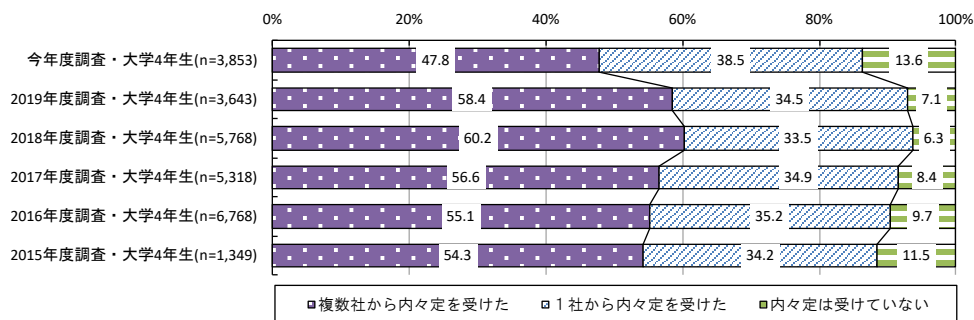
内々定の状況について<sup>38</sup>、調査実施時点で約9割が内々定を受けている状況にある。また、約5割が「複数社から内々定を受けた」と回答している。

過年度調査と比較すると、調査実施時点で内々定を受けたと回答する者全体の割合が今年度調査では低くなっている。また、内々定を受けた者については、「1社から内々定を受けた」の回答割合は高くなっており、「複数社から内々定を受けた」の回答割合が低くなっている。

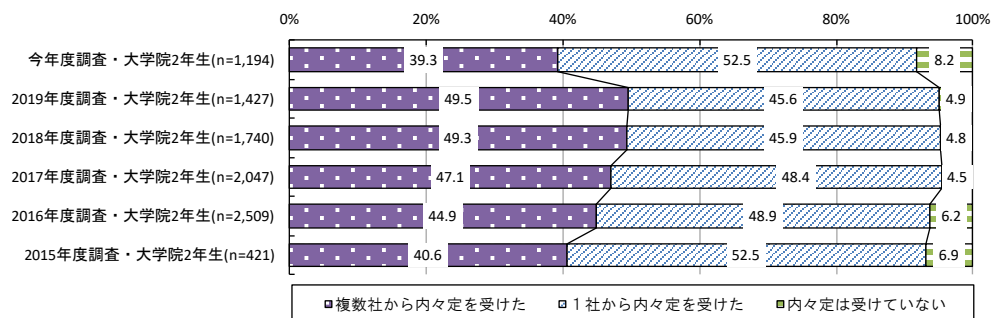
図表 3-6-1 調査実施時点での内々定の状況  
(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



### (大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



### (大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



<sup>38</sup> 公務員や教職員志望者に関しては、調査実施時点において採用の面接等が行われていないと想定されることから、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

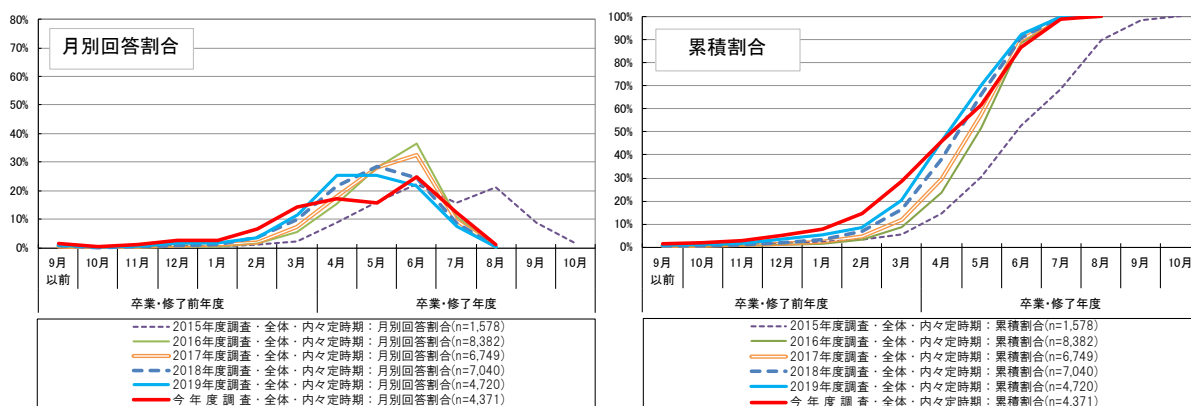


## ②内々定を受けた時期（最初の内々定）

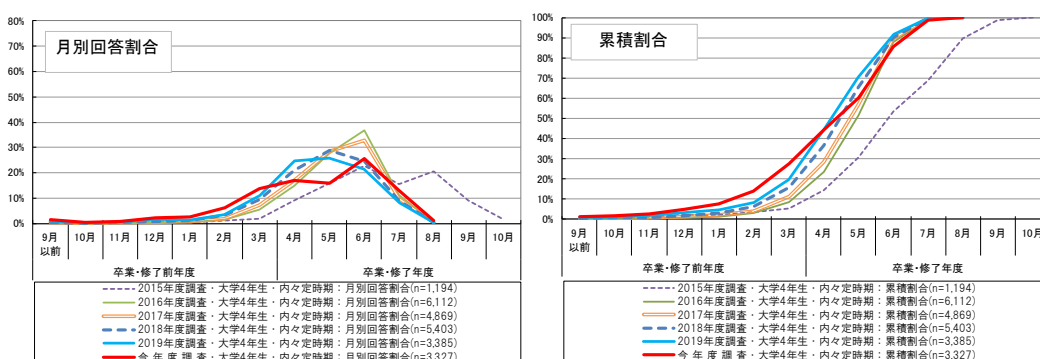
内々定を受けた時期について<sup>39</sup>、最も回答割合が高い月が採用・選考活動開始時期である6月にきており、約2割となっている。なお、累積割合では、約6割が2020年5月以前に内々定を受けたと回答している。

過年度調査と比較すると、今年度調査では2020年3月までは過年度調査の回答割合を上回っており時期が若干早まっているが、4月～5月の時期に最初の内々定を受けた者の割合が低くなっている。

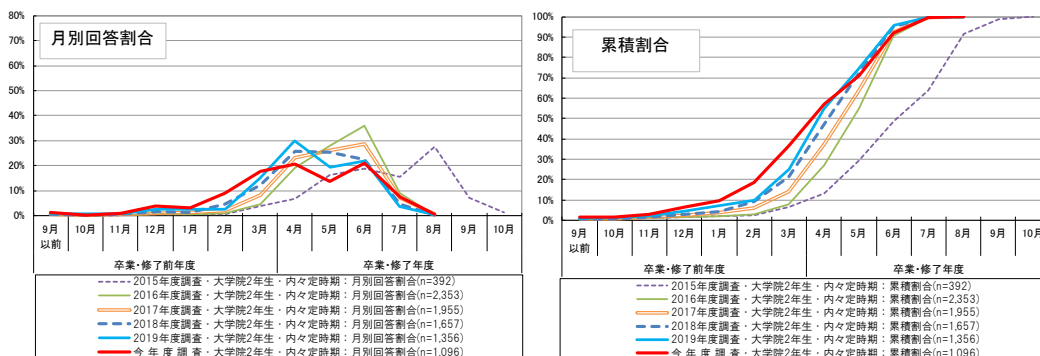
図表 3-6-2 内々定を受けた時期（最初の内々定）  
（大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）



（大学4年生、公務員・教職員志望者除く）



（大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）



<sup>39</sup> 1社から内々定を受けた者はその時期について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた時期について集計した。なお、ここでの集計でも、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。また、内々定を受けていないと回答した者は集計の対象外としている。

図表 3-6-3 最初の内々定を受けた時期（今年度調査・詳細データ）

（大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.7%	0.1%	0.2%	0.6%	0.4%	0.9%	2.4%	2.5%	6.7%	14.3%	17.3%	15.5%	24.9%	12.4%	1.1%
累積割合	0.7%	0.8%	1.0%	1.5%	2.0%	2.9%	5.3%	7.8%	14.5%	28.7%	46.0%	61.6%	86.5%	98.9%	100.0%

（大学4年生、公務員・教職員志望者除く）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.7%	0.2%	0.1%	0.5%	0.5%	0.9%	2.2%	2.4%	6.3%	13.7%	16.8%	15.8%	25.5%	13.1%	1.2%
累積割合	0.7%	0.9%	1.0%	1.5%	2.0%	2.9%	5.1%	7.5%	13.9%	27.6%	44.4%	60.2%	85.7%	98.8%	100.0%

（大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.4%	0.0%	0.4%	0.6%	0.2%	1.1%	3.8%	3.1%	8.9%	17.9%	20.8%	13.7%	21.0%	7.5%	0.5%
累積割合	0.4%	0.4%	0.8%	1.4%	1.6%	2.7%	6.6%	9.7%	18.6%	36.5%	57.2%	70.9%	91.9%	99.5%	100.0%

③内々定を受けた時期（内々定を複数社から受けた場合）

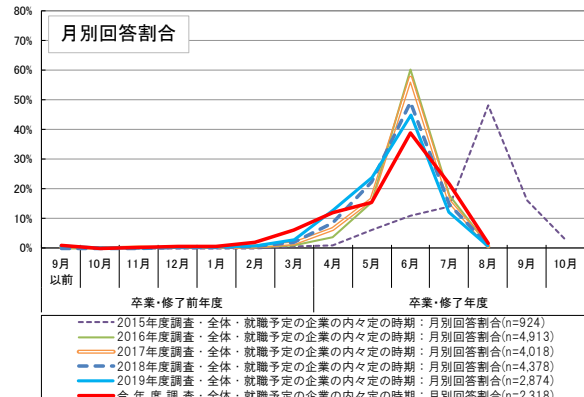
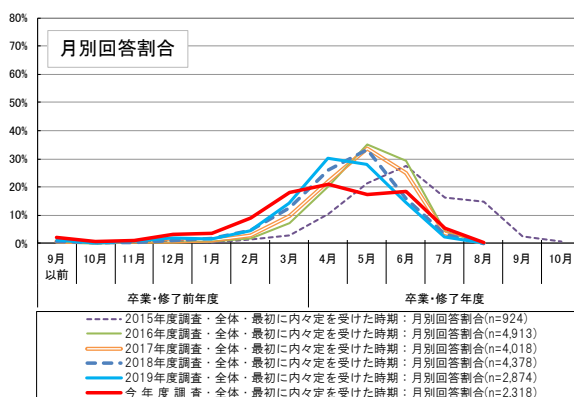
「複数社から内々定を受けた」と回答した者について、「最初に内々定を受けた時期」は「2020年4月」との回答が約2割で最も高く、「就職予定の企業の内々定を受けた時期」は「2020年6月」との回答が約4割で最も高くなっている<sup>40</sup>。

過年度調査と比較すると、「最初に内々定を受けた時期」「就職予定の企業の内々定を受けた時期」とともに、今年度は3月までの時期の回答割合が高くなっている。また今年度は、「最初に内々定を受けた時期」は特に5月の時期が過年度と比べて低くなっている。

図表 3-6-4 内々定を受けた時期（複数社から受けた場合）  
（大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）

＜最初に内々定を受けた時期＞

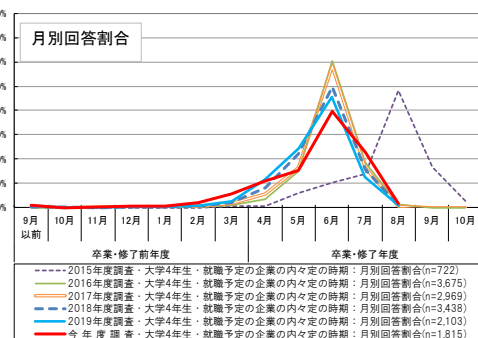
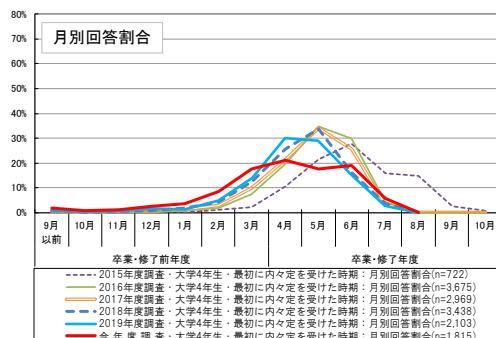
＜就職予定の企業の内々定を受けた時期＞



（大学4年生、公務員・教職員志望者除く）

＜最初に内々定を受けた時期＞

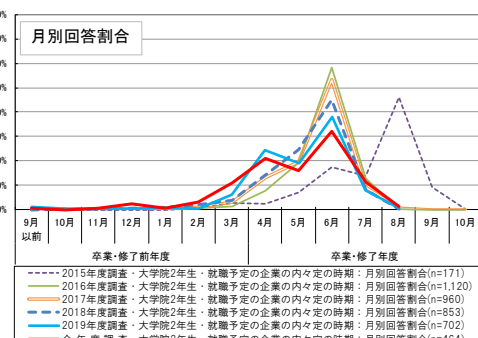
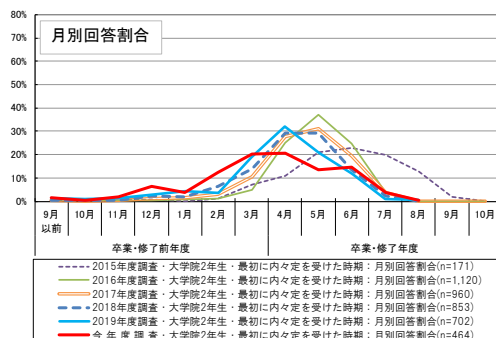
＜就職予定の企業の内々定を受けた時期＞



（大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）

＜最初に内々定を受けた時期＞

＜就職予定の企業の内々定を受けた時期＞



40 「最初の内々定」「就職予定の企業の内々定」いずれについても、「就職予定の企業の内々定」に関して「就職予定の企業はない」と回答した者は集計の対象外とした。

図表 3-6-5 内々定を受けた時期（複数社から受けた場合、詳細データ）

（大学４年生・大学院２年生、公務員・教職員志望者除く）

最初の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.9%	0.1%	0.2%	0.8%	0.6%	1.1%	3.1%	3.7%	9.1%	17.9%	20.9%	17.3%	18.5%	5.4%	0.2%
累積割合	0.9%	1.0%	1.1%	2.0%	2.6%	3.7%	6.9%	10.5%	19.6%	37.5%	58.5%	75.8%	94.3%	99.8%	100.0%
就職予定の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.4%	0.4%	0.0%	0.1%	0.0%	0.2%	0.7%	0.5%	2.0%	6.1%	12.0%	15.3%	38.9%	21.8%	1.6%
累積割合	0.4%	0.8%	0.8%	1.0%	1.0%	1.1%	1.9%	2.4%	4.4%	10.4%	22.4%	37.7%	76.6%	98.4%	100.0%

（大学４年生、公務員・教職員志望者除く）

最初の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.9%	0.1%	0.2%	0.8%	0.7%	1.1%	2.7%	3.6%	8.7%	17.7%	21.0%	17.8%	18.9%	5.6%	0.2%
累積割合	0.9%	1.0%	1.2%	2.0%	2.7%	3.7%	6.5%	10.1%	18.8%	36.5%	57.5%	75.2%	94.2%	99.8%	100.0%
就職予定の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.4%	0.5%	0.0%	0.1%	0.0%	0.2%	0.5%	0.5%	1.9%	5.5%	11.0%	15.2%	39.7%	22.9%	1.7%
累積割合	0.4%	0.9%	0.9%	1.0%	1.0%	1.2%	1.7%	2.2%	4.1%	9.6%	20.6%	35.8%	75.5%	98.3%	100.0%

（大学院２年生、公務員・教職員志望者除く）

最初の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.4%	0.0%	0.4%	0.9%	0.3%	1.8%	6.6%	4.0%	12.4%	20.4%	20.5%	13.4%	14.7%	3.9%	0.4%
累積割合	0.4%	0.4%	0.7%	1.7%	1.9%	3.8%	10.4%	14.3%	26.7%	47.1%	67.6%	81.0%	95.7%	99.6%	100.0%
就職予定の内々定	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	0.1%	0.2%	0.2%	0.0%	0.0%	0.5%	2.5%	0.5%	3.2%	10.8%	21.0%	16.1%	32.3%	11.5%	1.2%
累積割合	0.1%	0.3%	0.5%	0.5%	0.5%	0.9%	3.5%	4.0%	7.1%	18.0%	39.0%	55.0%	87.3%	98.8%	100.0%

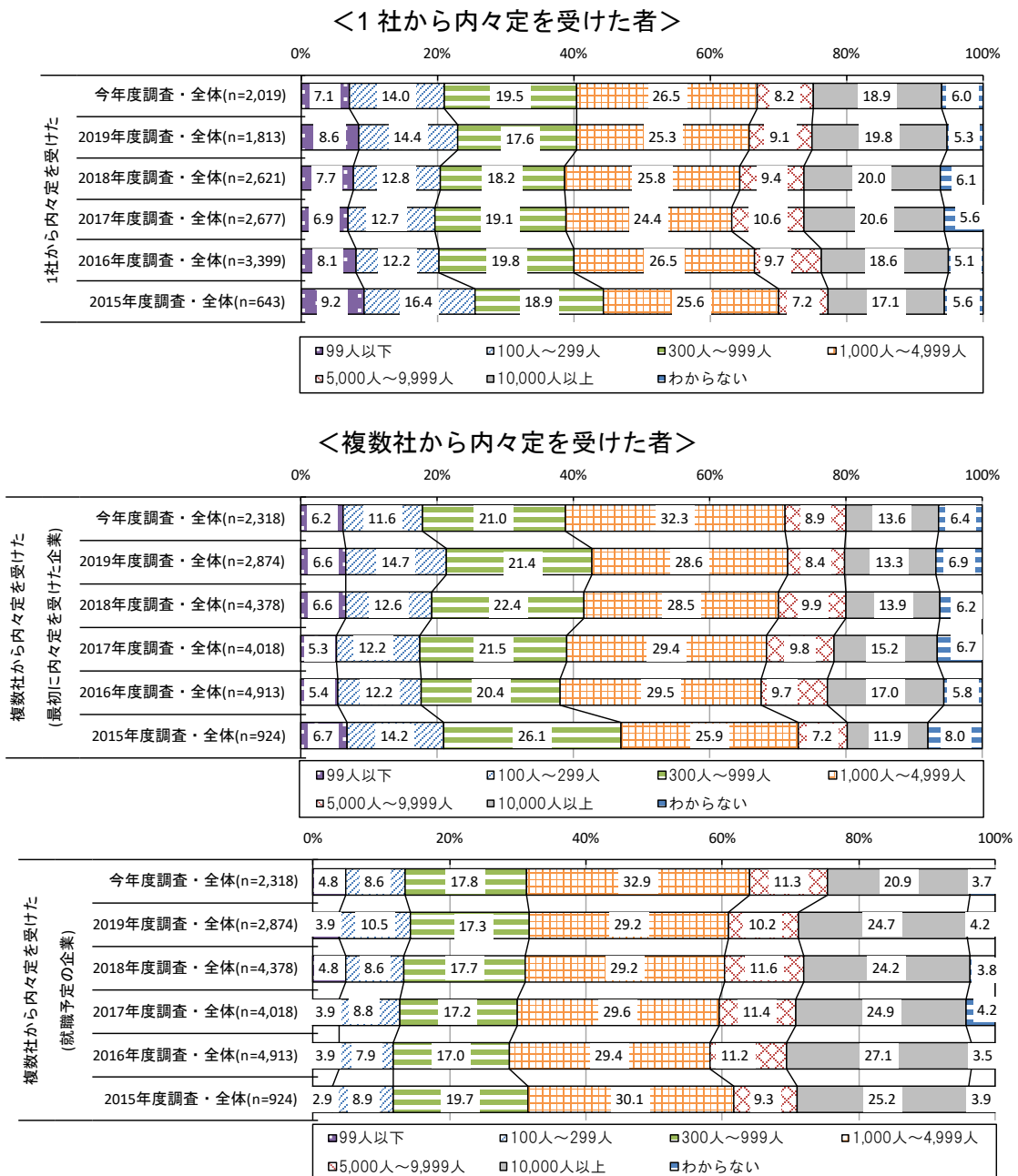
#### ④内々定を受けた企業の企業規模（従業員数）

内々定を受けた企業の企業規模（従業員数）について、1社から内々定を受けた者、複数社から内々定を受けた者のそれぞれについて集計を行った。複数社から内々定を受けた者については、最初に内々定を受けた企業と、就職予定の企業のそれぞれについて把握した。

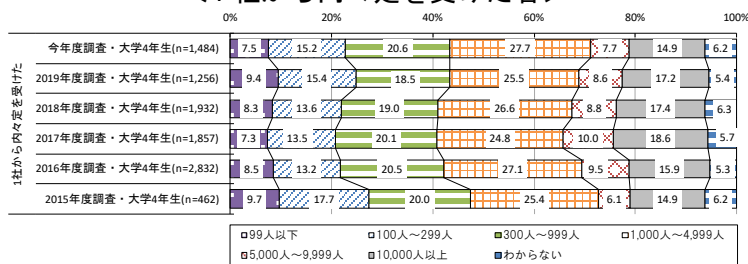
これらのうち、複数社から内々定を受けた者について、「最初に内々定を受けた企業」に対して「就職予定の企業」の方が、規模（従業員数）の大きい企業である割合が高くなっている。これは、過年度調査と同様の結果となっている。

なお過年度調査と比べると、複数社から内々定を受けた者に関して、最初の内々定・就職予定の企業の内々定いずれについても「1,000人～4,999人」の回答割合が高くなっているが、全体としては過年度とほぼ同様の結果となっている。

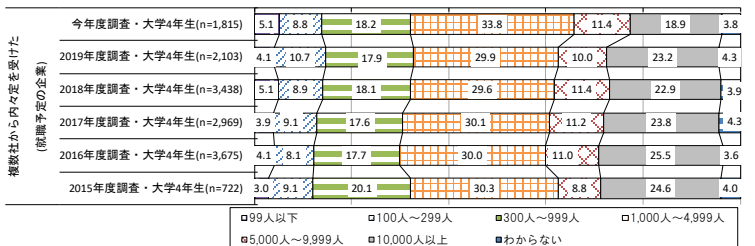
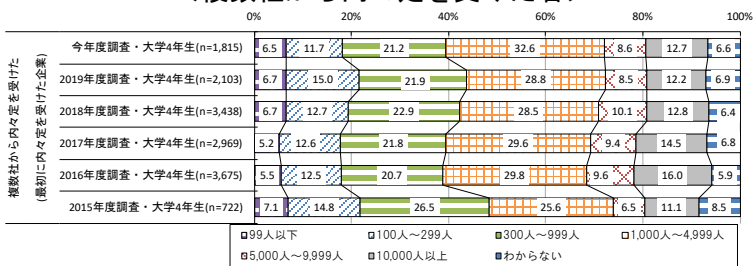
図表 3-6-6 内々定を受けた企業の企業規模（従業員数）  
（大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）



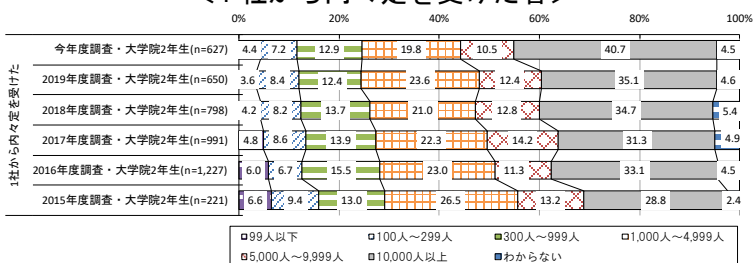
図表 3-6-7 内々定を受けた企業の企業規模（従業員数）  
 （大学4年生、公務員・教職員志望者除く）  
 <1社から内々定を受けた者>



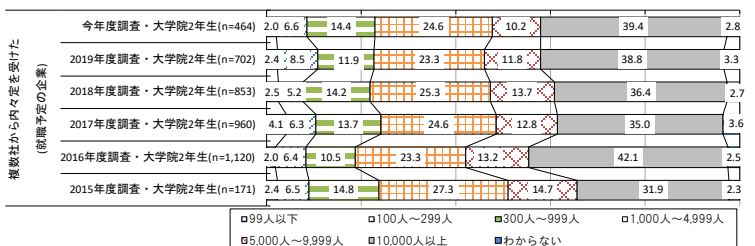
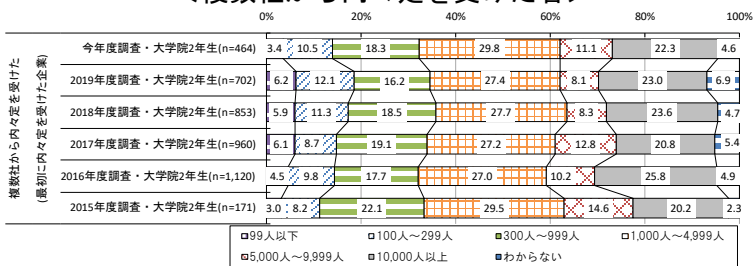
<複数社から内々定を受けた者>



（大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）  
 <1社から内々定を受けた者>



<複数社から内々定を受けた者>

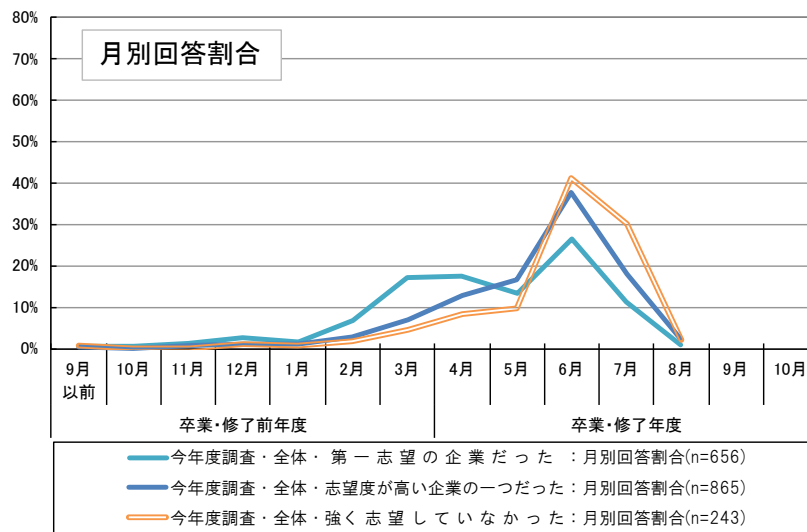


### ⑤就職予定の企業の志望度別の内々定を受けた時期

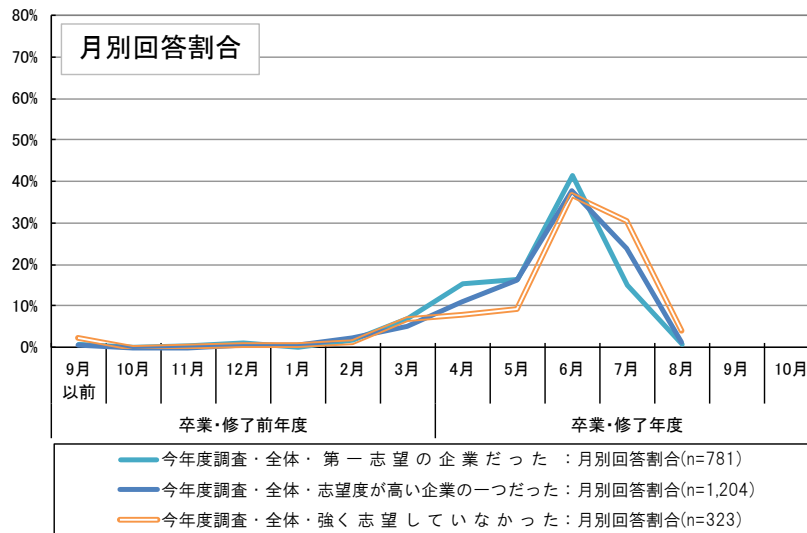
就職予定の企業からの内々定の時期<sup>41</sup>について、その企業に対する志望度別に集計<sup>42</sup>すると、いずれの場合も、就職予定の企業の内々定の時期は「2020年6月」の回答割合が最も高くなっている。

なお、1社から内々定を受けた者で、その企業が第一志望であった場合は、2020年3月～4月の時期の回答割合も比較的高くなっている。

図表 3-6-8 就職予定の企業の志望度別の内々定を受けた時期  
(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)  
<1社から内々定を受けた者>



### <複数社から内々定を受けた者>



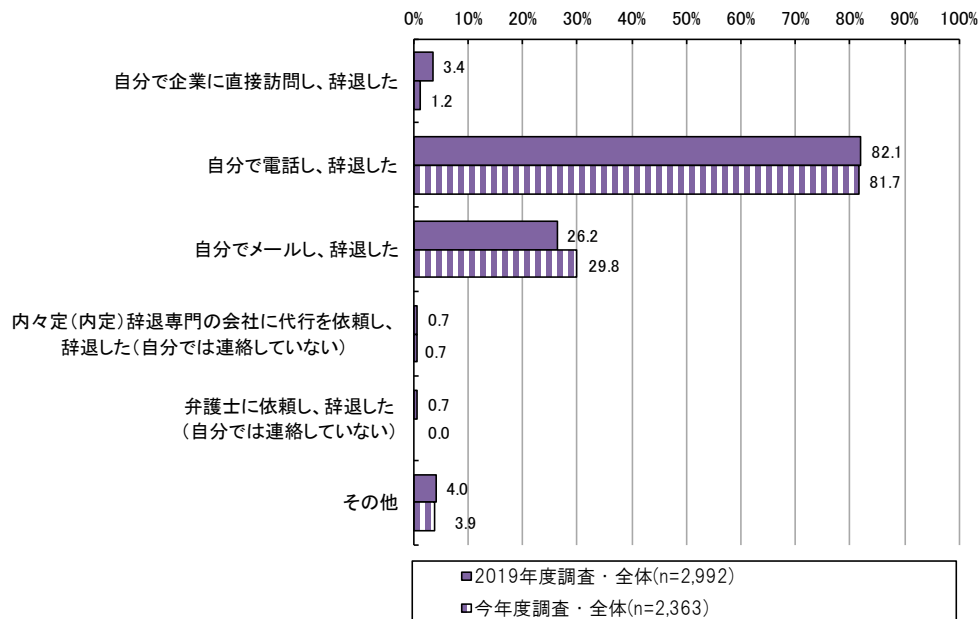
<sup>41</sup> 1社から内々定を受けた者はその企業に就職予定であると回答した場合、及び、複数社から内々定を受けた者は就職予定の企業に関して、内々定を受けた時期に関する回答結果を集計した。なお、公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

<sup>42</sup> 就職予定の企業の採用選考に応募した時点で志望していた企業の全てを思い返したうえでの志望度について尋ねた回答の結果を基に分類をした。なお、志望度について「覚えていない」と回答した者は集計の対象外とした。また、分類によっては集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

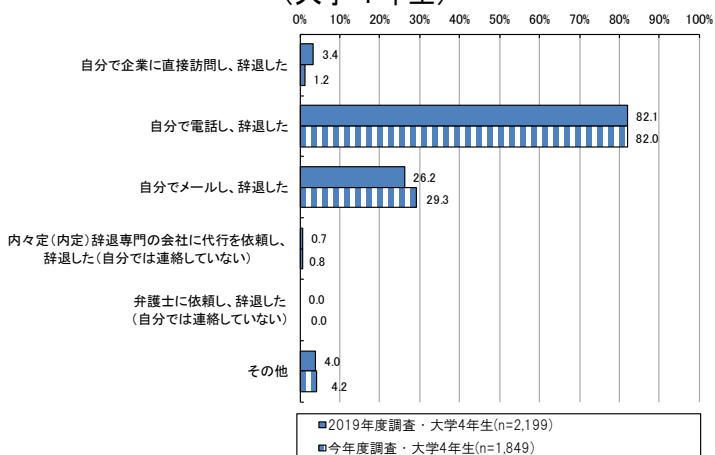
## ⑥内々定の辞退の方法

複数社から内々定を受けた者など<sup>43</sup>の、内々定の辞退の方法について、「自分で電話し、辞退した」が約8割、「自分でメールし、辞退した」が約3割となっている。なお、「自分で企業に直接訪問し、辞退した」は1.2%、「内々定(内定)辞退専門の会社に代行を依頼し、辞退した(自分では連絡していない)」は0.7%、「弁護士に依頼し、辞退した(自分では連絡していない)」は0.7%であった。

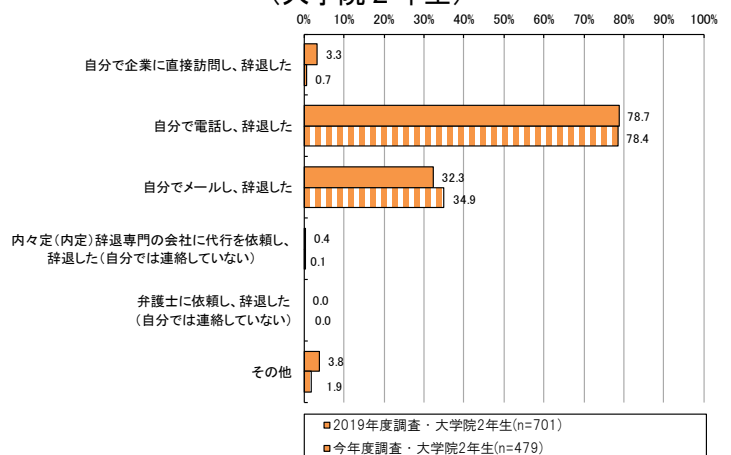
図表 3-6-9 内々定の辞退の方法(複数回答)  
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



<sup>43</sup> 1社から内々定を受けた者でその企業に就職予定ではないと回答した者と、複数社から内々定を受けた者に関して、内々定を辞退したことがあるか否かを尋ねた上で、辞退をしたことがあると回答した場合にその方法について調査をした。なお、2018年度調査以前は当該設問について調査を実施していない。



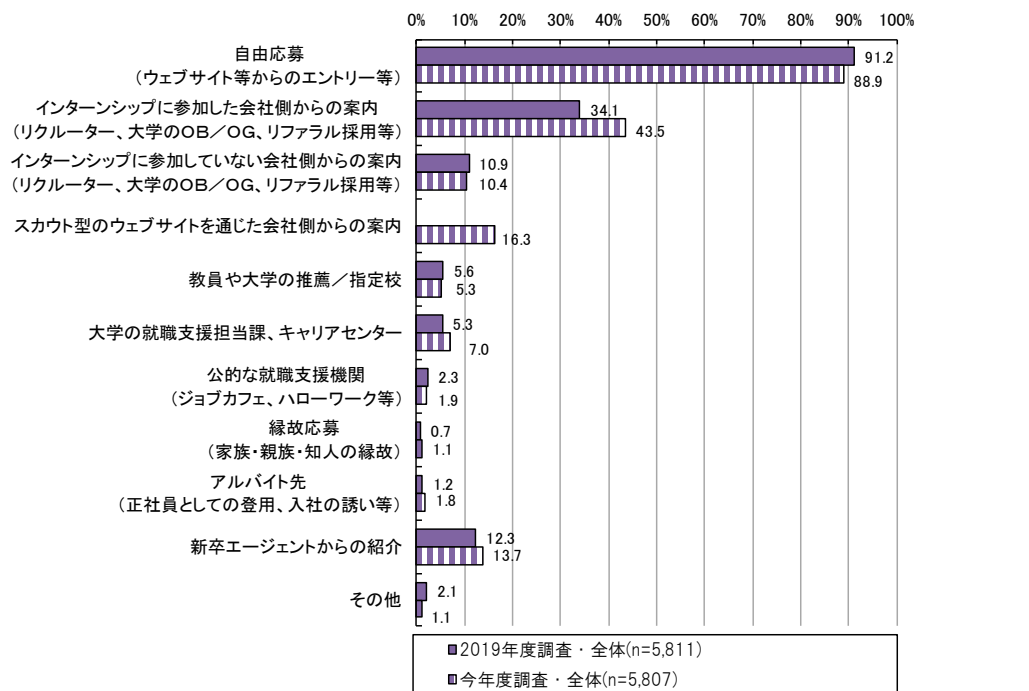
## (7) 採用試験・面接等を受けた経路

### ①全体の状況

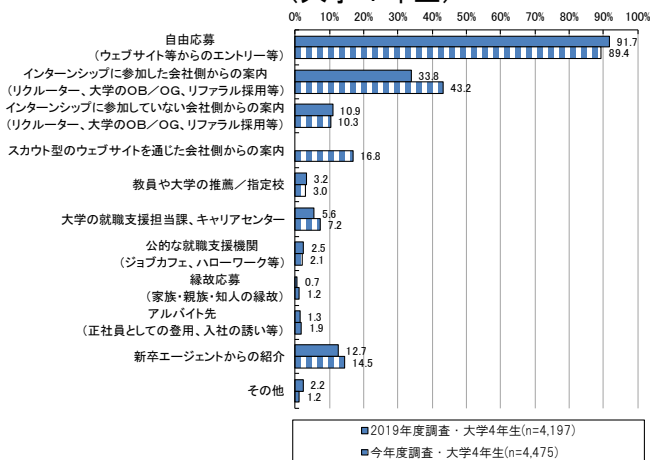
どのような経路で採用試験・面接等を受けたか<sup>44</sup>について、「自由応募（WEB サイト等からのエントリー等）」の割合が9割以上で、「インターンシップに参加した会社側からの案内（リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）」が約4割、「スカウト型のウェブサイトを通じた会社側からの案内」が約2割、「新卒エージェントからの紹介」と「インターンシップに参加していない会社側からの案内（リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）」がそれぞれ約1割となっている。

2019年度調査と比較すると、「インターンシップに参加した会社側からの案内（リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）」の回答割合が高くなっている。

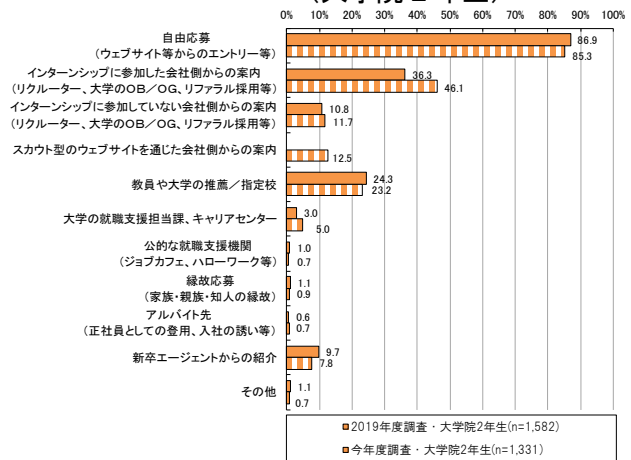
図表 3-7-1 採用試験・面接等を受けた経路（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



<sup>44</sup> 同内容の調査項目は2016年度調査～2018年度調査でも設定しているが、選択肢として設定している項目が異なっていることから、ここでは直接的には比較の対象としなかった。なお、2019年度調査では「リクルーター」「リファラル採用」「新卒エージェント」、さらに今年度調査では新しく設定した「スカウト型のウェブサイト」の項目に、それぞれ用語説明を付した。

## ②内々定を受けた企業について採用試験・面接等を受けた経路

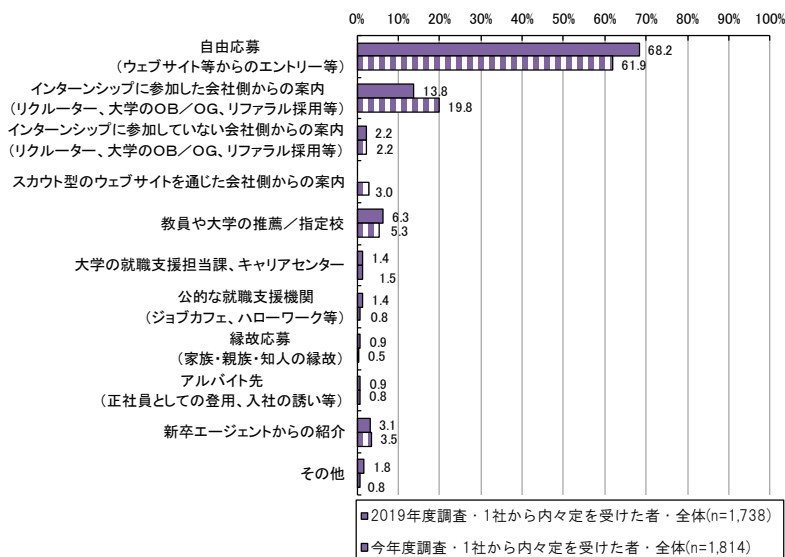
内々定を受けた企業に関してどのような経路で採用試験・面接等を受けたか<sup>45</sup>について、1社から内々定を受けた者では、「自由応募（WEB サイト等からのエントリー等）」の割合が約6割、「インターンシップに参加した会社側からの案内（リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）」が約2割となっている。また、複数社から内々定を受けた者では、「最初の内々定」について「インターンシップに参加した会社側からの案内（リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）」の割合が約3割と若干高くなっている。

2019年度調査と比較すると、内々定を受けた数が1社・複数社いずれの場合も、「自由応募（ウェブサイト等からのエントリー等）」の回答割合が低くなり、「インターンシップに参加した会社側からの案内（リクルーター、大学のOB/OG、リファラル採用等）」が高くなっている。

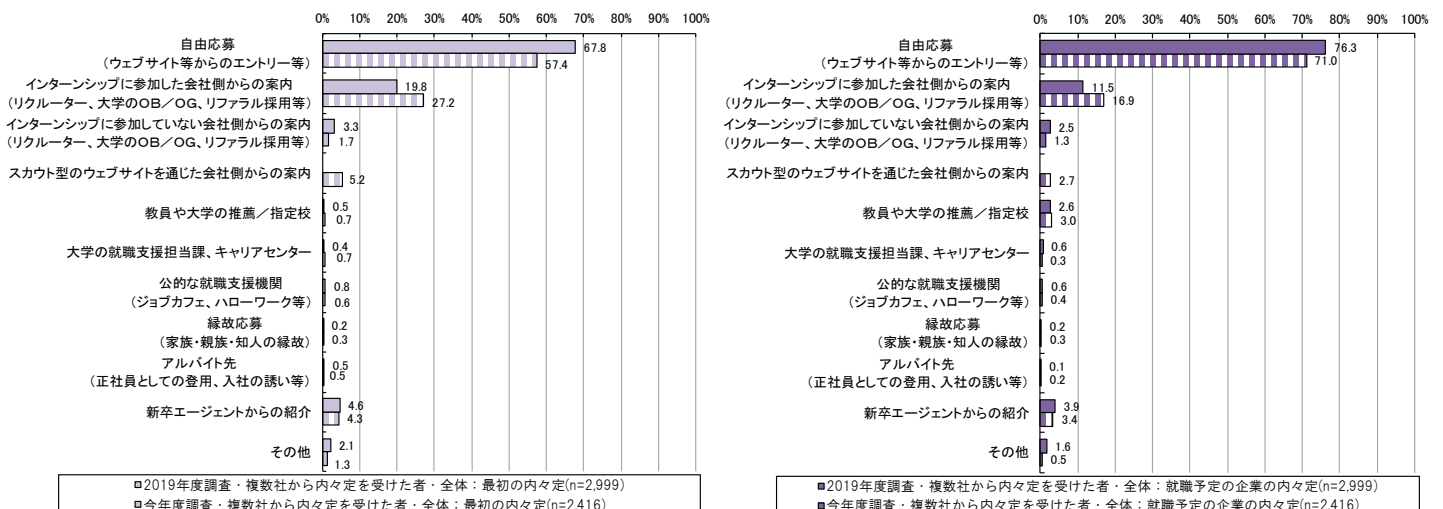
図表 3-7-2 内々定を受けた企業について採用試験・面接等を受けた経路

（大学4年生・大学院2年生）

<1社から内々定を受けた者>



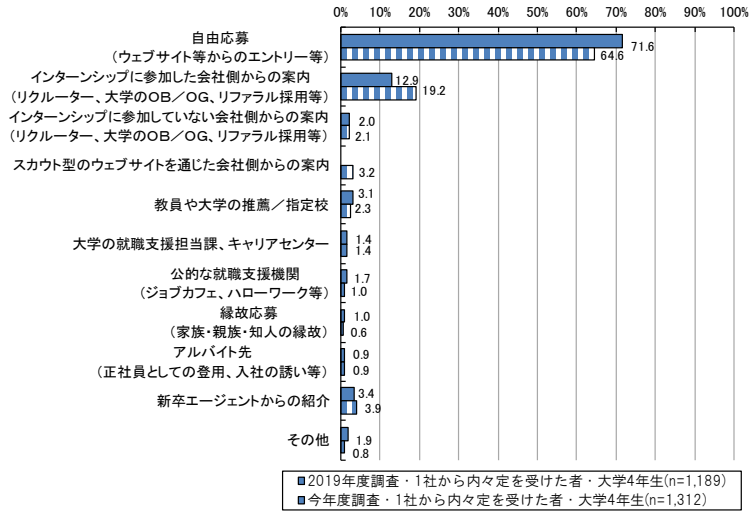
<複数社から内々定を受けた者>



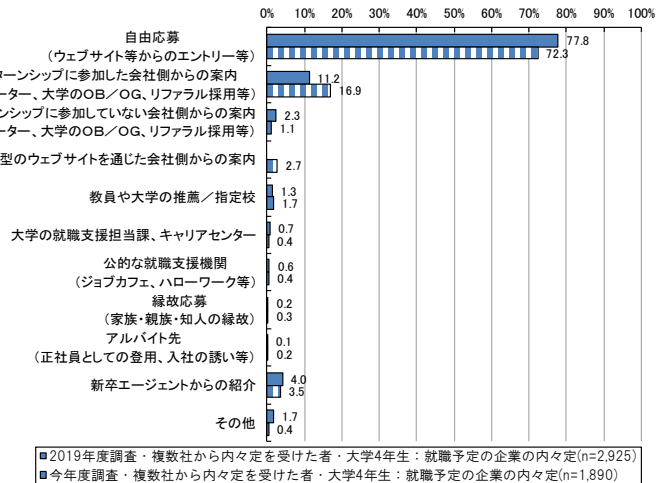
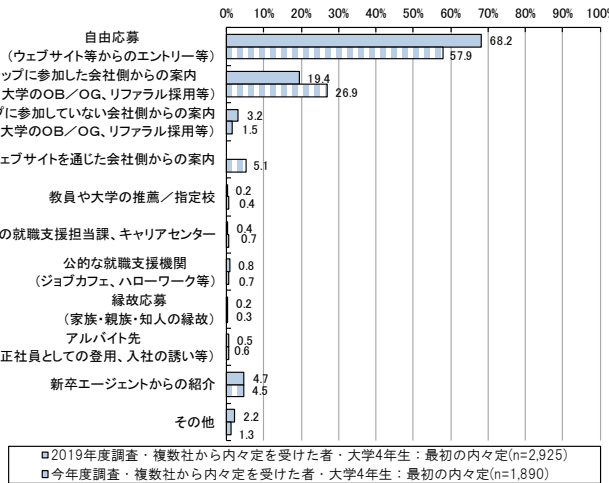
<sup>45</sup> 1社から内々定を受けた者は就職予定の企業について、複数社から内々定を受けた者は最初に内々定を受けた企業と就職予定の企業のそれぞれについて調査し、集計をした。なお、ここでの設問は、複数回答形式ではなく、選択肢よりひとつのみ回答する方法によるものである。

図表 3-7-3 内々定を受けた企業について採用試験・面接等を受けた経路（大学4年生）

<1社から内々定を受けた者>

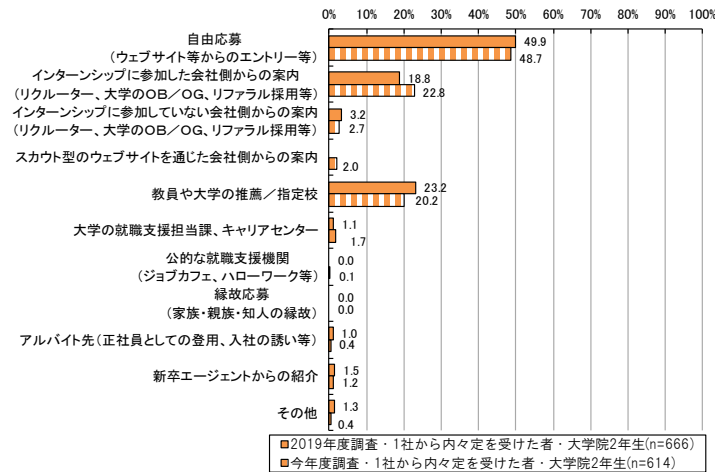


<複数社から内々定を受けた者>

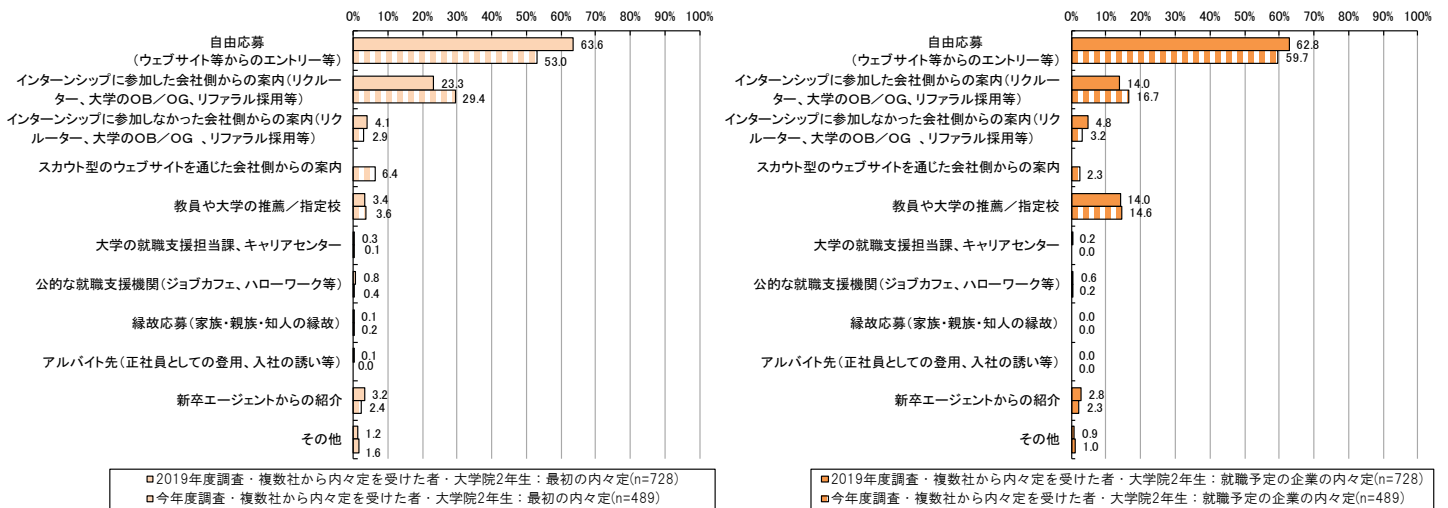


図表 3-7-4 内々定を受けた企業について採用試験・面接等を受けた経路（大学院2年生）

＜1社から内々定を受けた者＞



＜複数社から内々定を受けた者＞



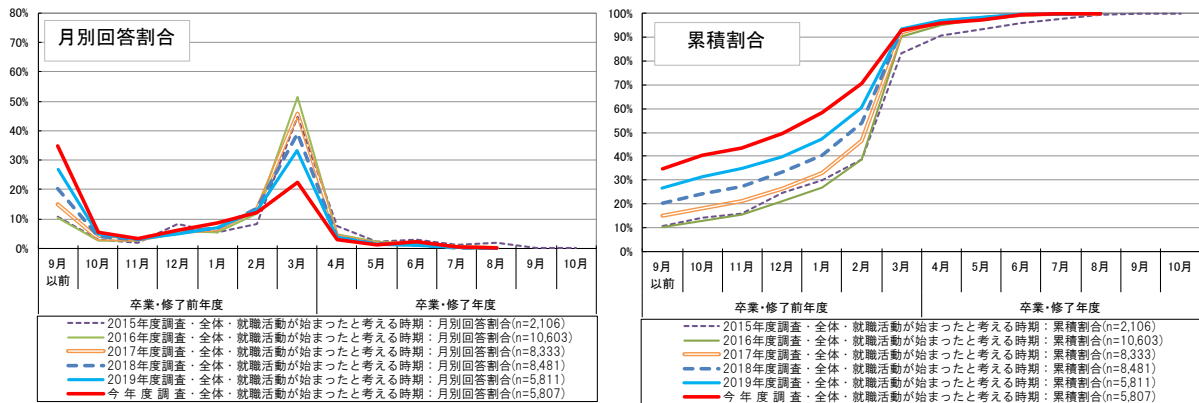
## (8) 就職活動の始まりと終わりの認識

### ①就職活動の始まりの時期についての認識

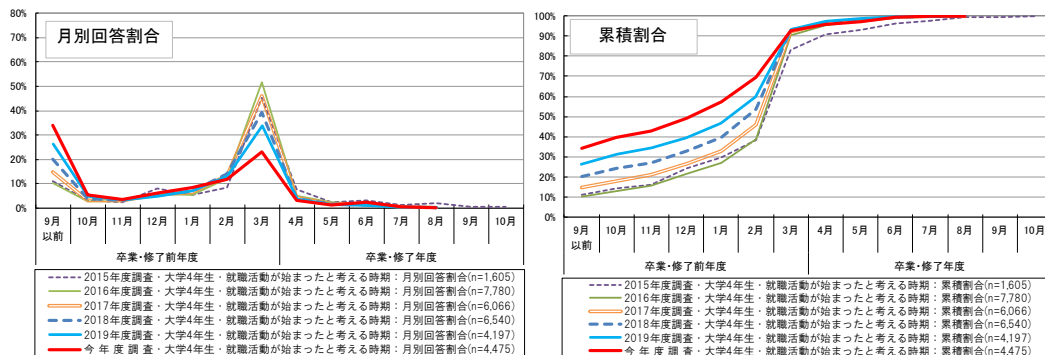
回答者自身の認識としての「就職活動が始まったと考える時期」について、「2020年3月」が約2割と最も高く、次いで「2019年6月以前」の回答割合が高くなっている。

今年度調査では卒業・修了前年度3月の回答割合が比較的高い傾向は続いているが、卒業・修了前年度9月以前の回答割合を下回っているなど、過年度調査と比較するとより早期の時期を回答した者の割合が高くなっている。

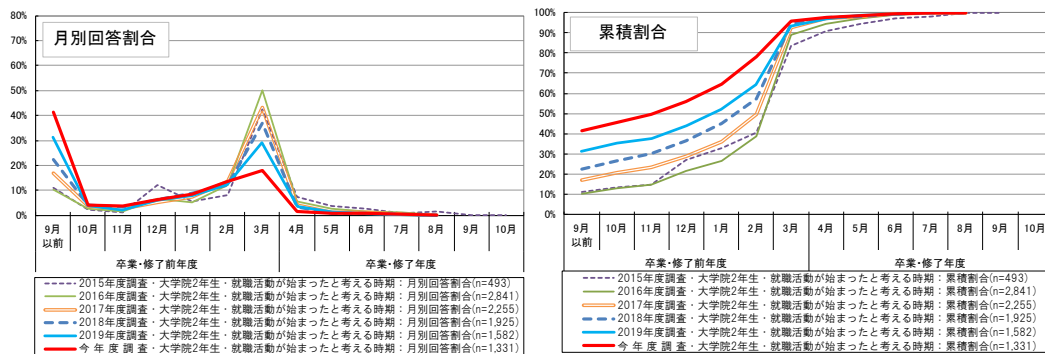
図表 3-8-1 就職活動が始まったと考える時期  
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)



図表 3-8-2 就職活動が始まったと考える時期（今年度調査・詳細データ）

（大学4年生・大学院2年生）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	17.5%	6.7%	7.3%	3.4%	5.4%	3.4%	6.1%	8.5%	12.1%	22.5%	3.0%	1.3%	2.3%	0.4%	0.2%
累積割合	17.5%	24.2%	31.5%	34.9%	40.2%	43.6%	49.8%	58.3%	70.4%	92.9%	95.9%	97.2%	99.4%	99.8%	100.0%

（大学4年生）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	16.4%	6.7%	7.6%	3.3%	5.5%	3.4%	6.1%	8.5%	11.9%	23.1%	3.2%	1.3%	2.4%	0.4%	0.2%
累積割合	16.4%	23.1%	30.7%	34.0%	39.5%	42.9%	49.0%	57.5%	69.4%	92.5%	95.7%	97.0%	99.4%	99.8%	100.0%

（大学院2年生）

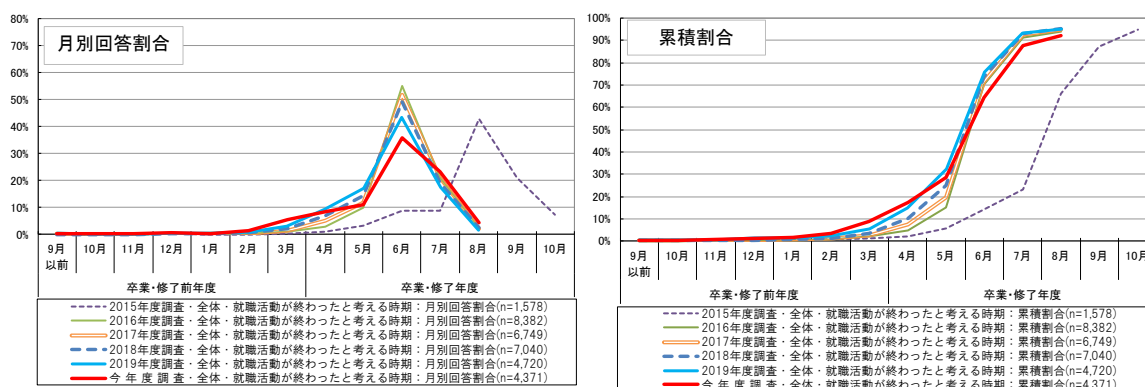
	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月
月別回答割合	26.2%	6.4%	5.1%	3.6%	4.3%	3.8%	6.4%	8.6%	13.5%	18.0%	1.6%	0.9%	0.9%	0.4%	0.3%
累積割合	26.2%	32.7%	37.8%	41.4%	45.7%	49.5%	55.8%	64.5%	78.0%	96.0%	97.6%	98.5%	99.4%	99.7%	100.0%

## ②就職活動の終わりの時期についての認識

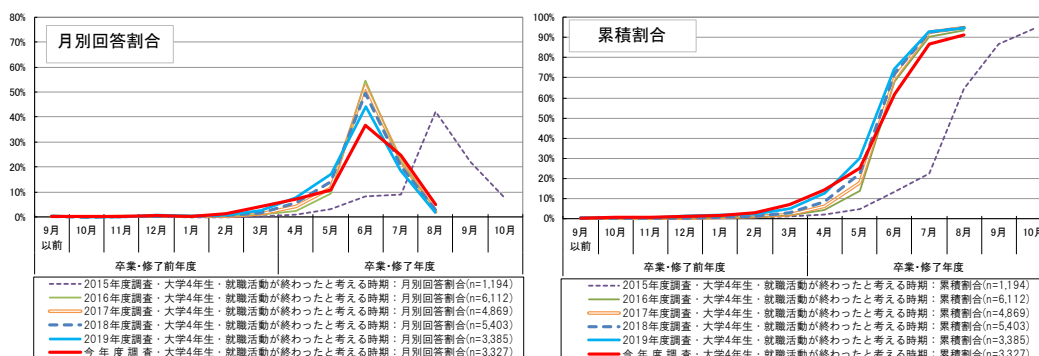
内々定を1社以上受けたと回答した者<sup>46</sup>にとっての「就職活動が終わったと考える時期」について、「2020年6月」の回答割合が約4割となっている。なお、累積割合<sup>47</sup>では、2020年5月以前に就職活動が終わったと回答しているのは約3割となっている。

過年度調査と比較すると、今年度調査では卒業・修了年度4月～6月の回答割合は過年度と同程度もしくはそれ以下となっている。また7月などのより遅い時期の回答割合が若干高くなっているとと、「まだ終わっていない」と考える割合も若干高くなっている。

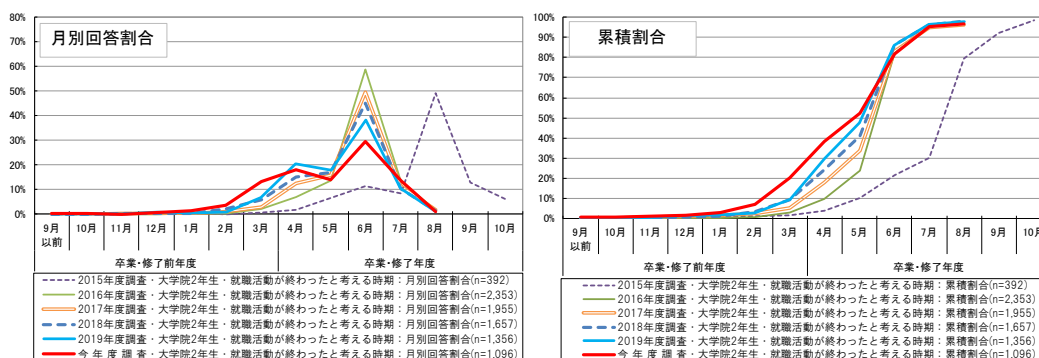
図表 3-8-3 就職活動が終わったと考える時期  
(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



46 公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

47 「まだ終わっていない」と回答した者がいるため、「8月」の時点でも累積割合のグラフは100%にならない。

図表 3-8-4 就職活動が終わったと考える時期（今年度調査・詳細データ）

（大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	まだ終わっていない
月別回答割合	0.0%	0.1%	0.0%	0.1%	0.3%	0.2%	0.6%	0.5%	1.6%	5.4%	8.4%	11.2%	35.9%	23.4%	4.3%	7.9%
累積割合	0.0%	0.1%	0.1%	0.2%	0.4%	0.6%	1.2%	1.7%	3.3%	8.7%	17.1%	28.3%	64.2%	87.6%	92.0%	—

（大学4年生、公務員・教職員志望者除く）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	まだ終わっていない
月別回答割合	0.1%	0.1%	0.0%	0.0%	0.2%	0.2%	0.5%	0.4%	1.3%	4.3%	7.0%	10.8%	36.8%	24.8%	4.8%	8.6%
累積割合	0.1%	0.2%	0.2%	0.2%	0.5%	0.7%	1.2%	1.6%	2.9%	7.2%	14.2%	25.0%	61.8%	86.6%	91.4%	—

（大学院2年生、公務員・教職員志望者除く）

	6月以前	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	まだ終わっていない
月別回答割合	0.3%	0.0%	0.0%	0.2%	0.4%	0.1%	0.7%	1.4%	3.8%	13.1%	18.3%	14.0%	29.5%	13.6%	1.2%	3.5%
累積割合	0.3%	0.3%	0.3%	0.5%	0.8%	1.0%	1.7%	3.1%	6.9%	20.0%	38.2%	52.2%	81.7%	95.3%	96.5%	—

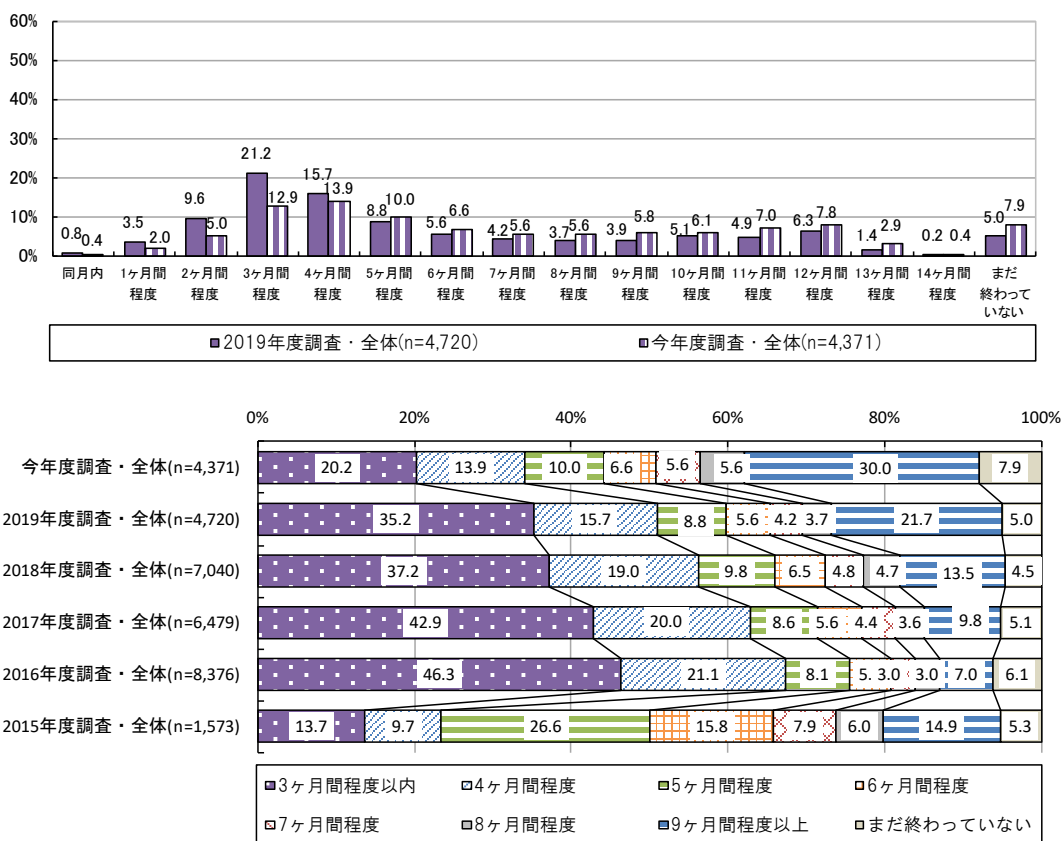


### ③就職活動の始まりから終わりまでの期間

「就職活動が始まったと考える時期」から「就職活動が終わったと考える時期」の間の期間について集計すると<sup>48</sup>、「4ヶ月間程度<sup>49</sup>」の回答割合が最も高く、「同月内」から「4ヶ月間程度」までの回答を合わせると約3割となっている。

2016年度調査～2019年度調査と比較すると、「3ヶ月間程度以内」の割合が低くなっており、「9ヶ月間程度以上」「まだ終わっていない」の割合が高くなっている。その結果として、採用・選考活動開始時期が8月とされていた2015年度調査と比べても、就職活動をより長い期間行っていた者の割合が高い傾向がみられる<sup>50</sup>。

図表 3-8-5 就職活動の始まりから終わりまでの期間  
(大学4年生・大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)

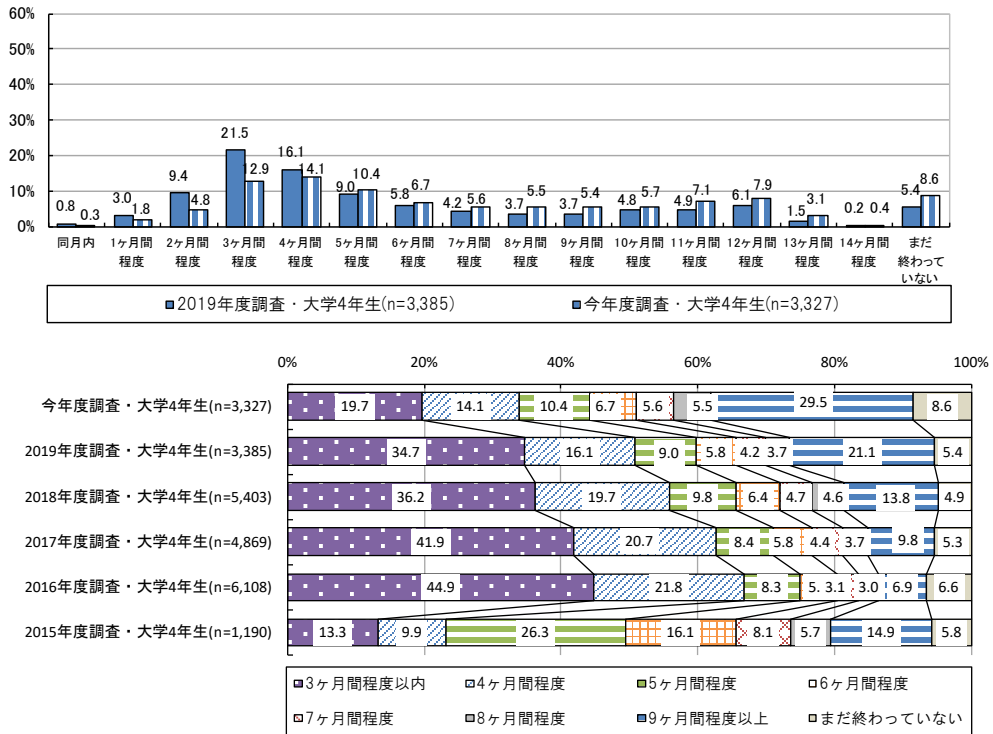


<sup>48</sup> 公務員及び教職員志望者は除いて集計を行った。

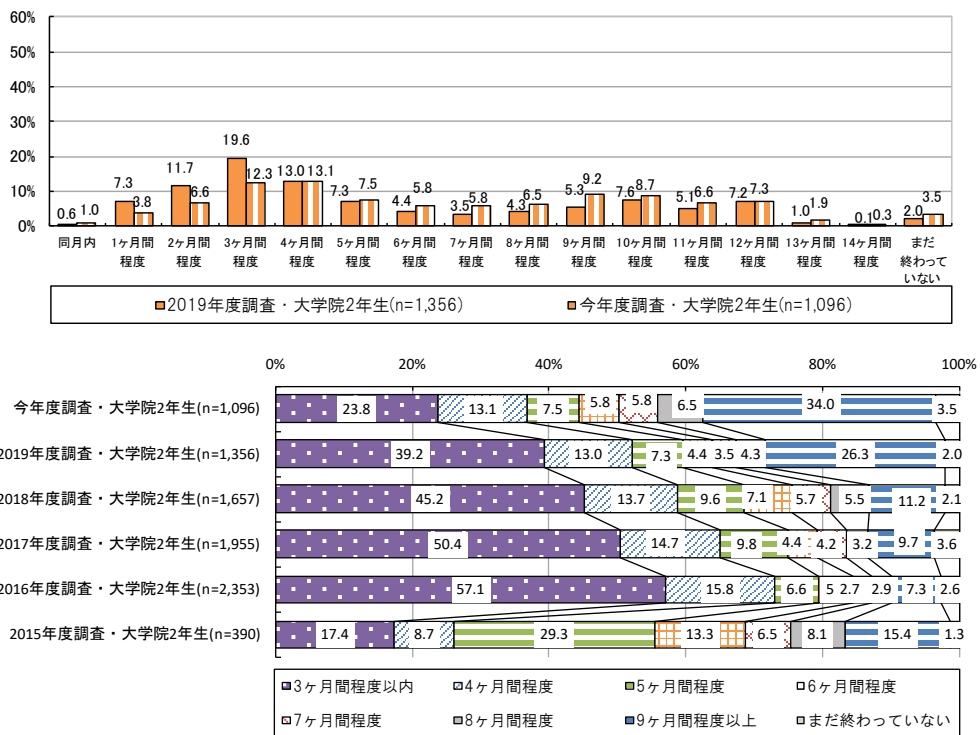
<sup>49</sup> ここでの集計において、「3ヶ月間程度」とは、例えば、「就職活動が始まったと考える時期」が3月、「就職活動が終わったと考える時期」が6月というように、両者の差が3ヶ月であることを意味する。したがって、「1ヶ月間程度」の分類には、最短で2日間、最長で約60日間の場合が含まれる。一方で、「同月内」の場合であっても実質的には最長で30日間である可能性もある。なお、最初と最後の月から計算しており、途中の期間に就職活動を行っていない可能性があるなど、必ずしも就職活動を行っていた実際の期間の長さを意味するものではない点に留意が必要である。

<sup>50</sup> 「始まったと考える時期」「終わったと考える時期」ともに、過年度調査では卒業・修了前年度の「9月以前」を最初の選択肢項目としていたが、2019年度調査からは「6月以前」を最初の選択肢項目として設定して調査をした。このことから、過年度調査では最大の期間は「11ヶ月間程度」であるが、今年度調査では「14ヶ月間程度」となっている。ただし、過年度調査との比較を行う上では、分類がそろるように再集計をしている。

図表 3-8-6 就職活動の始まりから終わりまでの期間  
(大学4年生、公務員・教職員志望者除く)



(大学院2年生、公務員・教職員志望者除く)



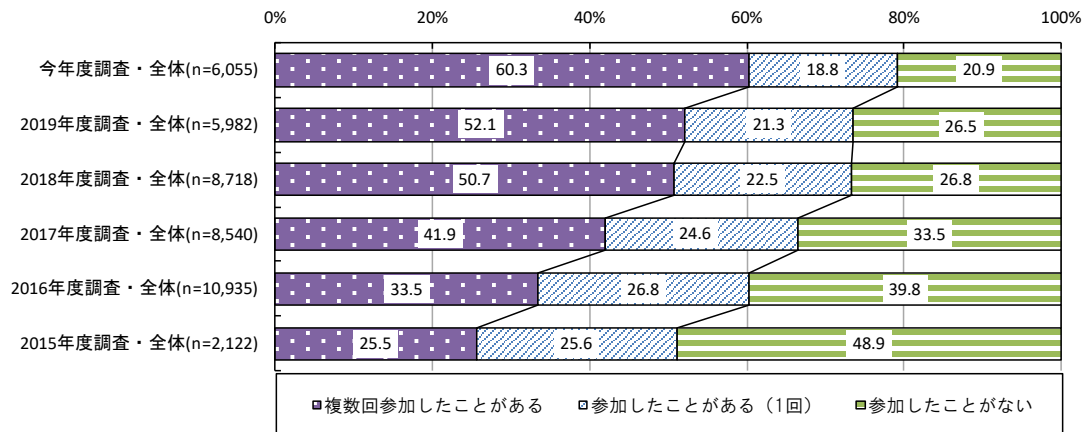
## (9) インターンシップの参加状況

### ①参加の有無

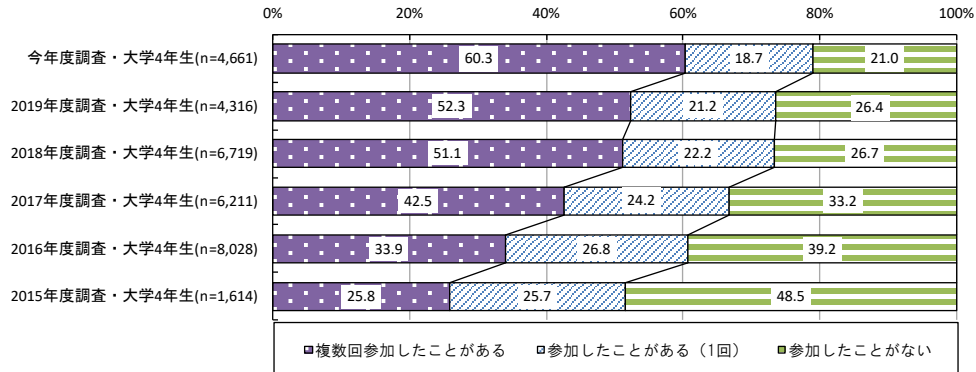
インターンシップ参加経験について、約8割が「参加したことがある」と回答している。なお、約6割が「複数回参加したことがある」と回答している。

過年度調査と比較すると<sup>51</sup>、今年度調査は「複数回参加したことがある」と回答した割合が高くなっている。

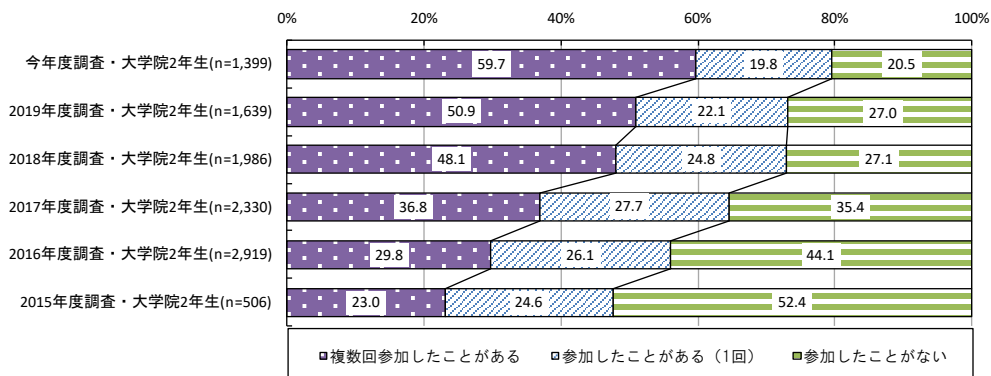
図表 3-9-1 インターンシップ参加経験の有無  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



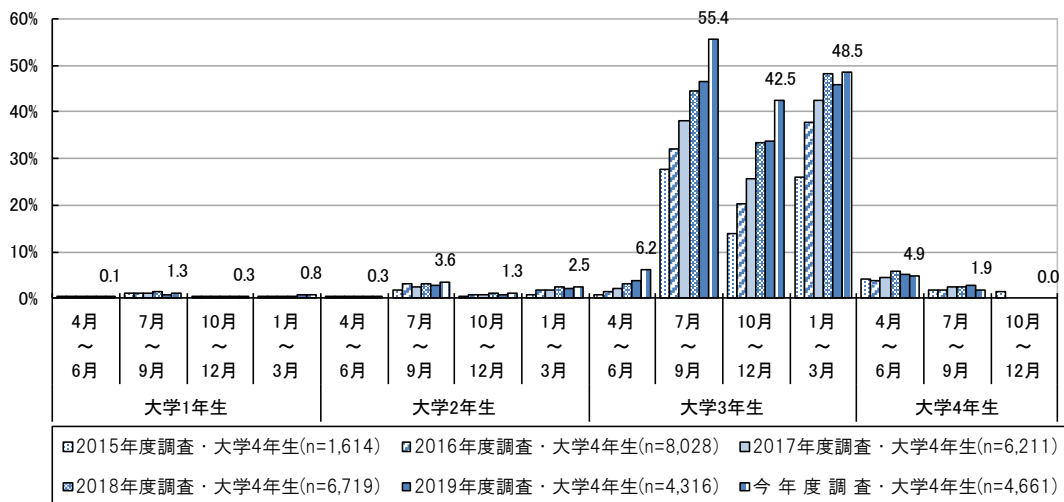
<sup>51</sup> 2015年度調査では就職活動実施の有無にかかわらずインターンシップの参加状況についてたずねているが、ここでは、「就職活動を行った」者に限定して集計を行った上で比較した。

## ②参加時期

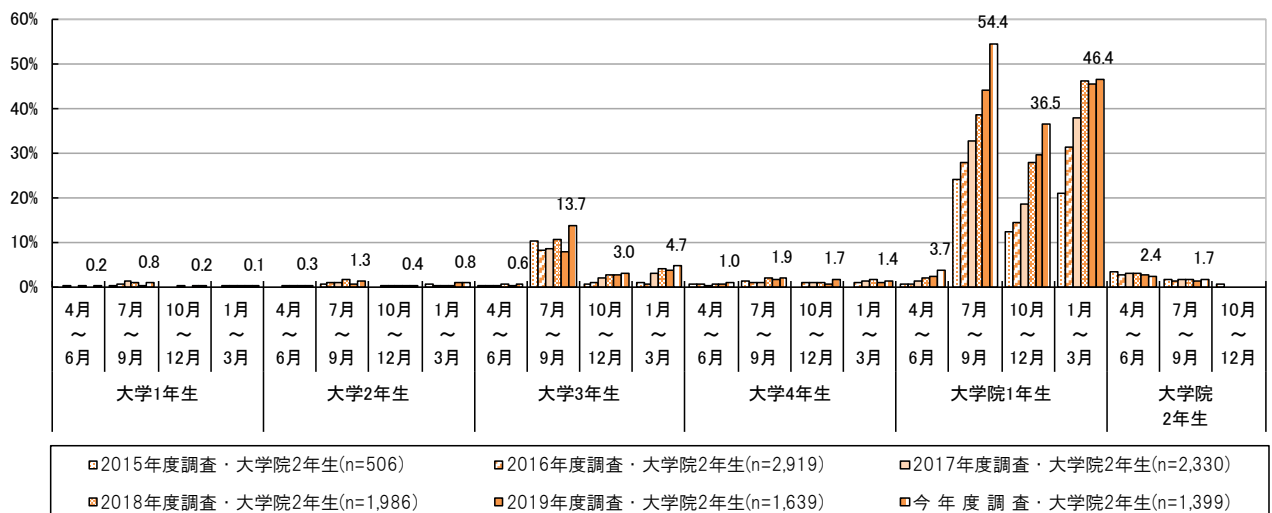
インターンシップ参加の時期について<sup>52</sup>、大学3年生・大学院1年生の「7～9月」や「1月～3月」の参加割合が約5～6割で高く、大学3年生・大学院1年生の「10月～12月」の割合が約4割となっている。

過年度調査と比較すると<sup>53</sup>、上記のそれぞれの時期において、インターンシップに参加したと回答した割合が高まっている。「1～3月」については、2018年度調査・2019年度調査と同程度の回答割合となっている。

図表 3-9-2 インターンシップ参加時期（複数回答）  
（大学4年生）



（大学院2年生）



<sup>52</sup> ここでの集計対象（母数）には、インターンシップに参加しなかった者も含む。

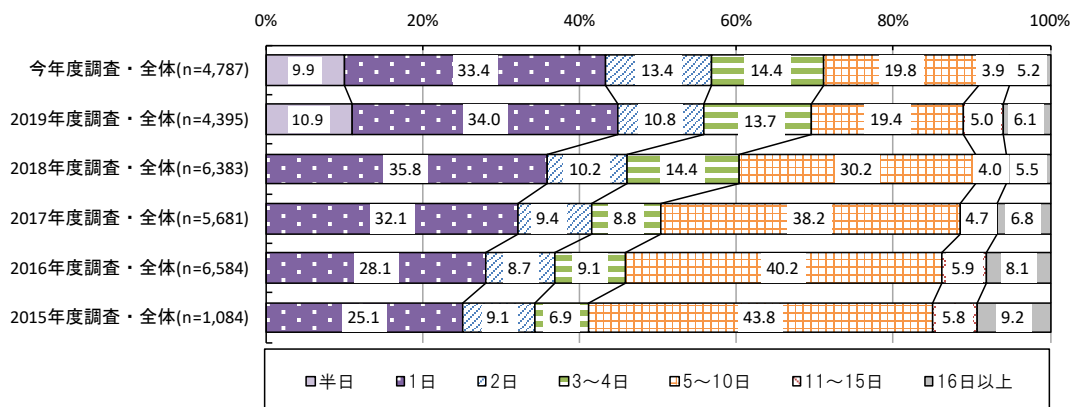
<sup>53</sup> 2015年度調査では就職活動実施の有無にかかわらずインターンシップの参加状況についてたずねているが、ここでは、「就職活動を行った」者に限定して集計を行った上で比較した。

### ③参加日数

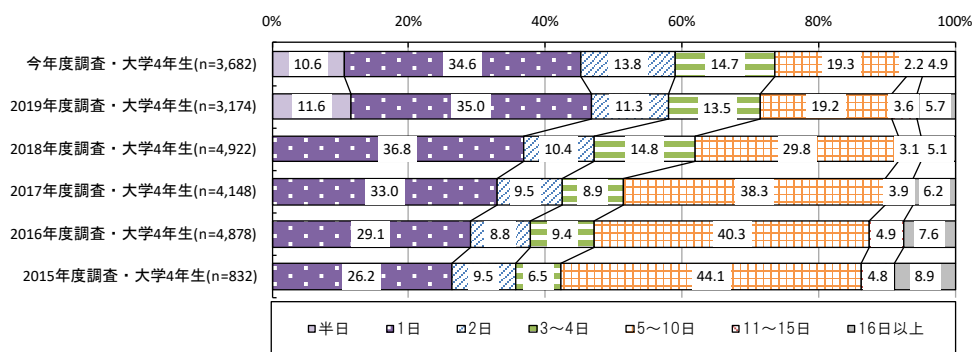
参加したインターンシップのうち、最長の日数のものについて集計したところ、「1日」の回答割合が約3割で最も高くなっている。なお、「半日」の回答は約1割であった<sup>54</sup>。

過年度調査と比較すると<sup>55</sup>、今年度調査では2019年度調査とほぼ同様の結果となっている。

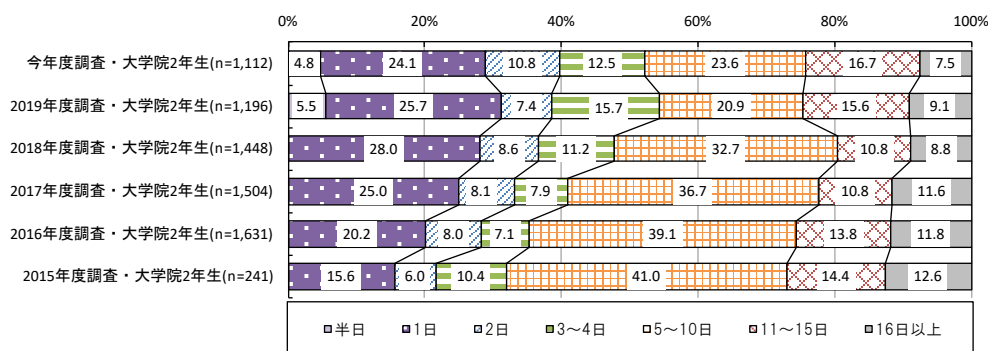
図表 3-9-3 インターンシップ参加日数  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)



<sup>54</sup> 過年度調査では参加したインターンシップの最長の日数を1日単位の数字で回答されたものを分類して集計を行っていたが、今年度調査ではあらかじめ選択肢を設定し、参加したことがある日数の分類を選択してもらい、その上で最長の日数に関して集計をした。「半日」の分類は今年度調査についてのみ把握・集計を行うことができるものとなっている。

<sup>55</sup> 2015年度調査では就職活動実施の有無にかかわらずインターンシップの参加状況についてたずねているが、ここでは、「就職活動を行った」者に限定して集計を行った上で比較した。

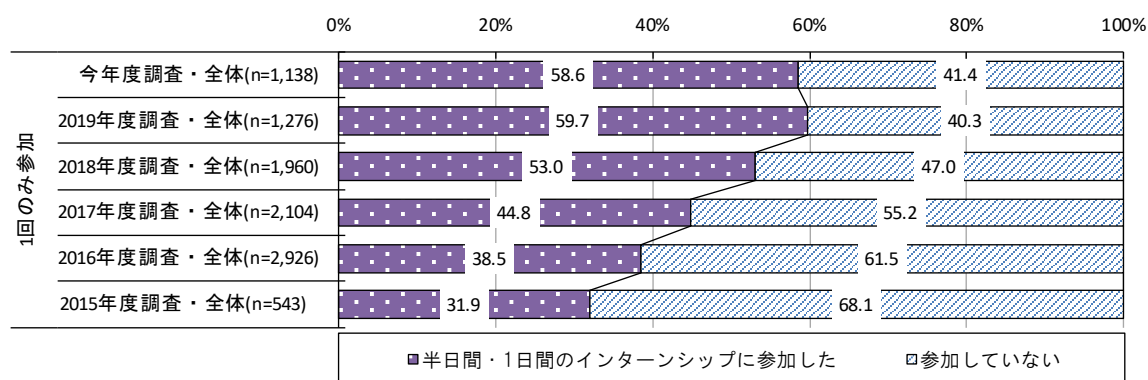
#### ④半日間・1日間のインターンシップ参加状況

インターンシップに1回のみ参加したことがある者、複数回参加したことがある者のそれぞれについて、半日間又は1日間のインターンシップの参加状況<sup>56</sup>を集計すると、インターンシップに1回のみ参加したことがある者で半日間又は1日間のインターンシップに参加した割合は約6割であった。また、インターンシップに複数回参加したことがある者で半日間又は1日間のインターンシップに参加したことがある割合は9割以上となっている。

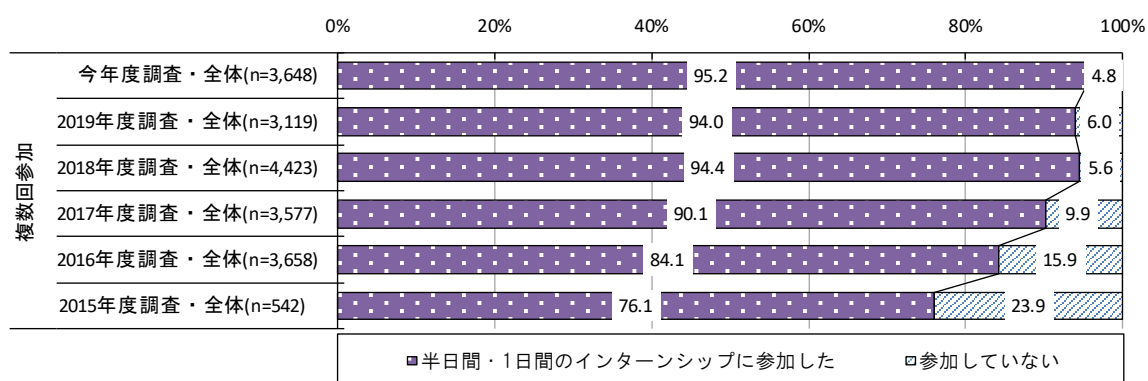
インターンシップに1回のみ参加したことがある場合で、それが半日間又は1日間であった者の割合は、2015年度調査以降高くなる傾向となっていたが、今年度調査では2019年度調査と比べて同程度となっている。

なお、インターンシップへのすべての参加回数のうち、半日間又は1日間のインターンシップの参加回数が占める割合を集計すると、全体の約8割が半日間又は1日間のインターンシップであった。過年度調査に比べ、この割合は若干高くなっている<sup>57</sup>。

図表 3-9-4 インターンシップ参加経験者の半日間・1日間のインターンシップ参加の状況  
(大学4年生・大学院2年生、インターンシップに1回のみ参加)



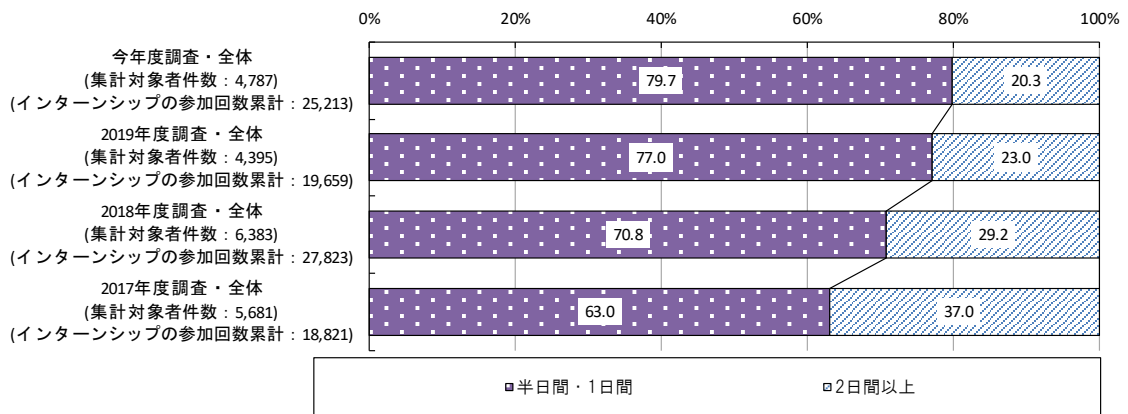
(大学4年生・大学院2年生、インターンシップに複数回参加)



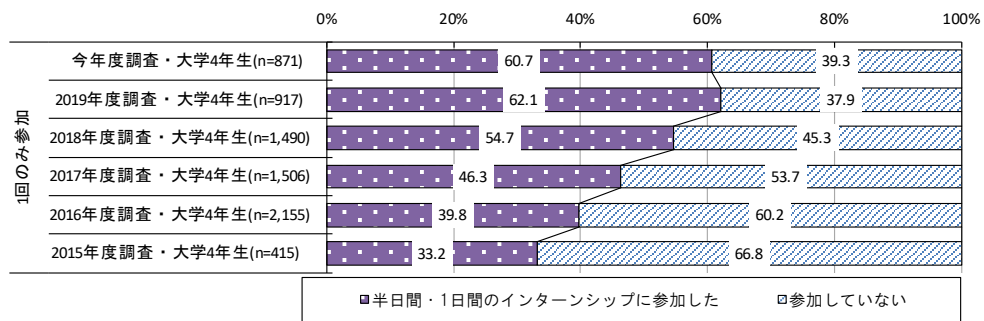
<sup>56</sup> 1回のみ参加したことがある場合にはその日数に関して、複数回参加したことがある場合には「半日」または「1日」のインターンシップに参加したと回答したか否かという点から、参加の有無について判断をした。なお、2018年度調査以前に関して複数回参加したことがある場合には、「最短の日数」に関する回答について集計し、1日間のインターンシップの参加の有無について判断をした。

<sup>57</sup> 2015年度調査・2016年度調査では当該設問について調査を実施していない。

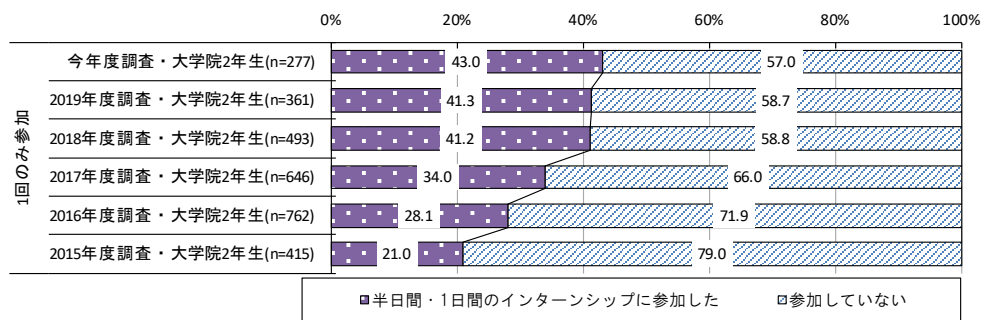
図表 3-9-5 参加したインターンシップが半日間・1日間であった割合  
 (インターンシップへの参加回数累計による集計)  
 (大学4年生・大学院2年生)



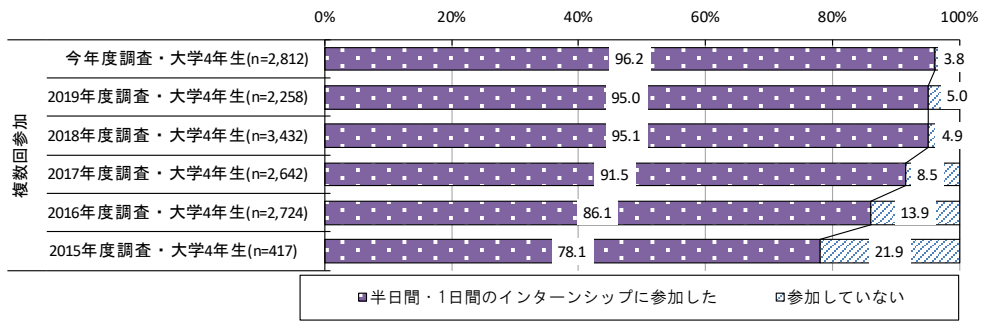
図表 3-9-6 インターンシップ参加経験者の1日間のインターンシップ参加の状況  
 (大学4年生、インターンシップに1回のみ参加)



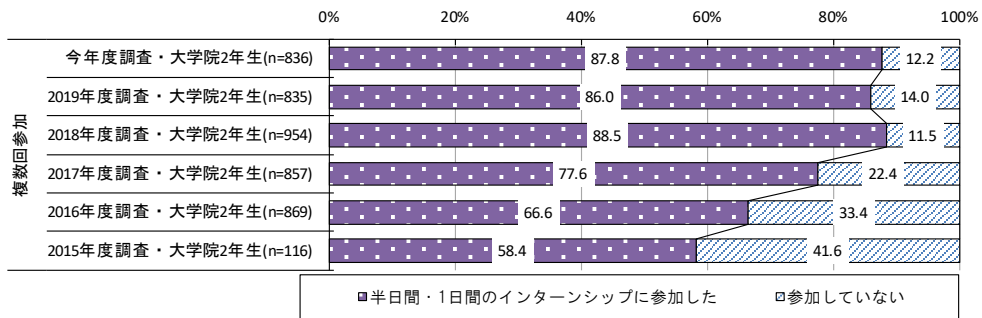
(大学院2年生、インターンシップに1回のみ参加)



(大学4年生、インターンシップに複数回参加)

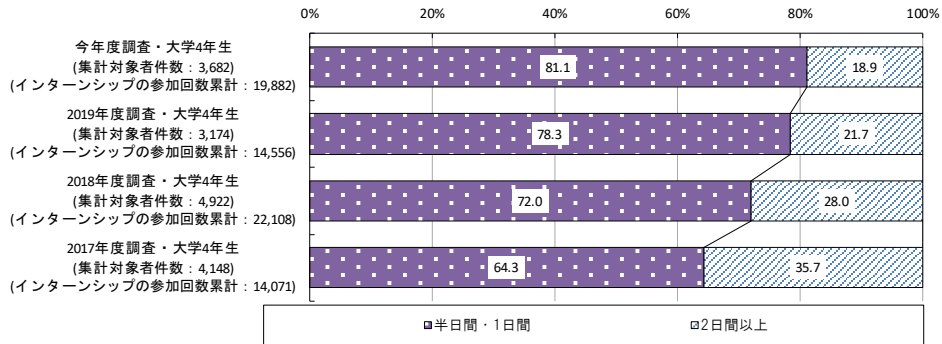


(大学院2年生、インターンシップに複数回参加)

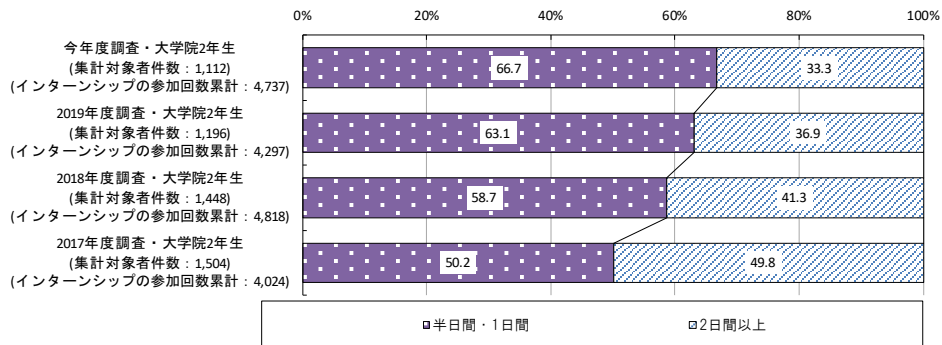


図表 3-9-7 参加したインターンシップが半日間・1日間のインターンシップであった割合 (インターンシップへの参加回数累計による集計)

(大学4年生)



(大学院2年生)





### ⑤参加したインターンシップの就業体験等との関係性

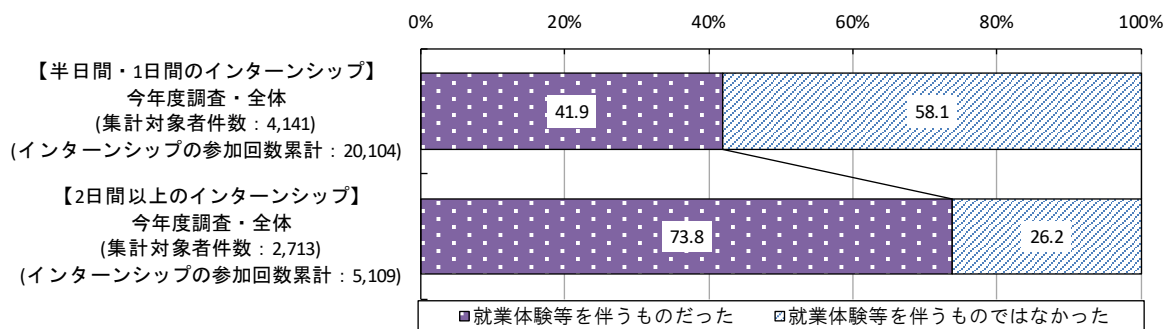
参加したインターンシップのなかで、就業体験等<sup>58</sup>を伴っていたかどうかを集計すると<sup>59</sup>、「半日間・1日間のインターンシップ」に関して、就業体験を伴うものだった割合は約4割であり、「2日間以上のインターンシップ」に関して、その割合は約7割となっている。

2019年度調査と比較すると、「半日間・1日間のインターンシップ」「2日間以上のインターンシップ」いずれについても、「就業体験等を伴うものだった」の回答割合はほぼ同様となっている。

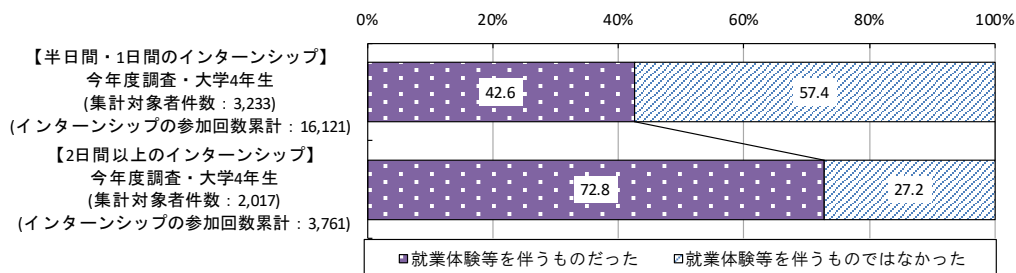
図表 3-9-8 参加したインターンシップの就業体験等との関係性

(参加したインターンシップの回数累計による集計)

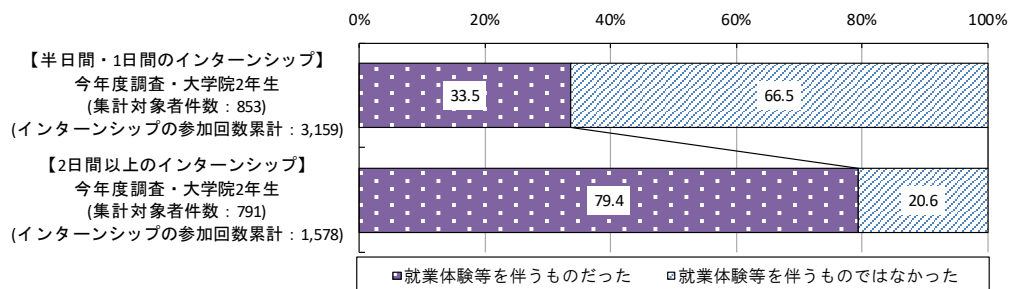
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)

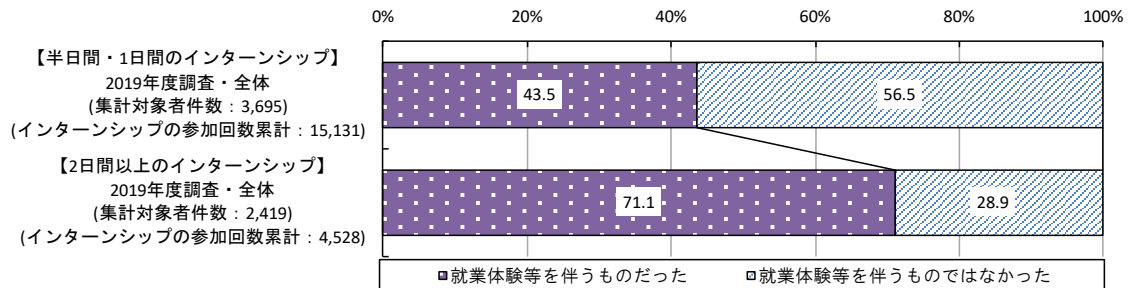


<sup>58</sup> 就業体験等とは、職場での業務体験や課題解決のワークショップ等を経験するもので、企業の業務内容の説明や職場見学のみものは含まない旨、回答者に案内した上で調査を行った。

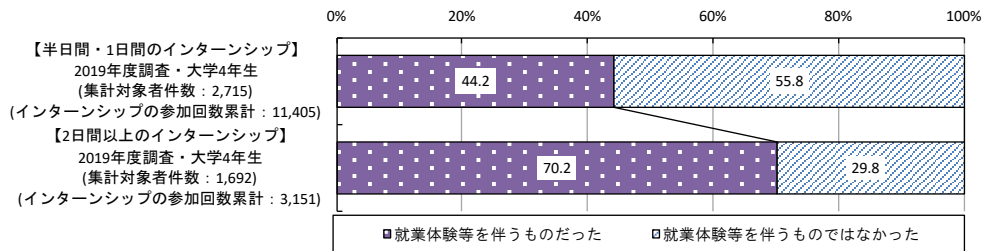
<sup>59</sup> 2018年度調査以前は当該設問について調査を実施していない。2017年度調査・2018年度調査については「1日間のインターンシップ」に関して、それが就業体験等を伴うものであったかを調査しているが、2019年度調査・今年度調査とは異なる方法で設問の設定を行っていることから、直接的な比較は行わなかった。

図表 3-9-9 2019 年度調査、1 日間のインターンシップの就業体験等との関係性  
 (参加したインターンシップへの参加回数累計による集計)

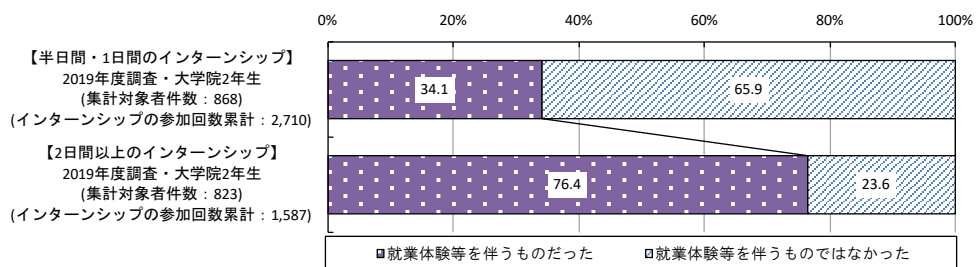
(大学 4 年生・大学院 2 年生)



(大学 4 年生)



(大学院 2 年生)

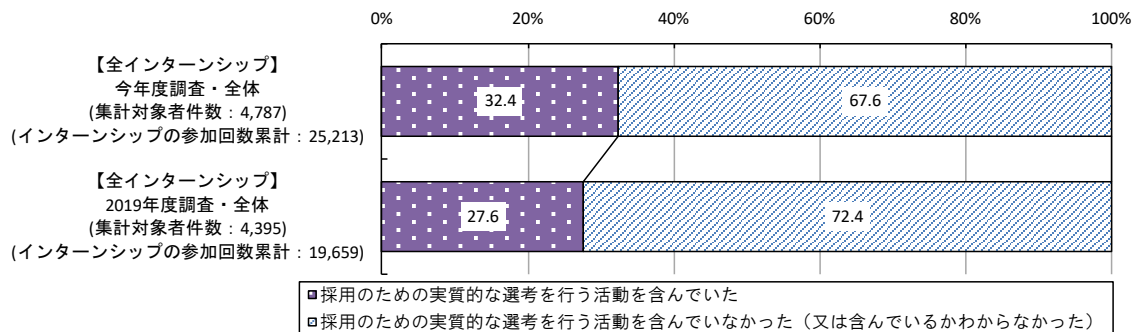


## ⑥インターンシップにおける実質的な選考実施の有無

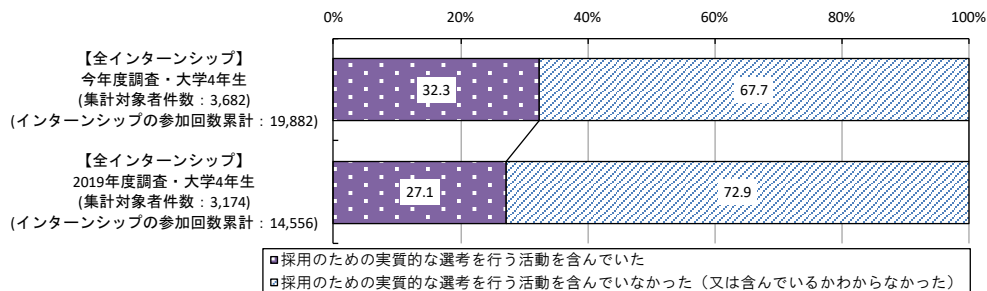
参加したインターンシップのなかで、採用のための実質的な選考を行う活動<sup>60</sup>を含んでいたかどうかを集計すると約3割が実質的な選考を行う活動を含むものであった。

2019年度調査と比較すると、含んでいたとする回答の割合が若干高くなっている<sup>61</sup>。

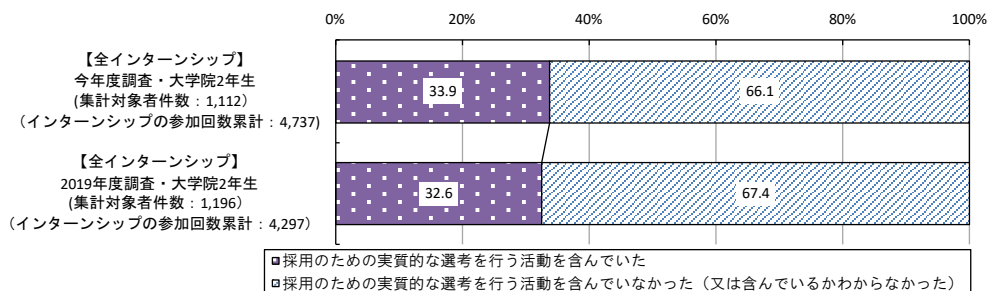
図表 3-9-10 インターンシップにおける実質的な選考実施の有無  
(参加したインターンシップの回数累計による集計)  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



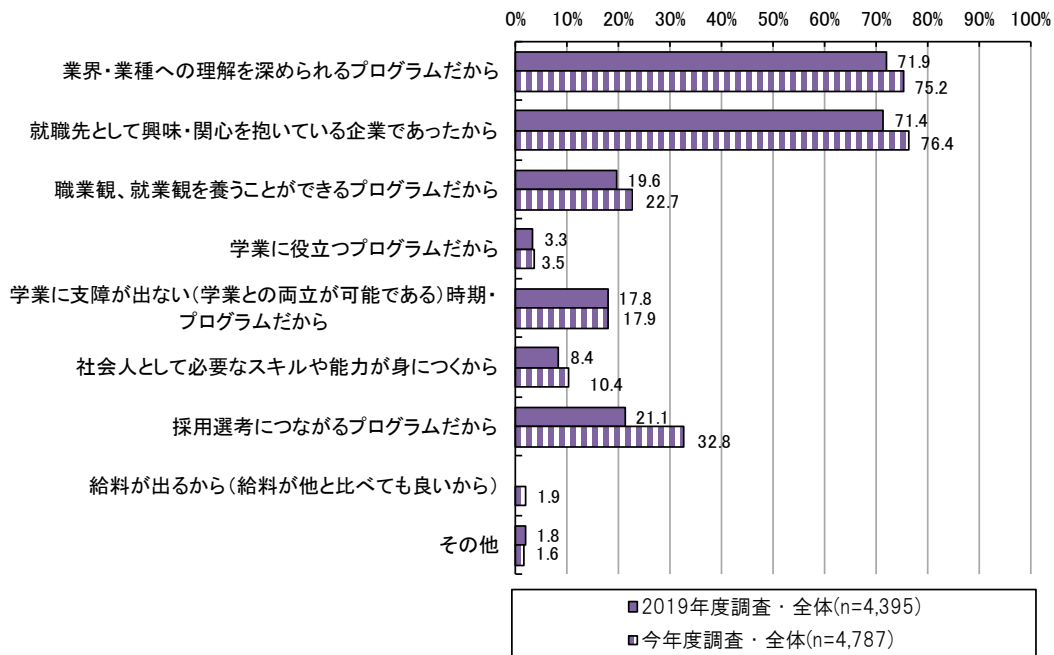
<sup>60</sup> 「採用のための実質的な選考を行う活動」とは、インターンシップの参加が採用面接を受けるための必須条件になっていた、インターンシップの結果が内々定の獲得に影響したりすることとして考えていただくよう、回答者に案内した上で調査を行った。また、終了後にインターンシップ参加者だけの説明会に呼ばれたという場合等も含んでいたようにした。

<sup>61</sup> 2018年度調査以前は当該設問について調査を実施していない。

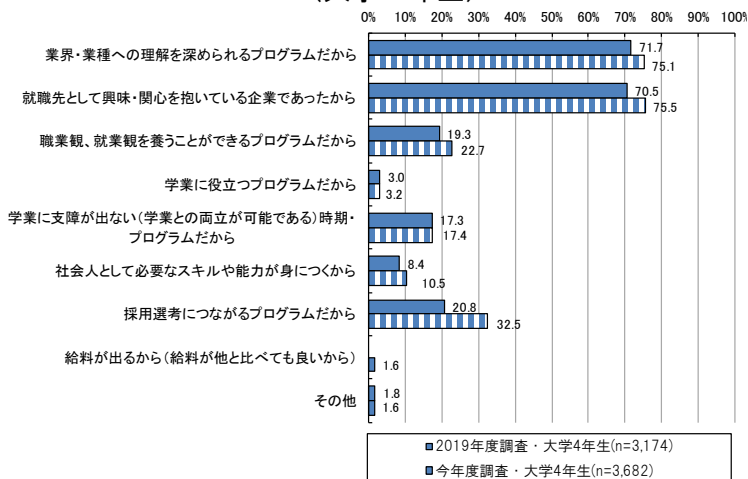
### ⑦インターンシップ先を選択した理由

どのような基準でインターンシップ先を選択したかについて、「業界・業種への理解を深められるプログラムだから」「就職先として興味・関心を抱いている企業であったから」の回答割合がそれぞれ約8割となっており、2019年度調査と比較して高くなっている<sup>62</sup>。なお、「採用選考につながるプログラムだから」の回答割合も約3割と比較的高く、2019年度調査と比較して高くなっている。

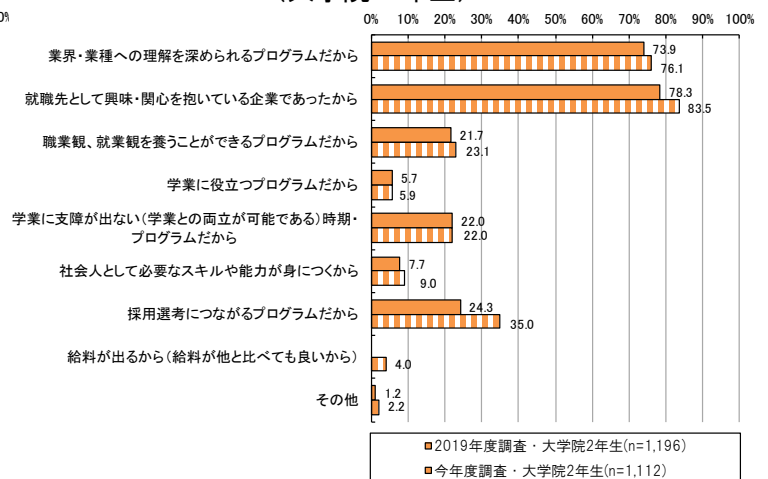
図表 3-9-11 インターンシップ先を選択した理由（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



(大学4年生)



(大学院2年生)



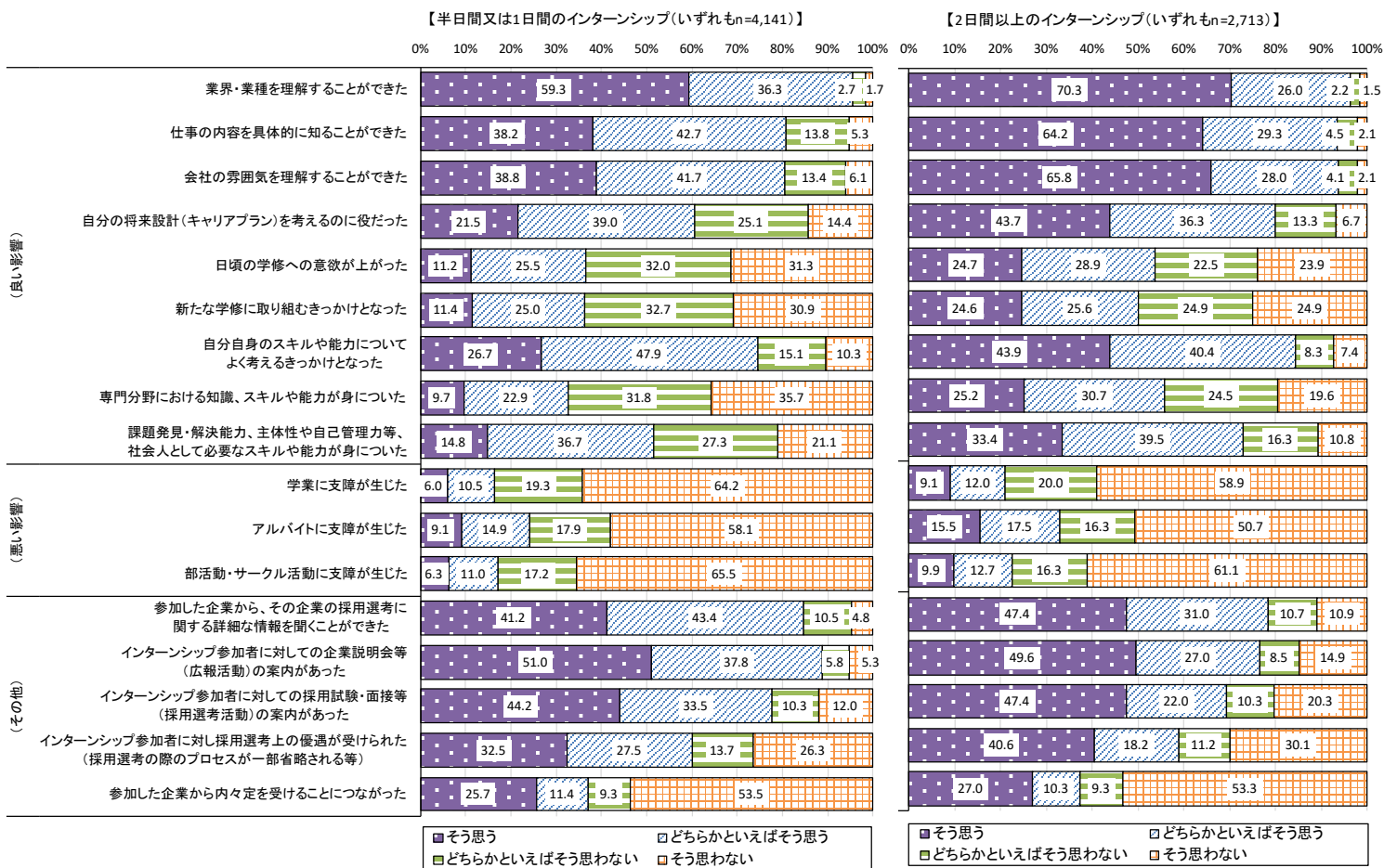
<sup>62</sup> 2018年度調査以前は当該設問について調査を実施していない。また、「給料が出るから(給料が他と比べても良いから)」の調査項目は今年度調査で新たに設けた項目である。

### ⑧インターンシップの効果についての認識

インターンシップに参加してどのような効果があったと感じたか<sup>63</sup>について、参加したインターンシップの日数別に集計すると<sup>64</sup>、「半日又は1日間のインターンシップ」「2日間以上のインターンシップ」ともに、「業界・業種を理解することができた」について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が9割以上と高くなっている。このほか、「仕事の内容を具体的に知ることができた」など、「良い影響」と考えられる点について、「半日間又は1日間のインターンシップ」に比べ「2日間以上のインターンシップ」の方が「そう思う」「どちらかといえばそう思う」の回答割合が高くなっている。

2019年度調査と比較すると、「半日又は1日間のインターンシップ」「2日間以上のインターンシップ」ともに、「参加した企業から、その企業の採用選考に関する詳細な情報を聞くことができた」などの「その他」の影響について、「そう思う」「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合が高くなっている。

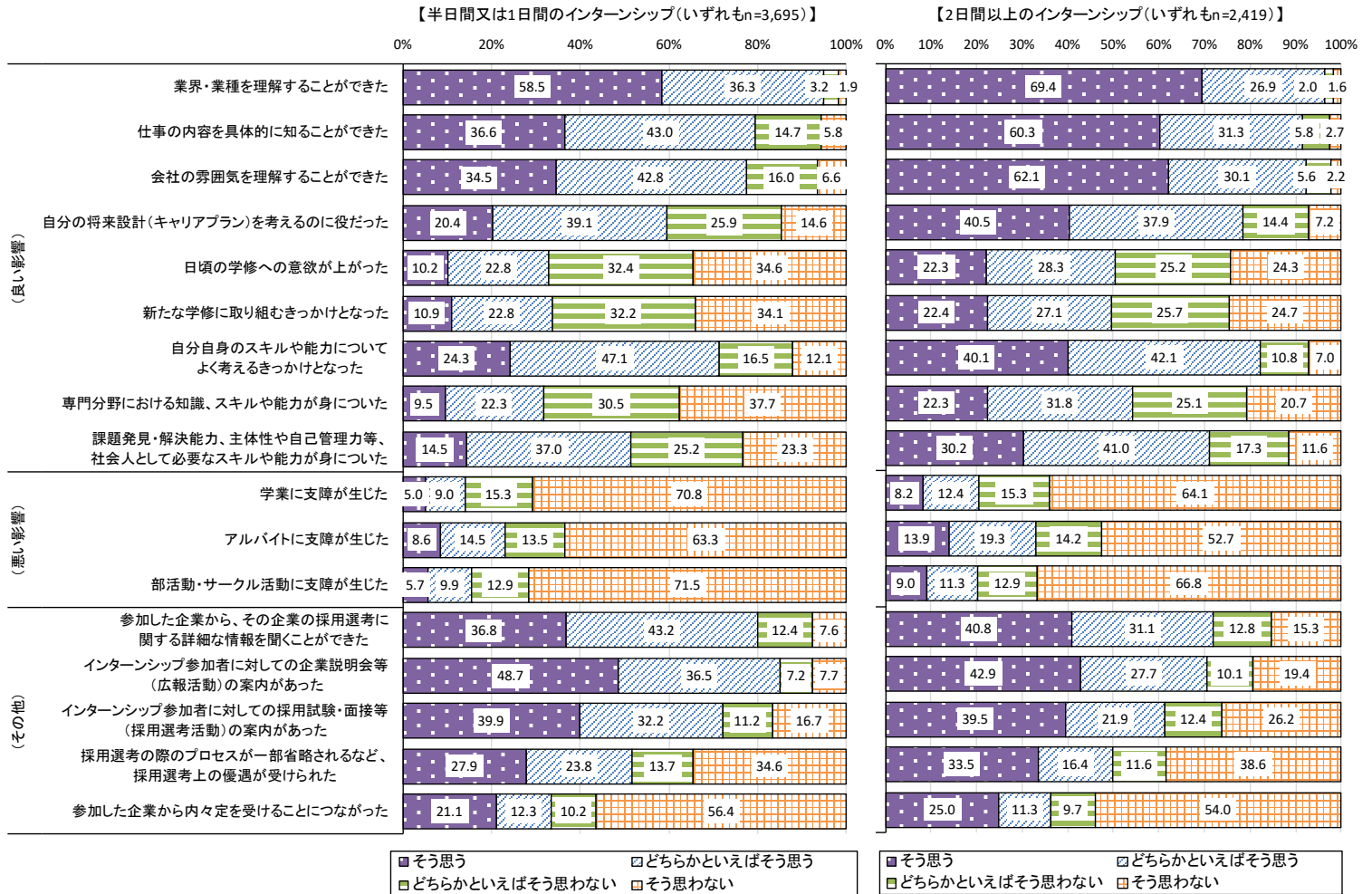
図表 3-9-12 インターンシップに参加して感じた効果  
(大学4年生・大学院2年生)



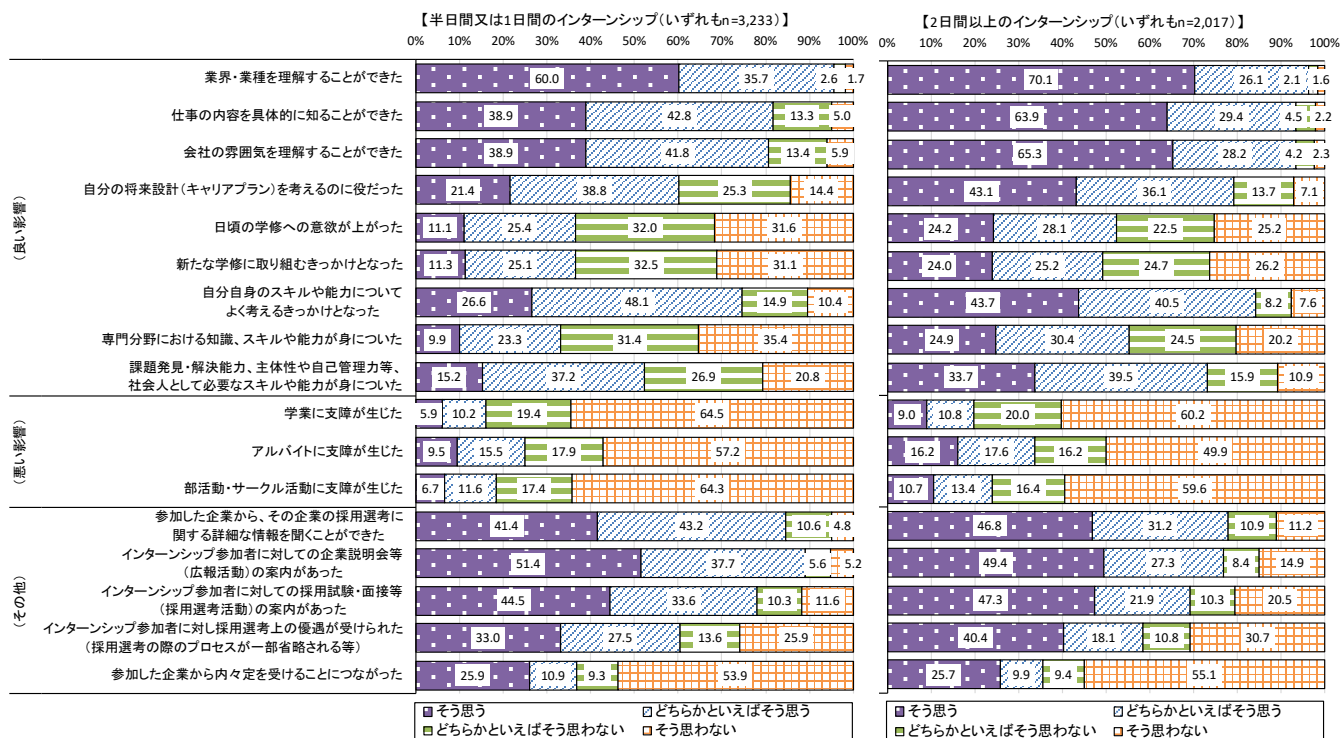
<sup>63</sup> 2015年度調査～2017年度調査では当該設問について調査を実施していない。2018年度調査では同内容の設問を設定しているが、マルチアンサー形式での項目としていることから、今年度調査との比較は行っていない。

<sup>64</sup> 「半日間又は1日間のインターンシップ」についての集計対象者は、「インターンシップに1回のみ、半日間又は1日間参加した」、「インターンシップに複数回参加していずれも半日間又は1日間であった」、「インターンシップに複数回参加して半日間又は1日間のインターンシップに参加したことがある」のいずれかに該当する者である。「2日間以上のインターンシップ」についての集計対象者は、「インターンシップに1回のみ、2日間以上参加した」、「インターンシップに複数回参加していずれも2日間以上であった」、「インターンシップに複数回参加して2日間以上のインターンシップに参加したことがある」のいずれかに該当する者である。インターンシップに複数回参加して半日間又は1日間のものと2日間以上のものいずれにも参加したことがある場合は、参加したことがあるインターンシップについて「半日間又は1日間であったもの」と「2日間以上であったもの」のそれぞれについて回答いただくように設問を設定した。

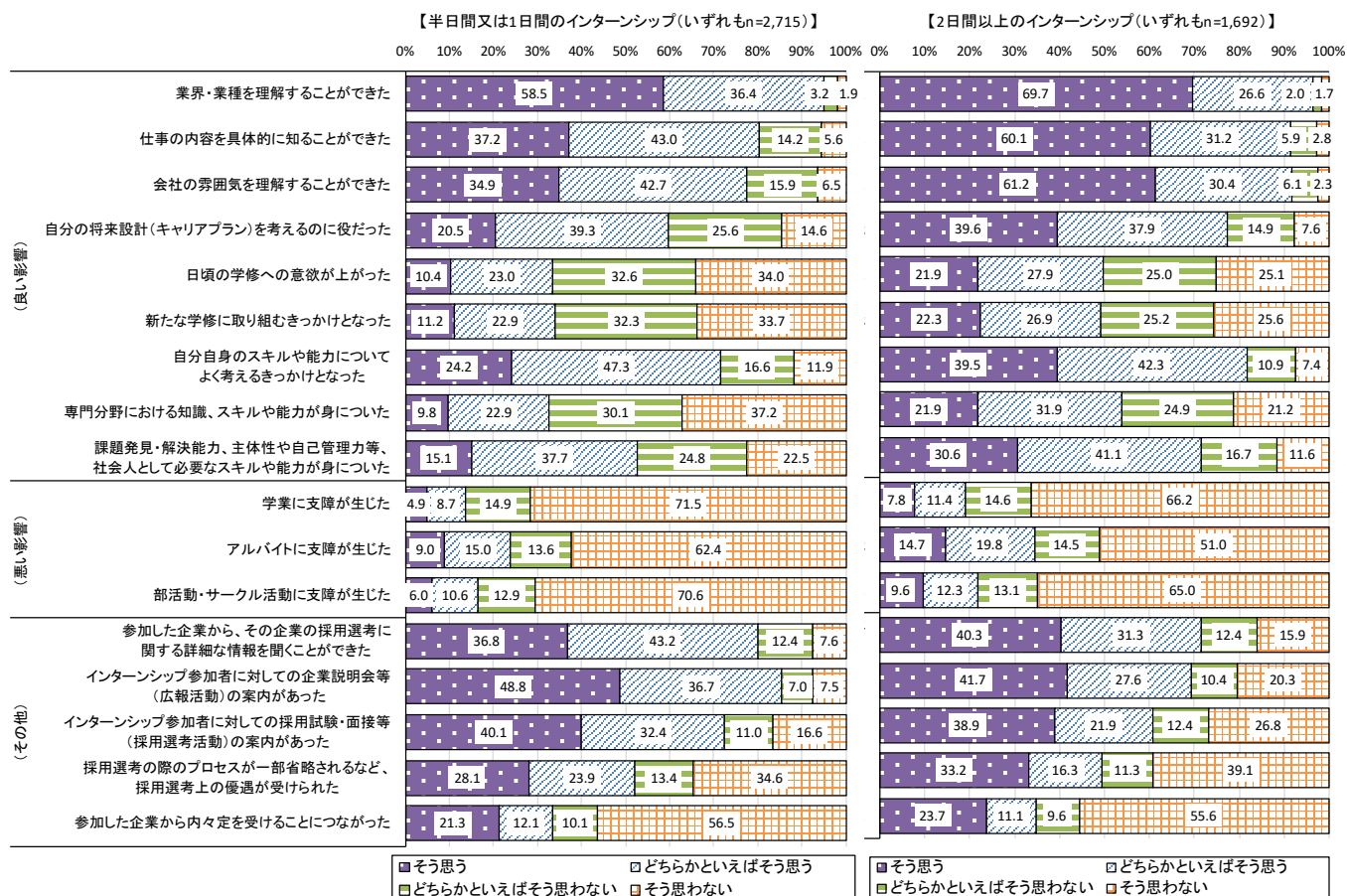
図表 3-9-13 2019 年度調査、インターンシップに参加して感じた効果  
(大学4年生・大学院2年生)



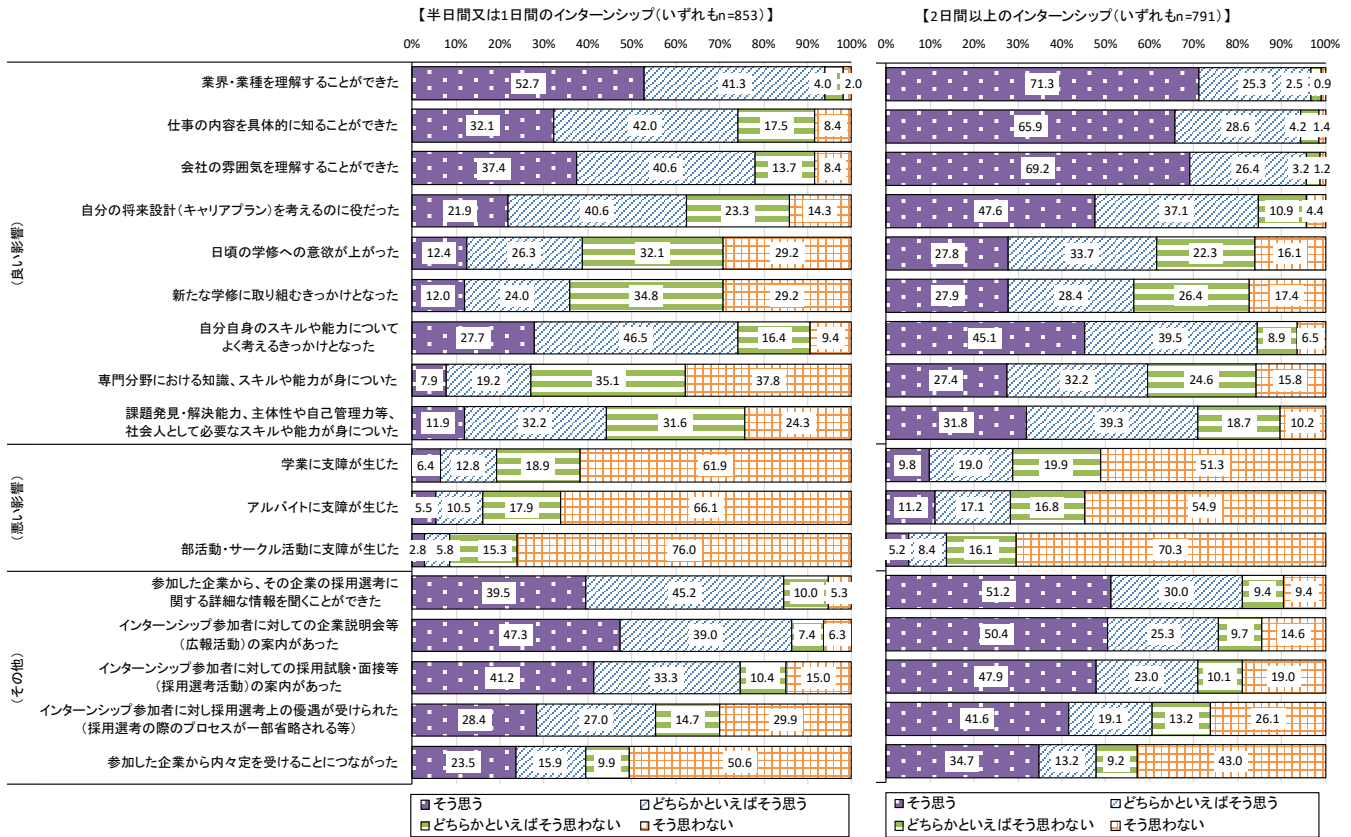
図表 3-9-14 インターンシップに参加して感じた効果  
(大学4年生)



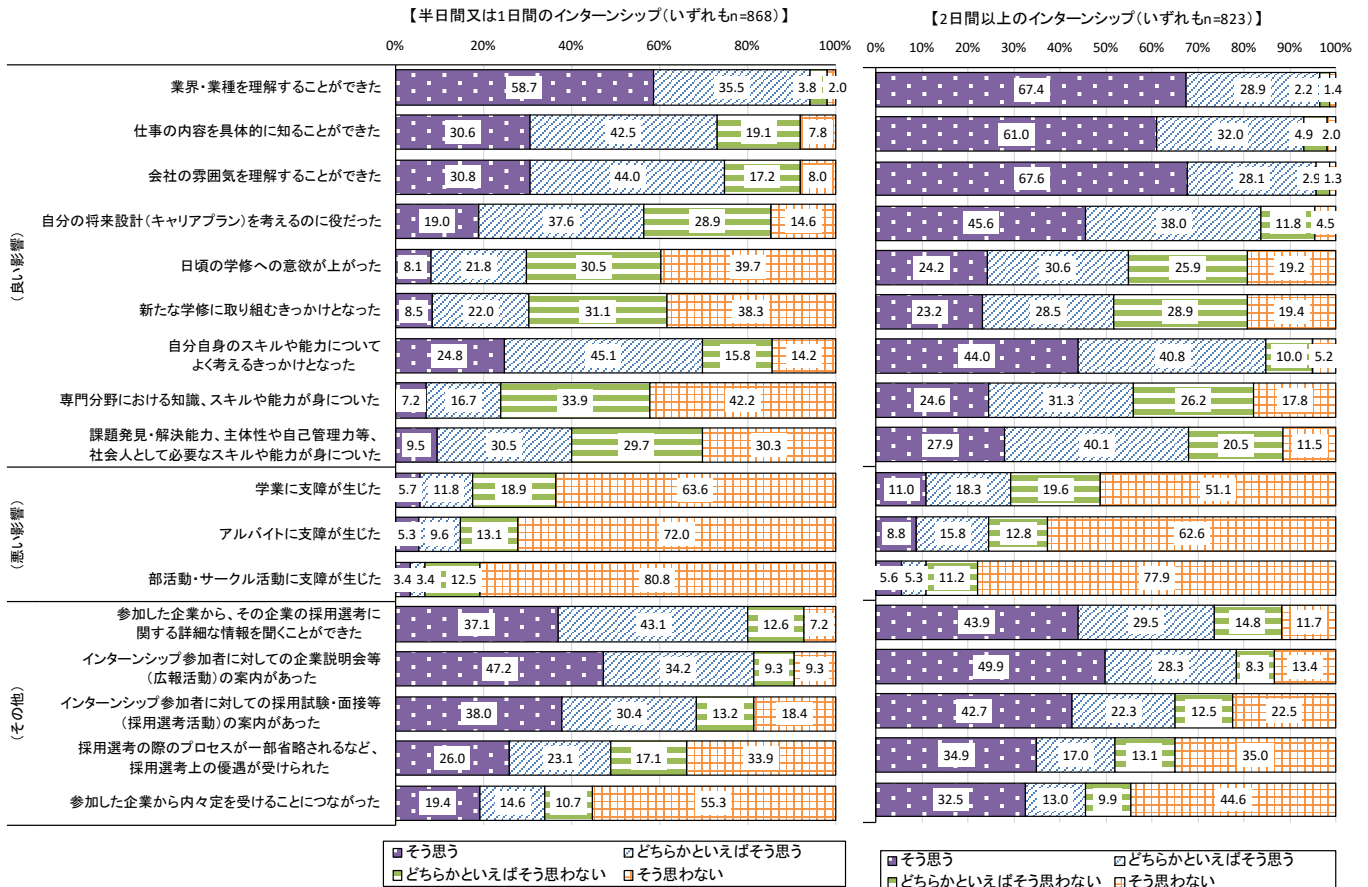
図表 3-9-15 2019年度、インターンシップに参加して感じた効果  
(大学4年生)



図表 3-9-16 インターンシップに参加して感じた効果  
(大学院2年生)



図表 3-9-17 2019年度調査、インターンシップに参加して感じた効果  
(大学院2年生)



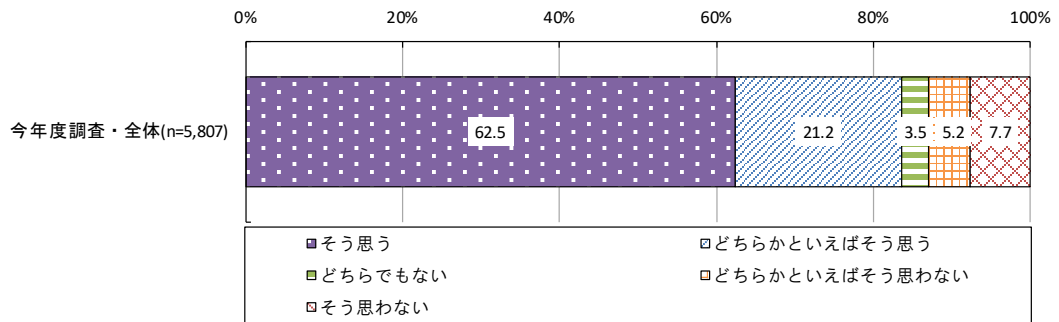


## (10) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響

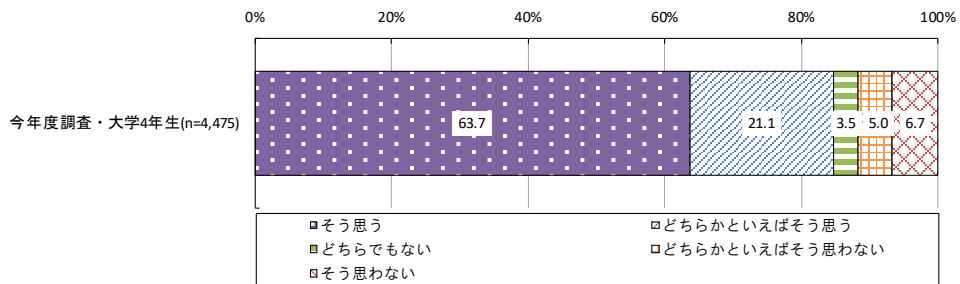
### ① 就職活動全般に対する新型コロナウイルス感染症の影響

就職活動全般について、新型コロナウイルス感染症によって影響を受けたと思うかについて、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約8割となっている。

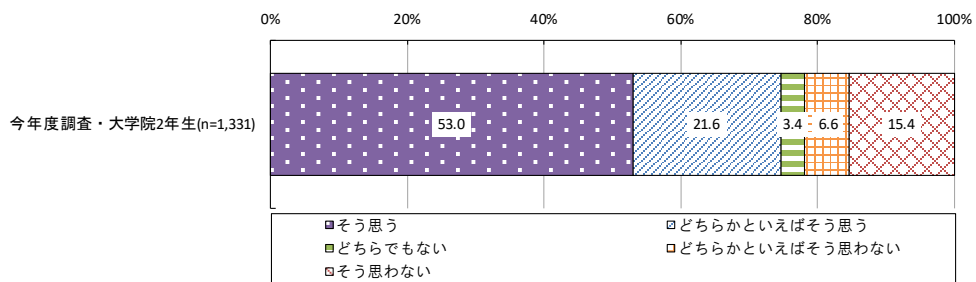
図表 3-10-1 就職活動全般に対する新型コロナウイルス感染症の影響  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



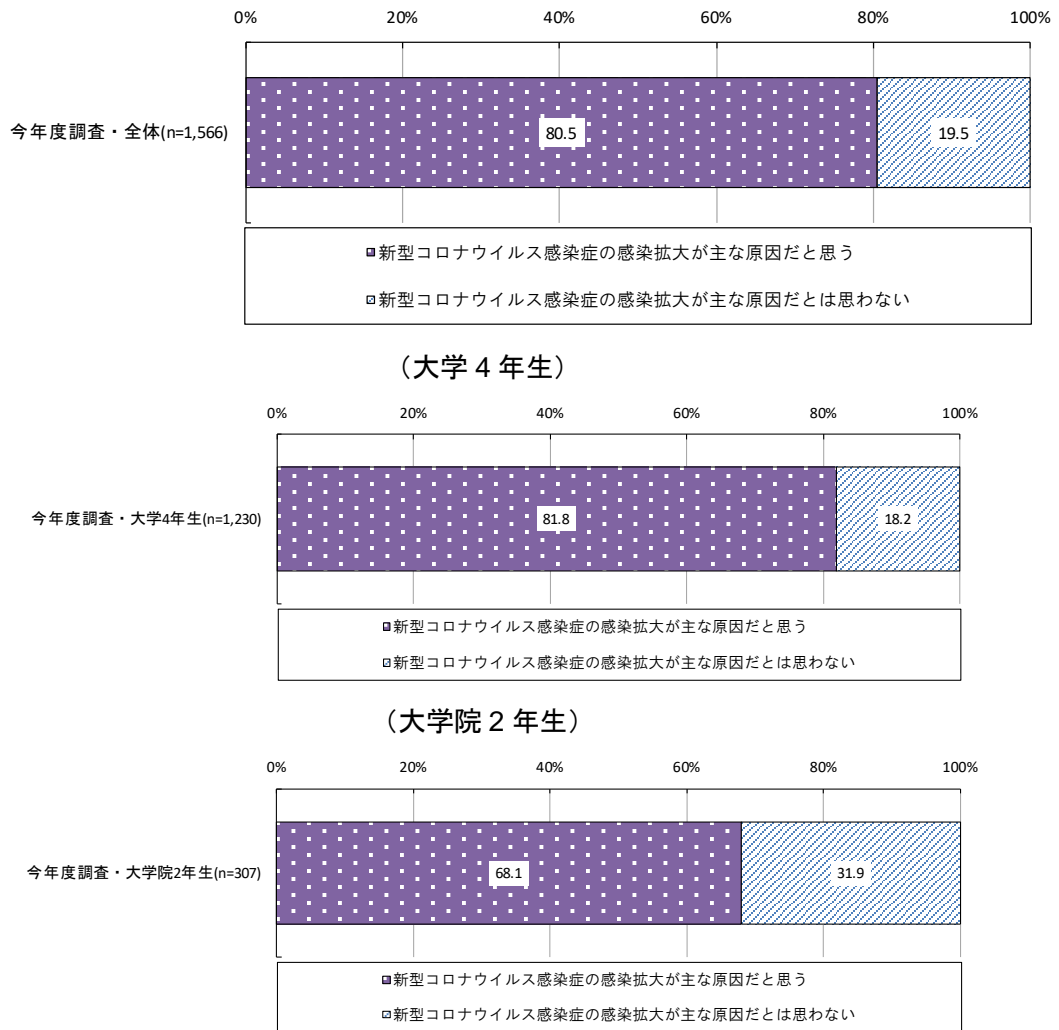
#### (大学院2年生)



②学生が就職活動の予定をたてる際の新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響

どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてるのが難しかったことについて、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大が主な原因だと思う」と回答した割合は、約8割となっている<sup>65</sup>。

図表 3-10-2 就職活動の予定をたてるのが難しかった原因  
(大学4年生・大学院2年生)



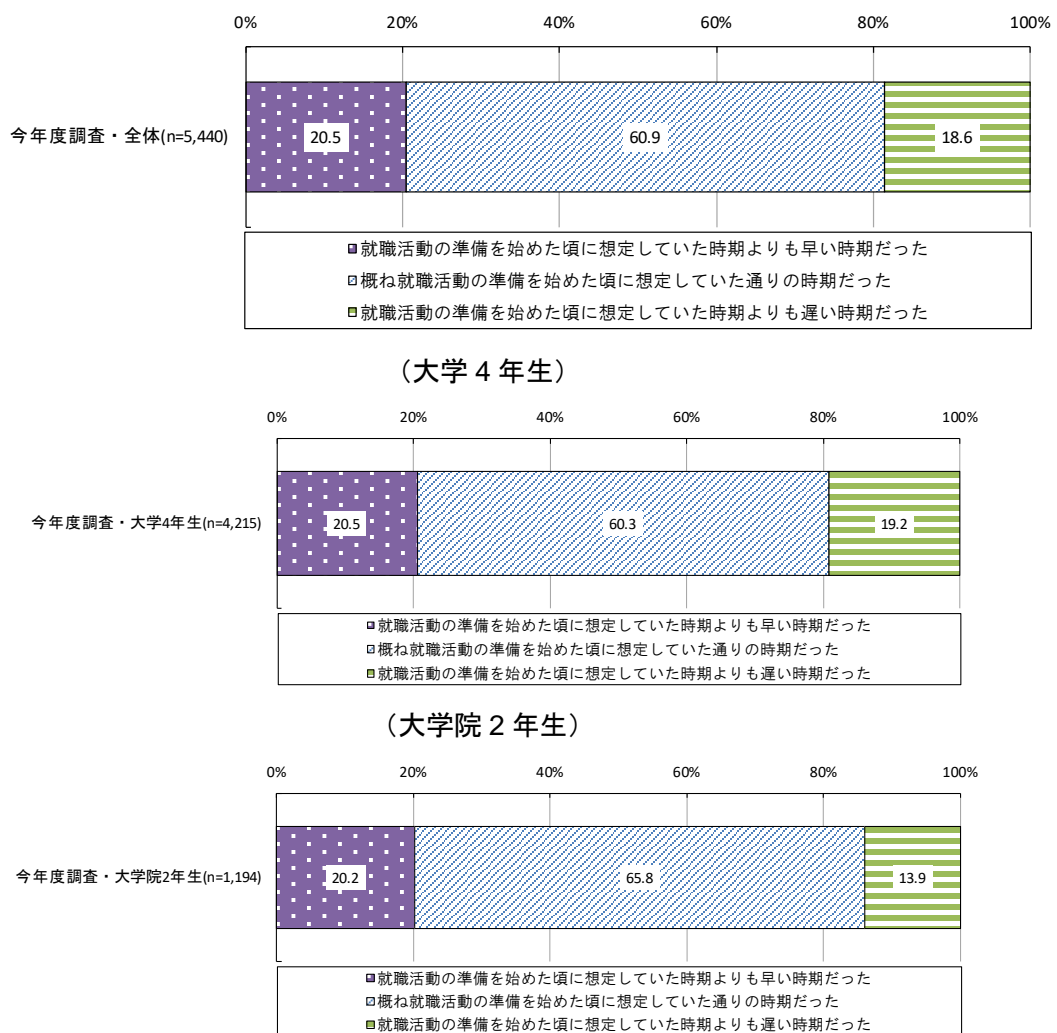
<sup>65</sup> 就職・採用活動時期に関し、昨年度と同様の時期に設定されたことについて、「どの時期にどのような就職活動をするか予定をたてやすく準備・行動ができた」に、「どちらかといえばそう思わない」、または「そう思わない」と回答した者のみを集計対象とした。

### ③企業説明会やセミナー等への参加時期についての就職活動初期の想定とのずれの状況

企業説明会やセミナー等への参加時期が就職活動の準備を始めた頃に想定していた時期だったかについて、「概ね就職活動の準備を始めた頃に想定していた通りの時期だった」との回答が約 6 割となっている<sup>66</sup>。なお、「就職活動の準備を始めた頃に想定していた時期よりも遅い時期だった」との回答は約 2 割となっている。

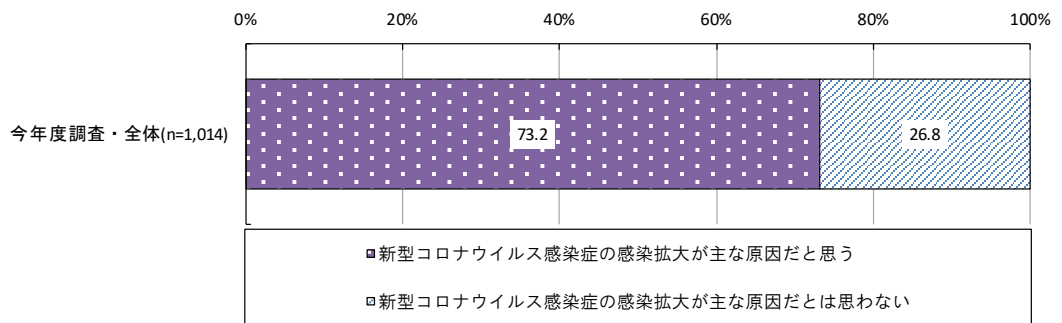
「就職活動の準備を始めた頃に想定していた時期よりも遅い時期だった」と回答した者にその原因について尋ねたところ、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大が主な原因だと思う」との回答が約 7 割となっている。

図表 3-10-3 企業説明会やセミナー等への参加時期についての就職活動初期の想定とのずれの状況  
(大学4年生・大学院2年生)

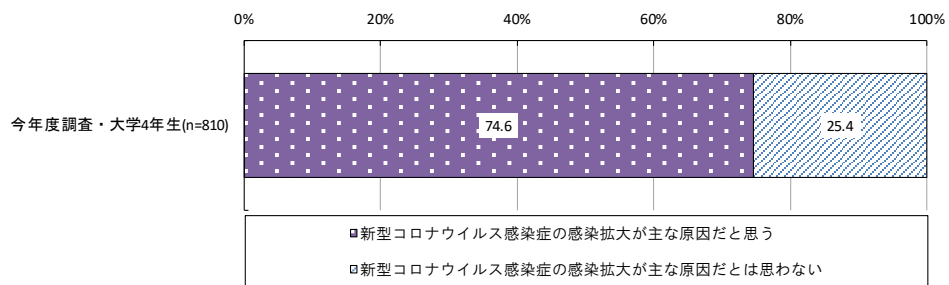


<sup>66</sup> 企業説明会やセミナー等に「特段参加しなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

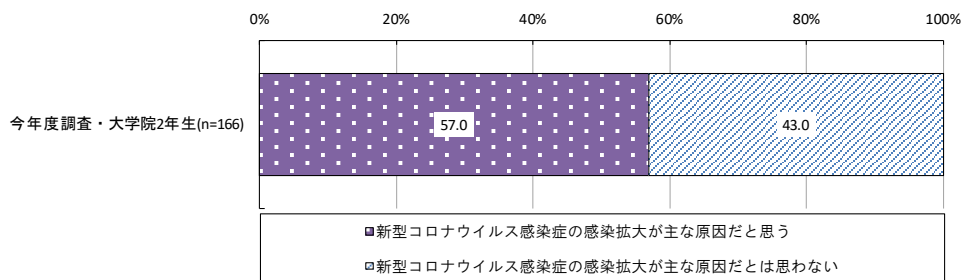
図表 3-10-4 企業説明会やセミナー等への参加が就職活動初期の想定より遅い時期であった原因  
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)

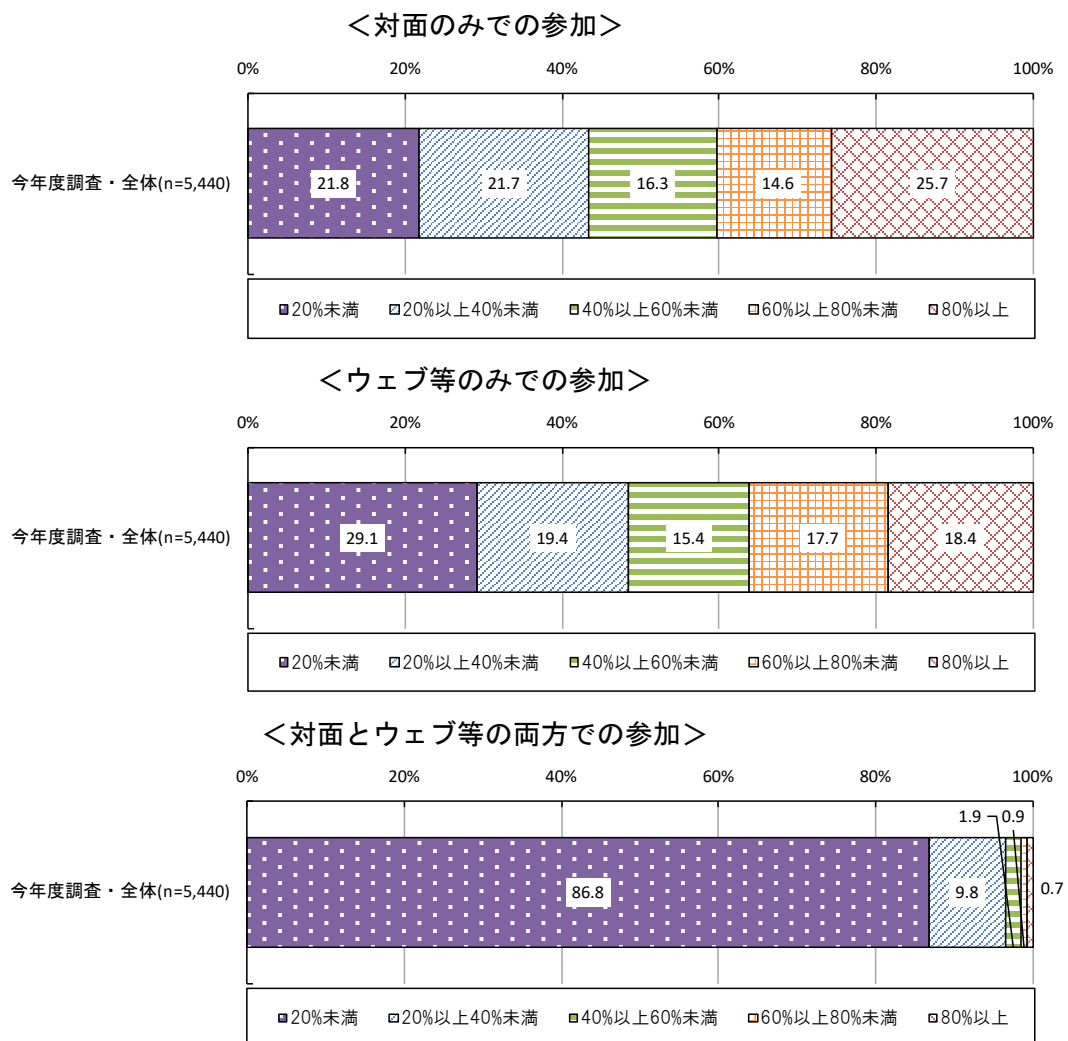


#### ④企業説明会やセミナー等への参加数に対する方法別参加数の割合

企業説明会やセミナー等に参加した企業数の合計に対して、「対面のみでの参加」「ウェブ等のみでの参加」「対面とウェブ等の両方での参加」であった企業数の割合を集計した。参加方法別に回答をみると、集計対象者の約3割が、参加した企業説明会やセミナー等のうち「対面のみでの参加」が「80%以上」となっていた。また、集計対象者の約3割が「ウェブ等のみでの参加」が「20%未満」であり、約9割が「対面とウェブ等の両方での参加」が「20%未満」であったと回答している<sup>67</sup>。

また、企業説明会やセミナー等について参加した方法すべての企業数を累計<sup>68</sup>し、参加方法別の件数が占める割合を集計したところ、「ウェブ等のみでの参加」が約5割と最も多く、次いで「対面のみでの実施」が多くなっている。

図表 3-10-5 企業説明会やセミナー等への参加方法の状況  
(大学4年生・大学院2年生)

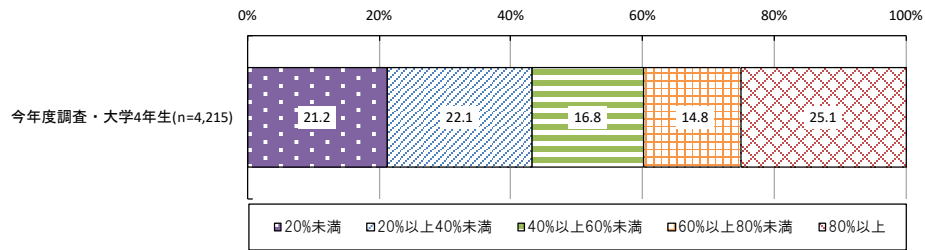


<sup>67</sup> 企業説明会やセミナー等について、「対面のみでの参加」「ウェブ等のみでの参加」「対面とウェブ等の両方での参加」であったと回答した企業数それぞれを、「参加した合計の企業数」で除した割合について集計している。

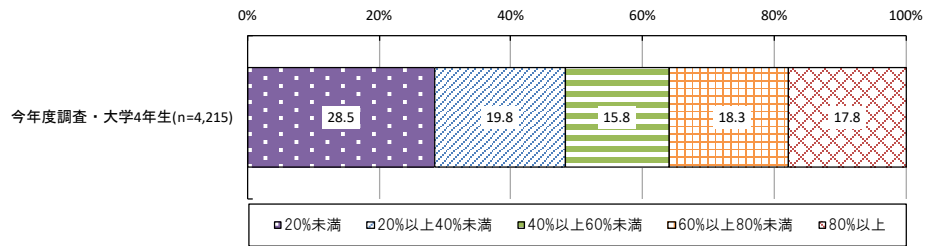
<sup>68</sup> 今年度調査においては、合計で何社の企業説明会やセミナー等に参加したかを尋ねる設問と、対面での参加、ウェブ等での参加の方法別に尋ねる設問を設けているが、前者の「参加した合計の企業数」と後者の「方法別で尋ねた企業数」の合計は必ずしも一致せずとも回答が可能なように設定したことから、前者ではなく後者の合計を用いて累計の値とした。

(大学4年生)

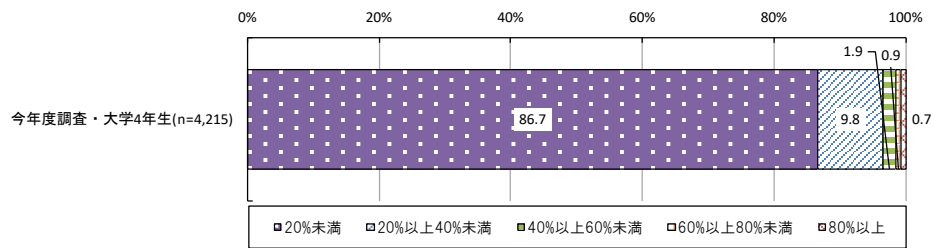
<対面のみでの参加>



<ウェブ等のみでの参加>

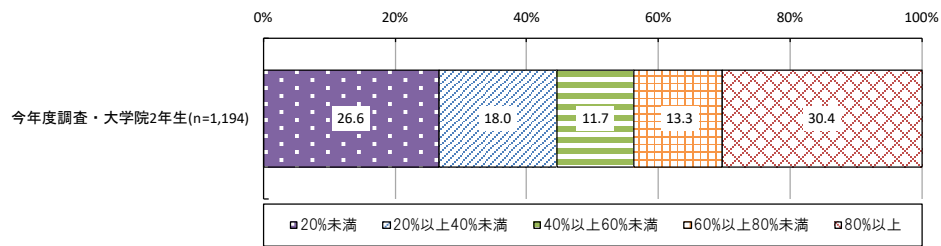


<対面とウェブ等の両方での参加>

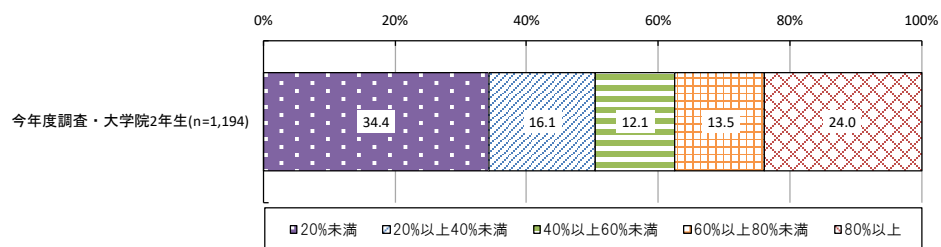


(大学院2年生)

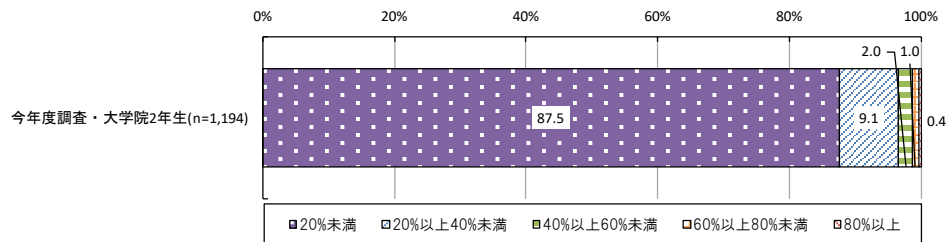
<対面のみでの参加>



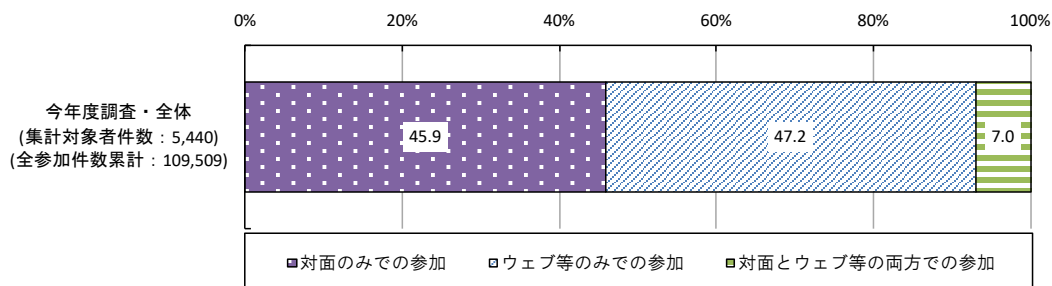
<ウェブ等のみでの参加>



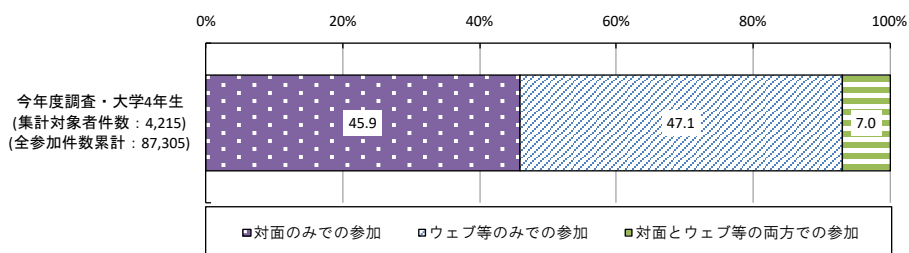
<対面とウェブ等の両方での参加>



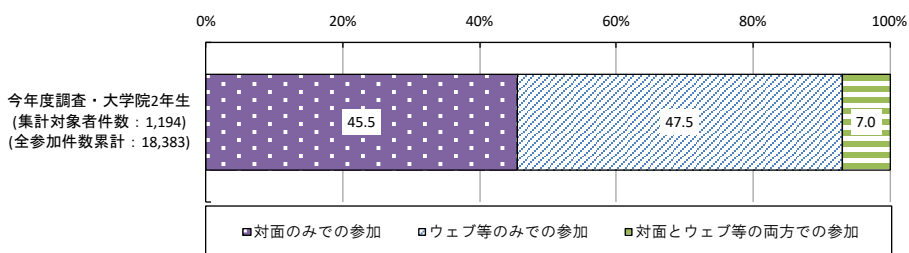
図表 3-10-6 参加した企業説明会やセミナー等の参加方法との関係  
 (参加した企業説明会やセミナー等の企業数累計による集計)  
 (大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)

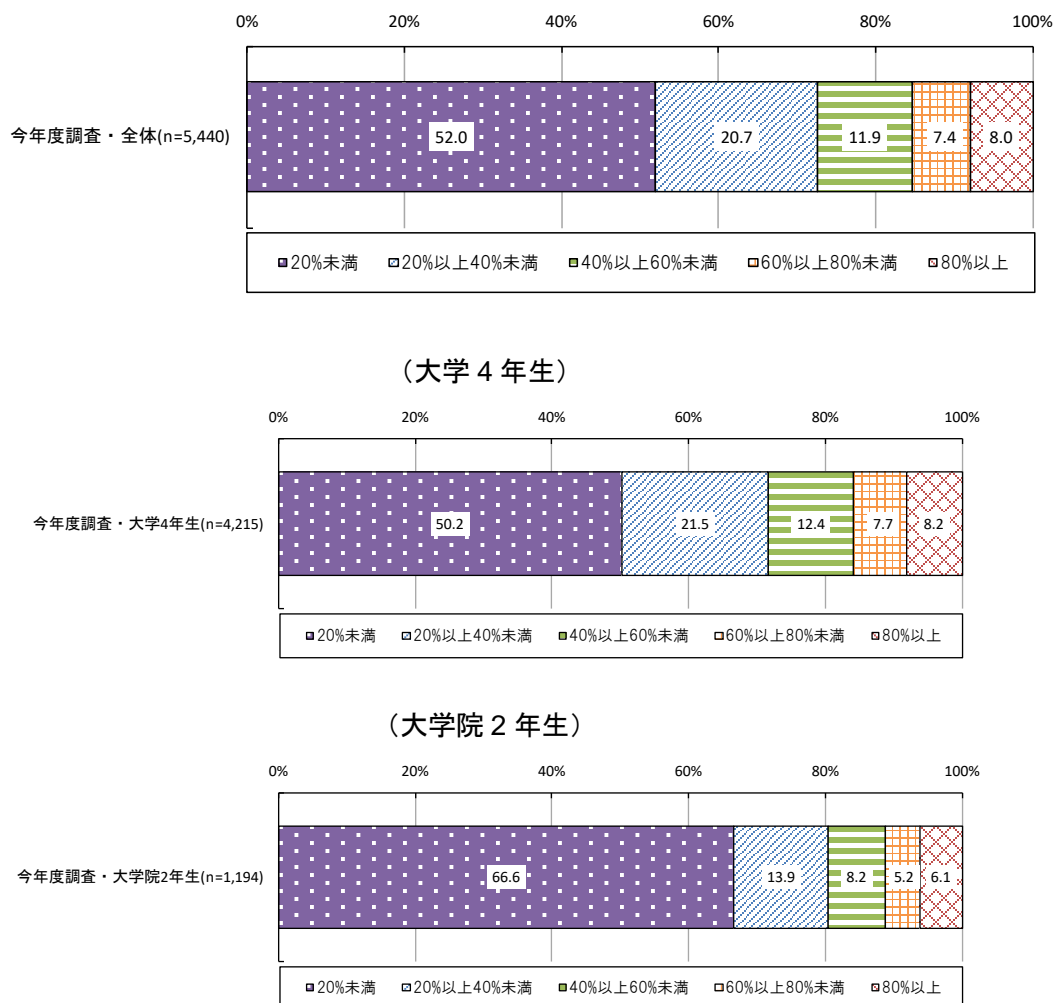


### ⑤新型コロナウイルス感染症による企業説明会やセミナー等の後ろ倒し・中止の状況

参加をした企業説明会やセミナー等に対する、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、当初の予定より開催時期が後ろ倒しに変更されたものの割合について集計したところ、集計対象の約2割が、企業説明会やセミナー等に参加した企業の60%以上が後ろ倒しに変更されたと回答している<sup>69</sup>。

また参加を予定していた企業説明会やセミナー等で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、開催が中止になったものについて、「1～9社」であった者が約5割となっており、1社以上開催が中止になったと回答した者をみると約7割となっている。

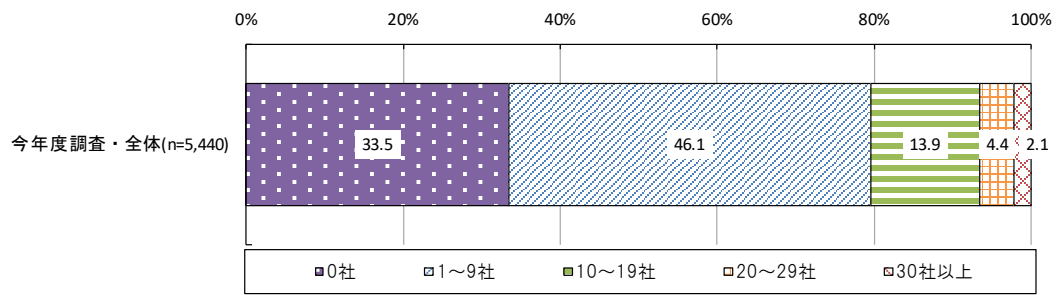
図表 3-10-7 企業説明会やセミナー等の開催時期が後ろ倒しに変更された企業数の割合  
(大学4年生・大学院2年生)



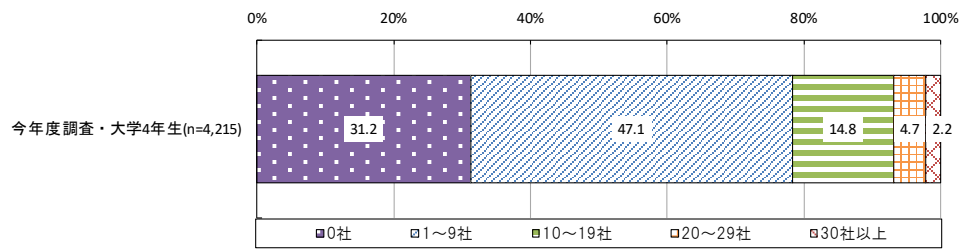
<sup>69</sup> 企業説明会やセミナー等について、「開催時期が後ろ倒しに変更された企業説明会やセミナー等」の企業数を、参加した企業数の合計で除した割合について集計している。



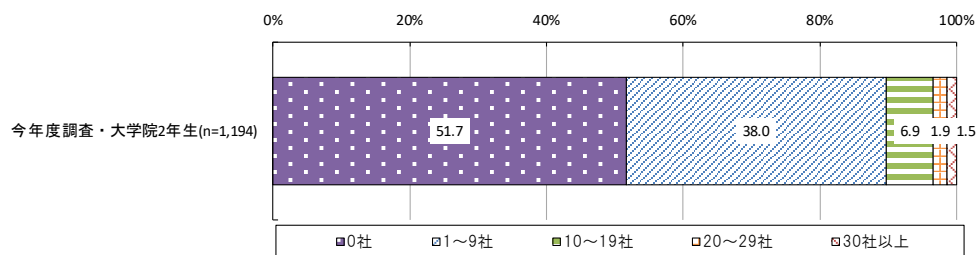
図表 3-10-8 参加を予定していたが開催が中止になった企業説明会やセミナー等の企業数  
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



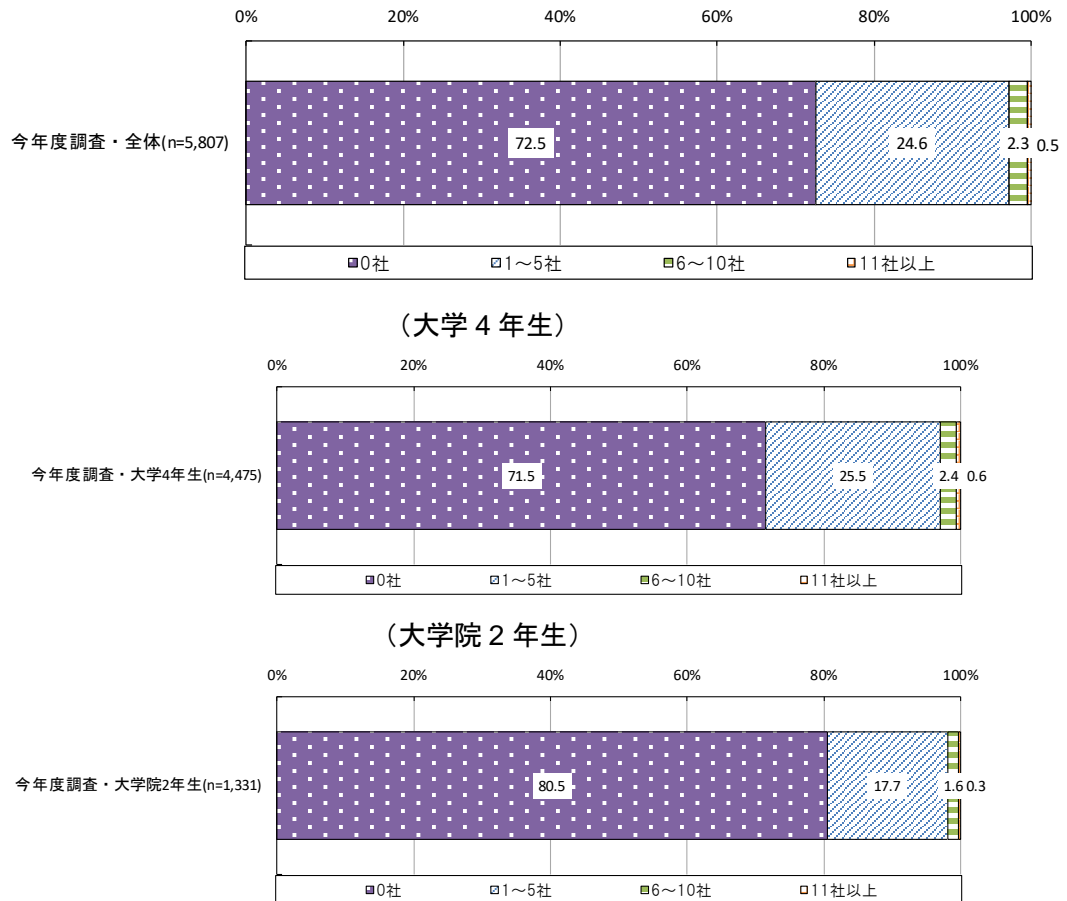
(大学院2年生)



⑥対面で実施された企業説明会やセミナー等における参加動向

参加を予定していた企業説明会やセミナー等で、対面で実施されることを理由として、自ら参加を取りやめたものについて、1社以上と回答した者が約3割となっている。

図表 3-10-9 対面で実施されることが理由で参加を取りやめた企業説明会やセミナー等の企業数  
(大学4年生・大学院2年生)

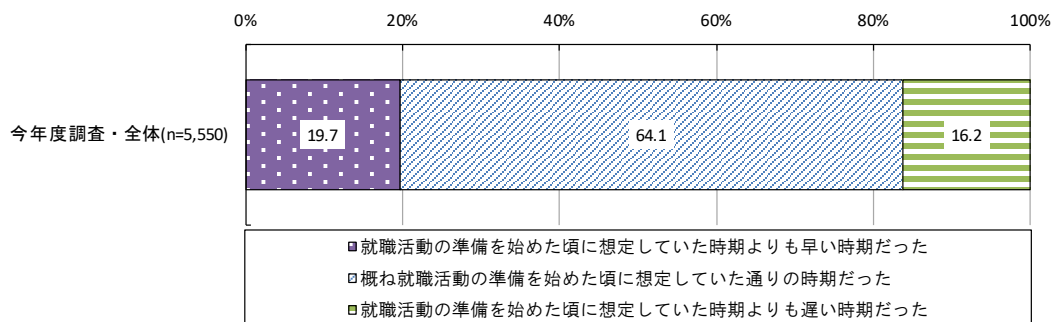


⑦エントリーシートの提出時期についての就職活動初期の想定とのずれの状況

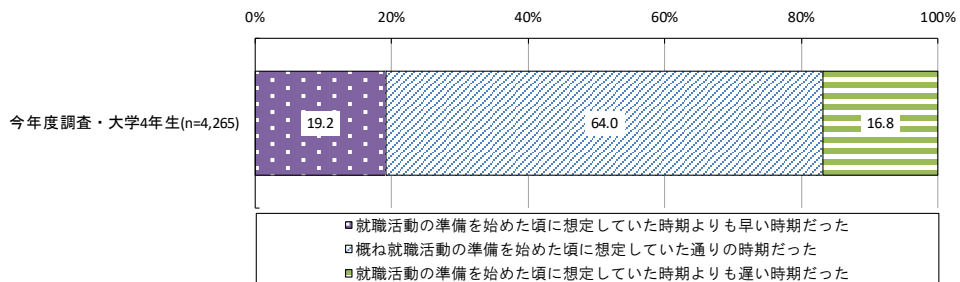
エントリーシートの提出時期が就職活動の準備を始めた頃に想定していた時期だったかについて、「概ね就職活動の準備を始めた頃に想定していた通りの時期だった」との回答は約6割となっている<sup>70</sup>。なお、「就職活動の準備を始めた頃に想定していた時期よりも遅い時期だった」との回答は約2割となっている。

「就職活動の準備を始めた頃に想定していた時期よりも遅い時期だった」と回答した者にその原因を尋ねたところ、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大が主な原因だと思ふ」との回答が約7割となっている。

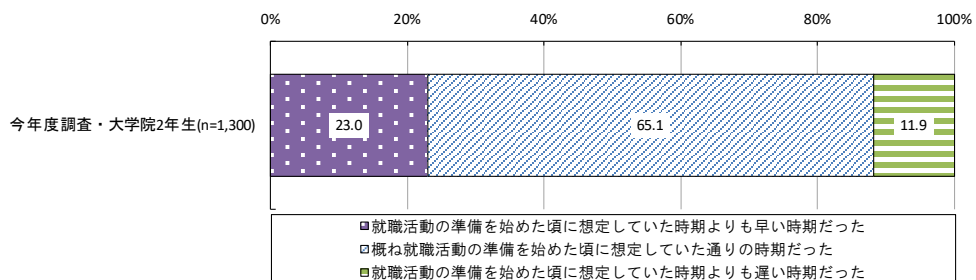
図表 3-10-10 エントリーシートの提出時期についての就職活動初期の想定とのずれの状況  
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)

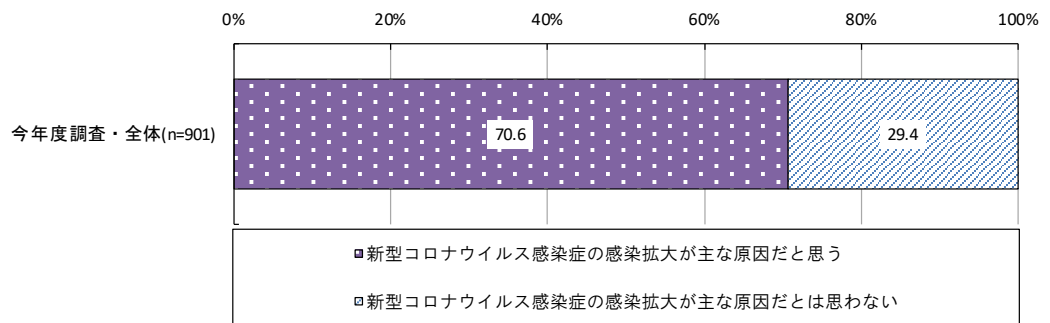


(大学院2年生)

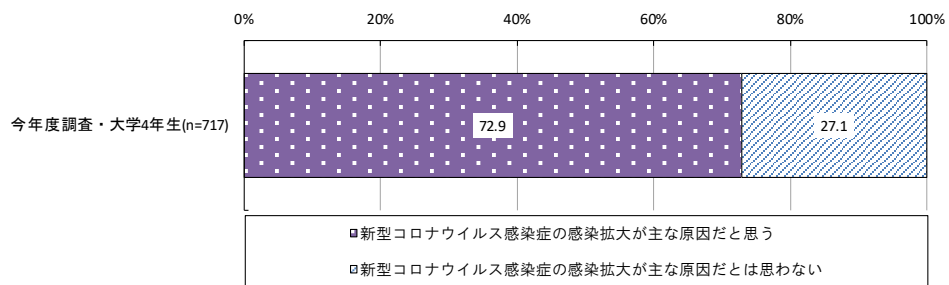


<sup>70</sup> エントリーシートの提出を「特段行わなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

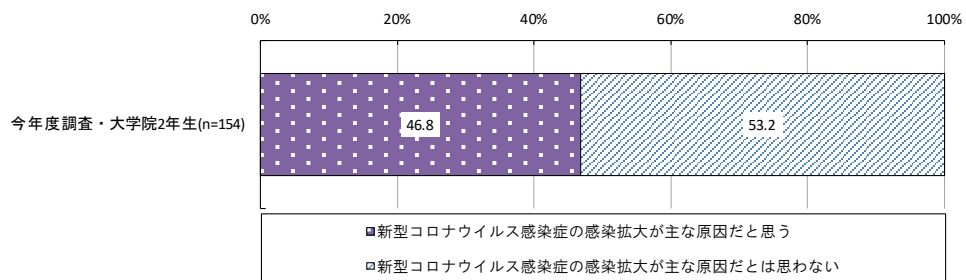
図表 3-10-11 エントリーシートの提出時期が就職活動初期の想定より遅い時期であった原因  
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)

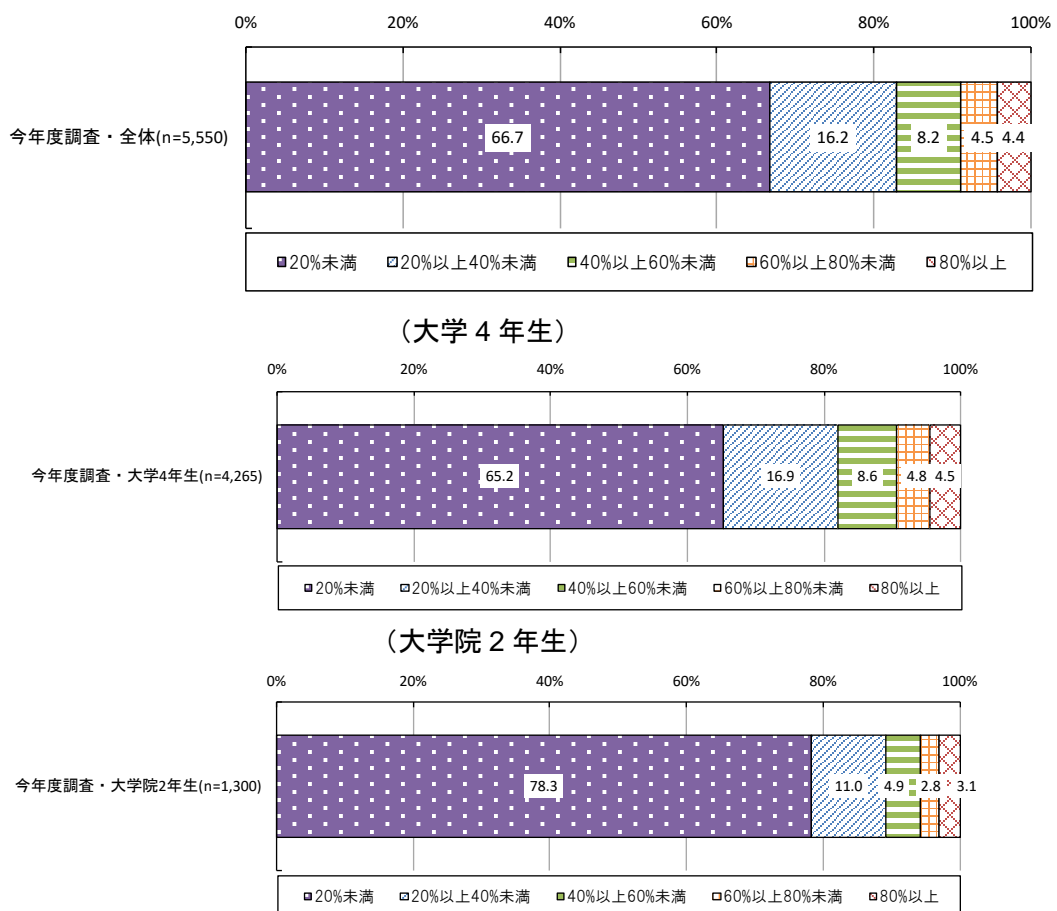


⑧新型コロナウイルス感染症によるエントリーシート提出受付の後ろ倒し・延長・中止の状況

エントリーシートを提出した企業数に対する、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、当初の予定よりエントリーシートの受付開始時期が後ろ倒しに変更された企業数・提出期限が延長された企業数の割合について集計したところ、集計対象の約1割が、エントリーシートを提出した企業の60%以上で受付開始時期が後ろ倒しになったと回答している<sup>71</sup>。エントリーシートの提出期限が延長された企業数の割合については、集計対象の約1割が、提出した企業の60%以上で延長されたと回答している<sup>72</sup>。

またエントリーシートの提出を予定していた企業で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、エントリーの受付が中止になったものについては、1社以上であった者が約2割となっている。

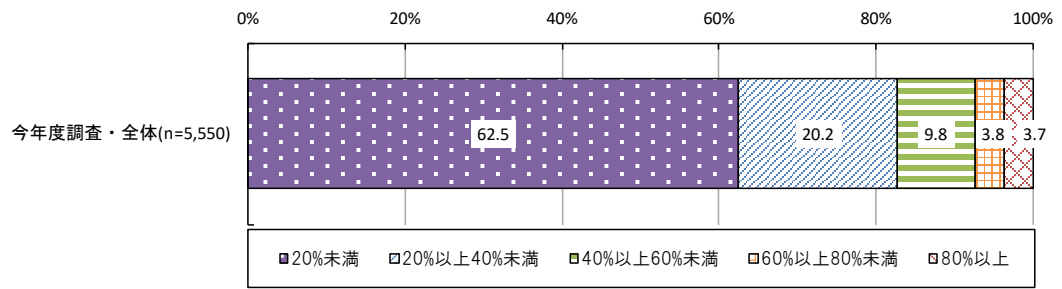
図表 3-10-12 エントリーシートの受付開始時期が後ろ倒しに変更された企業数の割合  
(大学4年生・大学院2年生)



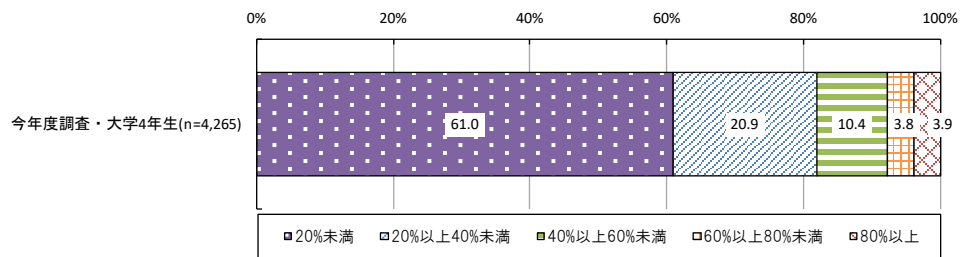
<sup>71</sup> エントリーシートの受付開始時期が後ろ倒しに変更された企業数を、エントリーシートを提出した企業数で除した割合について集計している。

<sup>72</sup> エントリーシートの提出期限が延長された企業数を、エントリーシートを提出した企業数で除した割合について集計している。

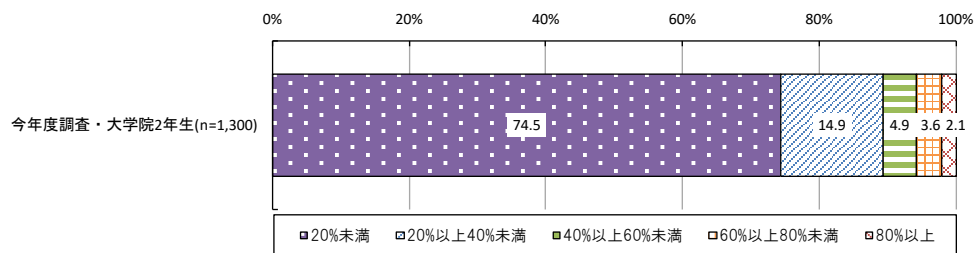
図表 3-10-13 エントリーシートの提出期限が延長された企業数の割合  
(大学4年生・大学院2年生)



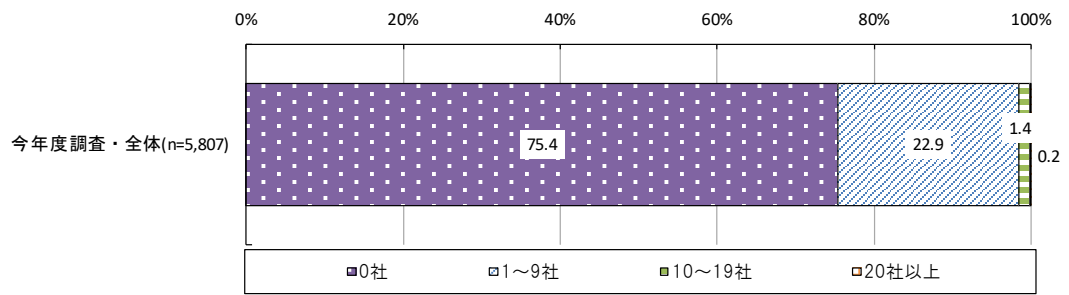
(大学4年生)



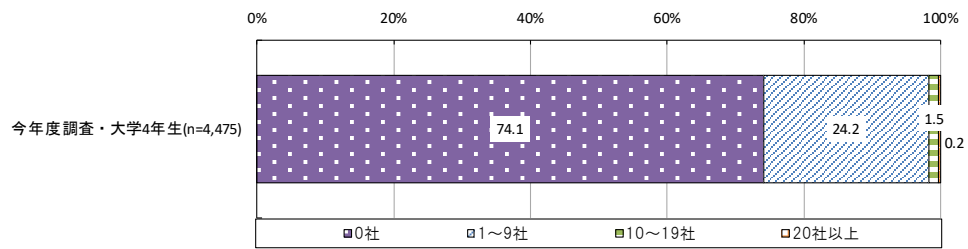
(大学院2年生)



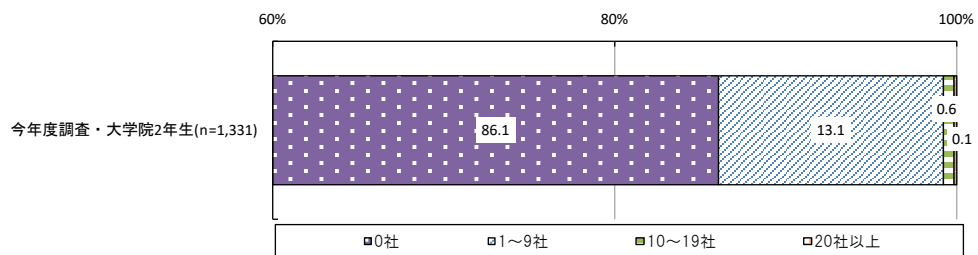
図表 3-10-14 エントリーシートの提出を予定していたがエントリーが中止になった企業数  
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



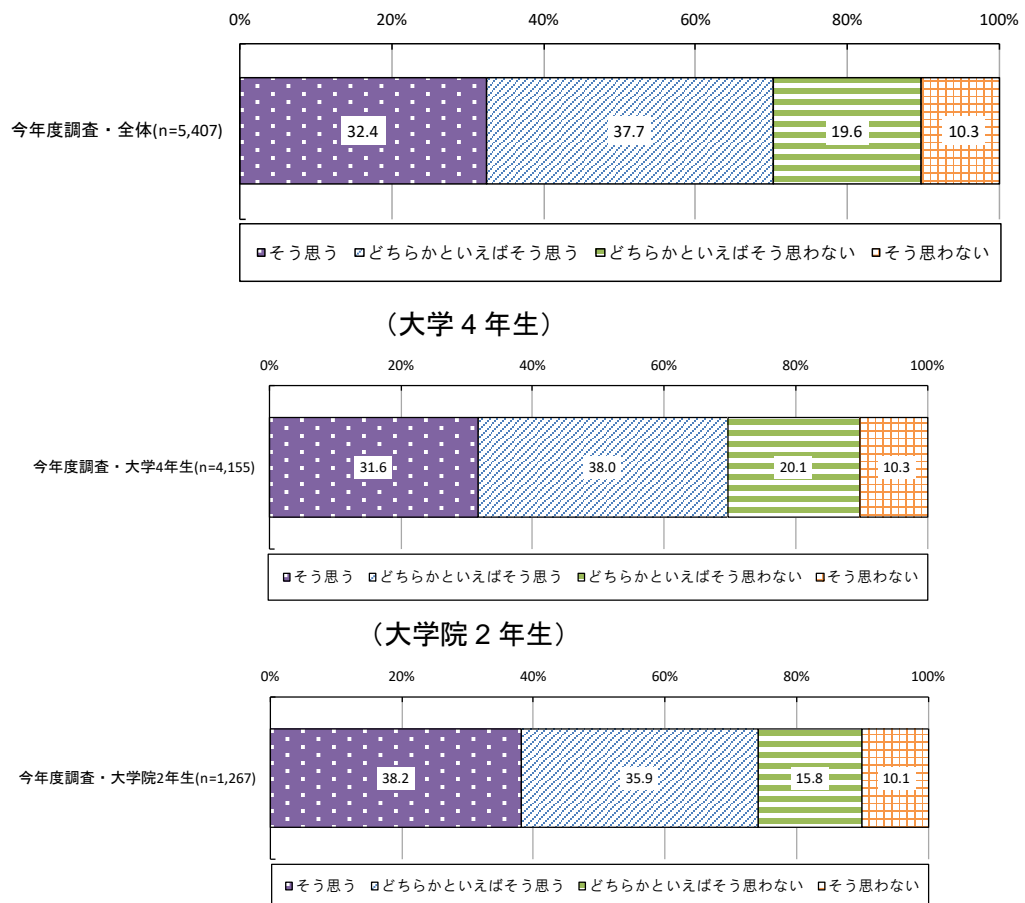
(大学院2年生)



⑨エントリーシートの提出にあたっての準備期間についての状況

エントリーシートの提出にあたっての準備時間が十分であったかについて、「わからない」と回答した者を除くと、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約7割となっている。

図表 3-10-15 エントリーシートの提出にあたっての準備期間が十分であったか  
(大学4年生・大学院2年生)



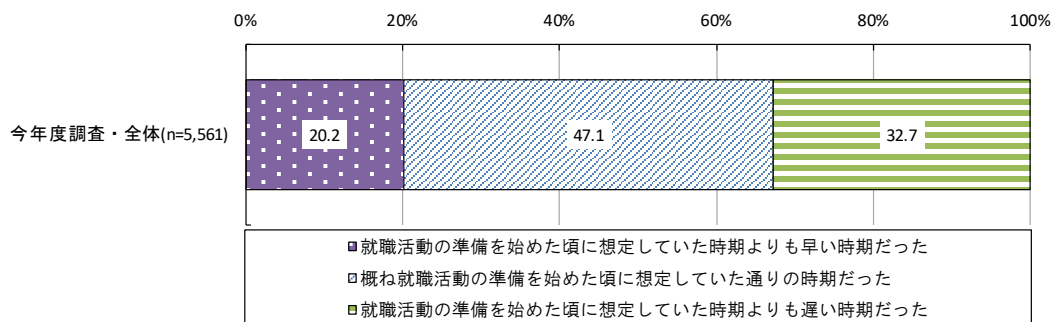


⑩採用面接の時期についての就職活動初期の想定とのずれの状況

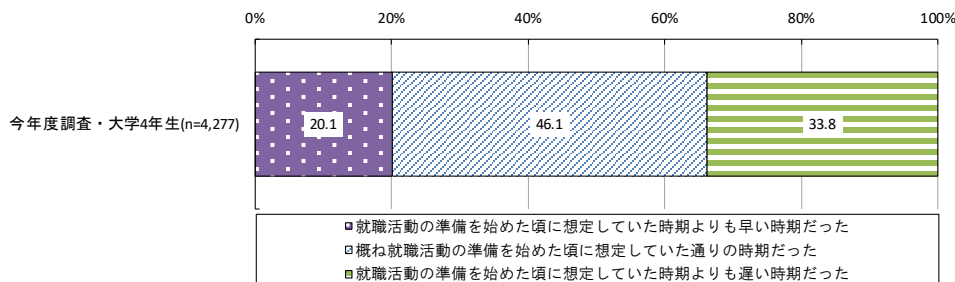
採用面接の時期が就職活動の準備を始めた頃に想定していた時期だったかについて、「概ね就職活動の準備を始めた頃に想定していた通りの時期だった」の回答が約 5 割となっている<sup>73</sup>。なお、「就職活動の準備を始めた頃に想定していた時期よりも遅い時期だった」の回答は約 3 割となっている。

「就職活動の準備を始めた頃に想定していた時期よりも遅い時期だった」と回答した者にその原因について尋ねたところ、「新型コロナウイルス感染症の拡大が主な原因だと思う」との回答が約 9 割となっている。

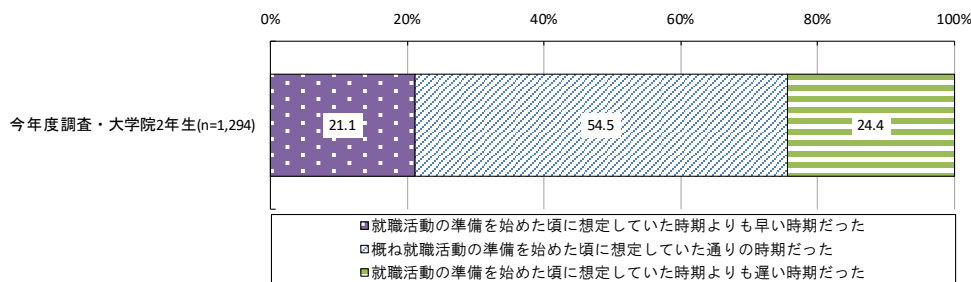
図表 3-10-16 採用面接の時期についての就職活動初期の想定とのずれの状況  
(大学 4 年生・大学院 2 年生)



(大学 4 年生)

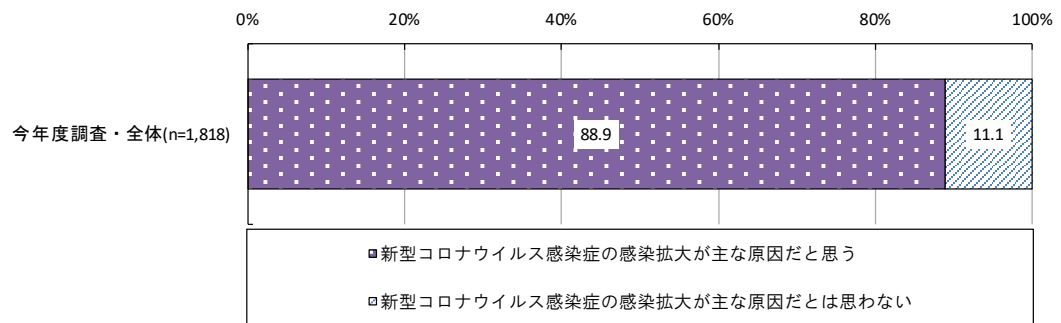


(大学院 2 年生)

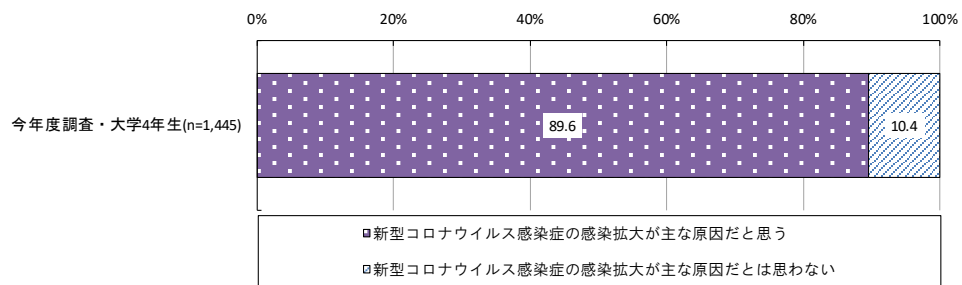


<sup>73</sup> 採用面接について「特段受けなかった」と回答した者は、集計の対象外とした。

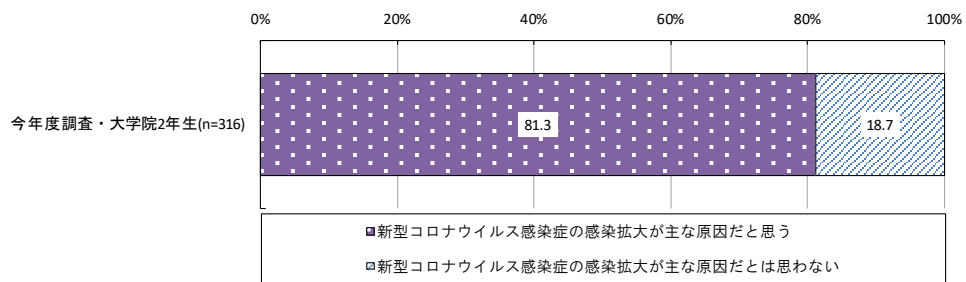
図表 3-10-17 採用面接の時期が就職活動初期の想定より遅い時期であった原因  
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)

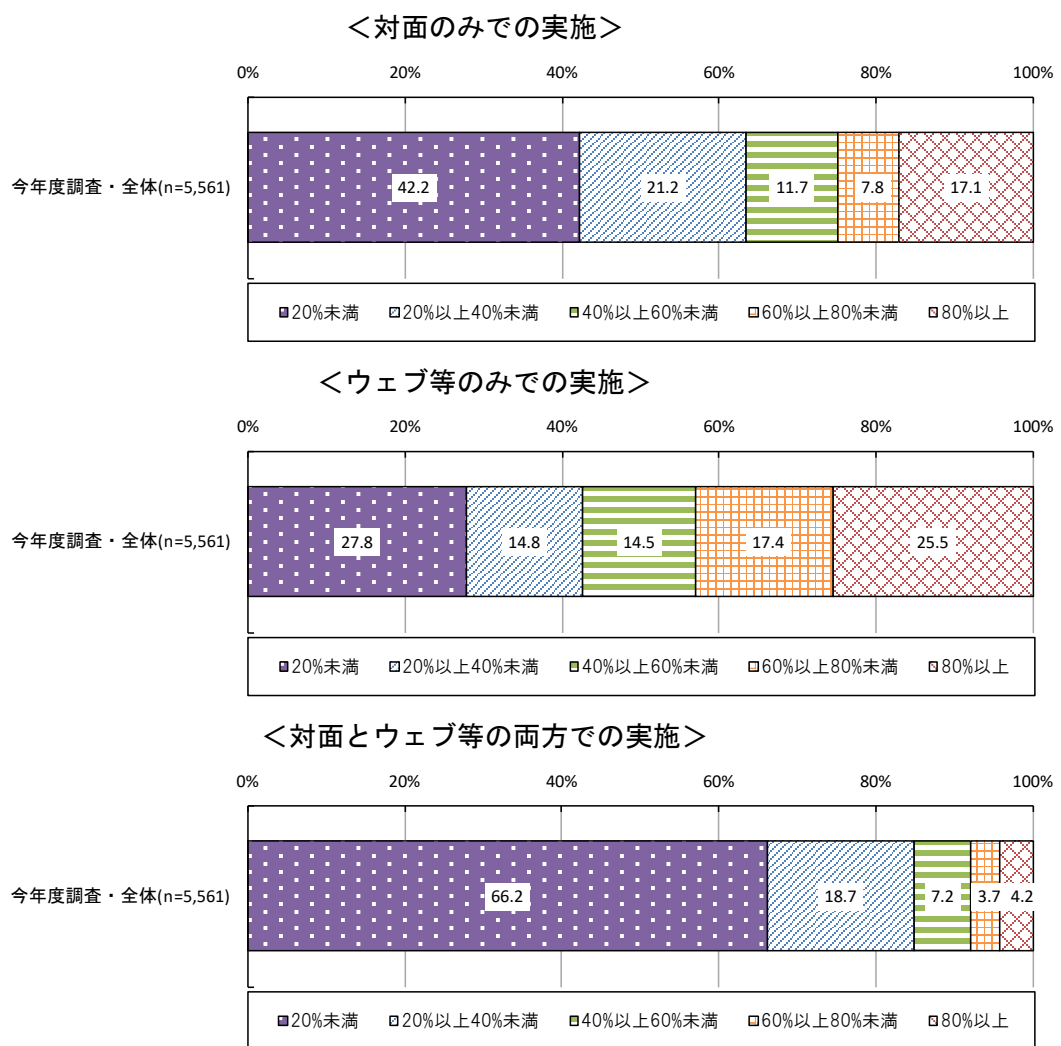


### ⑪採用面接を受けた企業数に対する方法別実施数の割合

採用面接を受けた企業数の合計に対して、「対面のみでの実施」「ウェブ等のみでの実施」「対面とウェブ等の両方での実施」であった企業数の割合を集計した。実施方法別に回答をみると、集計対象者の約4割が、受けた採用面接のうち「対面のみでの実施」が「20%未満」となっていた。また、集計対象者の約3割が、「ウェブ等のみでの実施」が「20%未満」であり、約7割が「対面とウェブ等の両方での実施」が「20%未満」であったと回答している<sup>74</sup>。「ウェブ等のみでの実施」については、「80%以上」という回答も比較的多くなっている。

また、採用面接について実施された方法すべての企業数を累計<sup>75</sup>し、実施方法別の件数が占める割合を集計したところ、「ウェブ等のみでの実施」が最も多く約6割となっている。

図表 3-10-18 採用面接の実施方法の状況  
(大学4年生・大学院2年生)

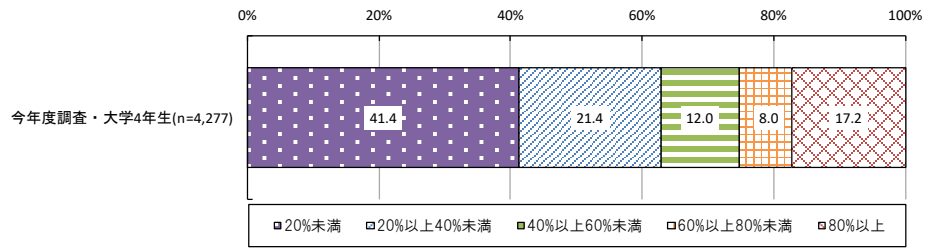


<sup>74</sup> 採用面接について「対面のみでの実施」「ウェブ等のみでの実施」「対面とウェブ等の両方での実施」であったと回答した企業数それぞれを、採用面接を受けた企業数の合計で除した割合について集計している。

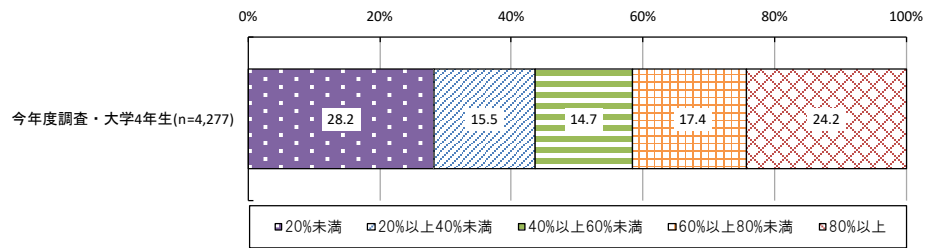
<sup>75</sup> 今年度調査においては、合計で何社の採用面接を受けたかを尋ねる設問と、対面での実施、ウェブ等での実施の方法別に尋ねる設問を設けているが、前者の「実施された合計の企業数」と後者の「方法別で尋ねた企業数」の合計は必ずしも一致せずとも回答が可能なように設定したことから、前者ではなく後者の合計を用いて累計の値とした。

(大学4年生)

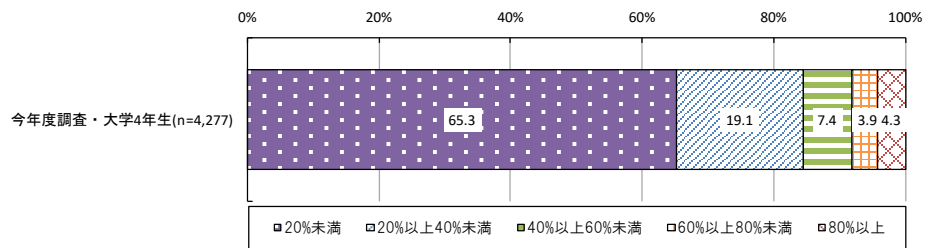
<対面のみでの実施>



<ウェブ等のみでの実施>

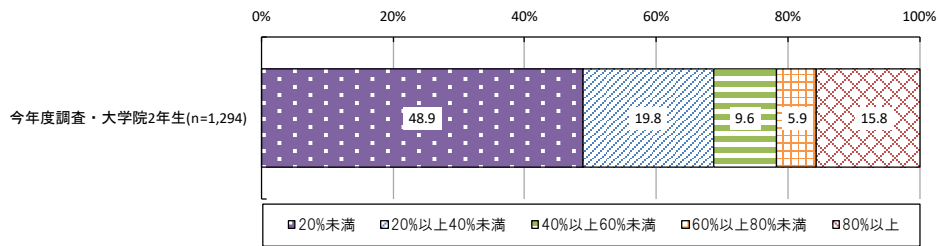


<対面とウェブ等の両方での実施>

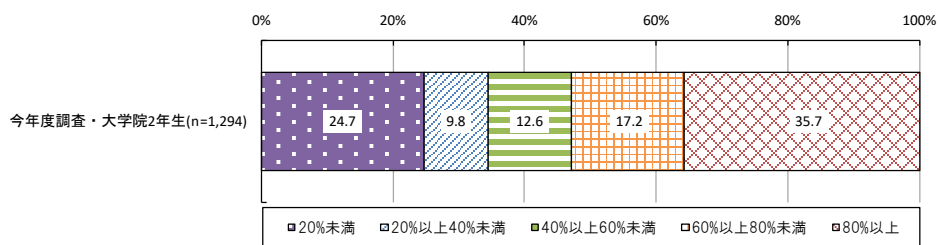


(大学院2年生)

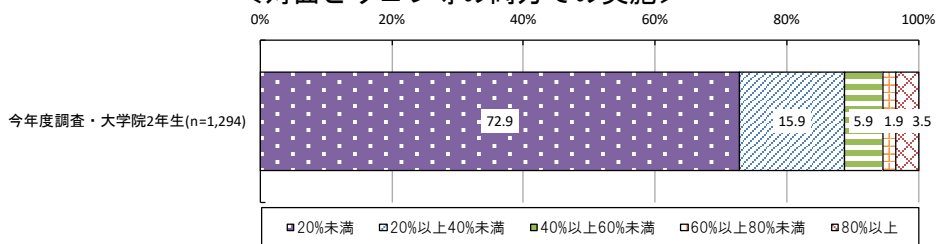
<対面のみでの実施>



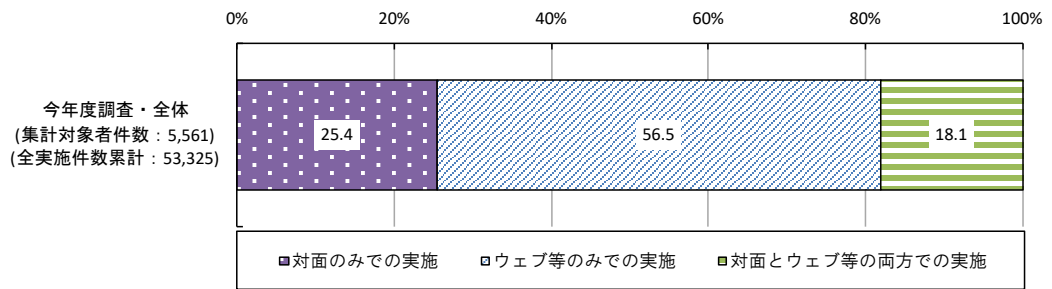
<ウェブ等のみでの実施>



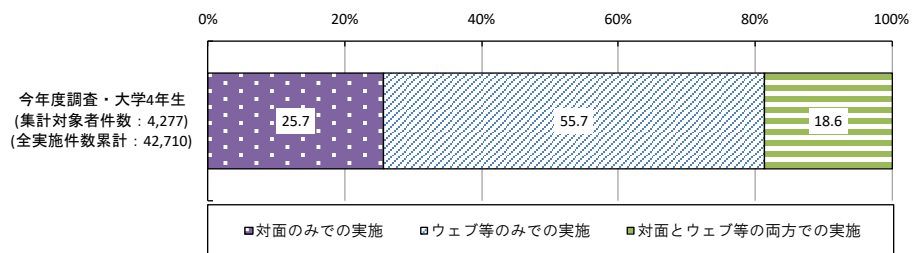
<対面とウェブ等の両方での実施>



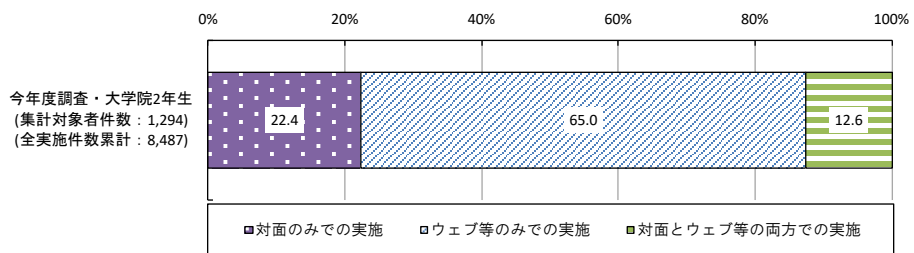
図表 3-10-19 実施された採用面接の実施方法との関係  
 (実施された採用面接の企業数累計による集計)  
 (大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)

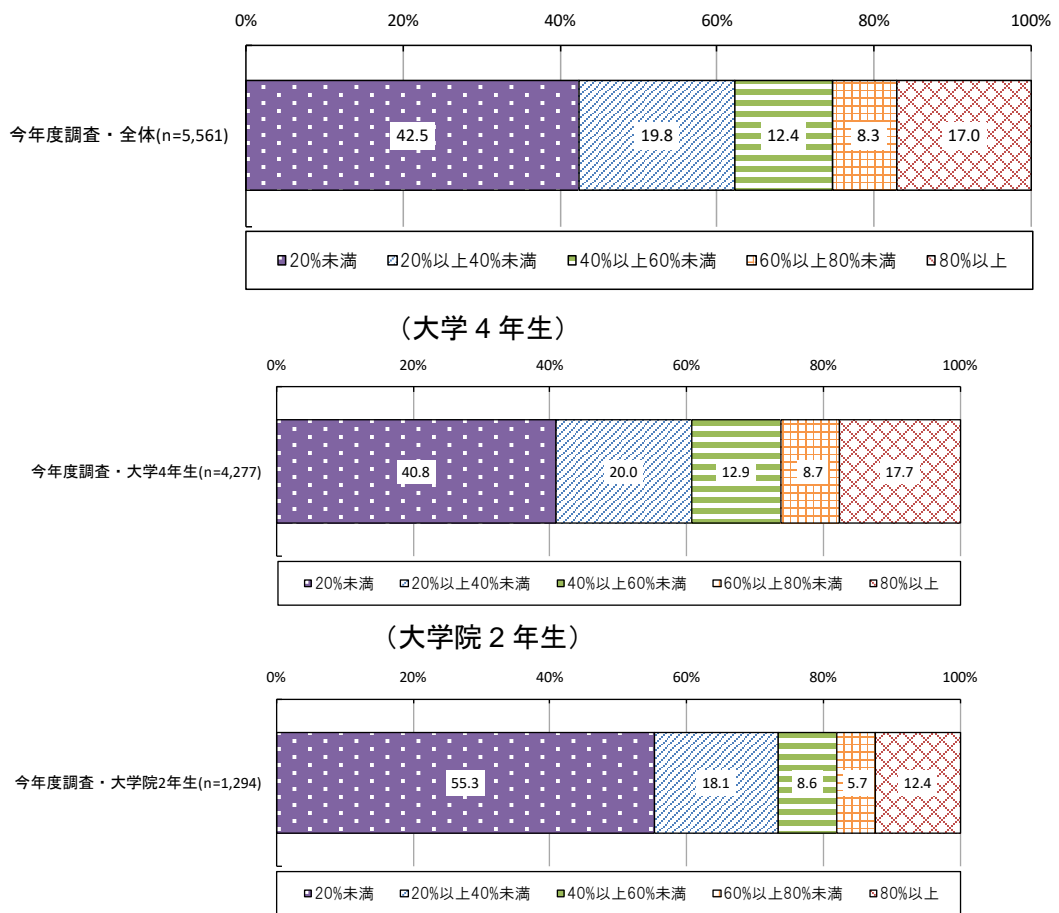


⑫新型コロナウイルス感染症による採用面接の実施時期の後ろ倒し・中止の状況

受けた採用面接に対する、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、当初の予定より実施時期が後ろ倒しに変更されたものの割合について集計したところ、集計対象の約3割が、受けた採用面接の60%以上で実施時期が後ろ倒しに変更されたと回答している<sup>76</sup>。

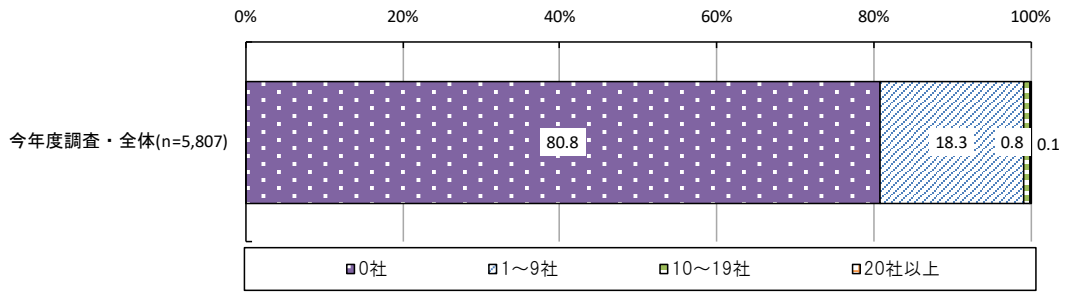
また受けることが予定されていた企業の採用面接で、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で実施が中止になったものについて、1社以上であった者が約2割となっている。

図表 3-10-20 採用面接の実施時期が後ろ倒しに変更された企業数の割合  
(大学4年生・大学院2年生)

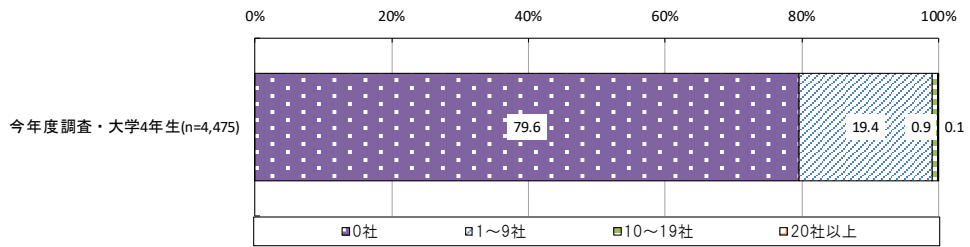


<sup>76</sup> 採用面接について、「実施時期が後ろ倒しに変更された採用面接」における企業数を、採用面接を受けた企業数の合計で除した割合について集計している。

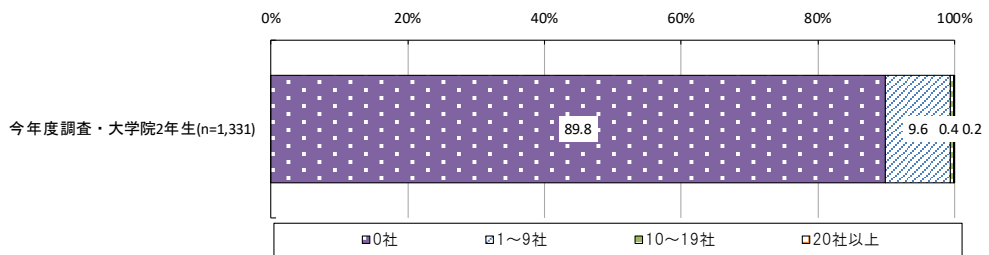
図表 3-10-21 受けることが予定されていたが実施が中止になった採用面接の企業数  
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



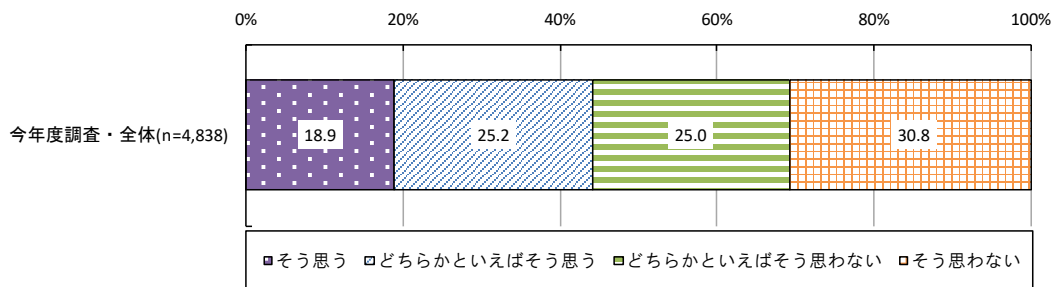
(大学院2年生)



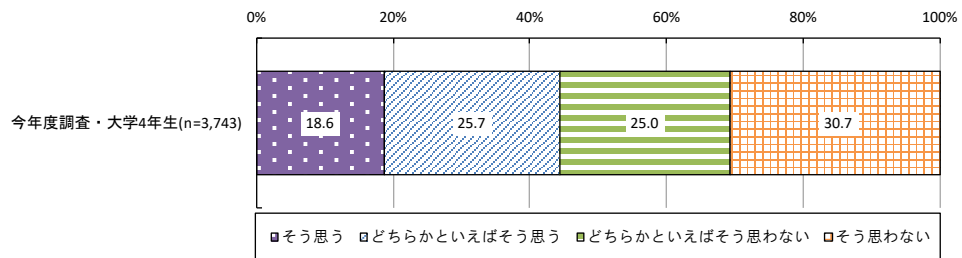
⑬秋採用や通年採用などに関する企業の機会提供や情報発信の状況

秋採用や通年採用などといった機会の提供や情報発信が企業からされていたかについて、「わからない」と回答した者を除くと、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約4割となっている。

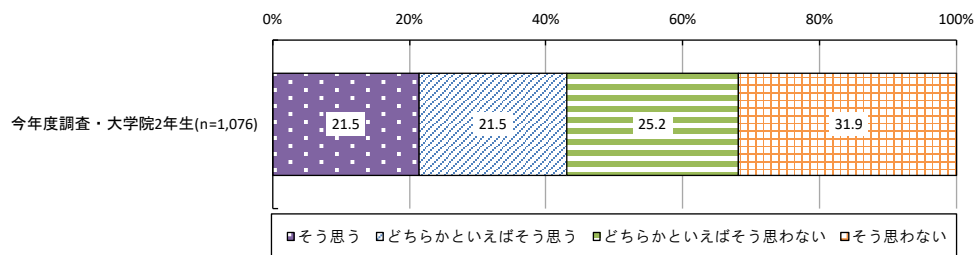
図表 3-10-22 秋採用や通年採用などに関する企業の機会提供や情報発信の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)



(大学院2年生)

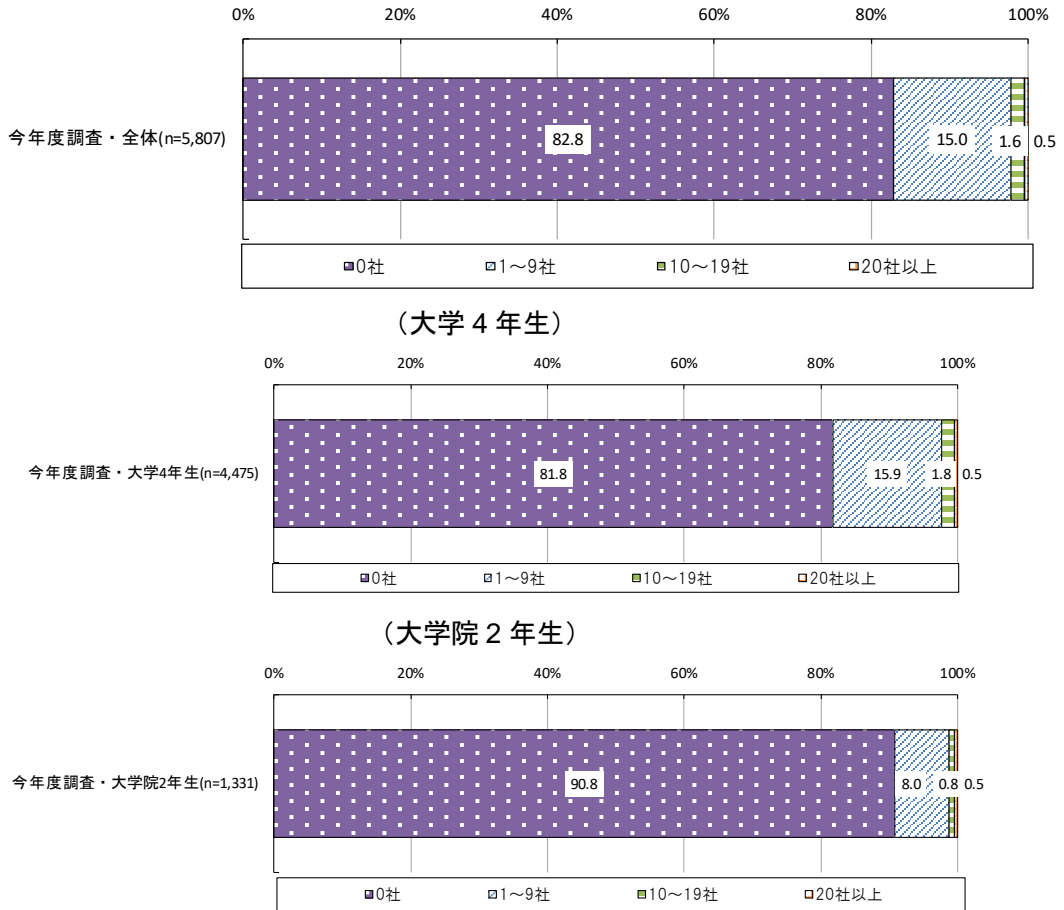




⑭秋採用や通年採用などによる採用面接の予定

秋採用や通年採用などの実施により、今後採用面接を受ける予定の企業数について、1社以上である者が約2割となっている。

図表 3-10-23 秋採用や通年採用などにより採用面接を受ける予定の企業数  
(大学4年生・大学院2年生)

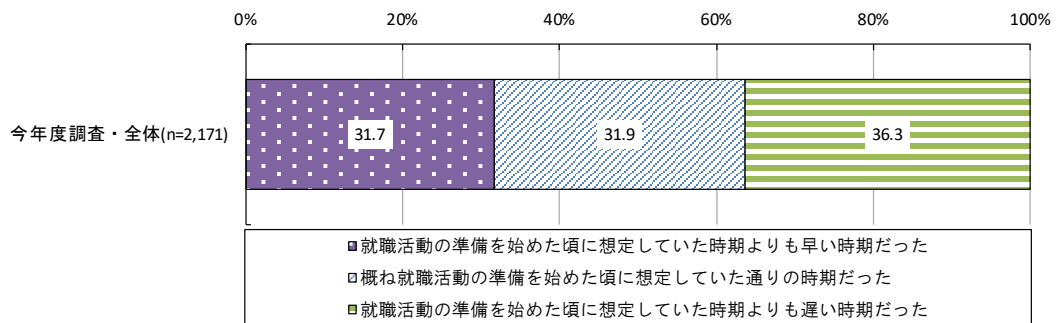


⑮内々定を受けた時期についての就職活動初期の想定とのずれの状況

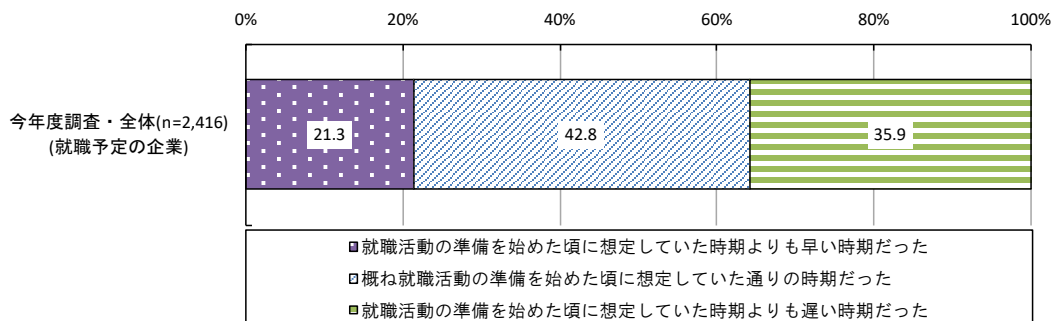
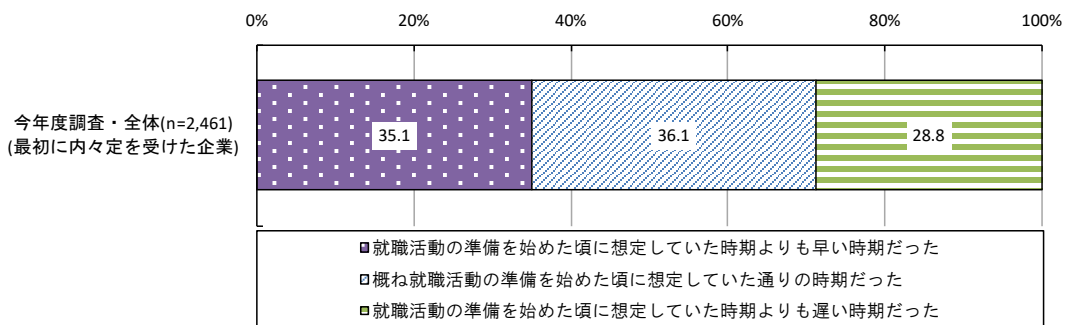
内々定を受けた時期が就職活動の準備を始めた頃に想定していた時期だったかについて、1社から内々定を受けた者は「就職活動の準備を始めた頃に想定していた時期よりも遅い時期だった」の回答割合が約4割、複数社から内々定を受けた者の最初の内々定・就職予定の企業の内々定について「概ね就職活動の準備を始めた頃に想定していた通りの時期だった」がそれぞれ約4割となっている。

また「就職活動の準備を始めた頃に想定していた時期よりも遅い時期だった」と回答した者にその原因について尋ねたところ、「新型コロナウイルス感染症の感染拡大が主な原因だと思う」との回答が、1社から内々定を受けた者と複数社から内々定を受けた者の最初の内々定では約7割、複数社から内々定を受けた者の就職予定の企業の内々定では約8割となっている。

図表 3-10-24 内々定を受けた時期についての就職活動初期の想定とのずれの状況  
(大学4年生・大学院2年生)  
<1社から内々定を受けた者>

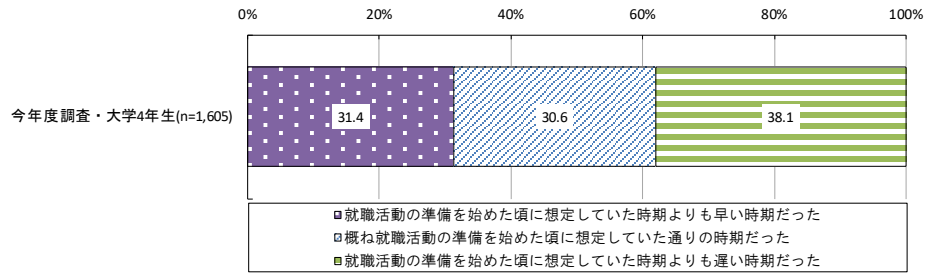


<複数社から内々定を受けた者>

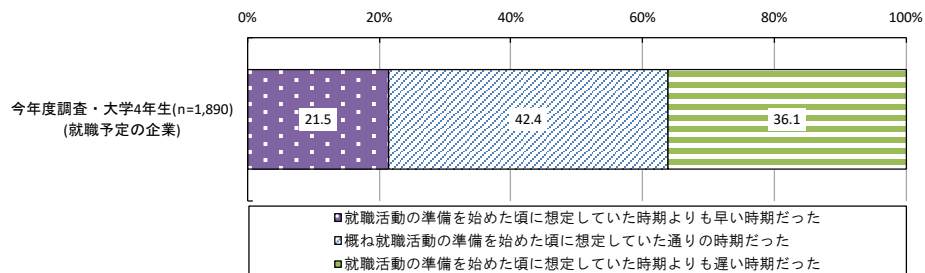
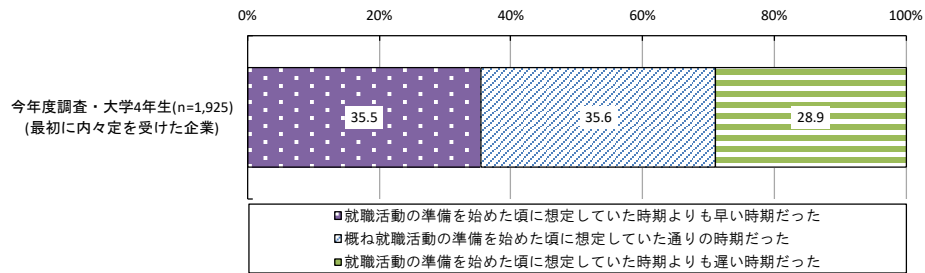


(大学4年生)

<1社から内々定を受けた者>

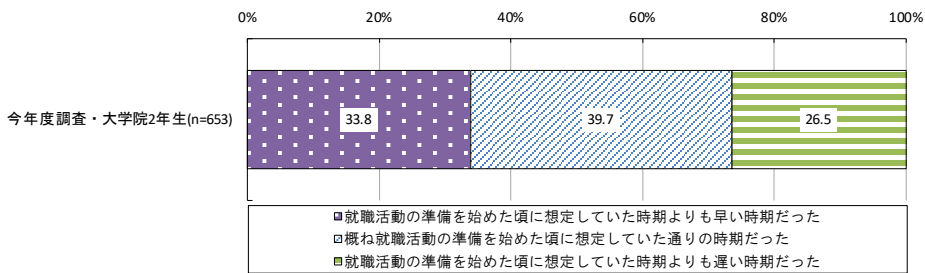


<複数社から内々定を受けた者>

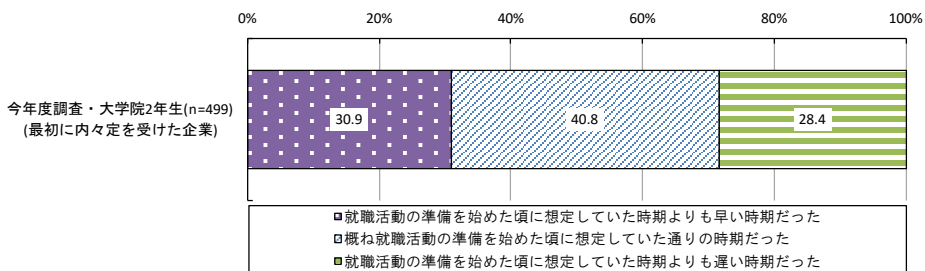


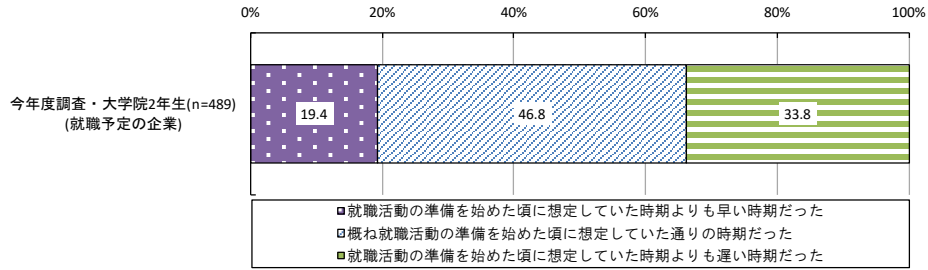
(大学院2年生)

<1社から内々定を受けた者>

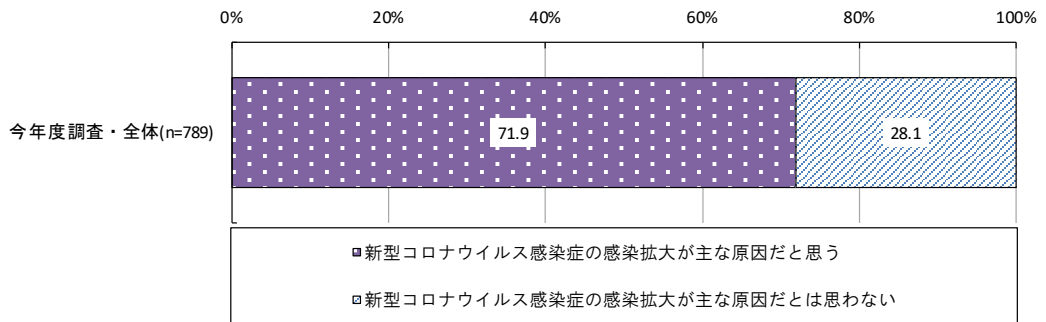


<複数社から内々定を受けた者>

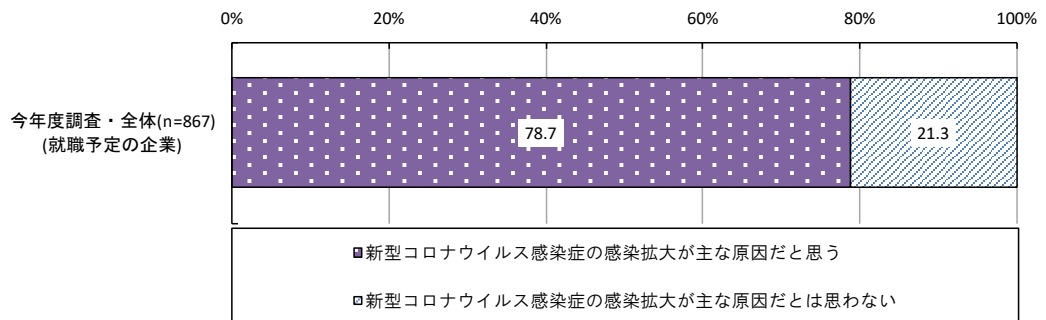
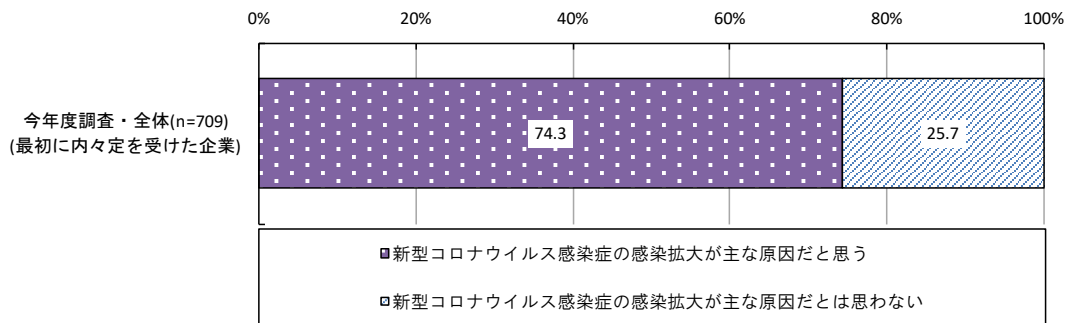




図表 3-10-25 内々定を受けた時期が就職活動初期の想定より遅い時期であった原因  
(大学4年生・大学院2年生)  
<1社から内々定を受けた者>

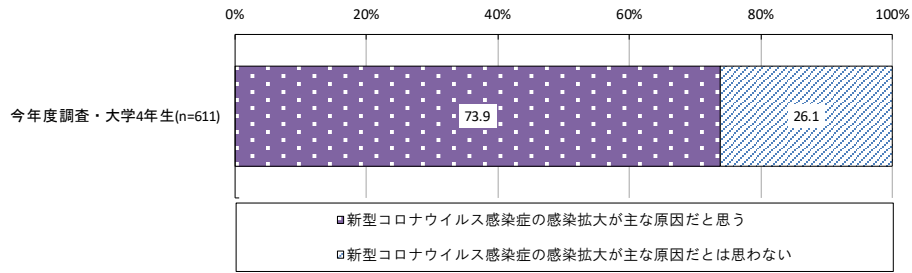


<複数社から内々定を受けた者>

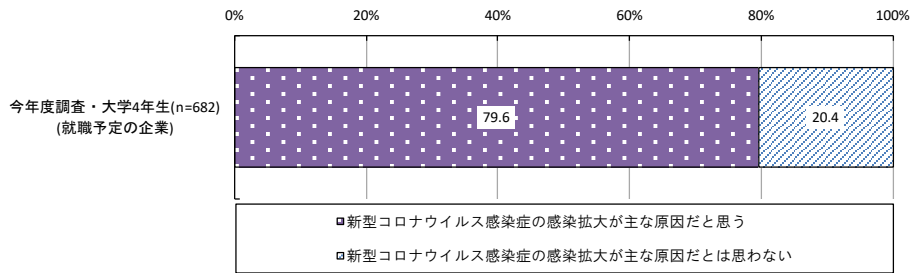
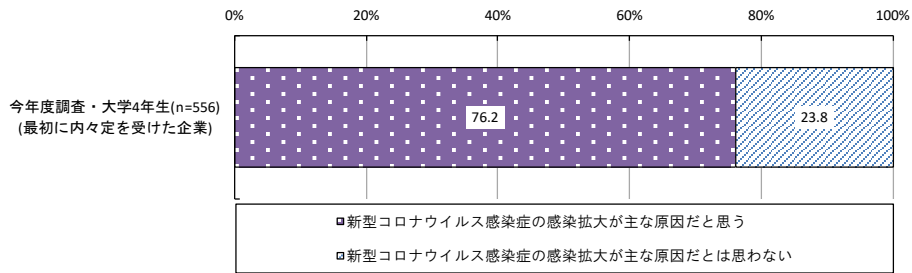


(大学4年生)

<1社から内々定を受けた者>

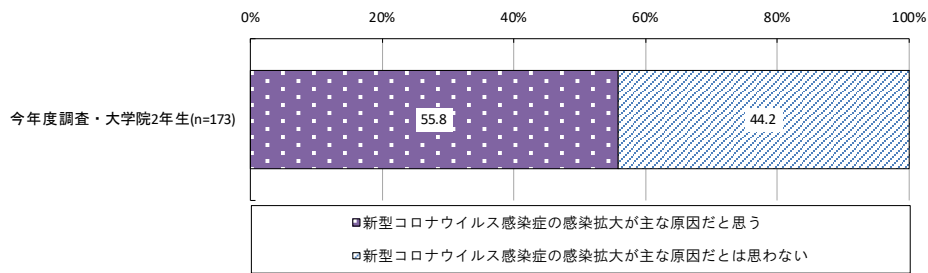


<複数社から内々定を受けた者>

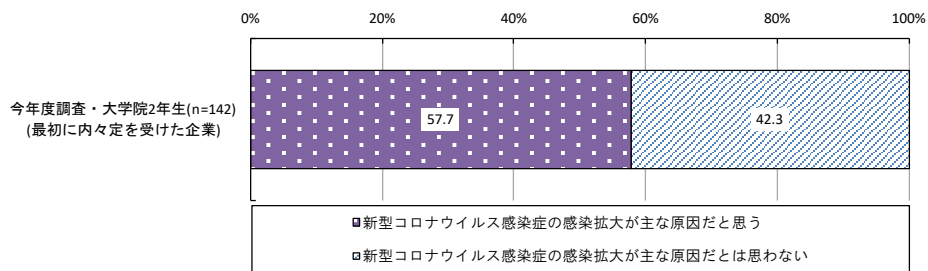


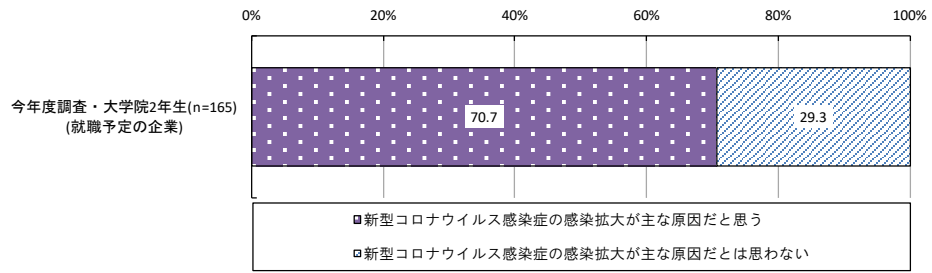
(大学院2年生)

<1社から内々定を受けた者>



<複数社から内々定を受けた者>

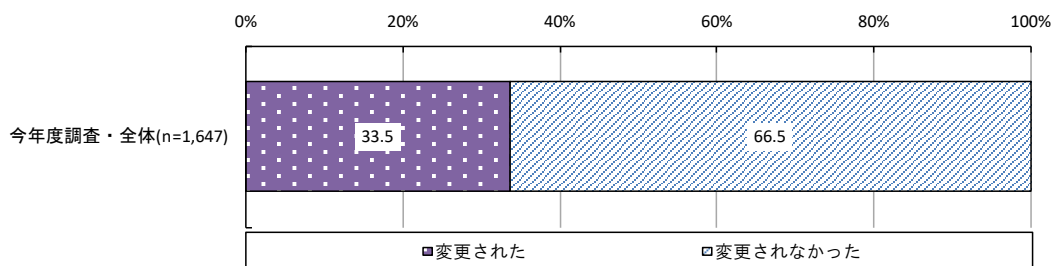




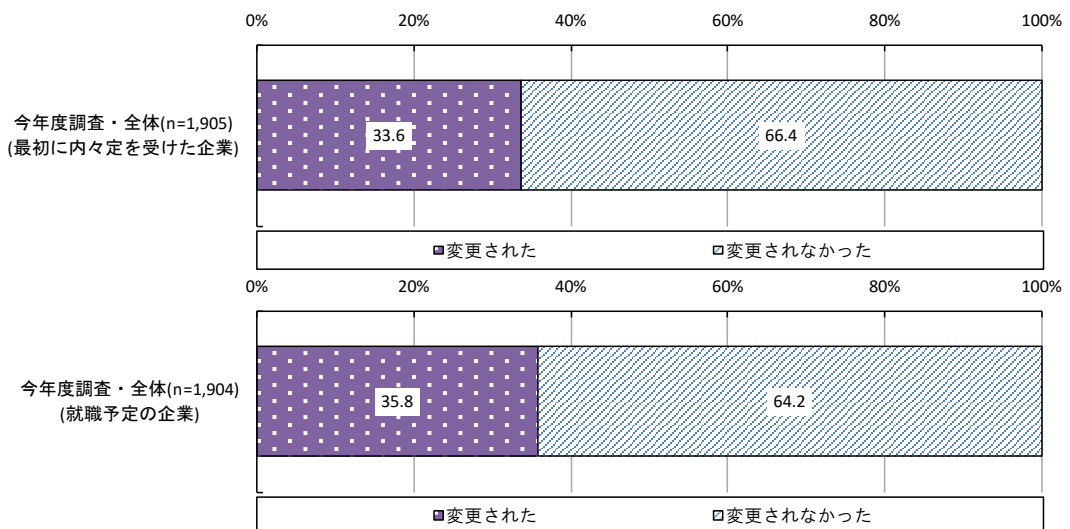
⑩新型コロナウイルス感染症による内々定の通知時期の後ろ倒しの状況

内々定を受けた時期が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、当初企業から案内されていた時期から後ろ倒しに変更されたかについて、「内々定時期について企業から事前に案内がなかったため、わからない」と回答した者を除くと、1社から内々定を受けた者、複数社から内々定を受けた者の最初の内々定・就職予定の企業の内々定のいずれについても、「変更された」の回答割合が約3割となっている<sup>77</sup>。

図表 3-10-26 内々定の通知時期の後ろ倒しの変更状況  
(大学4年生・大学院2年生)  
<1社から内々定を受けた者>



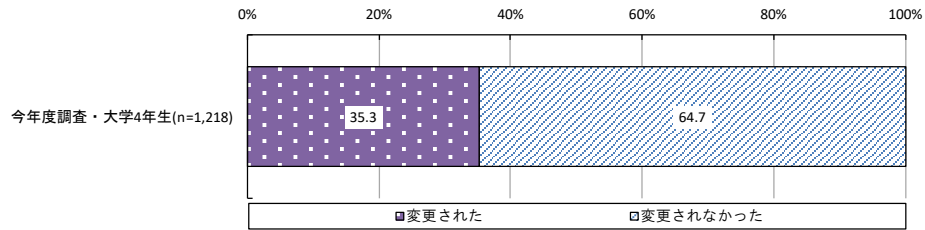
<複数社から内々定を受けた者>



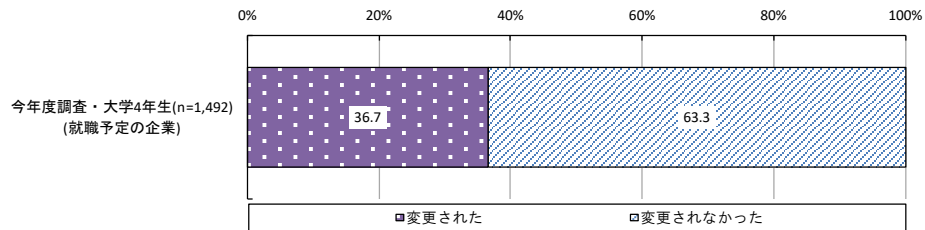
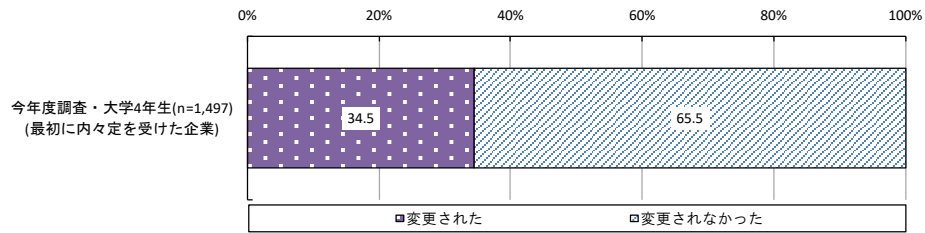
<sup>77</sup> 1社から内々定を受けた者についてはその内々定、複数社から内々定を受けた者については最初の内々定と就職予定の企業の内々定それぞれを集計した。

(大学4年生)

<1社から内々定を受けた者>

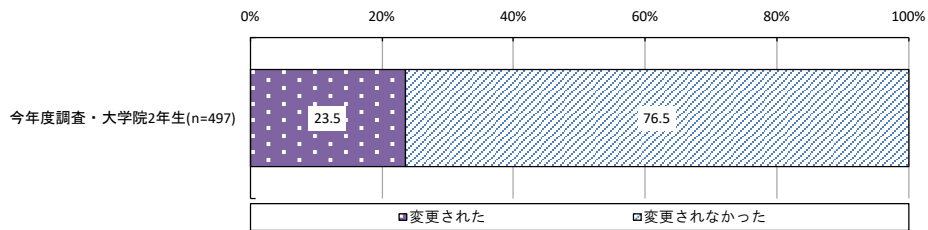


<複数社から内々定を受けた者>

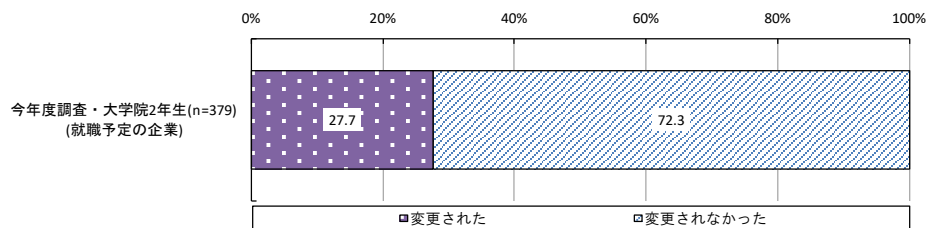
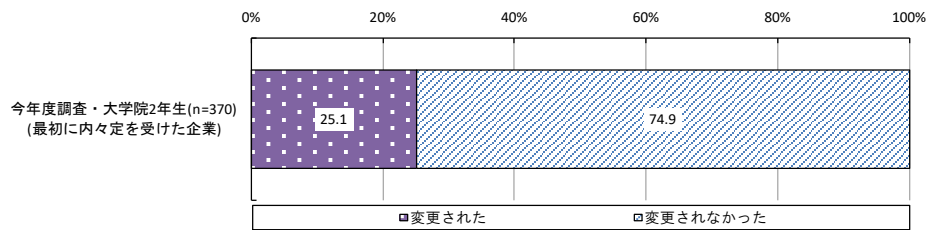


(大学院2年生)

<1社から内々定を受けた者>



<複数社から内々定を受けた者>

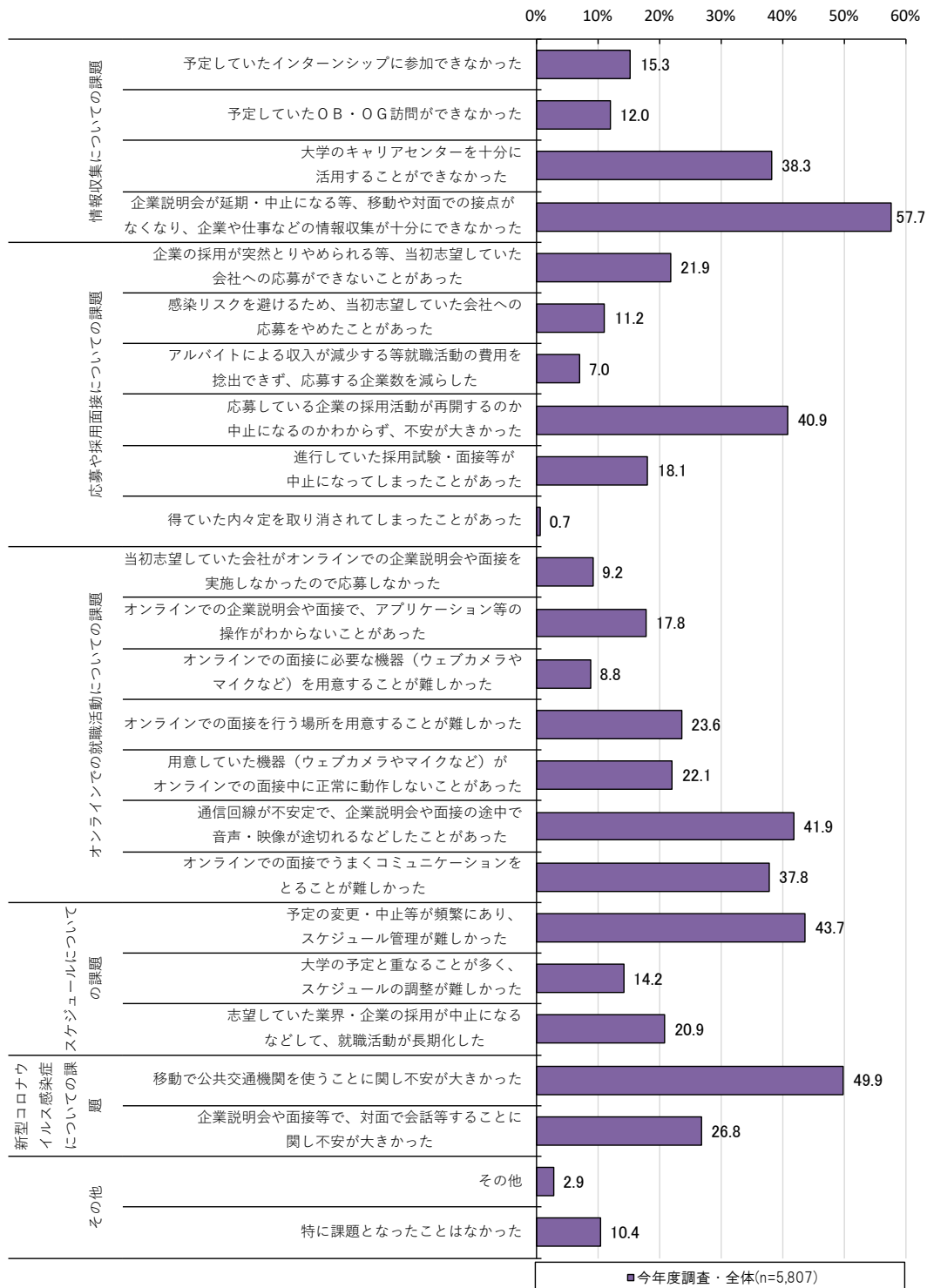




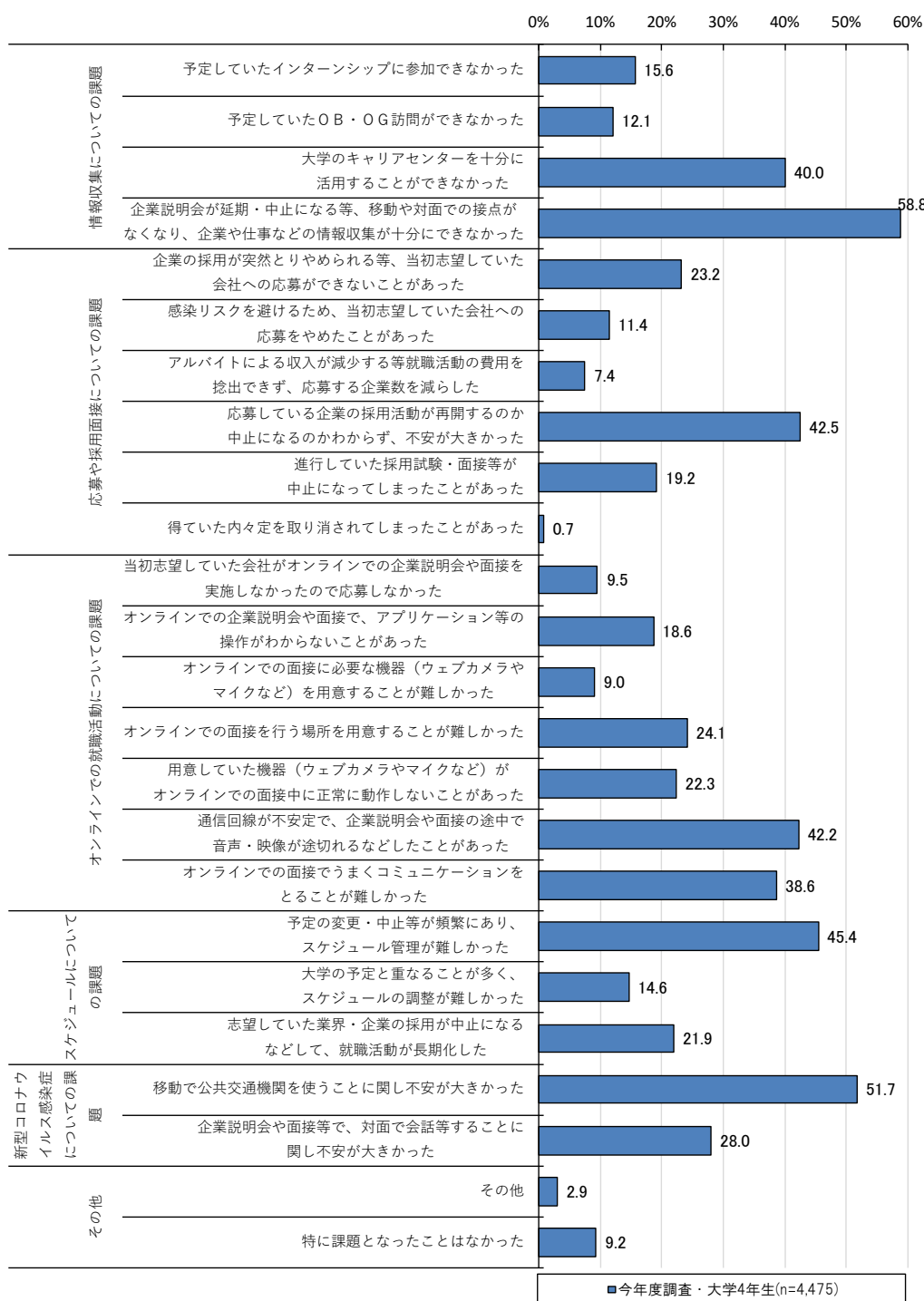
⑰就職活動に関する新型コロナウイルス感染症による課題

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響を受け、課題になったこととして、「企業説明会が延期・中止になる等、移動や対面での接点がなくなり、企業や仕事などの情報収集が十分にできなかった」の回答割合が約6割と最も高く、次いで「移動で公共交通機関を使うことに関し不安が大きかった」が約5割となっている。

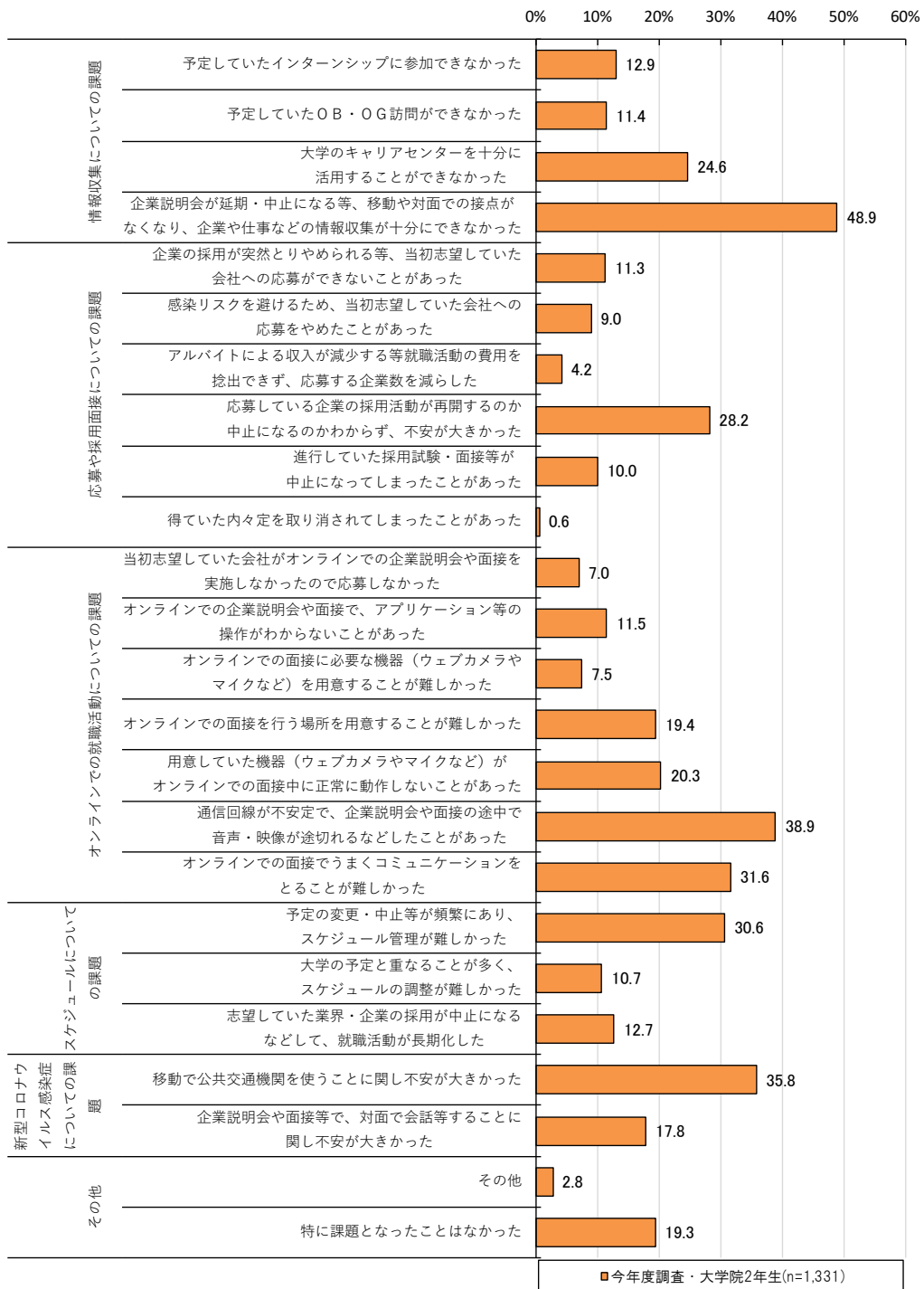
図表 3-10-27 就職活動に関する新型コロナウイルス感染症による課題（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



(大学4年生)



(大学院2年生)



## 第4章 企業による学業などに対する配慮の状況等

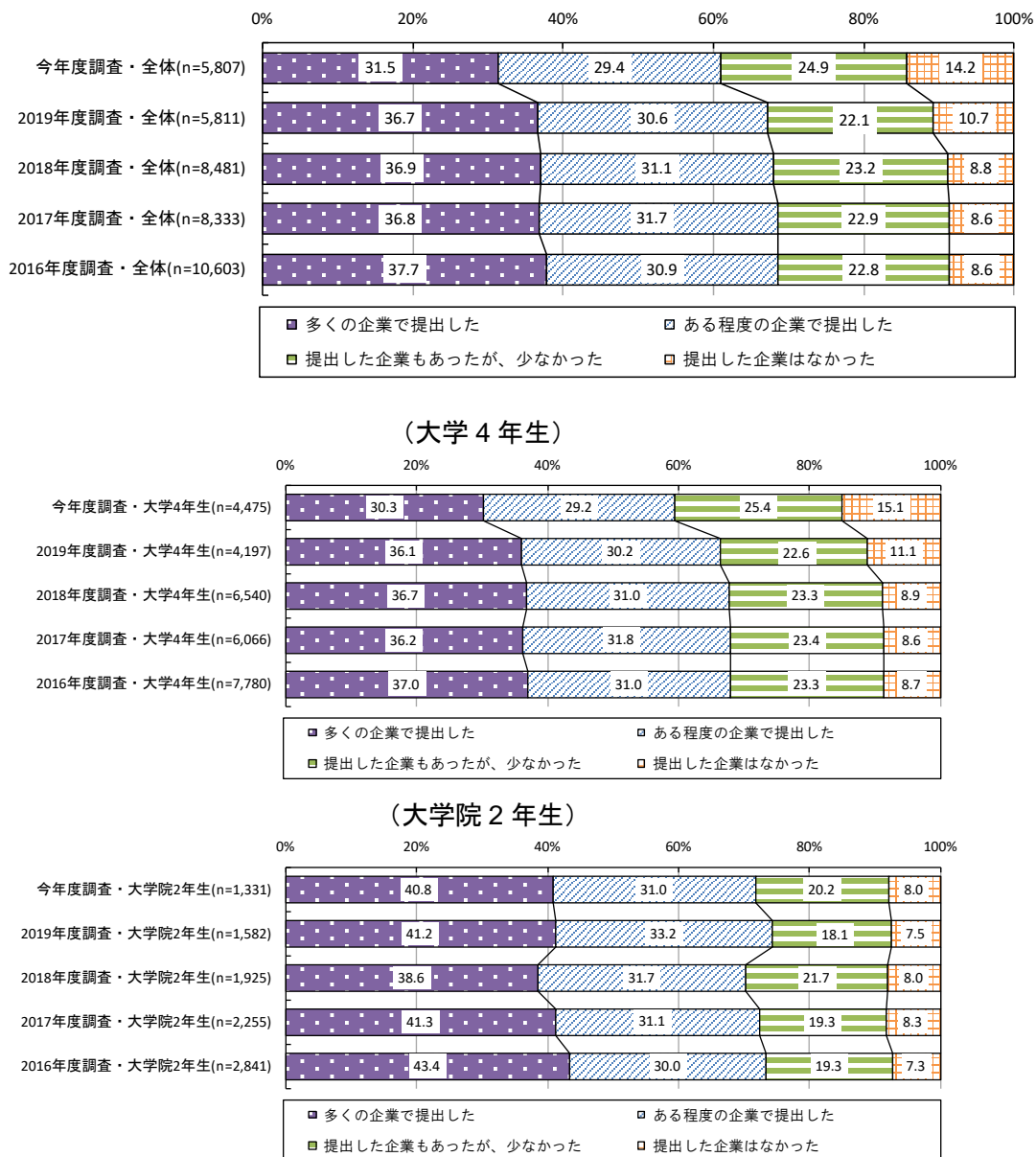
### (1) 履修履歴（成績証明書など）の提出の状況

#### ① 提出の状況

就職活動の面接や試験を受けるにあたり、履修履歴（成績証明書など）を提出することがどの程度あったかについて、「多くの企業で提出した」の回答割合は約3割となっている。

2016年度調査～2019年度調査と比較すると「多くの企業で提出した」の回答割合が低くなっており、「提出した企業もあったが、少なかった」「提出した企業はなかった」の回答割合が高くなっている<sup>78</sup>。

図表 4-1-1 履修履歴（成績証明書など）の提出の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



<sup>78</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

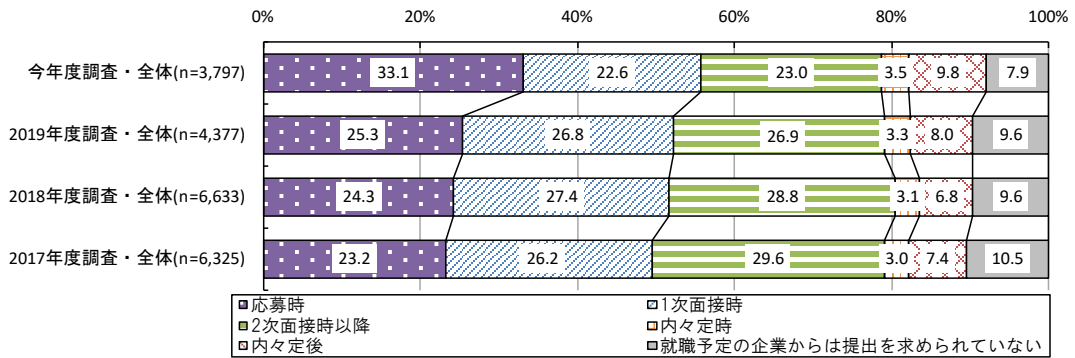


## ②提出のタイミング

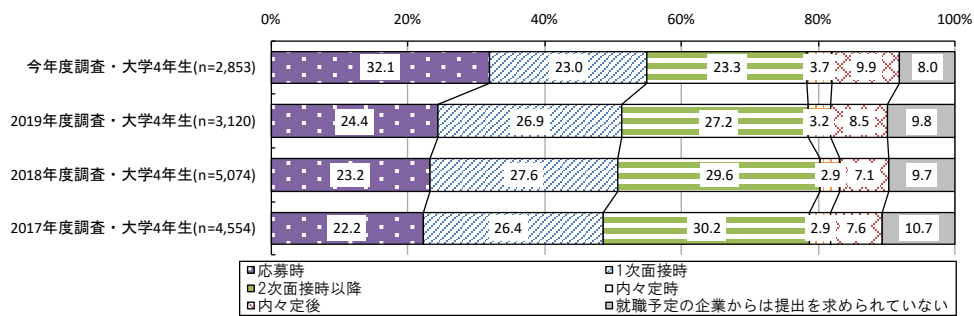
就職予定の企業から履修履歴（成績証明書など）の提出がいつ頃求められたかについて、「応募時」の回答割合が約3割で最も高く、次いで「2次面接時以降」の回答割合が約2割となっている。

2017年度調査～2019年度調査と比べると、「応募時」の回答割合が高くなっている<sup>79</sup>。

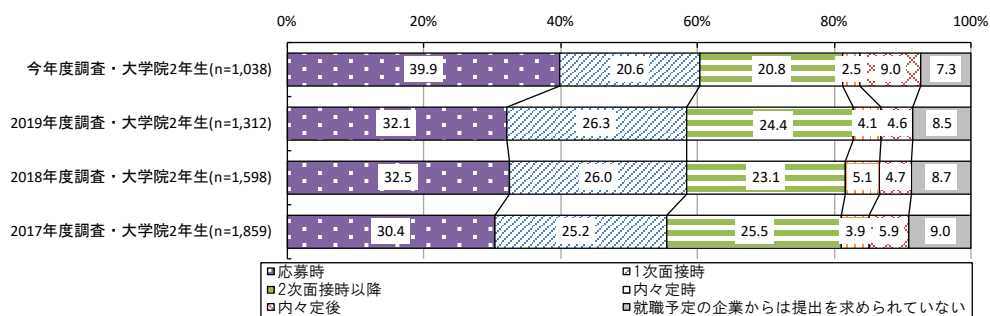
図表 4-1-2 就職予定の企業への履修履歴（成績証明書など）の提出のタイミング  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



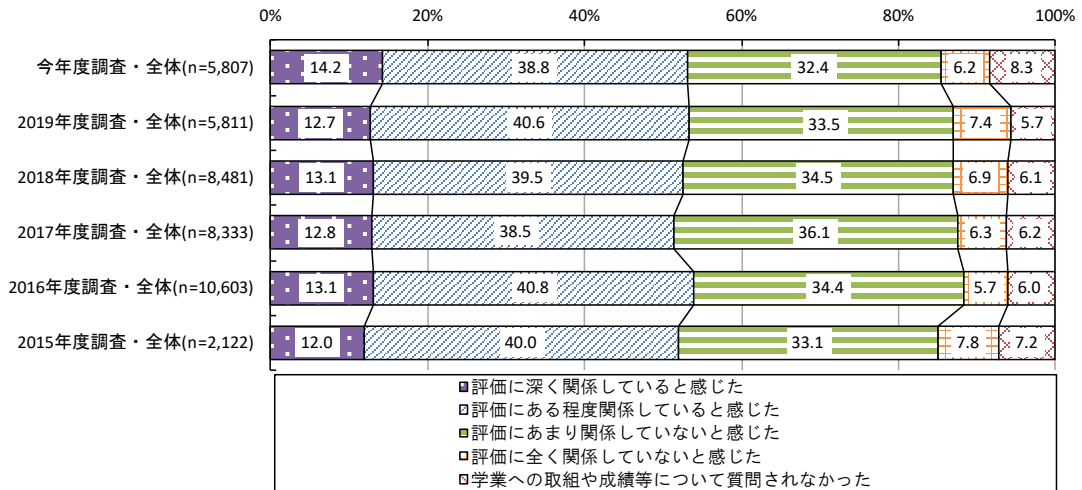
<sup>79</sup> 2015年度調査・2016年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## (2) 採用面接の際の学業や成績等への評価

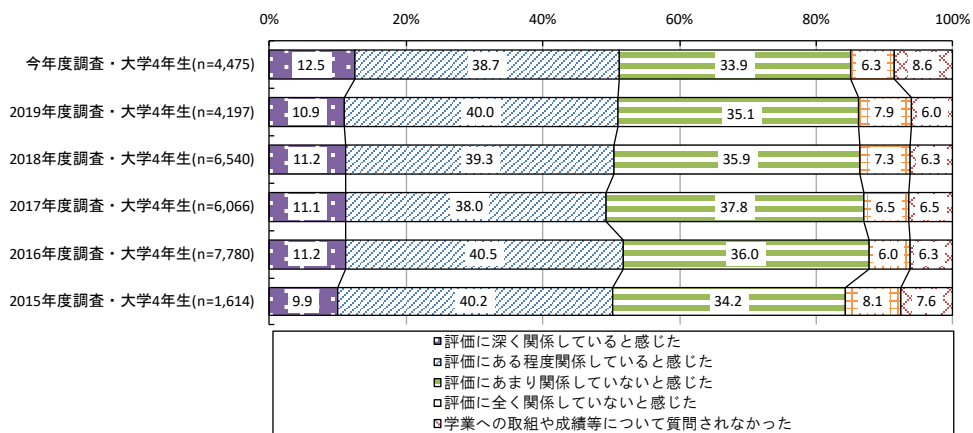
採用面接において、研究・ゼミや専門分野などの学業への取組や成績等の質問を受け、その内容が採用選考の評価に関係していると感じたかについて、「評価に深く関係していると感じた」と「評価にある程度関係していると感じた」を合わせた割合は約5割となっている。

これは、過年度調査とほぼ同様の結果となっている。

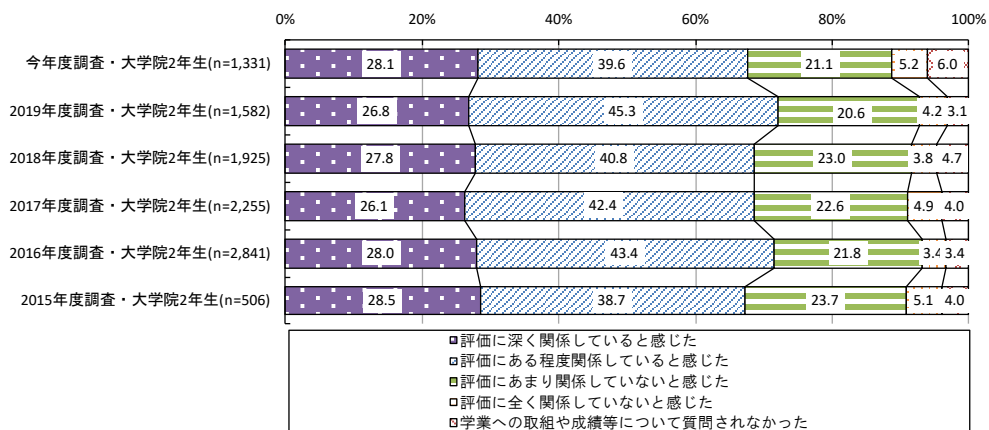
図表 4-2-1 採用面接の際に学業の取組や成績等の質問を受け、評価に関係していると感じたか  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



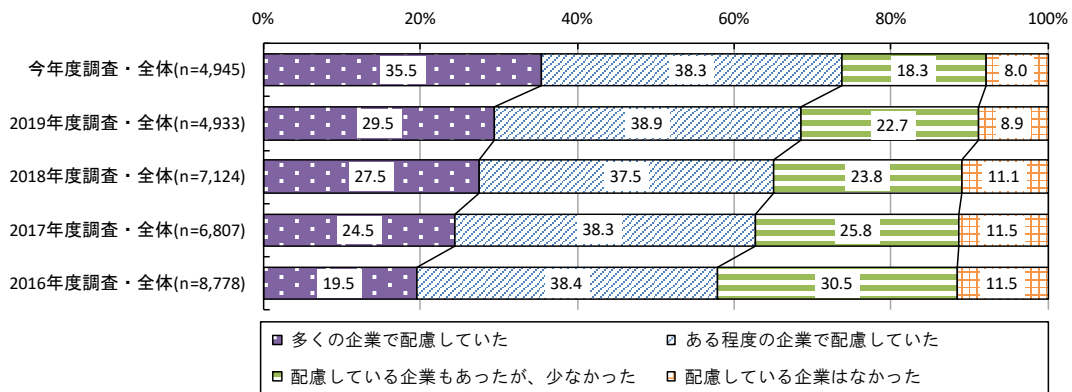
### (3) 就職活動の日程・時間帯等に関する配慮

#### ① 説明会や面接等の日程・時間帯等についての配慮

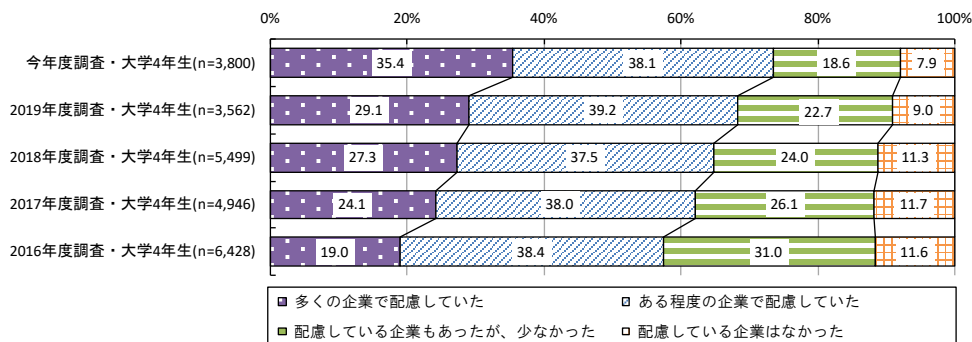
就職活動を行った企業において説明会や面接等の日程・時間帯等について配慮があったかについて、「よくわからない」と回答した者を除くと<sup>80</sup>、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約7割となっている。

2016年度調査～2019年度調査と比較すると、今年度調査では特に「多くの企業で配慮していた」の回答割合が約4割と高くなっている<sup>81</sup>。

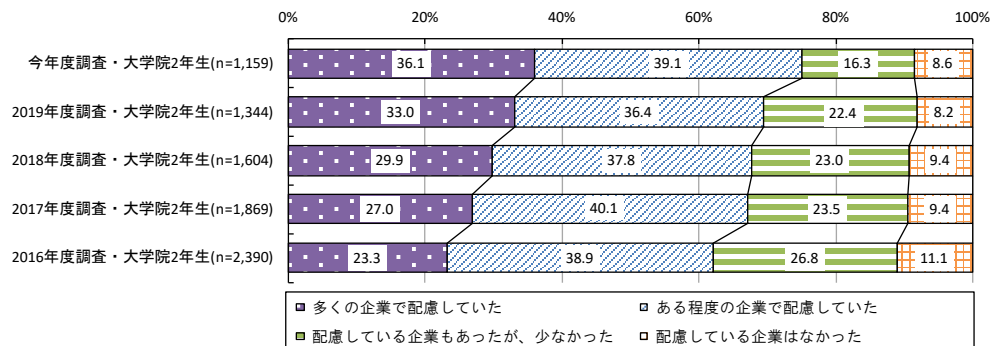
図表 4-3-1 説明会や面接等の日程・時間帯等についての配慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)



<sup>80</sup> 就職活動を行った企業について、「説明会や面接等の日程・時間帯等について、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、時間の設定などの配慮をしていましたか」という設問に対して、「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

<sup>81</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

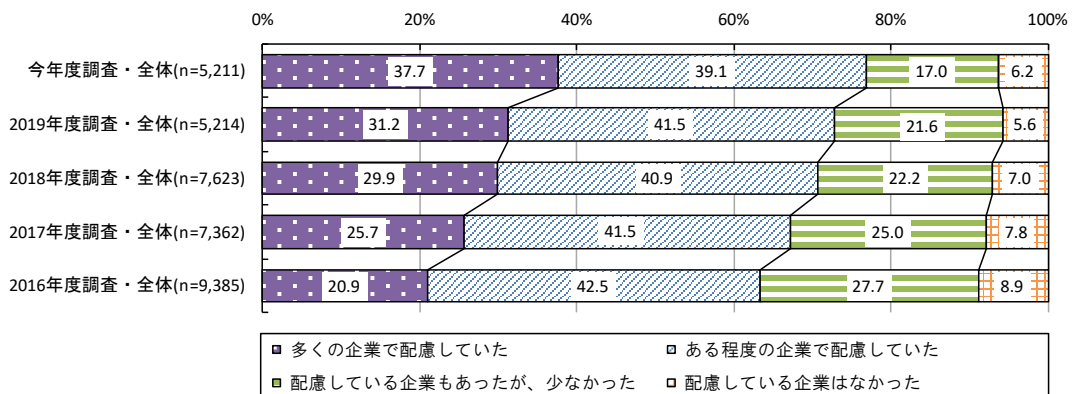


## ②個別の面接日時等の設定にあたっての配慮

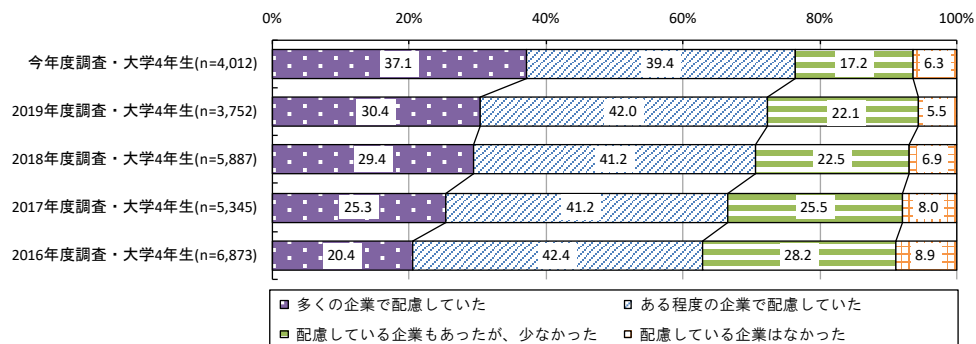
就職活動を行った企業において個別の面接日時等の設定に当たり配慮があったかについて、「よくわからない」と回答した者を除くと<sup>82</sup>、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約8割となっている。

2016年度調査～2019年度調査と比較すると、今年度調査では特に「多くの企業で配慮していた」の回答割合が高くなっている<sup>83</sup>。

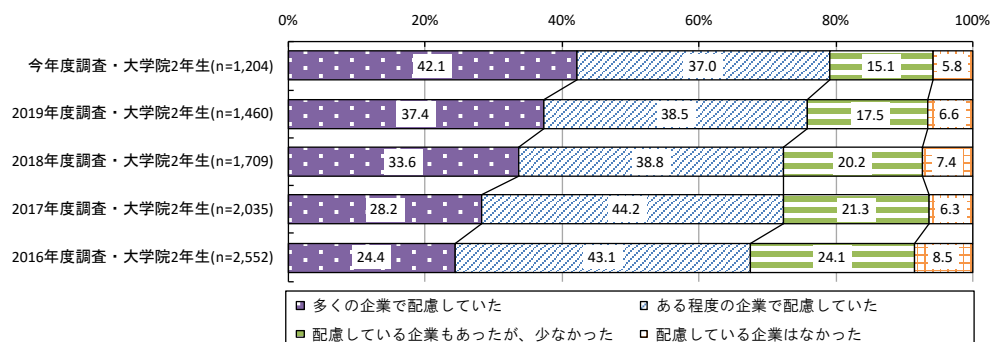
図表 4-3-2 個別の面接日時等の設定にあたっての配慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



<sup>82</sup> 就職活動を行った企業について、「個別の面接日時等の設定に当たり、就職活動が授業・試験等の妨げにならないよう、連絡が余裕をもって行われたり、土日や平日夕方などの対応があったり、日程の候補が複数提示されたり、学生の要望を聞いたりするなどの配慮がありましたか」という設問に対して、「就職活動最優先で活動していたため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

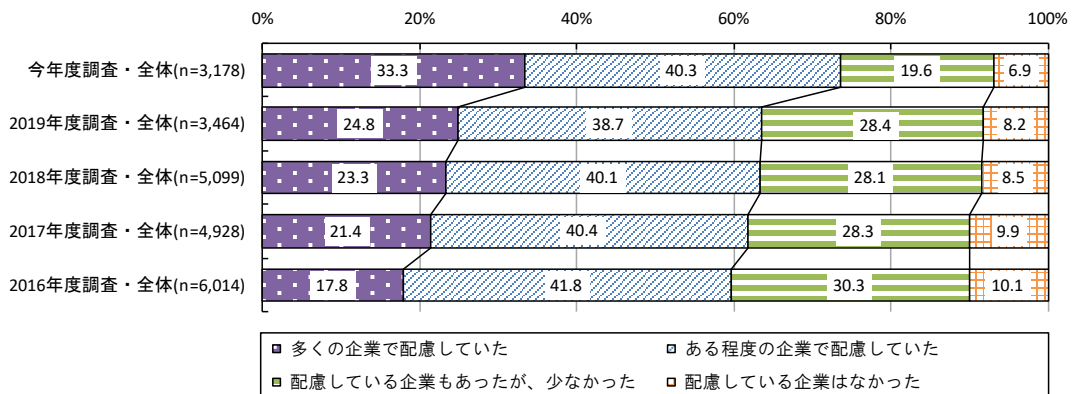
<sup>83</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

#### (4) 遠隔地への就職活動への配慮

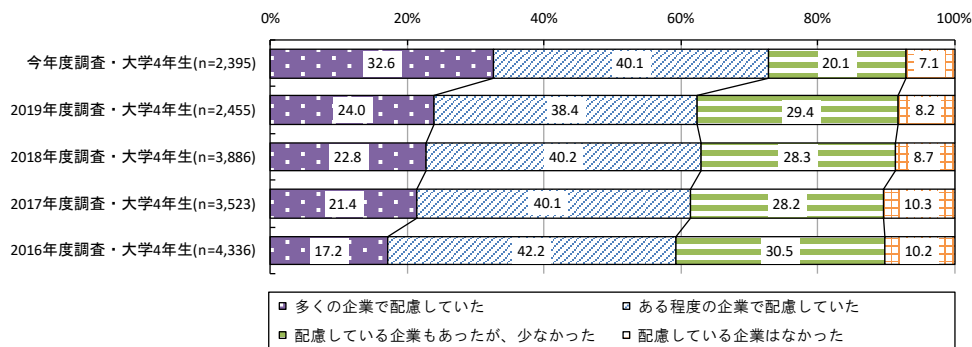
地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮があったかについて、「よくわからない」と回答した者を除くと<sup>84</sup>、「多くの企業で配慮していた」と「ある程度の企業で配慮していた」を合わせた回答割合は約7割となっている。

2016年度調査～2019年度調査と比較すると、今年度調査は「多くの企業で配慮していた」の回答割合が高くなっている<sup>85</sup>。

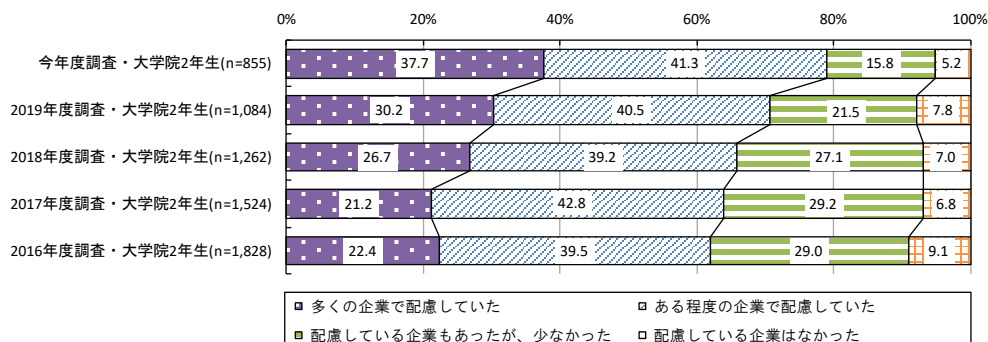
図表 4-4-1 遠隔地への就職活動に際する企業側からの配慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)



<sup>84</sup> 「地方から都市部への就職活動や、Uターン・Iターン・Jターン就職など、学生の負担の大きい遠隔地への就職活動に際して、企業側からの配慮がありましたか」という設問に対して、「自身が該当しないため、よくわからない」と回答した者は除いて集計した。

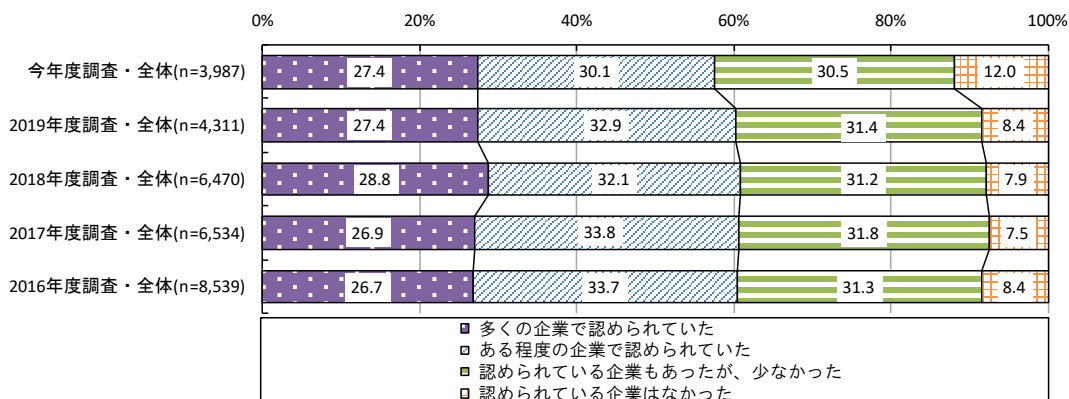
<sup>85</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## (5) クールビズでの対応

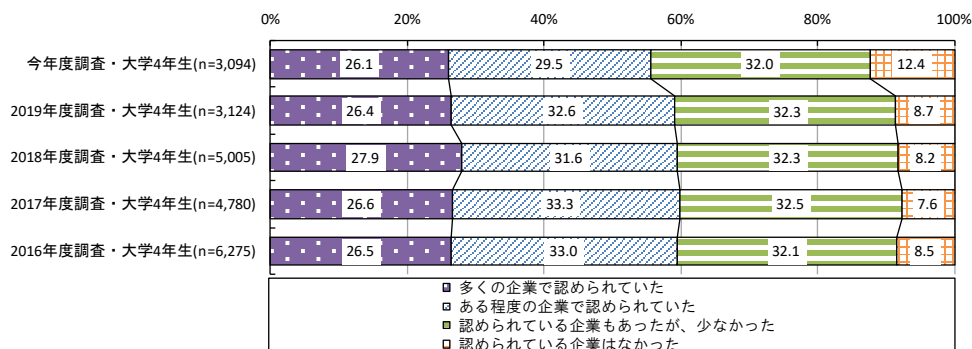
面接の実施にあたり、クールビズでの対応が認められていたかについて、「わからない」と回答した者を除くと<sup>86</sup>、「多くの企業で認められていた」と「ある程度の企業で認められていた」を合わせた回答割合は約6割となっている。

これは、2016年度調査～2019年度調査とほぼ同様の結果となっている<sup>87</sup>。

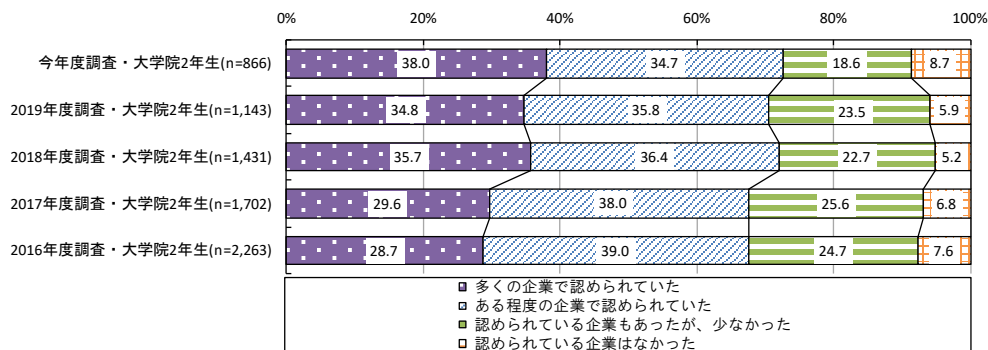
図表 4-5-1 面接の実施におけるクールビズでの対応の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)



<sup>86</sup> 「面接の実施等にあたり、クールビズでの対応が認められていましたか」という設問に対して、「暑い時期に就職活動を行っていない」「わからない」と回答した者は除いて集計した。

<sup>87</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

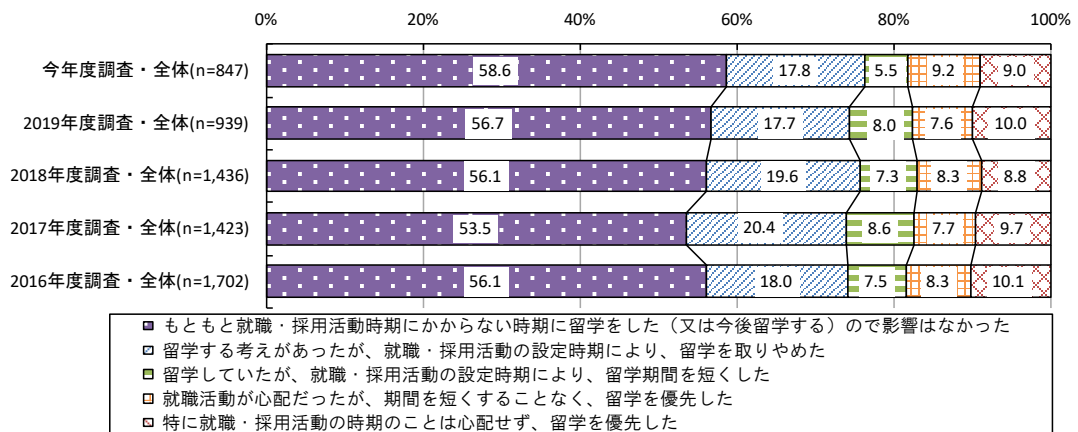
## (6) 留学経験者への配慮

### ① 留学経験者及び留学を検討していた者の状況

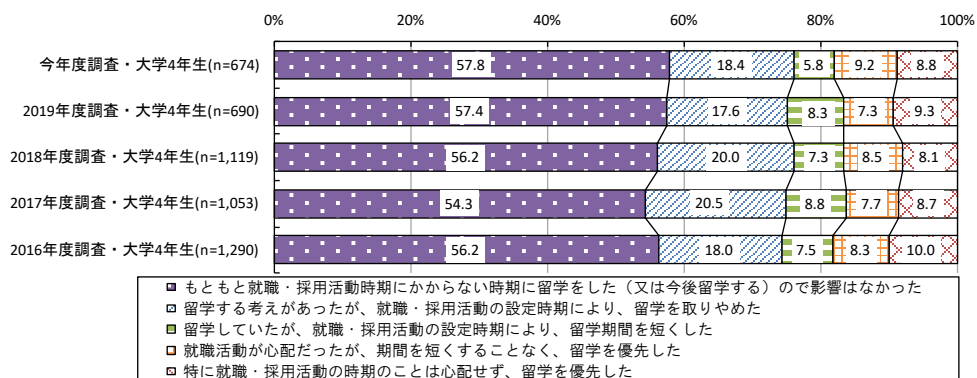
就職・採用活動の設定時期により留学の予定等に影響があったかについて、留学経験者及び留学を検討していた者のうち<sup>88</sup>、約6割は「もともと就職・採用活動時期にかからない時期に留学をした（又は今後留学する）ので影響はなかった」と回答している。一方、約2割が「留学する考えがあったが、就職・採用活動の設定時期により、留学を取りやめた」と回答している。

これは、2016年度調査～2019年度調査とほぼ同様の結果となっている<sup>89</sup>。

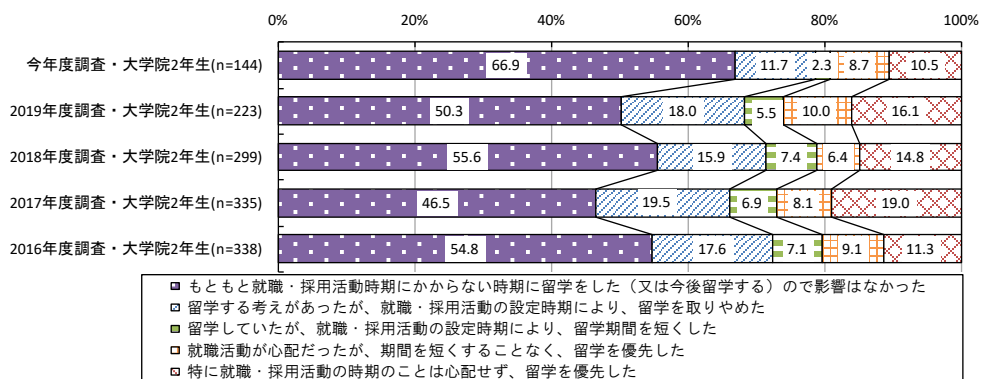
図表 4-6-1 留学経験者及び留学を検討していた者の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)



<sup>88</sup> 「就職・採用活動の設定時期（広報活動は3月1日以降、採用選考活動は6月1日以降に開始）により、留学の予定等に影響はありましたか」という設問に対して、「もともと留学する予定はなく、留学はしていない」と回答した者を除いて集計した。

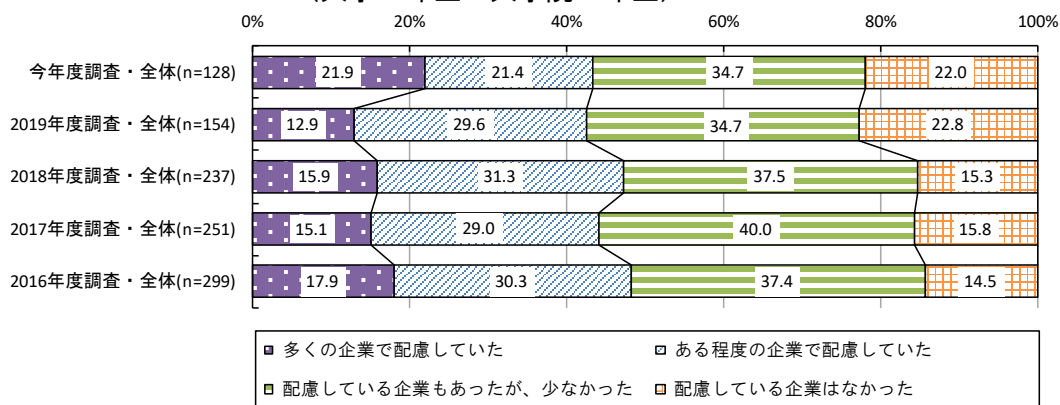
<sup>89</sup> 2015年度調査では当該設問について調査を実施していない。

## ②企業側から留学経験者に対する配慮の状況

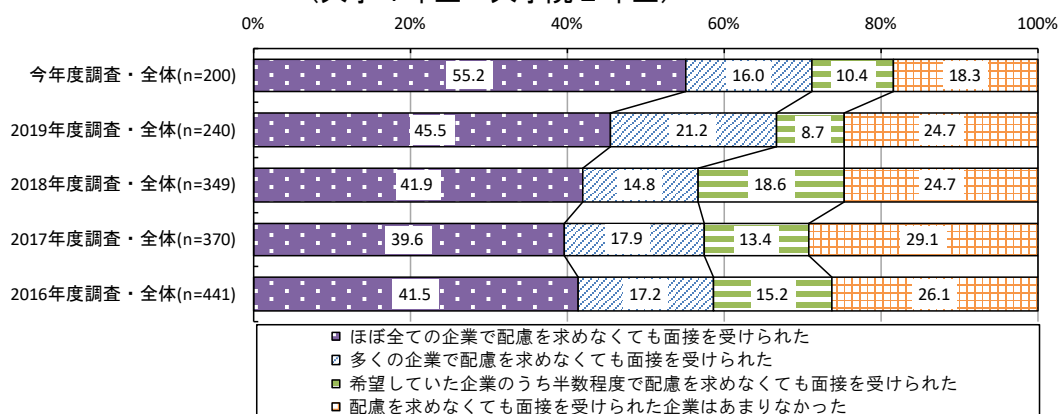
就職・採用活動期間中に留学を実際に行っていた者<sup>90</sup>に関して、就職を希望した企業において、留学経験者が不利にならないよう留学経験者向けのスケジュールや情報を別途示すなど配慮があったかについて、「わからない」との回答を除くと<sup>91</sup>、約4割が「多くの企業で配慮していた」または「ある程度の企業で配慮していた」と回答している<sup>92</sup>。この割合は2019年度調査と同様であるが、特に「多くの企業で配慮していた」の回答割合が高くなっている。

また、就職を希望していた企業のうち、面接の時期が留学と重なっていなかった、または留学経験者のための別日程が示されていたため、配慮を求めなくても面接を受けられた企業がどれくらいあったかについては、「ほぼ全ての企業で配慮を求めなくても面接を受けられた」の回答割合が約6割となっている。この割合は、過年度調査と比較して高くなっている。

図表 4-6-2 留学経験者に対する企業側の配慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



図表 4-6-3 留学経験者が配慮を求めなくても面接を受けられた企業の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



<sup>90</sup> 「留学していたが、就職・採用活動の設定時期により、留学期間を短くした」「就職活動が心配だったが、期間を短くすることなく、留学を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、留学を優先した」と回答した者について集計した。なお、留学経験者に関する各設問について、2015年度調査では実施していない。

<sup>91</sup> 「あなたが就職を希望した企業は、企業側から留学経験者向けのスケジュール・情報を別途示すなど、留学により不利にならないように配慮していましたか」という設問に対して、「留学経験者であることを特に意識せず就職活動を行ったため、わからない」と回答した者は除いて集計した。

<sup>92</sup> 留学経験者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

### ③配慮を求めた際の対応等

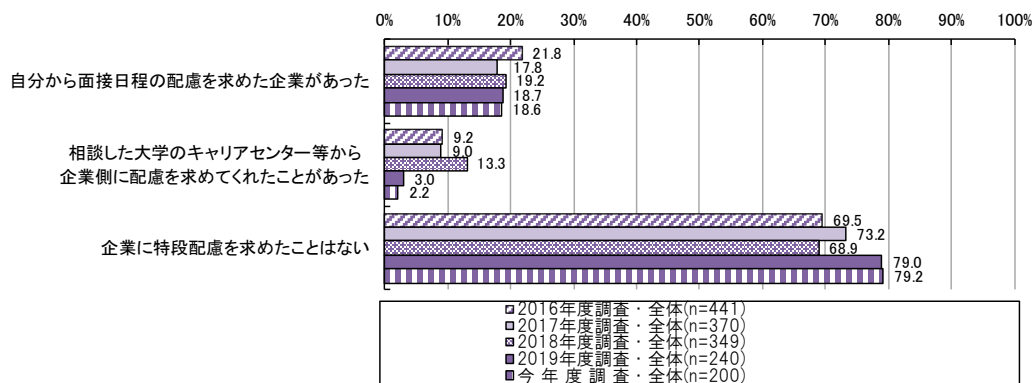
留学と採用選考の時期が重なることに関して、就職を希望した企業に対して面接日程の配慮を求めたことがあったかについて、「自分から面接日程の配慮を求めた企業があった」との回答が約 2 割となっており、「相談した大学のキャリアセンター等から企業側に配慮を求めてくれたことがあった」との回答は 1 割未満となっている<sup>93</sup>。

自分から配慮を求めた場合の企業側の対応状況について<sup>94</sup>、「配慮を求めた企業のほぼ全てが対応してくれた」「対応してくれた企業のほうが多い」の回答割合は合わせて約 6 割となっている。

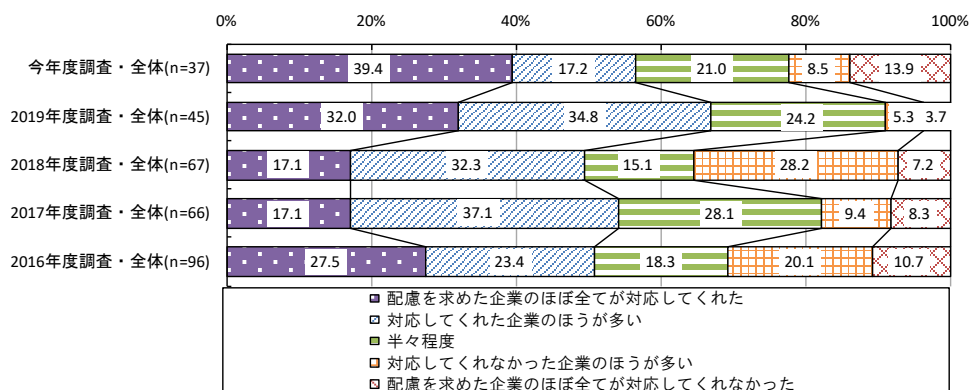
2016 年度調査～2019 年度調査と比較すると、今年度では 2019 年度よりこの割合が低くなっている一方、「配慮を求めた企業のほぼ全てが対応してくれなかった」の回答割合が過年度調査よりも高くなっている。

また、就職を希望していた企業のうち、企業側に面接日程についての配慮を求めることをせず、結果として留学と日程が重なり面接を諦めた企業がどのくらいあったかについては、「ほぼ全ての企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」「多くの企業に対して配慮を求めることなく面接を諦めた」の回答割合を合わせると約 2 割となっている。

図表 4-6-4 留学経験者が就職を希望した企業に対して面接日程について配慮を求めたことがあったか（複数回答、大学 4 年生・大学院 2 年生）



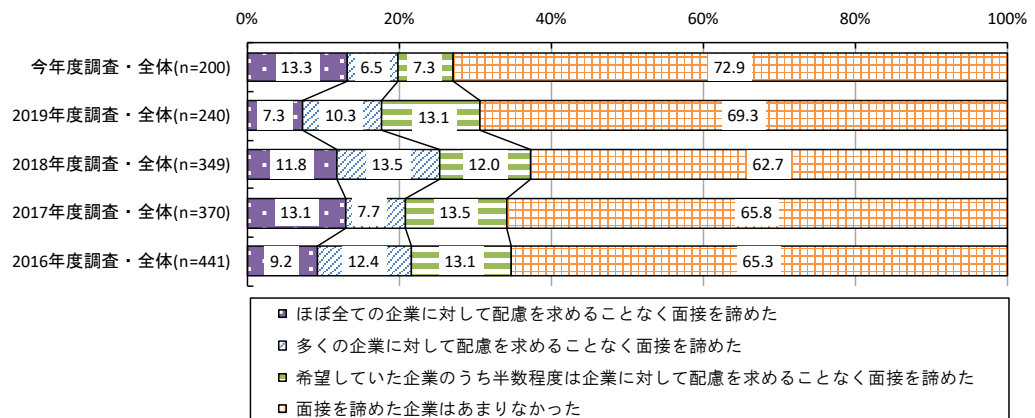
図表 4-6-5 留学経験者が配慮を求めた場合の企業の対応（自分から配慮を求めた場合）（大学 4 年生・大学院 2 年生）



<sup>93</sup> 留学経験者に関する各設問について、「留学していたが、就職・採用活動の設定時期により、留学期間を短くした」「就職活動が心配だったが、期間を短くすることなく、留学を優先した」「特に就職・採用活動の時期のことは心配せず、留学を優先した」と回答した者について集計した。なお、留学経験者に関する設問について、2015 年度調査では実施していない。

<sup>94</sup> 大学のキャリアセンター等から配慮を求めた場合に関しては、集計対象の件数が非常に少ないことから集計結果を掲載しなかった。

図表 4-6-6 留学経験者が企業に配慮を求めず、結果的に面接を諦めた企業の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



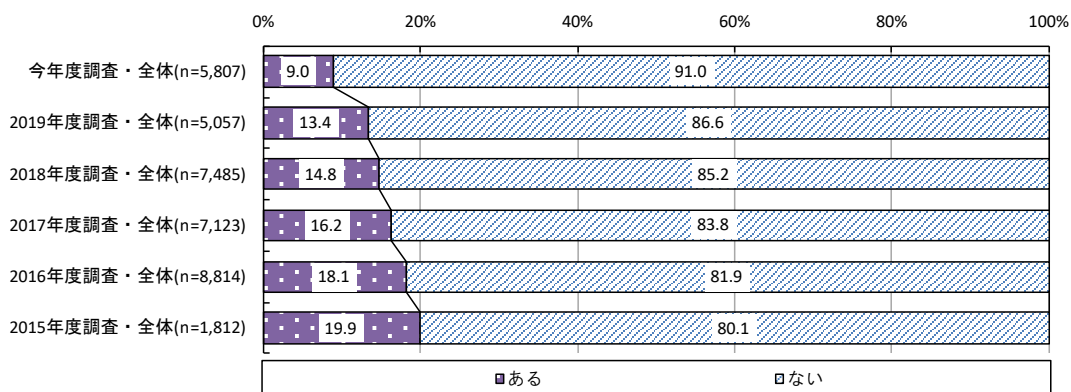
## (7) 「オワハラ」の状況

### ① 「オワハラ」の有無

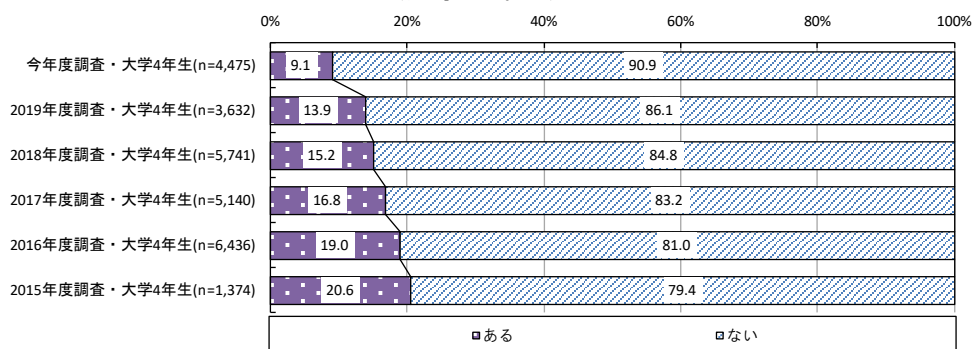
企業等から、他の企業等への就職活動の終了を強要するようなハラスメント的な行為（「オワハラ」）を受けたことがあるかについて<sup>95</sup>、約1割の者が「ある」と回答している。

過年度調査と比較すると、今年度調査では「ある」の回答割合が低くなっている。

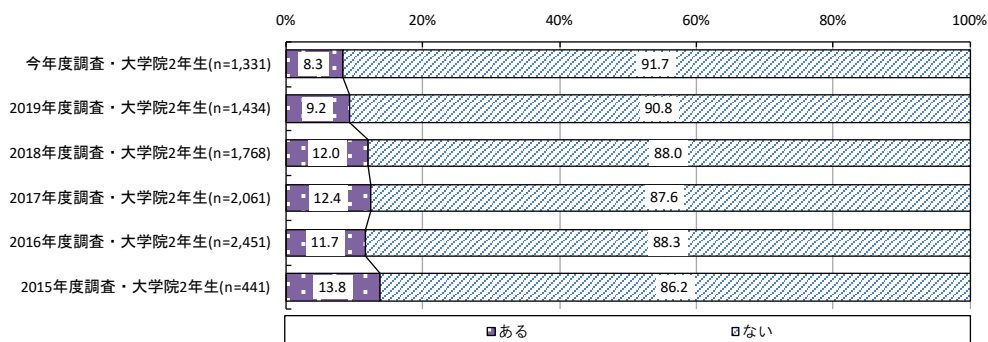
図表 4-7-1 企業から「オワハラ」を受けた経験の有無  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)



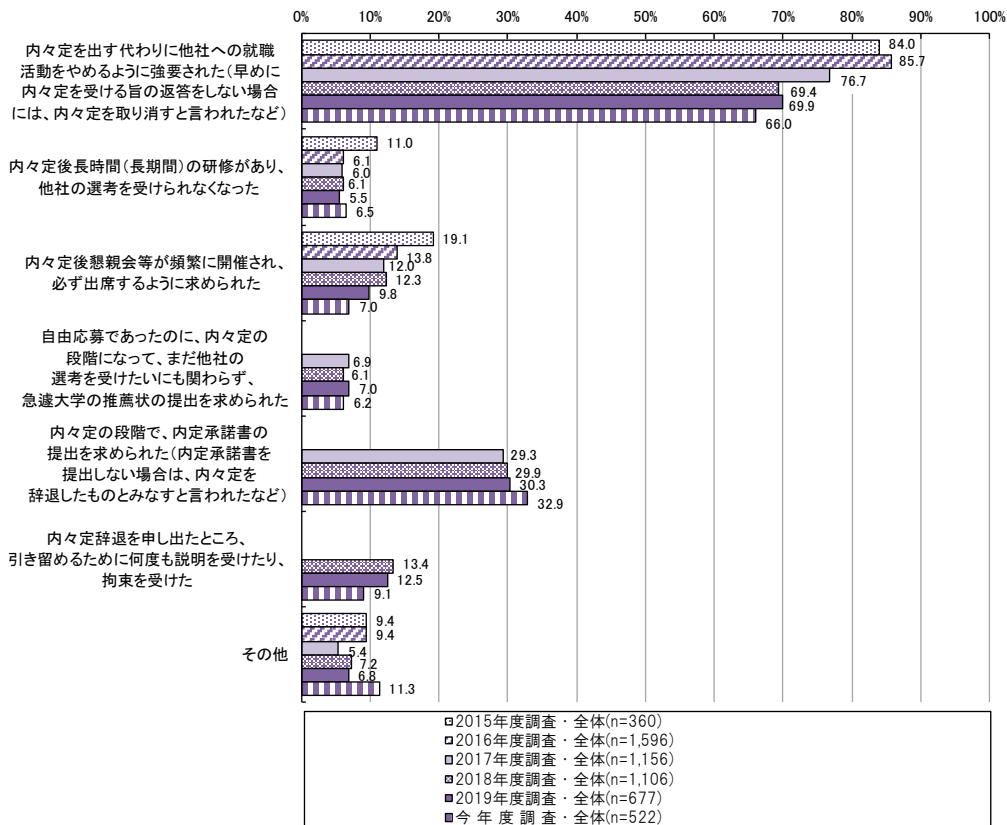
<sup>95</sup> 内々定を1社以上から受けた者を集計の対象とした。



## ②「オワハラ」の内容

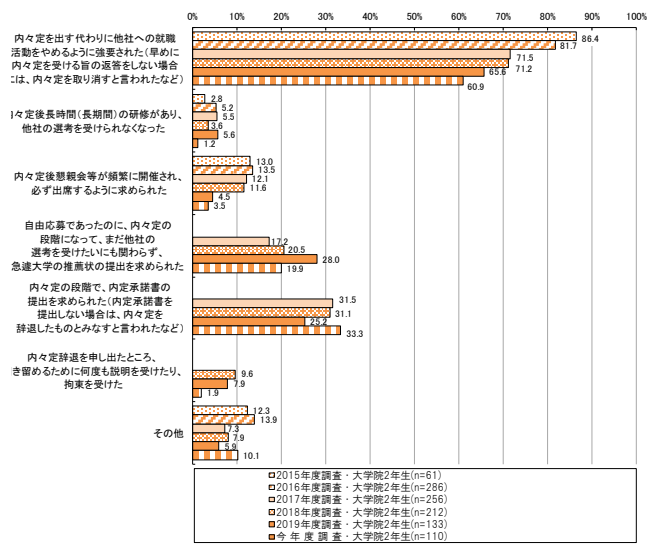
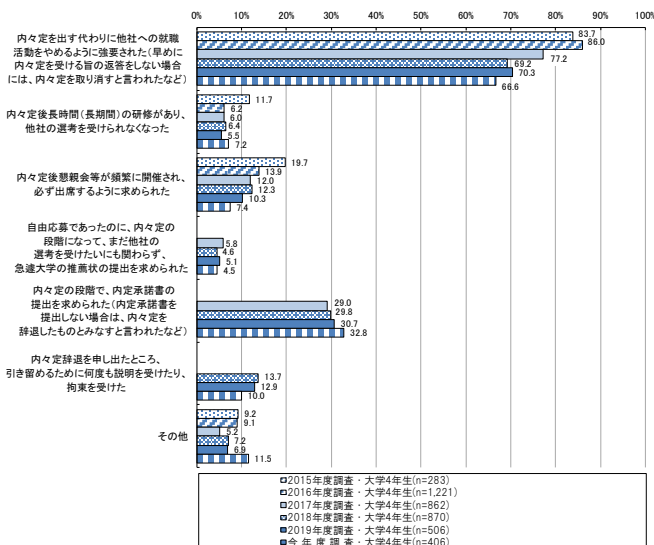
企業等から、「オワハラ」を受けたことがあると回答した者に関し、どのような行為を受けたかについては、「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された（早めに内々定を受ける旨の返答をしない場合には、内々定を取り消すと言われたなど）<sup>96</sup>」の回答割合が約7割となっている。次いで、「内々定の段階で、内定承諾書の提出を求められた（内定承諾書を提出しない場合は、内々定を辞退したものとみなすと言われたなど）」の回答割合が約3割となっている。

図表 4-7-2 「オワハラ」の内容（複数回答）  
(大学4年生・大学院2年生)



(大学4年生)

(大学院2年生)



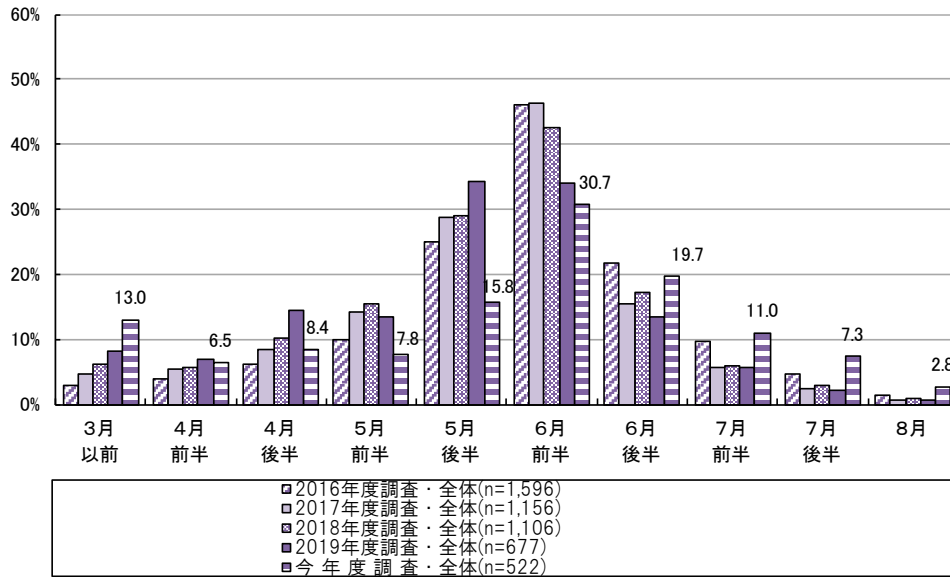
96 2018年度調査以前は、「早めに内々定を受ける旨の返答をしない場合には、内々定を取り消すと言われたなど」の例示はせず単に「内々定を出す代わりに他社への就職活動をやめるように強要された」の項目で調査を実施している。

### ③「オワハラ」があった時期

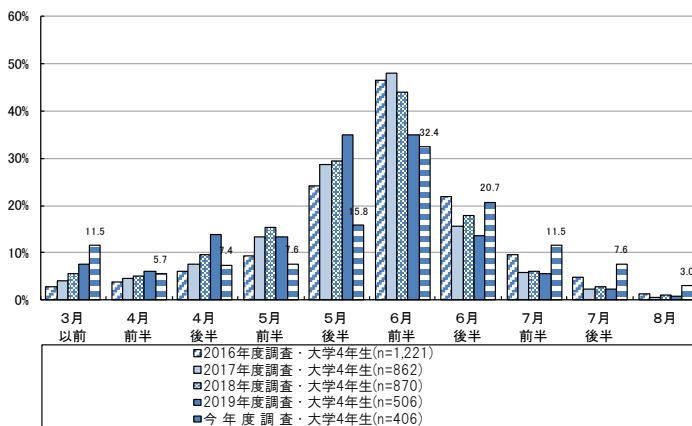
「オワハラ」を受けた時期について、「6月前半」の回答割合が約3割、次いで「6月後半」が約2割となっている。

2016年度調査～2019年度調査と比較すると、今年度調査では「3月以前」や「6月後半」以降の時期の回答割合が高くなっている。また、「4月前半」から「6月前半」の時期の回答割合は低くなっている<sup>97</sup>。

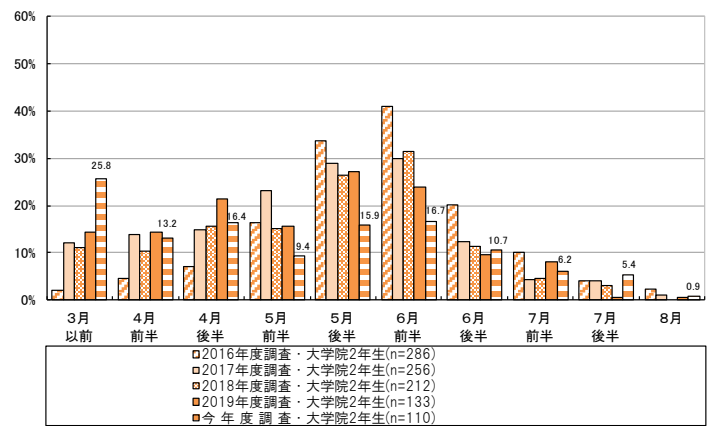
図表 4-7-3 「オワハラ」を受けた時期（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



（大学4年生）



（大学院2年生）



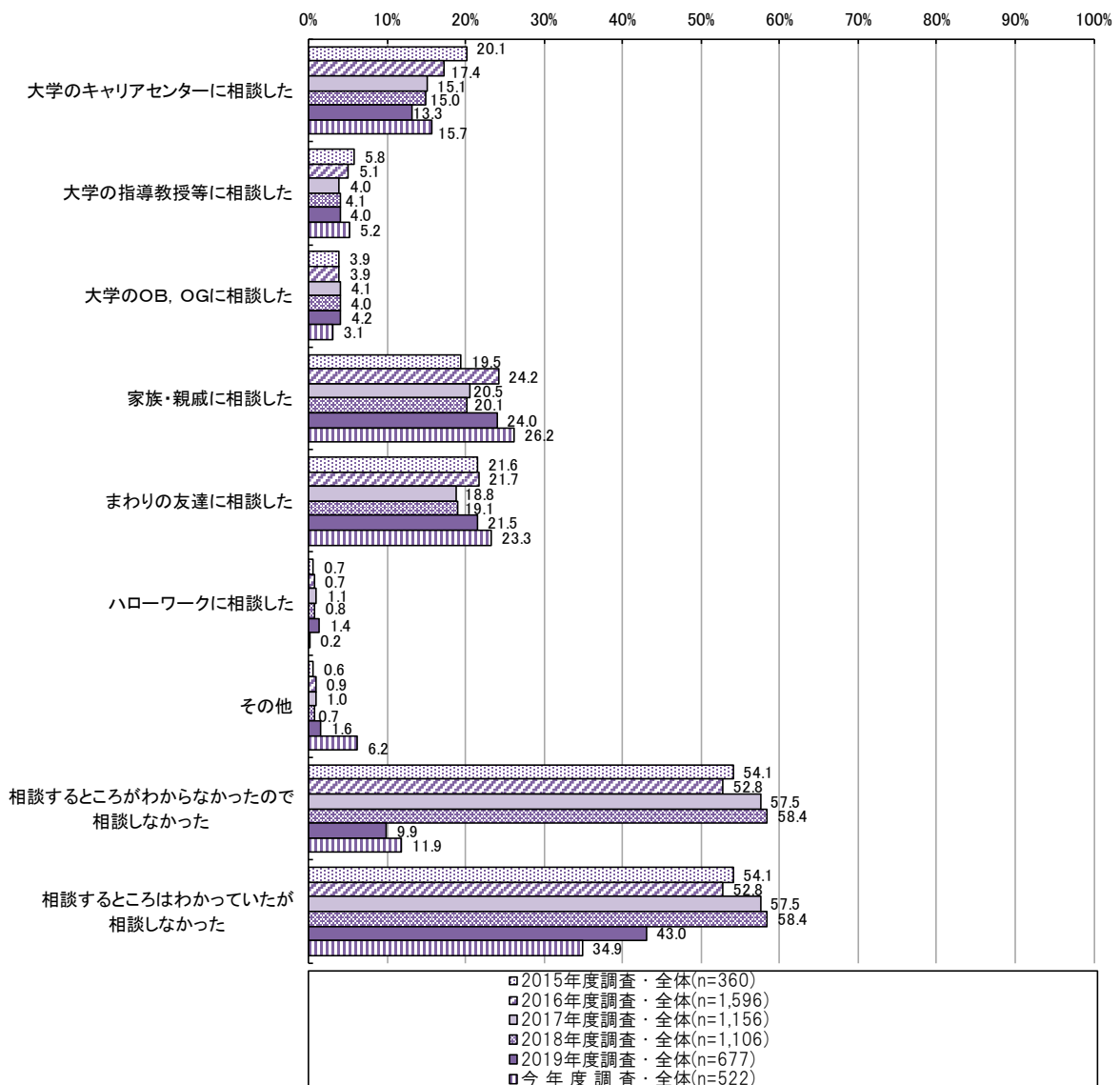
<sup>97</sup> 2015年度調査でもハラスメント的な行為を受けた時期に関する設問の調査をしているが、選択肢として設定している時期が他の年度の調査とは異なることから、ここでは比較の対象としなかった。

#### ④「オウハラ」への対応

ハラスメント的な行為を受けた際の対応については、「家族・親戚に相談した」の回答割合が約3割、「まわりの友達に相談した」の回答割合が約2割となっている。これは、2019年度調査と比較するといずれも若干高くなっている。

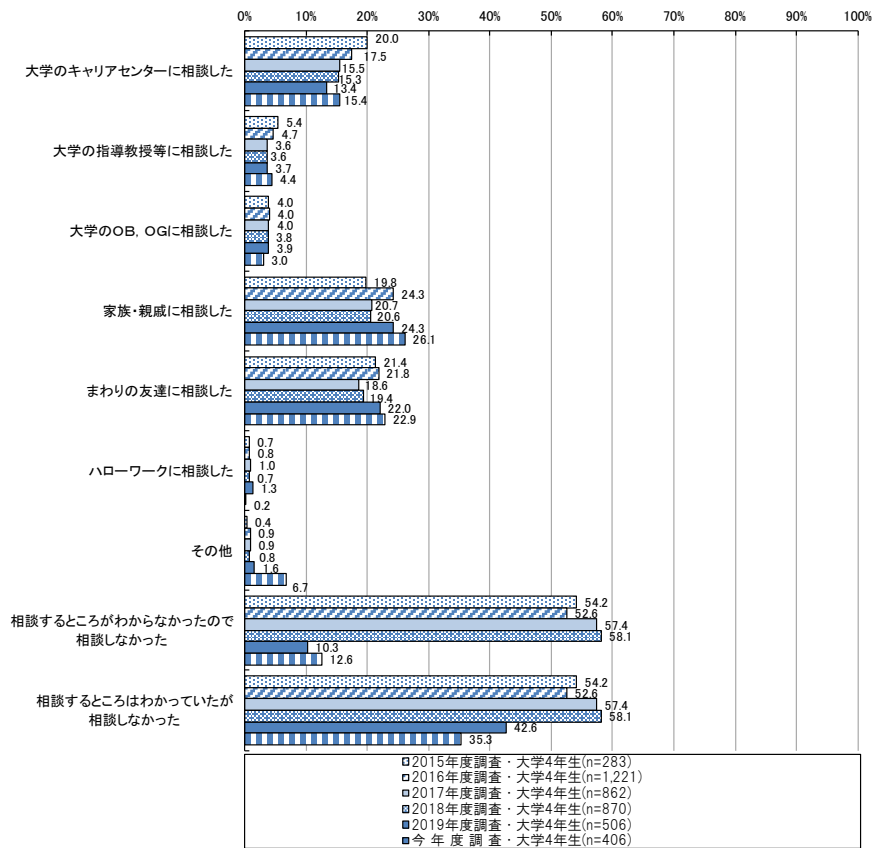
一方、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」が約1割、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」が約3割となっている<sup>98</sup>。過年度調査と比較すると、2019年度調査との比較において、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」の回答割合が低くなっている。

図表 4-7-4 企業からハラスメント的な行為を受けた際の対応（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）

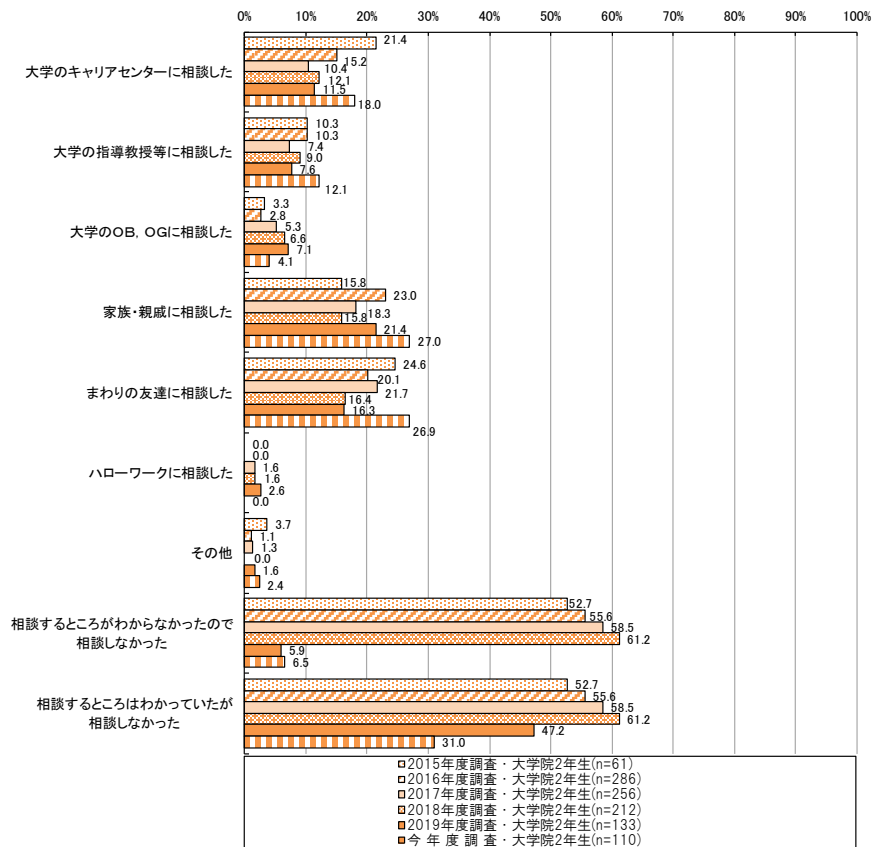


<sup>98</sup> 「相談するところがわからなかったので相談しなかった」と「相談するところはわかっていたが相談しなかった」は、2019年度調査以降新たに設けた項目で、2018年度調査以前は単に「相談しなかった」という項目で調査していた。図表4-8-4の2015年度調査～2018年度調査の結果では、「相談しなかった」という項目の回答割合を、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」と「相談するところはわかっていたが相談しなかった」の項目の中で繰り返して掲載している。

(大学4年生)



(大学院2年生)

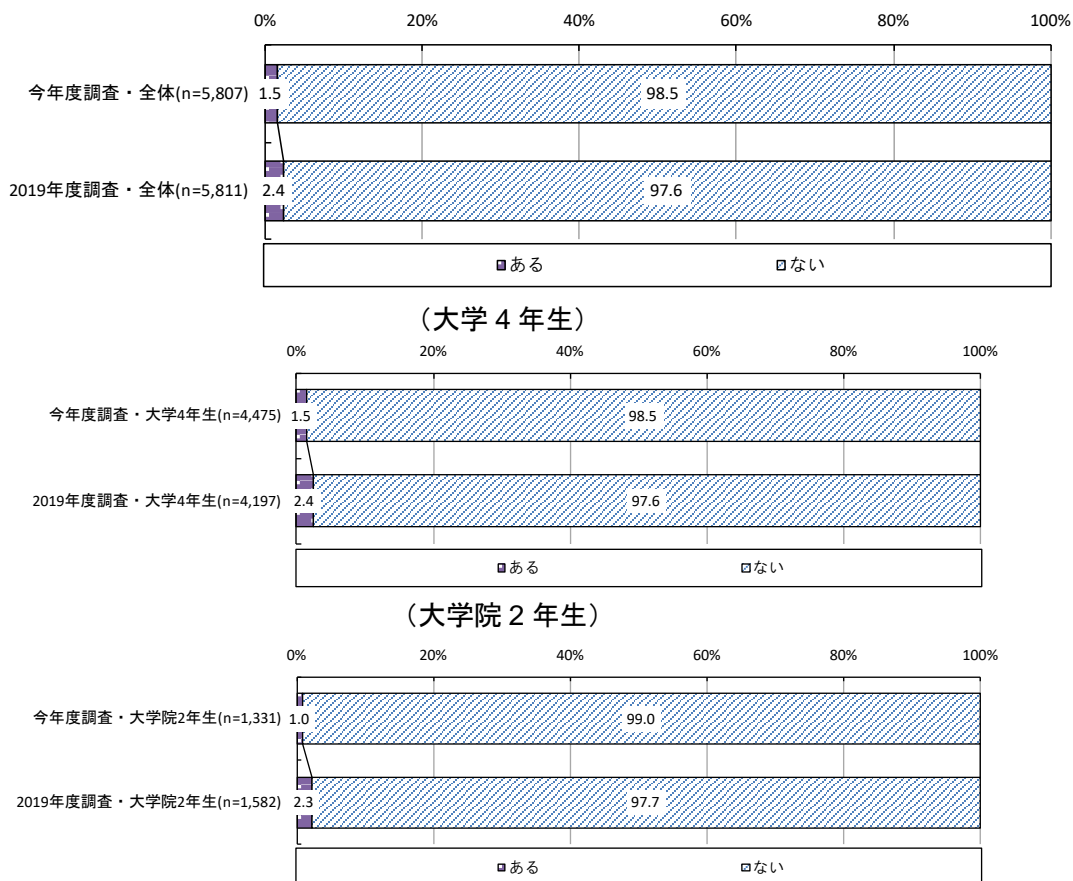


## (8) セクシュアルハラスメントの状況

### ①セクシュアルハラスメント行為の有無

就職活動の過程において、セクシュアルハラスメント行為を受けたことがあるかについて、「ある」の回答割合は1.5%であった<sup>99</sup>。

図表 4-8-1 セクシュアルハラスメント行為を受けた経験の有無  
(大学4年生・大学院2年生)



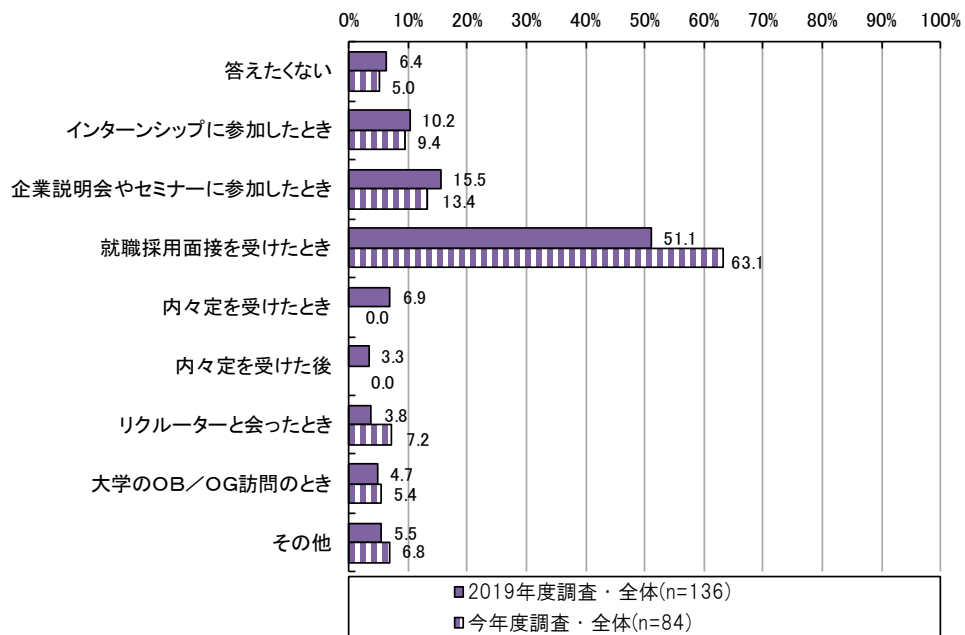
<sup>99</sup> 2018年度調査以前は当該設問について調査を実施していない。(以降のセクシュアルハラスメント行為に関する各設問についても同様)

## ②セクシュアルハラスメント行為を受けたタイミング

セクシュアルハラスメント行為を受けたことがあると回答した者に関し<sup>100</sup>、行為を受けたタイミングとしては、「就職採用面接を受けたとき」との回答が約6割と最も多く、次いで「企業説明会やセミナーに参加したとき」が約1割となっている。また、「内々定を受けたとき」「内々定を受けた後」と回答した者はいない結果となっている。

2019年度調査と比較すると、「就職採用面接を受けたとき」の回答割合が高くなっている。

図表 4-8-2 セクシュアルハラスメント行為を受けたタイミング（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



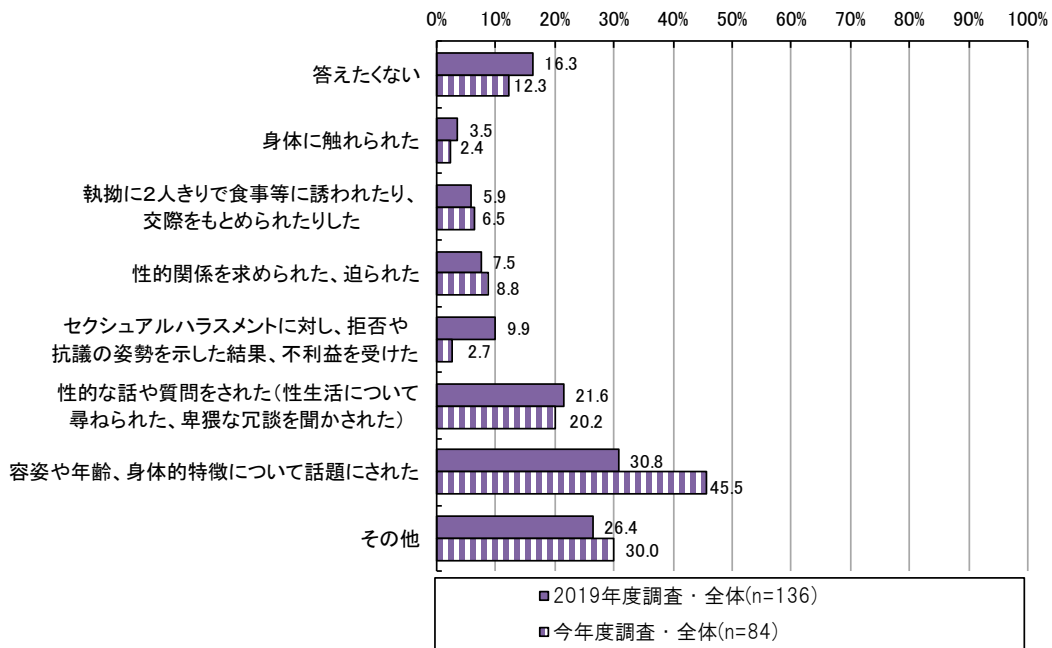
<sup>100</sup> 以降の設問に関してはセクシュアルハラスメント行為を受けたことがあると回答した者を調査・集計の対象としたが、選択肢として「答えたくない」の項目を設けた上で、差し支えない範囲で回答いただくように案内をした（アンケート調査の最終の項目とし、当該調査項目に回答しなくても回答終了とすることが可能なように設定をした）。なお、集計対象者の数が必ずしも多いわけではないことから、ここでは、大学4年生・大学院2年生について合わせて集計した結果のみ参照した。

### ③セクシュアルハラスメント行為の内容

どのようなセクシュアルハラスメント行為を受けたかについて、「容姿や年齢、身体的特徴について話題にされた」が約5割、「性的な話や質問をされた（性生活について尋ねられた、卑猥な冗談を聞かされた）」が約2割となっている。また、「その他」の回答割合も約3割となっている。

2019年度調査と比較すると、「容姿や年齢、身体的特徴について話題にされた」の回答割合は高くなっている。

図表 4-8-3 セクシュアルハラスメント行為の内容（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）

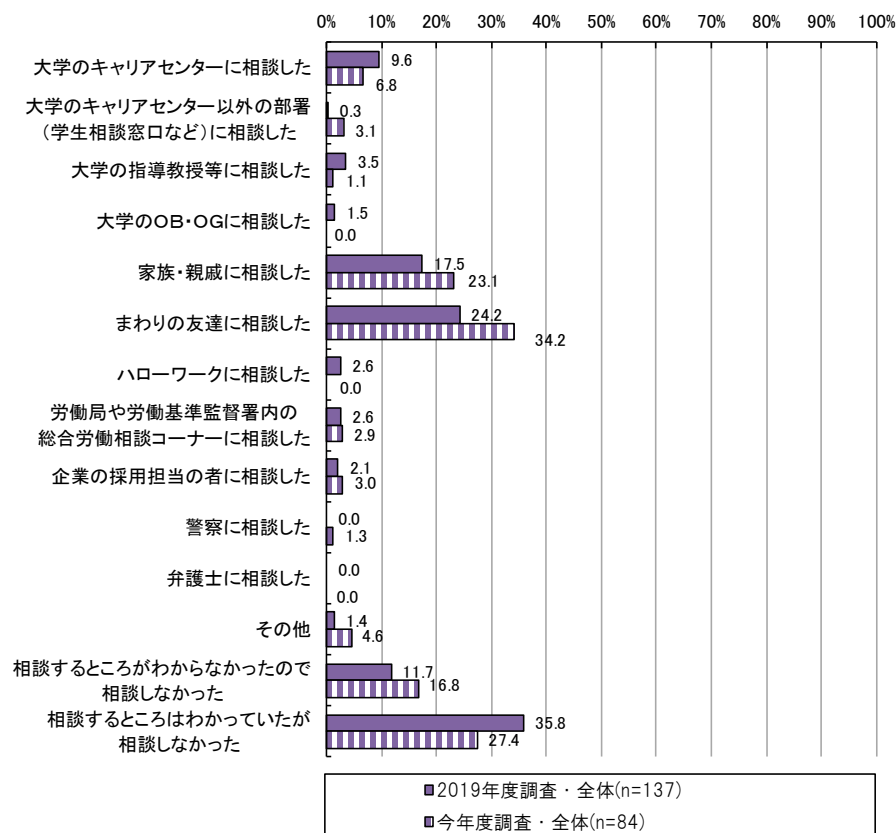


#### ④セクシュアルハラスメント行為に関する相談

セクシュアルハラスメント行為に関し相談したことがあるかについて、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」が約3割、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」は約2割となっている。相談先としては、「まわりの友達に相談した」が約3割、「家族・親戚に相談した」が約2割となっている。

2019年度調査と比較すると、「相談するところがわからなかったので相談しなかった」の回答割合は高くなっているが、「相談するところはわかっていたが相談しなかった」は低くなっている。相談先としては「家族・親戚に相談した」「まわりの友達に相談した」などの項目で回答割合が高くなっている。

図表 4-8-4 セクシュアルハラスメント行為に関する相談（複数回答）  
（大学4年生・大学院2年生）



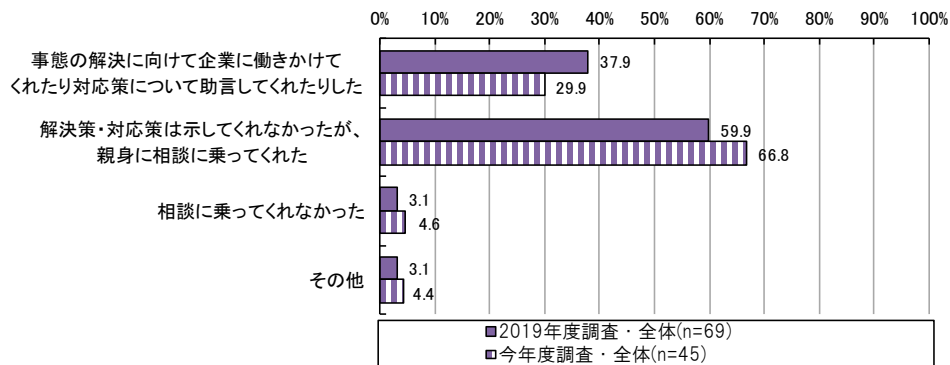


⑤セクシュアルハラスメント行為に関する相談への対応

セクシュアルハラスメント行為を相談したときの対応について、「解決策・対応策は示してくれなかったが、親身に相談に乗ってくれた」が約 7 割、「事態の解決に向けて企業に働きかけてくれたり対応策について助言してくれたりした」が約 3 割となっている。

2019 年度調査と比較すると、「事態の解決に向けて企業に働きかけてくれたり対応策について助言してくれたりした」の回答割合は低くなり、「解決策・対応策は示してくれなかったが、親身に相談に乗ってくれた」や「相談に乗ってくれなかった」の回答割合は高くなっている。

図表 4-8-5 セクシュアルハラスメント行為に関する相談への対応（複数回答）  
（大学 4 年生・大学院 2 年生）

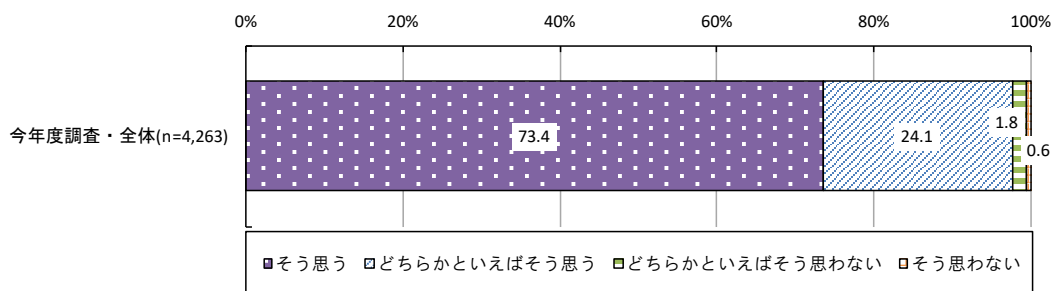


## (9) 新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響

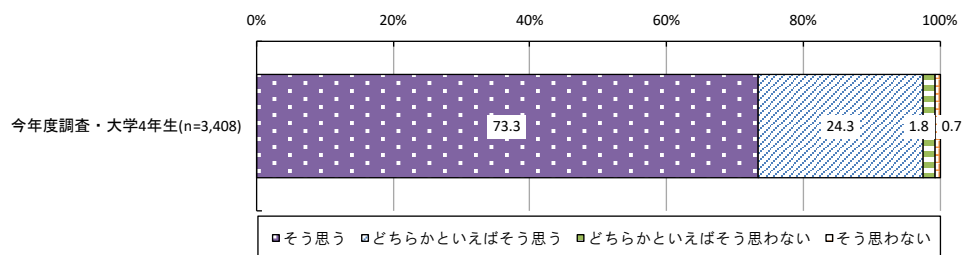
### ① 企業説明会やセミナー等における感染拡大防止の配慮

対面での企業説明会やセミナー等の開催にあたって、出席者へのマスクの着用や手洗いの推奨、アルコール消毒薬の設置、こまめな換気など、感染の拡大防止について企業が配慮していたかについて、「新型コロナウイルス感染症の拡大前の時期の参加であったため、わからない」と回答した者を除くと、「そう思う」の回答割合が約7割、「どちらかといえばそう思う」と合わせた回答割合が9割以上となっている<sup>101</sup>。

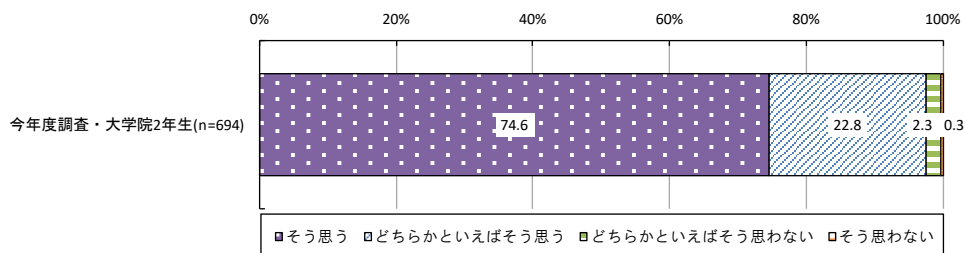
図表 4-9-1 対面での説明会やセミナーにおける企業の感染拡大防止の配慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)

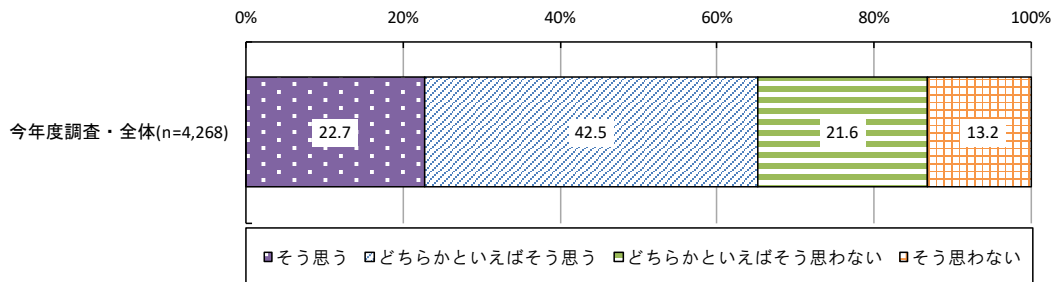


<sup>101</sup> 企業説明会やセミナー等について、「対面のみでの参加」または「対面とウェブ等の両方での参加」に1社以上回答した者のみを集計対象とした。

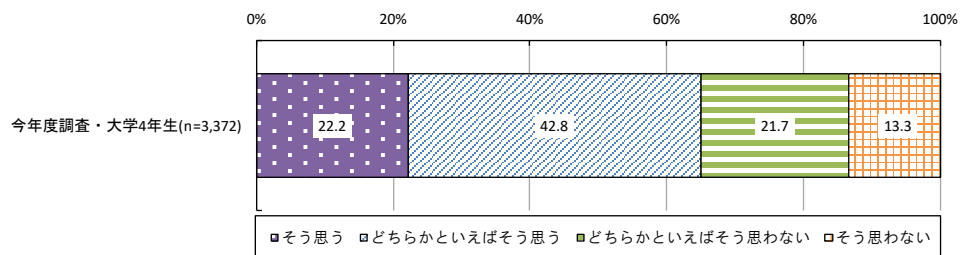
## ②企業説明会やセミナー等の開催時期変更・中止に関する連絡の学生への影響の考慮

企業説明会やセミナー等の開催時期の変更や中止に関する企業からの連絡が、できるだけ早期に、余裕を持って行われるなど、学生への影響を考慮していたかについて、「わからない」と回答した者を除くと、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約7割となっている<sup>102</sup>。

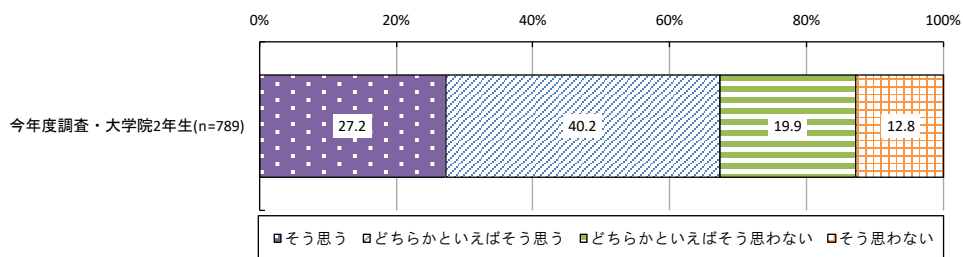
図表 4-9-2 企業説明会やセミナー等の開催時期に関する連絡の学生への影響の考慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



### (大学4年生)



### (大学院2年生)

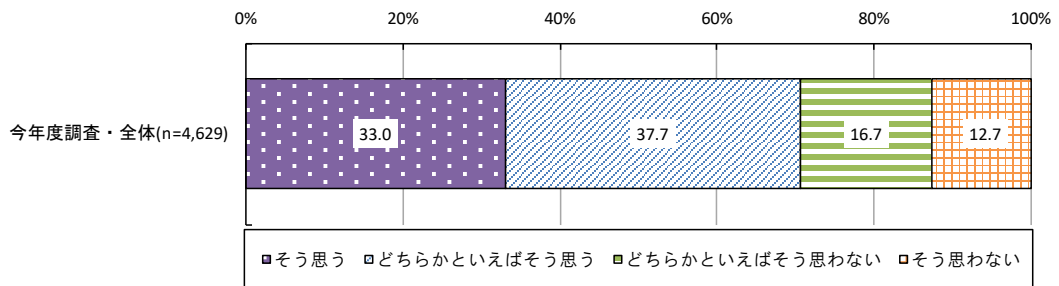


<sup>102</sup> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で、「開催時期が後ろ倒しに変更された」、または「参加を予定していたが開催が中止になった」企業説明会やセミナー等が1社以上あったと回答した者のみを集計対象とした。

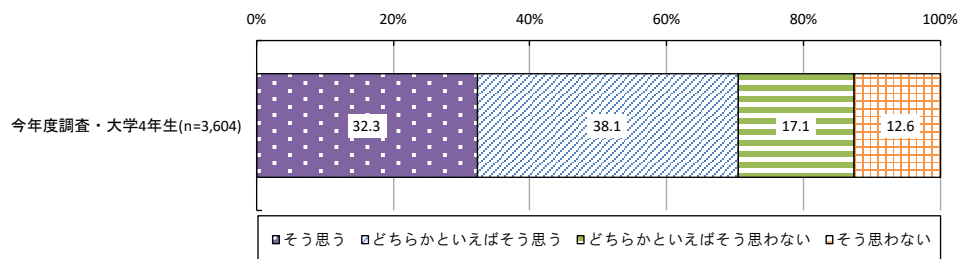
### ③対面での企業説明会やセミナー等への欠席と採用選考への影響に関する説明

対面での企業説明会やセミナー等について、参加できなかったことをもってその後の採用選考に影響を与えることはない旨の説明が企業等からされていたかについて、「わからない」と回答した者を除くと、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約7割となっている。

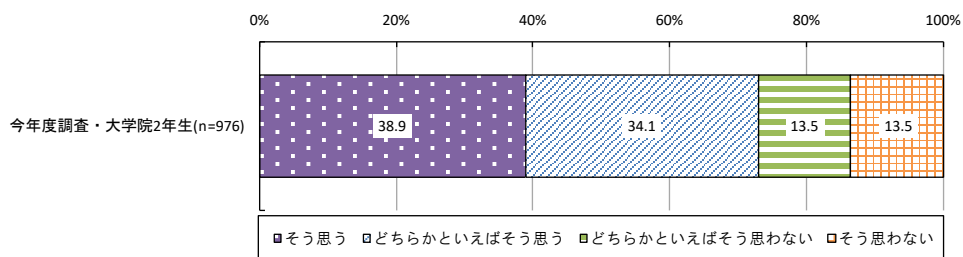
図表 4-9-3 対面での企業説明会やセミナー等への欠席と採用選考への影響に関する説明の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



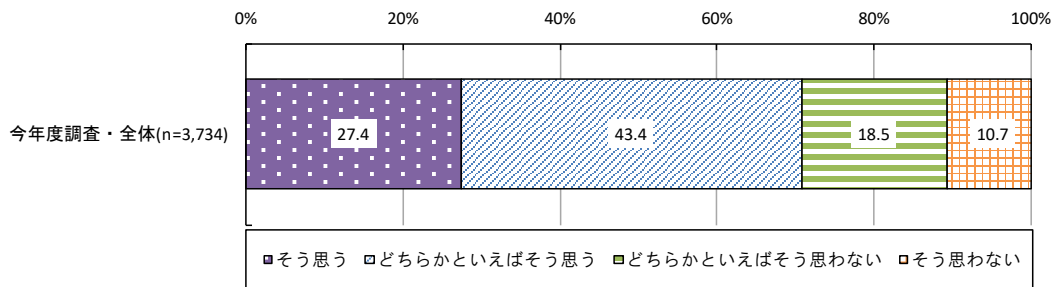
#### (大学院2年生)



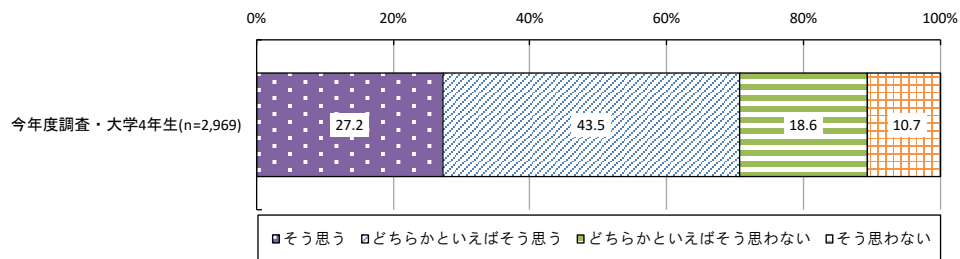
#### ④エントリーシートの受付期間の変更・中止に関する連絡

エントリーシートの受付開始時期の変更や提出期限の延長、中止の企業からの連絡が、できるだけ早期に、余裕を持っておこなわれるなど、学生への影響を考慮していたかについて、「わからない」と回答した者を除くと、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約 7 割となっている<sup>103</sup>。

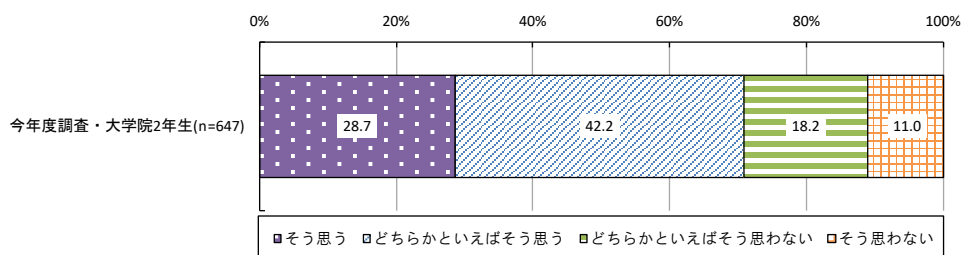
図表 4-9-4 エントリーシートの受付期間に関する連絡の学生への影響の考慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)

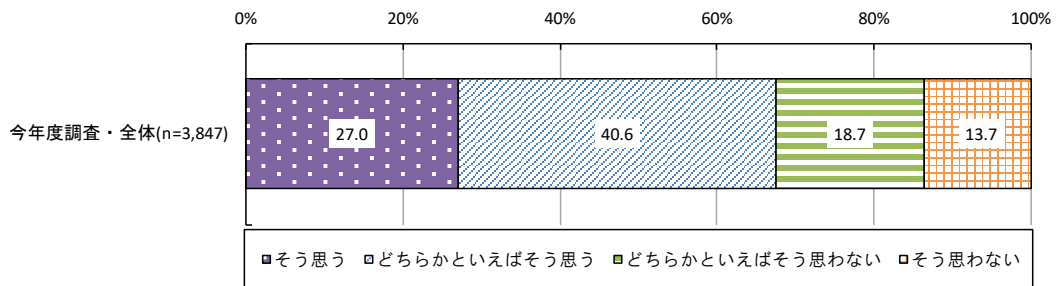


<sup>103</sup> 新型コロナウイルス感染症拡大による影響で、「エントリーシート受付開始時期が後ろ倒しに変更された」、「エントリーシートの提出期限が延長された」、または「エントリーシート提出を予定していたがエントリーの受付が中止になった」企業が1社以上あった者のみを集計対象とした。

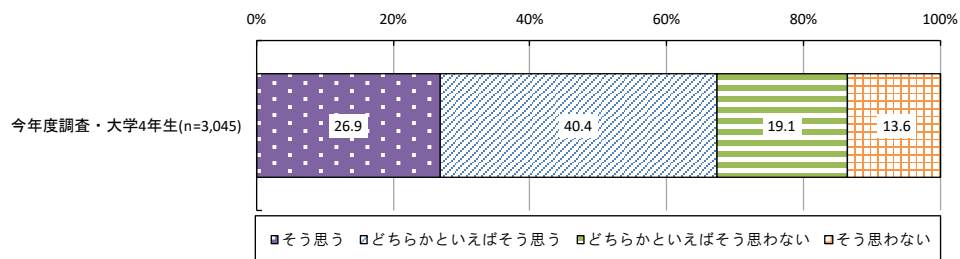
### ⑤採用面接の時期の変更・中止に関する連絡

採用面接の時期を後ろ倒しに変更することや中止の連絡が、できるだけ早期に、余裕を持って行われるなど、学生への影響を考慮していたかについて、「わからない」と回答した者を除くと、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は約7割となっている<sup>104</sup>。

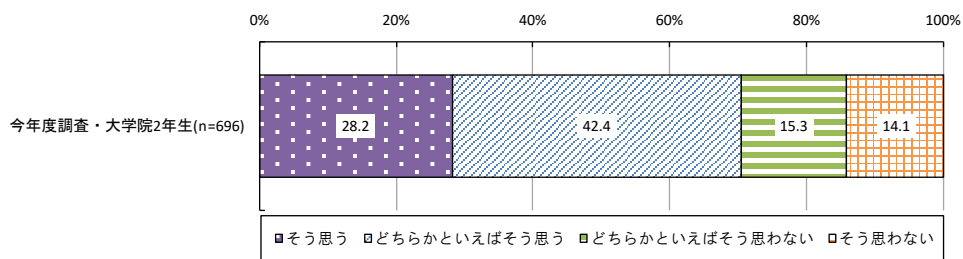
図表 4-9-5 採用面接の時期に関する連絡の学生への影響の考慮の状況  
(大学4年生・大学院2年生)



#### (大学4年生)



#### (大学院2年生)



<sup>104</sup> 新型コロナウイルス感染症の感染拡大による影響で、「実施時期が後ろ倒しに変更された」、または「受けることが予定されていたが中止になった」採用面接が1社以上あったと回答した者のみを集計対象とした。

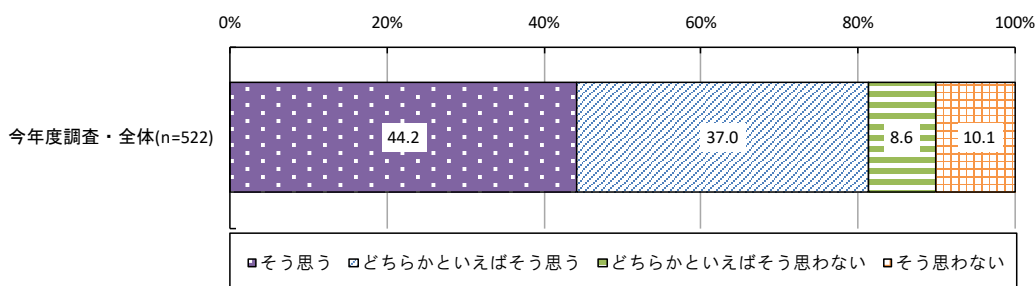
## ⑥内々定の通知時期変更に関する連絡

内々定の通知時期を後ろ倒しに変更することの連絡が、できるだけ早期に、余裕を持って行われるなど、学生への影響を考慮していたかについて、「わからない」と回答した者を除くと、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた回答割合は、1社から内々定を受けた者、複数社から内々定を受けた者の最初の内々定の企業・就職予定の企業いずれについても、約8割となっている<sup>105</sup>。

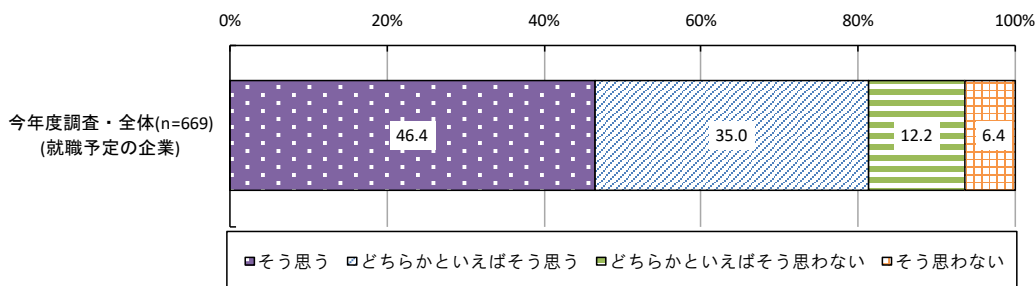
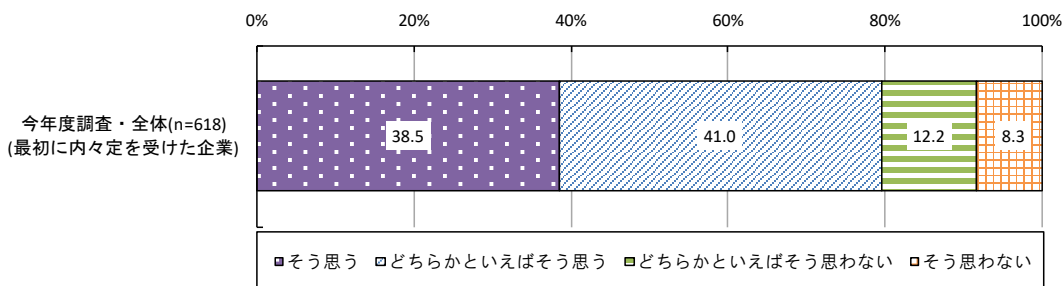
図表 4-9-6 内々定の通知時期変更に関する連絡の学生への影響の考慮の状況

(大学4年生・大学院2年生)

<1社から内々定を受けた者>



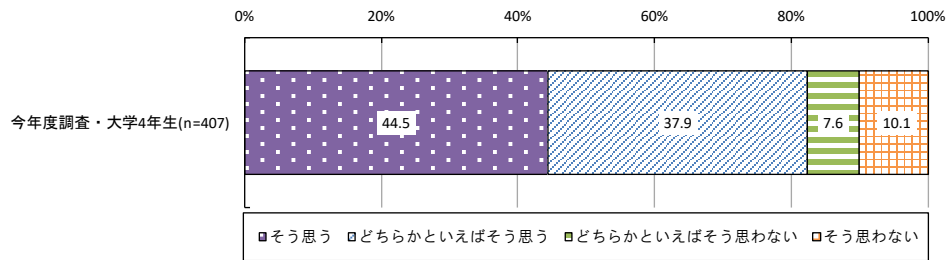
<複数社から内々定を受けた者>



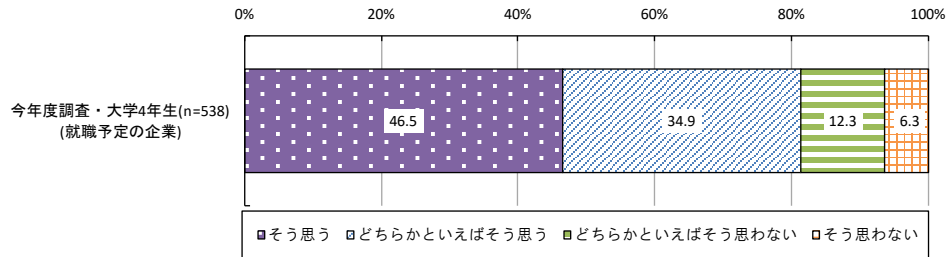
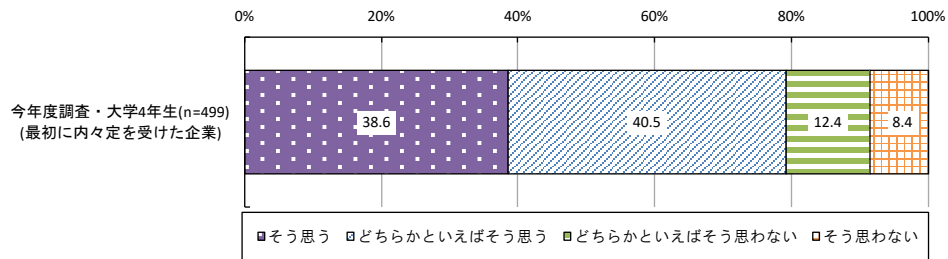
<sup>105</sup> 1社から内々定を受けた者についてはその内々定を受けた時期が、複数社から内々定を受けた者については最初の内々定と就職予定の企業の内々定それぞれを受けた時期が、新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響で、当初企業から案内されていた時期から後ろ倒しに「変更された」と回答した者のみを集計対象とした。

(大学4年生)

<1社から内々定を受けた者>

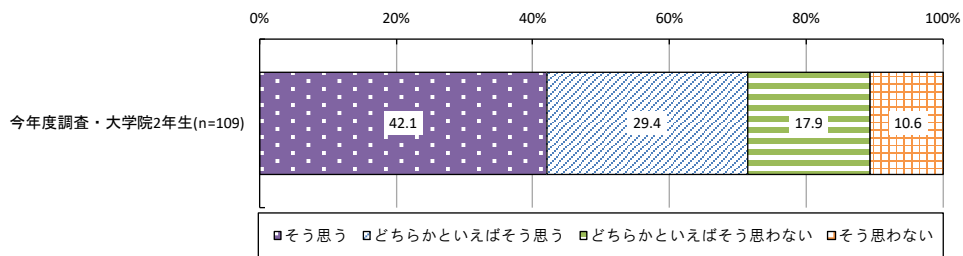


<複数社から内々定を受けた者>



(大学院2年生)

<1社から内々定を受けた者>



<複数社から内々定を受けた者>

